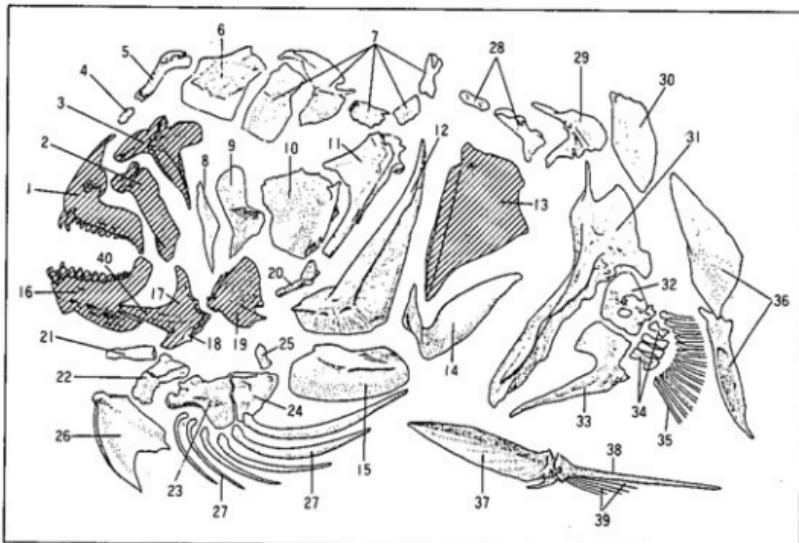


謝 詞

末尾ながら、調査の機会を与えられ種々御教示下さった財団法人香川県埋蔵文化財調査センターの西間達哉氏、資料整理に多大な御協力を仰いた名古屋大学文学研究科修士課程学生久保和士、同文学部学生梶 昌樹の両君に対し、衷心より謝意を表する次第である。



第1図 マダイ頭骨中の検出部位図

(1:前上顎骨, 2:主上顎骨, 3:口蓋骨, 13:主鰓蓋骨, 16:下顎歯骨, 17:角骨, 19:方骨)

第1表 動物遺体種名一覧表

脊椎動物門 VERTEBRATA

魚類 PISCES

硬骨魚綱 OSTEICHTHYES

- | | |
|------------|--|
| 1. ニシン科の1種 | Clupeidae sp. |
| 2. キス科の1種 | Sillaginidae sp. |
| 3. タイ科のマダイ | <i>Pagrus major</i> T _{EMMINCK} et SCHLEGEL |
| 4. コチ科の1種 | Sparidae sp. |
| 5. ヒラメ科の1種 | Paralichthyidae sp. |

両生類 AMPHIBIA

鳥類 AVES

哺乳類 MAMMALIA

偶蹄目 ARTIODACTYLA

- | | |
|--------------|--|
| 1. イノシシ科イノシシ | <i>Sus scrofa leucomystax</i> T _{EMMINCK} |
| 2. シカ科ニホンジカ | <i>Cervus nippon nippon</i> T _{EMMINCK} |

靈長目 PRIMATES

- | | |
|----------------|---|
| 1. オナガザル科ニホンザル | <i>Macaca fuscata</i> B _{LYTH} |
|----------------|---|

第2表 土壌と検出種名の関係

土 壤 番 号		308	338
魚類	ニシン科	○	
	キス科	○	
	マダイ	○	○
	コチ科	○	
	ヒラメ科	○	○
両生類			○
鳥類			○
哺乳類	イノシシ	○	
	ニホンジカ	○	○
	ニホンザル	○	

第3表 魚骨出土数量表

種名	部位	S K308	S K338
ニシン科	脊椎骨	1	
キス科	脊椎骨	4	
マ	前上顎骨	l 5 r 6	1 1
	下顎歯骨	l 4 r 6	1 6
	主上顎骨	l 5 r 7	5 3
	口蓋骨	l 4 r 5	1 1
	角骨	l 2	
	方骨	l 2 r 6	2 2
	主鰓蓋骨	l 3 r 2	
	前頭骨		1
	上後頭骨	5	
	基後頭骨	1	1
タイ科	第1脊椎骨	1	2
	脊椎骨	6	34
	尾部棒状骨	1	1
コチ科	脊椎骨	1	
ヒラメ科	脊椎骨	3	4

第4表 獣骨出土数量表 (P: 小臼歯, M: 大臼歯)

種名	部位	数量	
イノシシ	上顎遊離歯	l M ₃ 1 M ₃	1
	下顎遊離歯	l P ₄ " M ₂ " M ₃ " r M ₃	1 1 1 1
	手根骨	1	2
	中足骨	?	1
	中跗骨		1
サル	上顎遊離歯	l P ₁ " P ₂ " M ₁ " r P ₁ " r P ₂ " r M ₁	1 1 1 1 1 1

第9節 一の谷遺跡群出土の金属製品の材質分析

奈良教育大学教授 三辻利一

蛍光X線分析というのは試料にX線（1次X線）を照射し、その結果、試料表面で発生した蛍光X線（2次X線）を検出器がキャッチし、エネルギー分析することによって試料表面の組成を知る方法である。このように、蛍光X線分析は表面分析であるため、表面を含めて均質な試料であることが要求される。ところが、遺跡から出土する銅製品は表面は腐食しており、表面を含めて均質な試料とは云い難いものである。このような試料の性格から、筆者は銅製品の定量分析をすることを差し控え、定性分析で材質を検査し、どのようなことが云えるかを検索してみることにした。

試料は研磨することなく、そのまま、試料台にのせ、その全表面にX線を照射した。銅製品にはSn(スズ)、Sb(アンチモン)を含む場合が多いので、高エネルギー領域をカバーするため、2次ターゲットとしてGd(カドニウム)を使用し、蛍光X線スペクトルを測定した。つづいて、Cu(銅)からPb(鉛)にかけてのエネルギー領域を拡大して検索するため、Mo(モリブデン)を2次ターゲットにして蛍光X線スペクトルを測定した。観測した蛍光X線スペクトルより、すべての場合に、銅製品の表面と裏面で成分元素は一致した。ただ、ピークの高さは若干異なった。

定性分析のための蛍光X線のエネルギーの同定には、CuのK α , K β , PbのL α , L β , SnのK α , K β によりエネルギー較正曲線を作成し、この較正曲線を使って銅製品の蛍光X線スペクトルを定性分析した。

図1には銅鏡の蛍光X線スペクトルを示す。この図の横軸は蛍光X線エネルギーであり、縦軸は蛍光X線強度である。横軸の蛍光X線エネルギーは前記のエネルギー較正曲線によって解析された。しかし、縦軸の蛍光X線強度については腐食した銅製品の場合、定量性に問題があるので、定性的に読みとることにした。図1より、銅鏡はSn, Cu, Pbを主成分とする青銅であることがわかる。図1の左側をみると、Cu, Pbのピークに比べて、Snのピークが著しく高い。勿論、試料表面は蛍光X線スペクトルにみられるように、Snに富むと思われるが、それが表面の腐食によるためかもしれない。しかし、ビーグの高さの違いがそのまま、試料の組成を表すとは考え難い。しかし、この点を考慮に入れても、銅鏡の材質はSnが相当リッチであると思われる。銅鐸や銅錢に比べて銅鏡にSnの含有量が多いのはこれまでの報告の示すところである。この点では、本銅鏡は古代・中世の青銅鏡と同じ材質であると云える。一方、副成分元素としてはFe(鉄)とごくわずかのSbが観測された。しかし、古代青銅製品にごくあたりまえにみられるAg(銀)は検出されなかった。AgはCu中の不純物とみられ、古代銅製品には必ずといってよい位に認められる。逆に、現代コインになると、銅を電解精錬するため完全に除去されてしまう。しかし、電解精錬処理がなされなかつた近世以前の銅製品には多少ともAgが残存していることになる。しかも、面白いことには古代から近世へかけて時代が下がるにつれて、Agが観測されなくなる傾向がある。この理由はいろいろ

考えられるであろうが、銅製品は幾度も鉄直されるため、鉄直しの過程でAgが脱落してしまうことが原因の一つと考えられよう。この点では一の谷遺跡群の銅鏡は近世の製品らしい青銅鏡であると云えよう。Feが混入することについての意味は不明である。

図2には銅剣の蛍光X線スペクトルを示す。Cu, Snを主成分として、若干のPbを含む典型的な古代・中世型青銅である。Agの存在も確認される。

上述したように蛍光X線スペクトルをみると、銅鏡、銅剣とも材質は青銅であることには間違いはないが、組成に差違があり、前者は不純物Agよりみて近世的、後者は全成分よりみて古代・中世的であるということもできよう。

図1 銅鏡の蛍光X線スペクトル

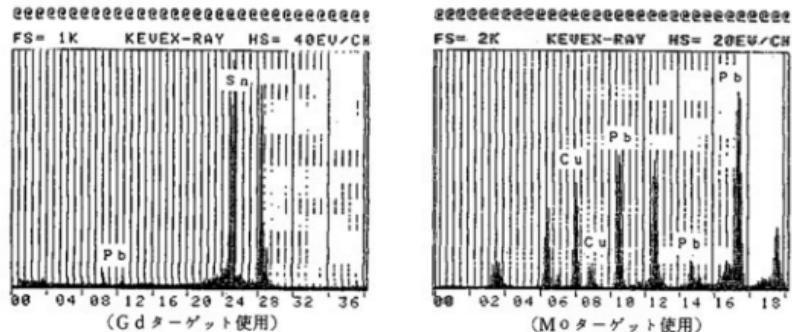
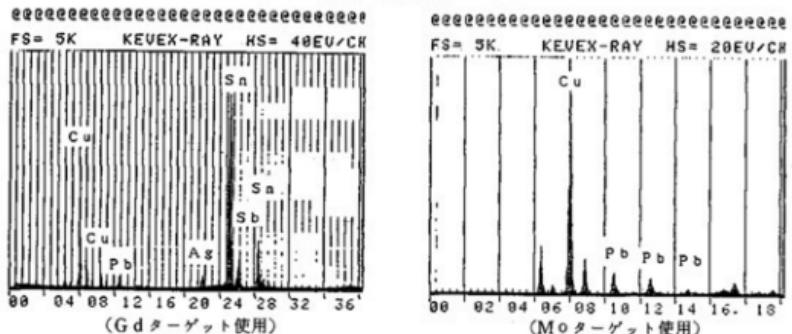


図2 銅剣の蛍光X線スペクトル



第10節 一の谷遺跡群近世遺構出土の金属製品の材質分析

奈良教育大学教授 三辻利一

1. はじめに

古代・中世の銅錢の分析データはこれまでにも報告例が多いが、その特質について述べた報文は少ない。筆者はこれまでに多数の中国、日本の銅錢の材質を蛍光X線分析によって調べた経験をもつ¹⁾が、それによると古代から中世にかけて終始一貫して銅錢の材質は青銅(CuとSnの合金)であった。近世に入ると黄銅(CuとZnの合金)を素材にした硬貨が出現し、現代ではCuとNiの合金である白銅貨が使用されている。このように、銅錢の素材の主要な流れは青銅→黄銅→白銅であり、現代ではSn(スズ)は貴重な金属なので青銅貨を硬貨として使用している国は世界中には一つもない。世界各国共通して、黄銅貨(日本では5円、10円硬貨)と白銅貨(50円、100円、500円硬貨)が併用されている場合が多い。このように銅錢の素材には一つの流れがあるが、これからはずれた素材の硬貨もある。この点については未だ十分なデータが報告されていない。また、日本の近世の銅錢である寛永通宝の素材もおおむね青銅であるが、時と場合により、Pbの含有量が多かったり、Snの含有量が少なかったり、また、黄銅錢、鉄錢が混じることもある。

今回は一の谷遺跡群その他の近世遺構から出土した寛永通宝とキセルの吸口、かんざしの材質を蛍光X線分析法によって検索した結果について報告する。

2. 分析方法

試料は表面を研磨せず、そのまま試料台にのせ、試料全体にX線を照射した。Sn,Sbまでの高エネルギー領域をカバーするため、2次ターゲットとしてGdを使用した。また、Znを検出するため、2次ターゲットにMoを使用し、Cu,Pbのエネルギー領域を拡大した。元素の同定にはCuのK α , K β , PbのL α , L β , SnのK α , K β を使って作成したエネルギー較正曲線を使用した。

試料の表面と裏面の両方にX線を照射し蛍光X線スペクトルを観測したが、含有元素についての違いはなかった。蛍光X線強度に若干の違いが認められた。蛍光X線強度は試料表面の腐食の状況によって異なるが、その差違は大きなものではなかった。したがって、Snのピークの高いものはSnの含有量が比較的に多いと判断した。しかし、蛍光X線分析は表面分析であり、今回分析の対象となった試料の表面は腐食しているため、当然、得られる蛍光X線強度には定量性は余りないと考えられる。そのため、蛍光X線強度についても定性的に解釈することにした。

3. 分析結果

はじめに、分析試料のリストを表1に示す。参考までに図1には古代の典型的な銅錢である中國漢代の五銖錢の蛍光X線スペクトルを示しておく。横軸は蛍光X線エネルギーであり、エネルギー較正曲線を使って分析すれば、どんな元素が含まれているか、元素の同定ができる。縦軸は蛍光X線強度であり、本来は含有量に比例するはずであるが、今回の試料の場合には定量性はよくない。図1より、五銖錢はCu,Snを主成分とする青銅であることがわかる。この他に若干のPbを

主成分として含む。さらに、不純物としてSb,Agを含むことがわかる。

以下に、今回分析した試料の蛍光X線スペクトルを示す。

図2にはキセルの吸口の蛍光X線スペクトルを示す。Cu,Pb,Sn,Agのピークが観測されるが、Cuのピークが他の元素のピークに比べて圧倒的に高い。このことからCuに富む材質とみられる。図1の右側の蛍光X線スペクトルを見ると、CuのK α とK β の間に、K β のショウダーとして小さなピークが認められる。これはZnのK α である。したがって、キセル吸口はCuを主要成分とするが、わずかのZn,Pb,Snを含有し、この点で青銅とも黄銅とも云える材質である。このような材質は銅鏡には認められない。

図3にはかんざしの蛍光X線スペクトルを示す。図2と比較すると、Pbが若干多いだけで、きわめて類似したスペクトルと云える。この程度に類似すると、同一素材を使って同一場所で製作した銅製品である可能性をもつと云えよう。

次に、45枚の寛永通宝の蛍光X線スペクトルを示す。

No.1 図4より、Snに富む青銅である。

No.2 図5より、Pb量の多い青銅である。

No.3 図6より、Snに富む青銅である。

No.4 図7より、Cu,Snを主成分とする典型的な古代・中世型青銅である。

No.5 図8より、Snに富む青銅である。

No.6 図9より、Pb量の多い青銅である。

No.7 図10より、No.4と類似する典型的な青銅である。

No.8 図11より、Snに富む青銅である。

No.9, 10 図12より、Snの代わりにSbを含む、Cuリッチのアンチモン青銅である。

No.11 図13より、Snに富む青銅である。

No.12 図14より、Snに富む青銅である。No.1, 3, 5, 8, 11と同質の材質である。

No.13 図15より、Cu,Snを主成分とする典型的な青銅である。Agのピークがわずかに認められる。

No.14 図16より、Snに富む青銅である。

No.15 図17より、Snに富む青銅である。

No.16 図18より、Snに富む青銅である。

No.17 図19より、Snに富む青銅である。

No.18 図20より、Snに富む青銅である。

No.19 図21より、Snに富む青銅である。

No.20 図22より、Cu,Sn,Pbを主成分とする典型的な青銅である。

No.21 図23より、Pb量の多い青銅である。しかし、不純物として、Sbを含有しない。

- No22 図24より、Snに富む青銅である。
- No23 図25より、Snに富む青銅である。
- No24 図26より、Pb量の多い青銅である。珍らしくSbを含む。
- No25 図27より、Cuに富む青銅である。ただし、Sn量は少なく、不純物であるSbと同程度の含有量である。
- No26 図28より、Snに富む青銅である。
- No27 図29より、Cu, Sn, Pbを主成分とする典型的な青銅である。
- No28 図30より、Sn, Pb量の少ない青銅である。
- No29 図31より、Sn, Pb量の少ない青銅である。蛍光X線スペクトルより、No28とNo29の材質は類似している。
- No30 図32より、Sn, Pb量の少ない青銅である。しかし、SbをSnと同程度含有しており、No25と類似した材質である。
- No31 図33より、Sn, Pb量が少なく、SbをSnと同程度含有する。材質はNo25, 30と類似。
- No32 図34より、相当量のPbを含む青銅である。Agのピークが認められる。
- No33 図35より、Cu, Sn, Pbを主成分とする典型的な青銅である。
- No34 図36より、No33と同じ典型的青銅である。
- No35 図37より、Cuに富む青銅である。No28, 29と類似の材質である。
- No36 図38より、Pb量が多く、Snの少ない青銅である。Pbを除けば、No25, 30, 31と類似した材質となる。
- No37 図39より、Cuに富む青銅である。Sbは検出されない。No28, 29, 35と類似した材質である。
- No38 図40より、Snの代わりにSbを多量に含むアンチモン青銅である。No. 9, 10と類似した材質である。
- No39 図41より、Cuに富む、Sn, Pbの少ない青銅である。Sbも含有する。材質からはNo25, 30, 31, 36と同質である。
- No40 図42より、Cu, Sn, Pbを主成分とする典型的青銅である。
- No41 図43より、典型的青銅である。材質はNo 4, 7, 13, 20, 27, 33, 34, 40と類似する。
- No42 図44より、No 4 ~ 40と類似した材質である。
- No43 図45より、No42と類似した青銅である。
- No44 図46より、Cuに富む青銅である。SbをSnと同程度含有する。材質的にはNo25, 30, 31, 36, 39と類似する。
- No45 図47より、Cu, Sn, Pbを主成分とする典型的青銅である。No 4, 7, 13, 20, 27, 33, 34, 40, 41, 42, 43とは材質的には同質である。

以上の結果、Znを含有する近世後期型とも云える寛永通宝は一枚もなかった。ほとんどがCu, Sn, Pbを主成分とする青銅であった。これらのうち、No. 4, 7, 13, 20, 27, 33, 34, 40, 41, 42, 43, 45の12枚はCu, Sn, Pbを主成分とする典型的な古代・中世型の青銅であった。これをI群とする。これに対して、No. 1, 3, 5, 8, 11, 12, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 26（これらをII群とする）の15枚はSnに富んだ青銅であった。I, II群はCu, Sn, Pbを主成分とするものであり、この点では本質的に同質の材質とみられる。また、No. 2, 6, 21, 24, 32の5枚もPb量が多いだけで、I, II群とは本質的には同質の材質であろう。これらを一応、III群としておく。一方、No. 9, 10とNo. 38の2枚は殆んどSnを含有しておらずアンチモン青銅と云えるものであり、他の42枚の寛永通宝とは異質の材質である。しかし、No. 25, 30, 31, 36, 39, 44の6枚も主成分Cuに富み、Pb, Snを少量しか含有しない。しかも、Snと同程度にSbを含有し、アンチモン青銅とも云えるものであった。これら8枚をIV群とする。残るNo. 28, 29, 35, 37の4枚はSn量の少ない青銅であり、この点でIV群の寛永通宝と類似するが、Sbを含有しない点では異なる。これら4枚もV群としておく。

このように、45枚の寛永通宝を5群に分類したが、このうち、I, II, III群は材質的にみてCu, Sn, Pbを主成分としており、本質的には同質の青銅と云える。これに対して、IV, V群はSn量は少なく、主成分とは云えないくらいであり、この点で互いに類似するが、IV群にはSbを含有しているのに対し、V群にはSbは含まれていない点で異質のものと云えよう。

引用文献

- 1) 三辻利一 (1983): 「日本の古錢の成分について」 日本国金属学会会報、第22巻、第12号 P1062~64

表1 試料一覧表

試料番号	遺跡名稱	所在地	出土位置	直径(cm)	特記事項
1	一の谷遺跡群	觀音寺市	S X101	2.48	まずまず良好。
2	"	"	サ38第2層	2.35	少し歪みがある。全体に不明瞭である。
3	"	"	コ39第2層	2.3	少し歪みがある。"宝"の字が不明瞭である。
4	"	"	メ21第3層	2.35	判読困難である。
5	"	"	S T03	2.4	副葬品。
6	"	"	"	2.5	"
7	"	"	"	2.4	"ク"8と癒着している。
8	"	"	"	2.5	"ク"
9	"	"	"	2.35	"ク"10と癒着している。
10	"	"	"	2.28	"ク"
11	柞田八丁遺跡	"	L 3 包含層	2.5	半分に割れている。かろうじて"寛"の字が判読されるのみ。
12	長砂古遺跡	"	I 8 第2・3層	2.45	半分に割れている。いざれの字とともに判読困難である。
13	"	"	I 9 第2・3層	2.45	少し歪みがある。左半分の文字が判読困難である。
14	延命遺跡	豊中町	包含層	2.3	全体に不明瞭である。
15	利生寺遺跡	高瀬町	G 6 包含層	2.45	良好。
16	"	"	"	2.48	非常に良好。
17	中村遺跡	普通寺市	S D-1, S D-14	2.55	裏面に"文"の字が入る。ひび割れが少し入る。まずまず良好。
18	高松城	高松市	市道部(櫻乱)	2.5	"寛"、"宝"の2字が不明瞭である。
19	"	"	木隨中	2.5	裏面に"文"の字が入る。半分が欠損。全体に不明瞭である。明治。
20	"	"	C 8 第5層	2.55	裏面に"文"の字が入る。全体に不明瞭である。17世紀。
21	"	"	日附し解磯石直下	2.45	全体に判読困難である。17世紀後半。
22	"	"	I 16 第5層	2.5	"永"の字以外は不明瞭。17世紀。
23	"	"	C 16 第4層	2.4	全体に不明瞭である。19世紀後半。
24	"	"	C 12 第3層	2.3	全体に判読困難である。明治。
25	"	"	A 12 第3層	2.45	全体に不明瞭である。明治。
26	"	"	O 12 第3層	2.45	全体に不明瞭である。明治。
27	"	"	K 18 第3層	2.38	"寛"、"宝"の2字が判読困難である。明治。
28	"	"	B 8 第3層	2.55	全体に判読困難である。明治。
29	"	"	A 16 第3層	2.45	半分が欠損。かろうじて"永"の字が確認される。明治。
30	"	"	C 16 第3層	2.38	"寛"、"永"の2字が不明瞭である。明治。
31	"	"	C 16 第3層	2.25	全体に判読困難である。明治。
32	"	"	F 16 第3層	2.35	"寛"の字が不明瞭である。明治。
33	"	"	K 16 第3層	2.48	全体に不明瞭である。明治。
34	"	"	O 12 第3層	2.6	全体に不明瞭である。明治。
35	"	"	O 12 第3層	2.51	全体に不明瞭である。明治。
36	"	"	I 8 第3層	2.41	いざれの字とともに部分的に判読不可能である。明治。
37	"	"	I 8 第3層	2.47	判読困難である。明治。
38	"	"	C 12 第3層	2.38	全体に不明瞭である。明治。
39	"	"	K 8・S B 03第3層	2.28	判読困難である。明治。
40	"	"	O 12 第3層	2.55	裏面に"文"の字が入る。まずまず良好。明治。
41	"	"	O 16 第3層	2.49	"寛"の字が不明瞭である。明治。
42	"	"	A 12 第2層	2.35	判読困難である。明治。
43	"	"	C 12 第2層	2.4	"寛"、"宝"の2字が不明瞭である。明治。
44	"	"	A 8 第3層	2.25	全体に判読困難である。明治。
45	"	"	B 8 第2層	2.48	"寛"の字が不明瞭である。明治。

図1 標準古代青銅錢, 五銖錢の蛍光X線スペクトル

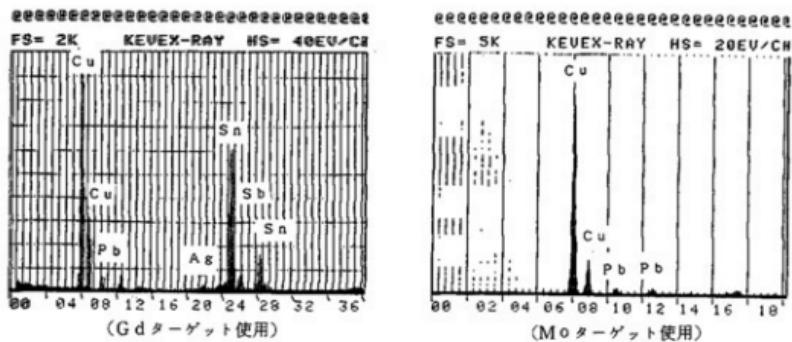


図2 キセル吸口の蛍光X線スペクトル

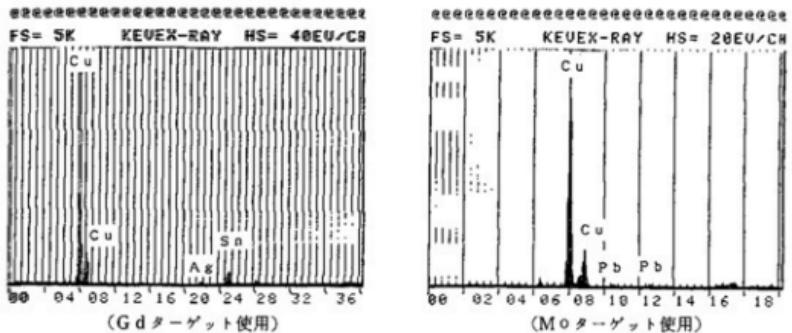


図3 かんざしの蛍光X線スペクトル

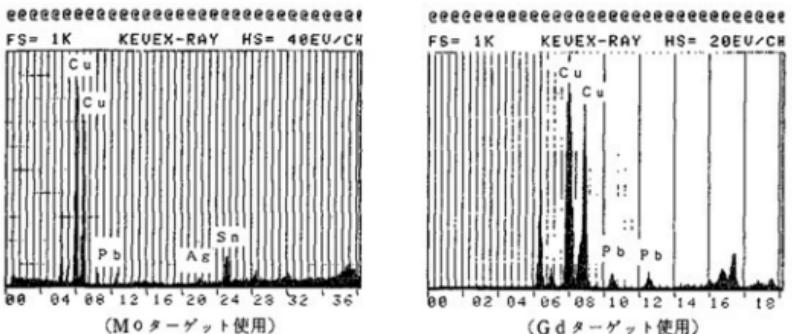


図4 寛永通宝(No.1)の蛍光X線スペクトル

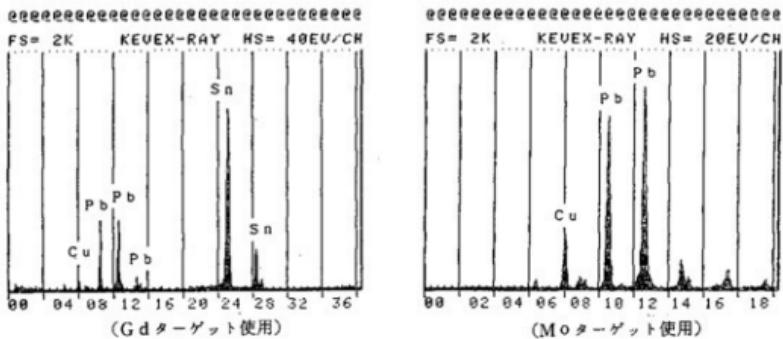


図5 寛永通宝(No.2)の蛍光X線スペクトル

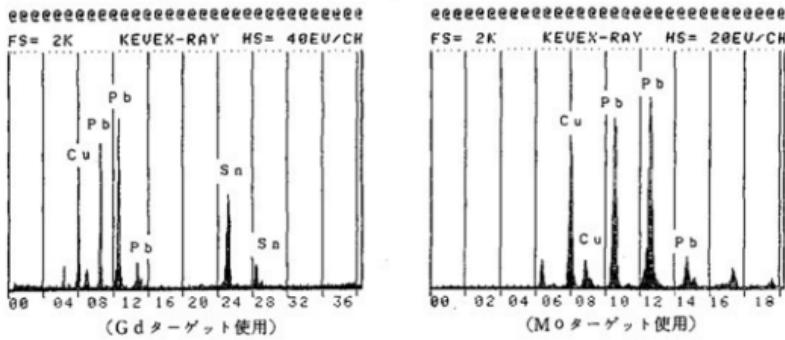


図6 寛永通宝(No.3)の蛍光X線スペクトル

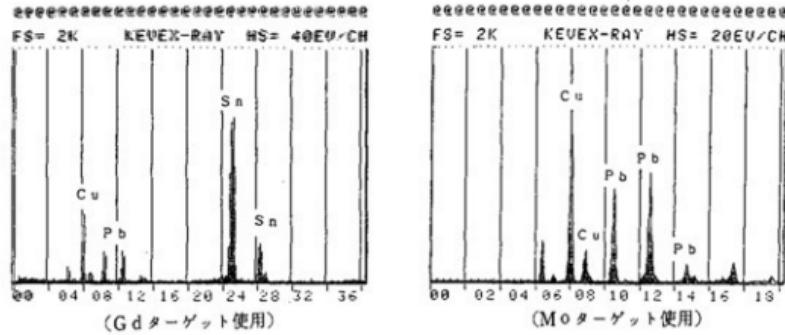


図7 寛永通宝(No.4)の蛍光X線スペクトル

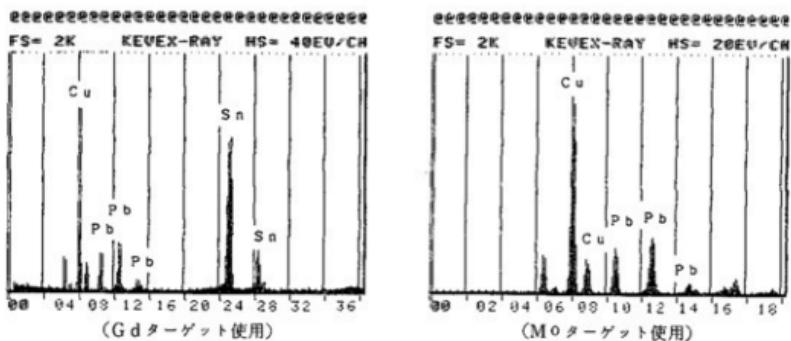


図8 寛永通宝(No.5)の蛍光X線スペクトル

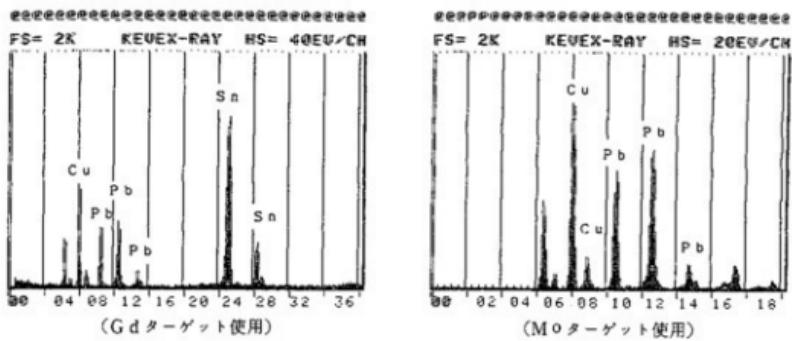


図9 寛永通宝(No.6)の蛍光X線スペクトル

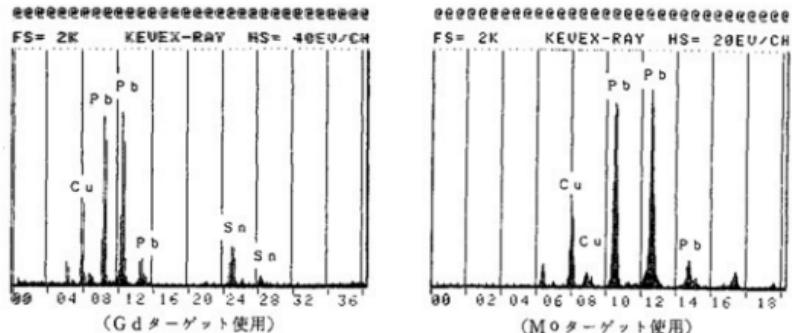


図10 寛永通宝(No.7)の蛍光X線スペクトル

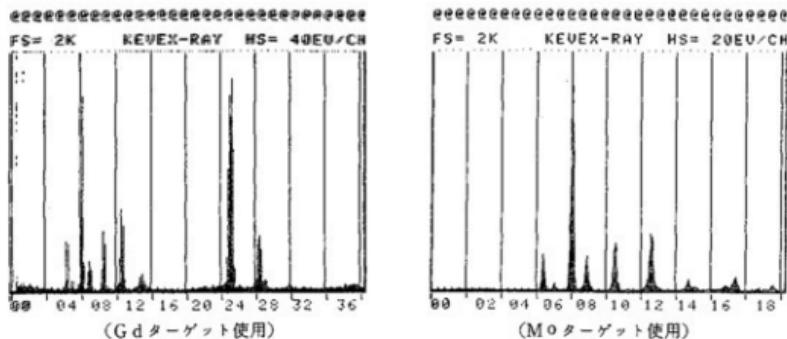


図11 寛永通宝(No.8)の蛍光X線スペクトル

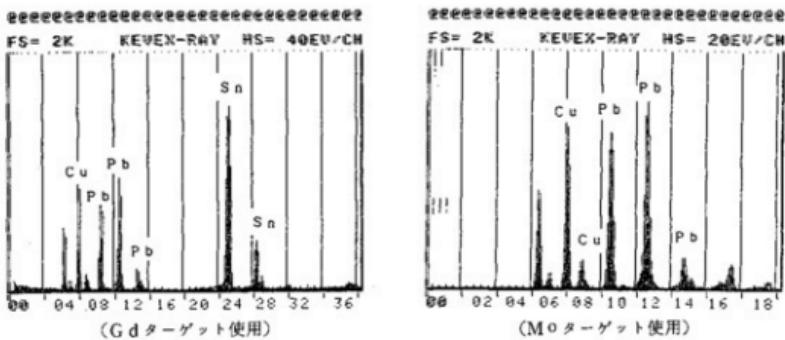


図12 寛永通宝(No.9, 10)の蛍光X線スペクトル

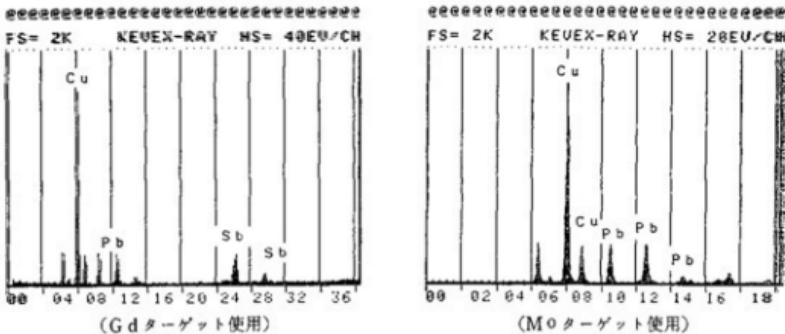


図13 寛永通宝（Na11）の蛍光X線スペクトル

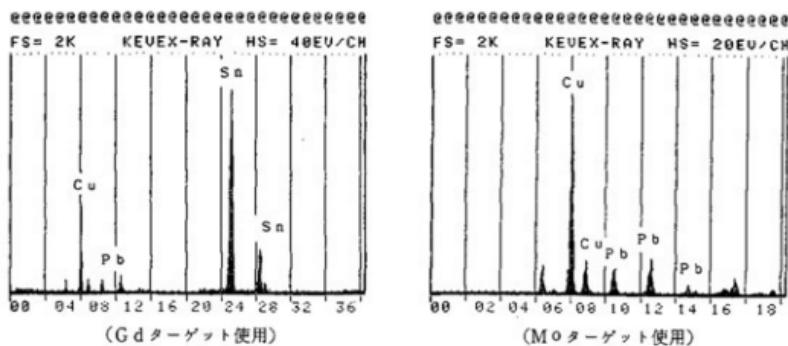


図14 寛永通宝（Na12）の蛍光X線スペクトル

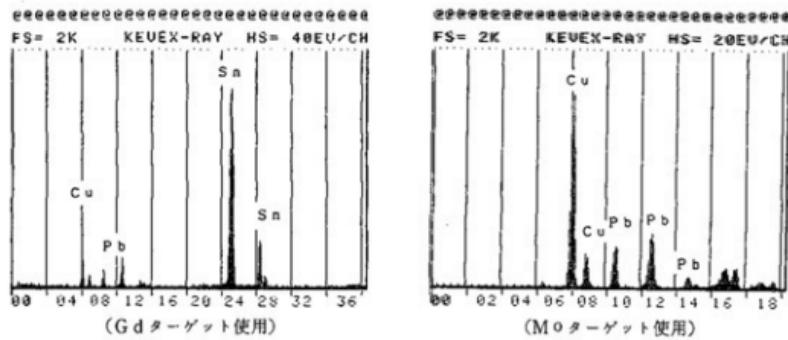


図15 寛永通宝（Na13）の蛍光X線スペクトル

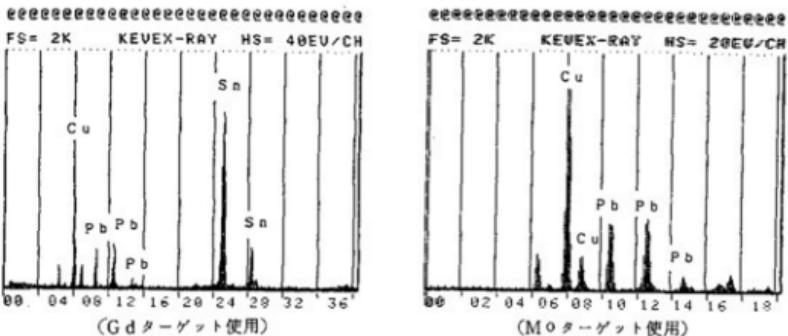


図16 寛永通宝（Na14）の蛍光X線スペクトル

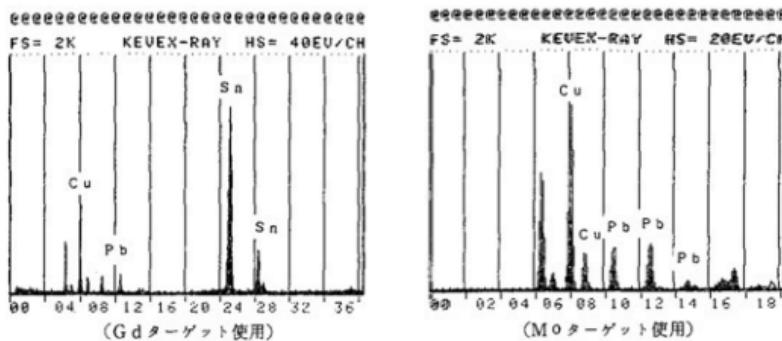


図17 寛永通宝（Na15）の蛍光X線スペクトル

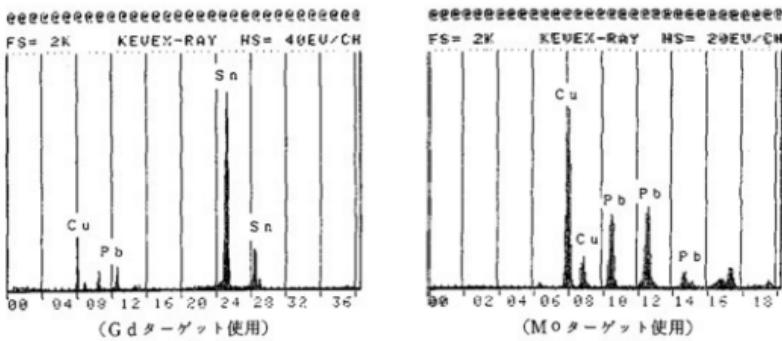


図18 寛永通宝（Na16）の蛍光X線スペクトル

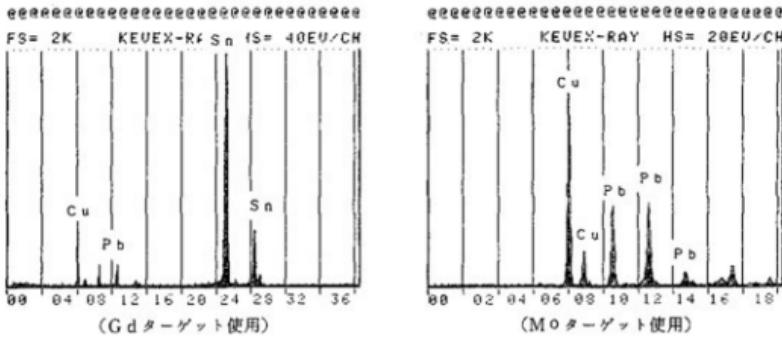


図19 寛永通宝（Na17）の蛍光X線スペクトル

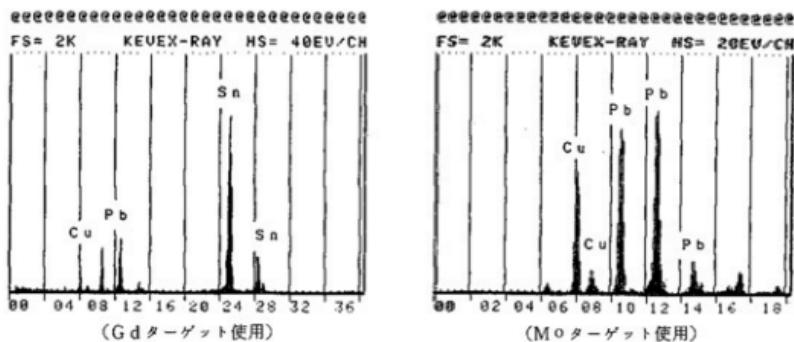


図20 寛永通宝（Na18）の蛍光X線スペクトル

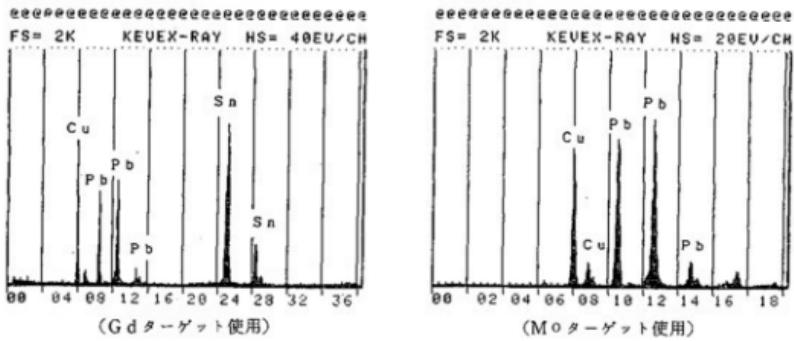


図21 寛永通宝（Na19）の蛍光X線スペクトル

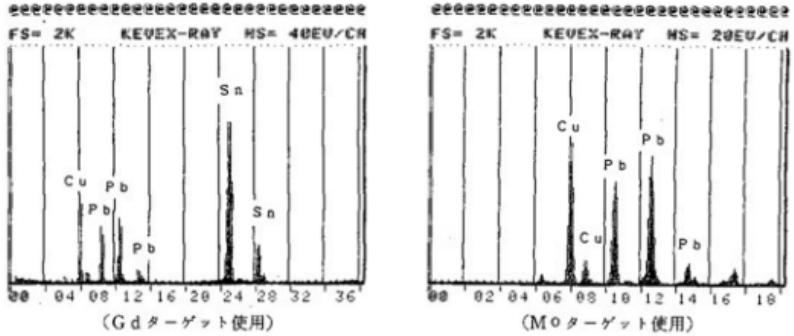


図22 寛永通宝(No20)の蛍光X線スペクトル

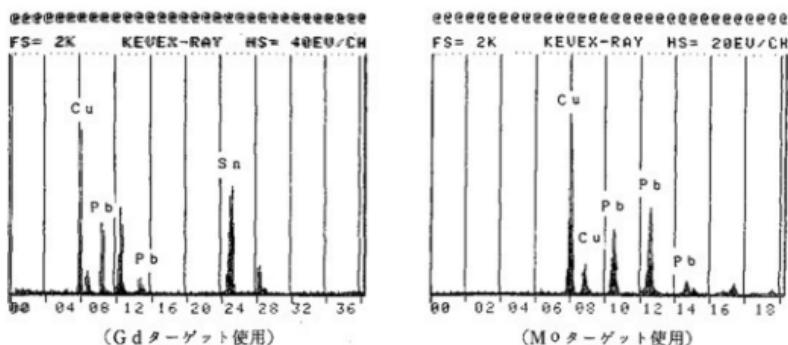


図23 寛永通宝(No21)の蛍光X線スペクトル

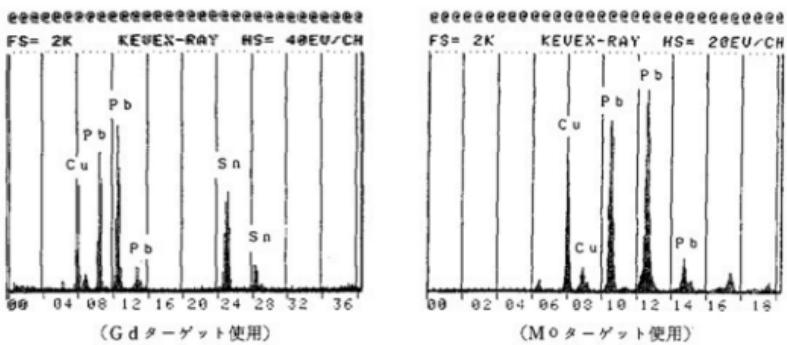


図24 寛永通宝(No22)の蛍光X線スペクトル

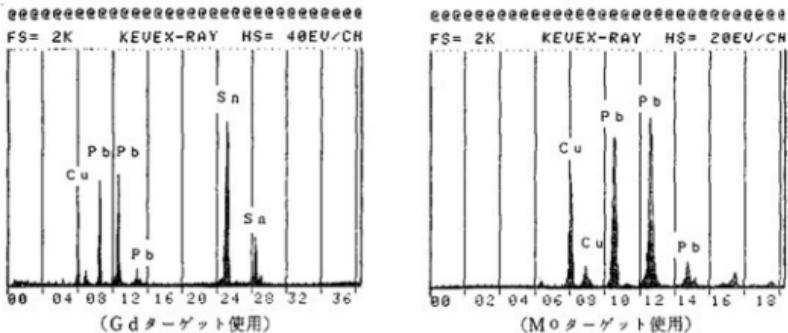


図25 寛永通宝（No23）の蛍光X線スペクトル

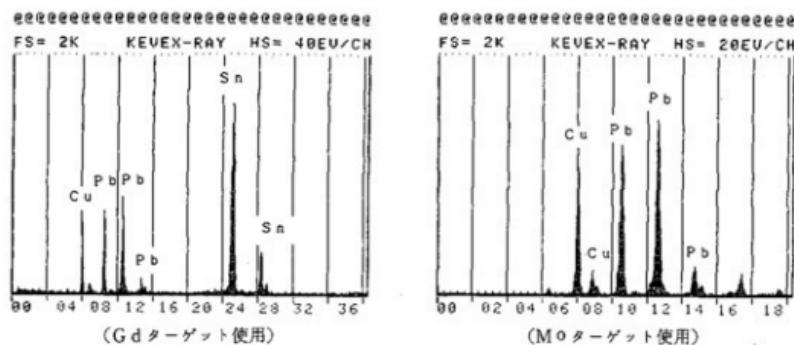


図26 寛永通宝（No24）の蛍光X線スペクトル

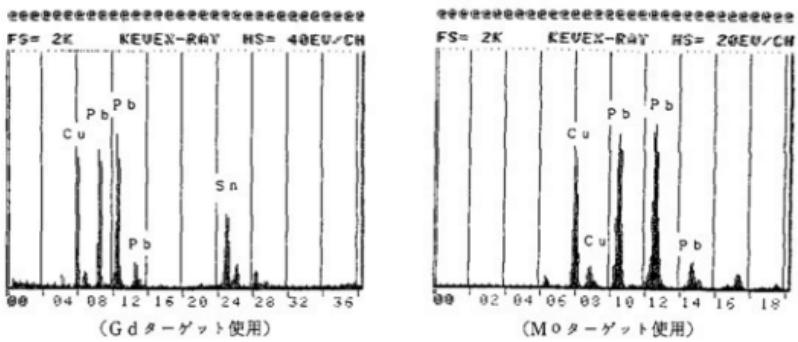


図27 寛永通宝（No. 25）の蛍光X線スペクトル

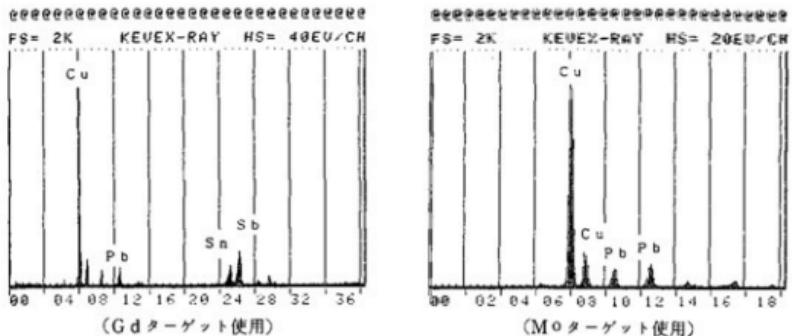


図28 寛永通宝(No26)の蛍光X線スペクトル

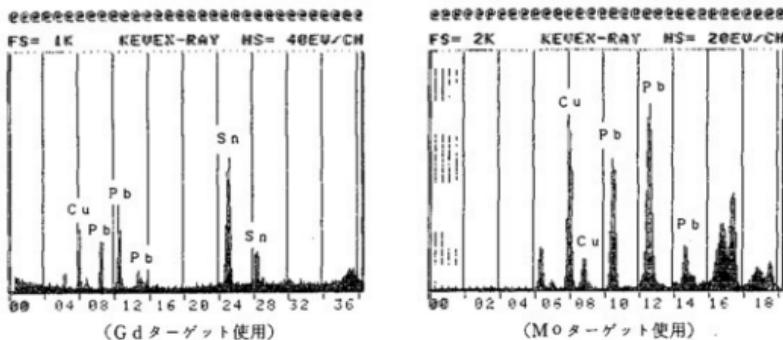


図29 寛永通宝(No27)の蛍光X線スペクトル

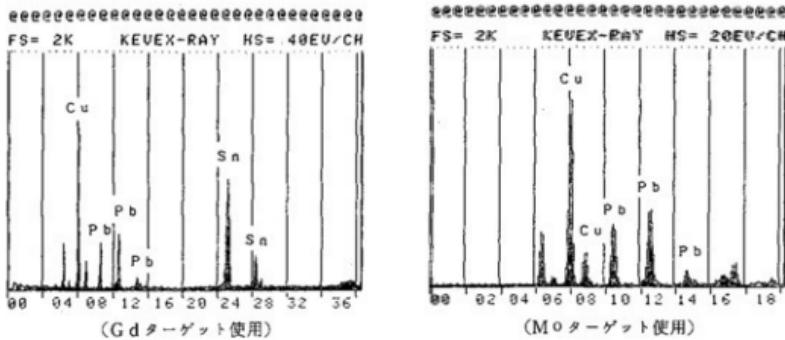


図30 寛永通宝(No28)の蛍光X線スペクトル

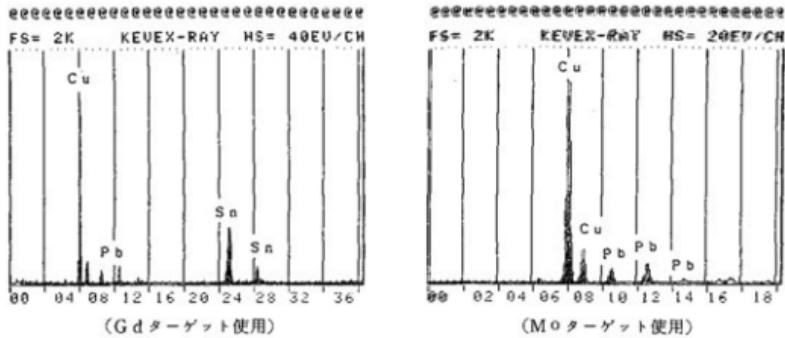


図31 寛永通宝（No29）の蛍光X線スペクトル

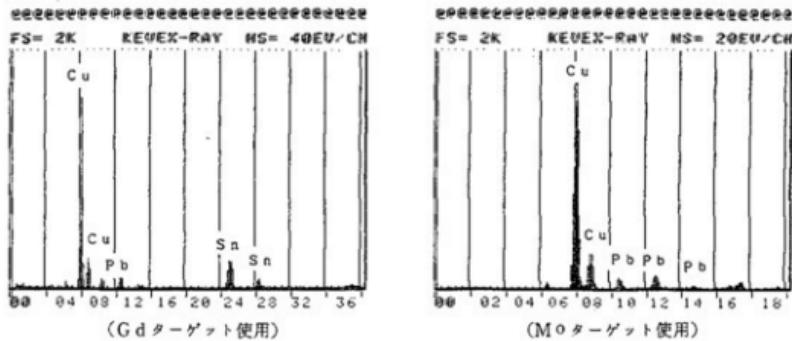


図32 寛永通宝（No30）の蛍光X線スペクトル

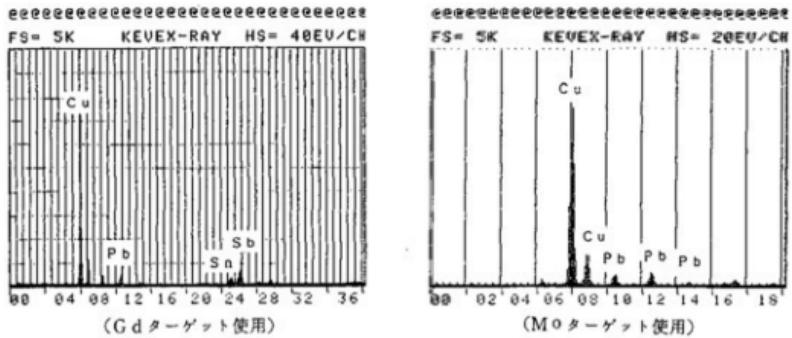


図33 寛永通宝（No31）の蛍光X線スペクトル

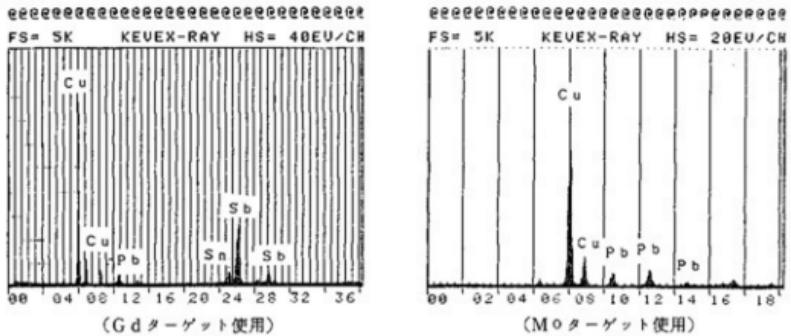


図34 寛永通宝（No.32）の蛍光X線スペクトル

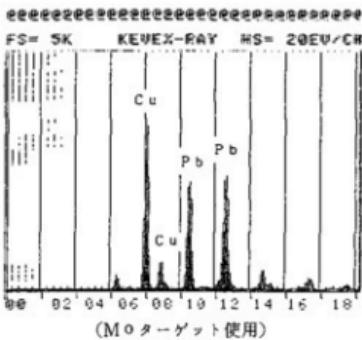
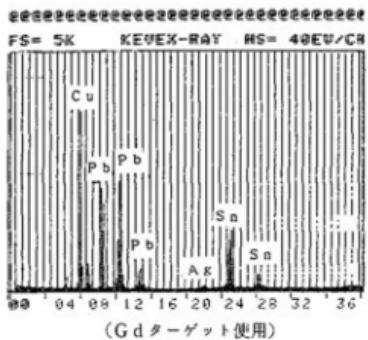


図35 寛永通宝（No.33）の蛍光X線スペクトル

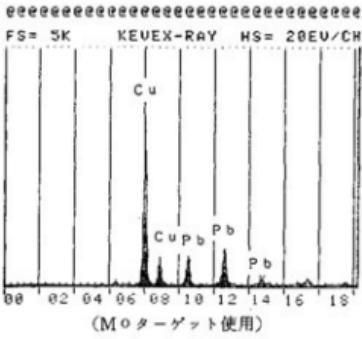
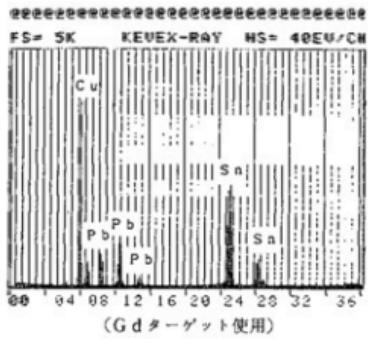


図36 寛永通宝（No.34）の蛍光X線スペクトル

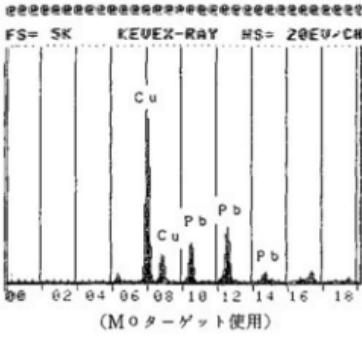
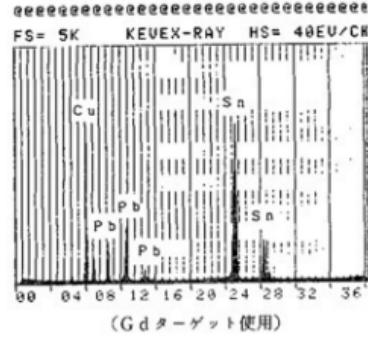


図37 寛永通宝（No.35）の蛍光X線スペクトル

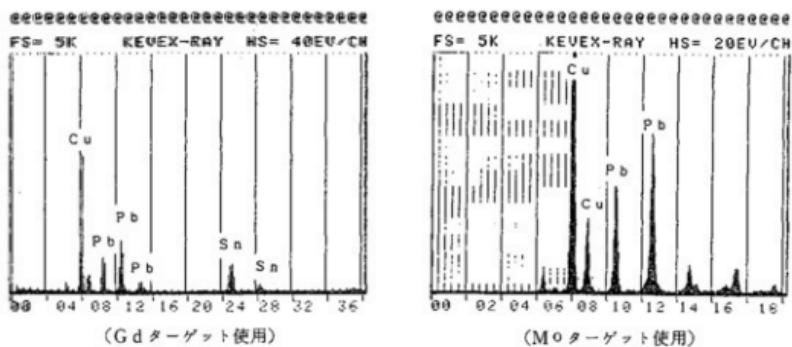


図38 寛永通宝（No.36）の蛍光X線スペクトル

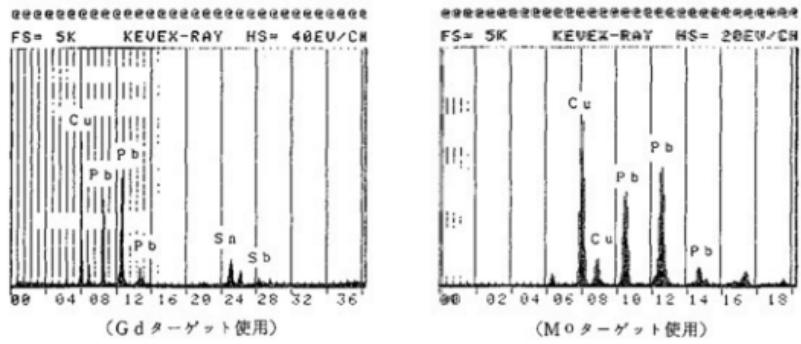


図39 寛永通宝（No.37）の蛍光X線スペクトル

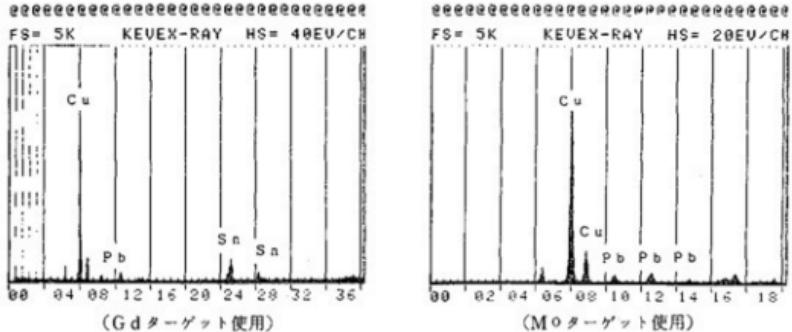


図40 寛永通宝（Na38）の蛍光X線スペクトル

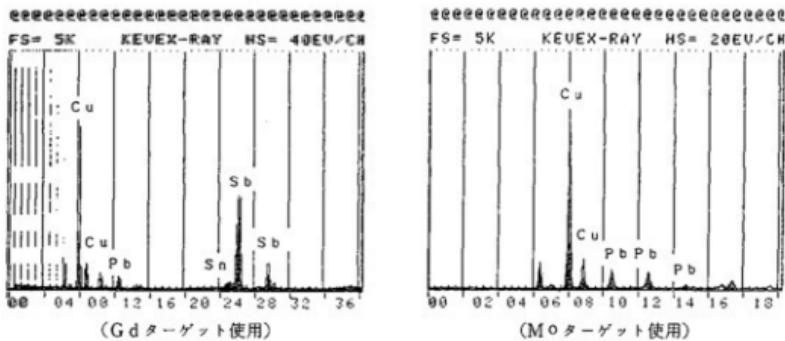


図41 寛永通宝（Na39）の蛍光X線スペクトル

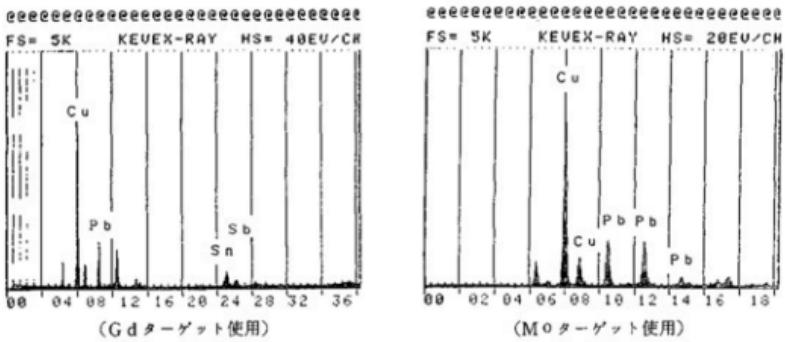


図42 寛永通宝（Na40）の蛍光X線スペクトル

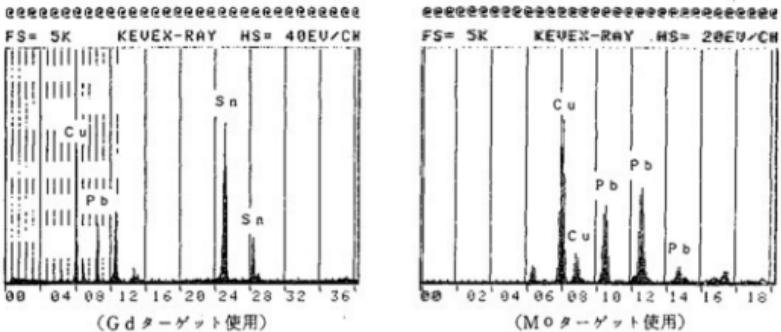


図43 寛永通宝（No41）の蛍光X線スペクトル

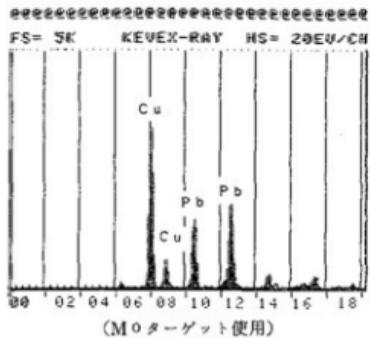
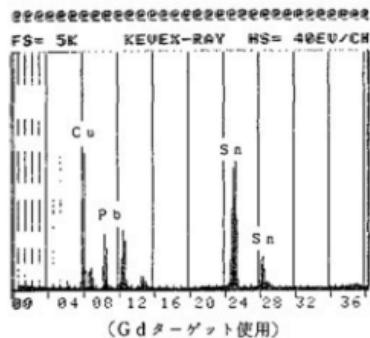


図44 寛永通宝（No42）の蛍光X線スペクトル

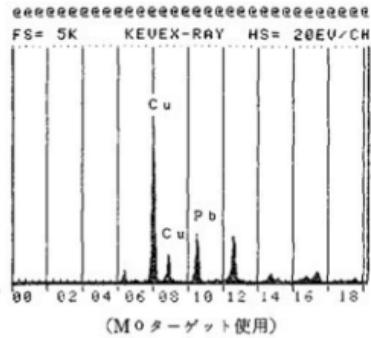
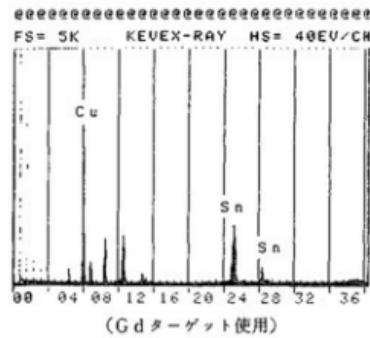


図45 寛永通宝（No43）の蛍光X線スペクトル

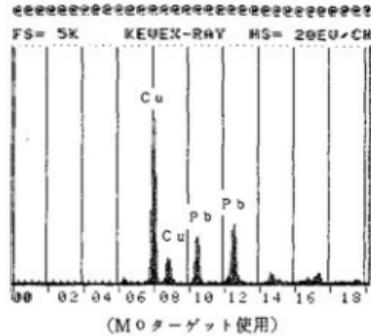
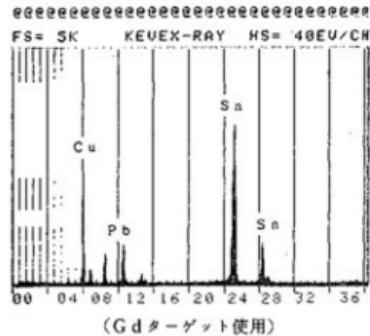


図46 寛永通宝(No44)の蛍光X線スペクトル

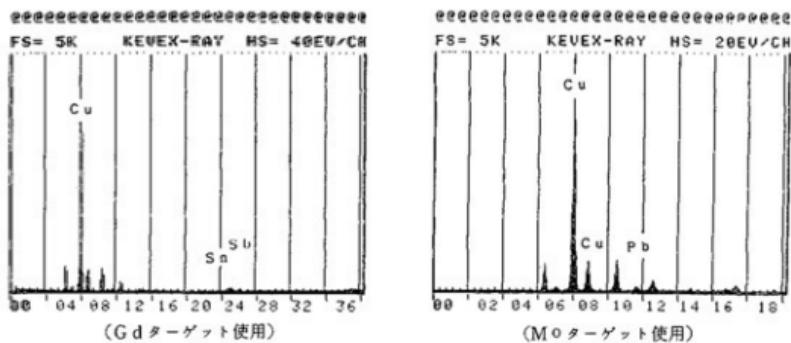
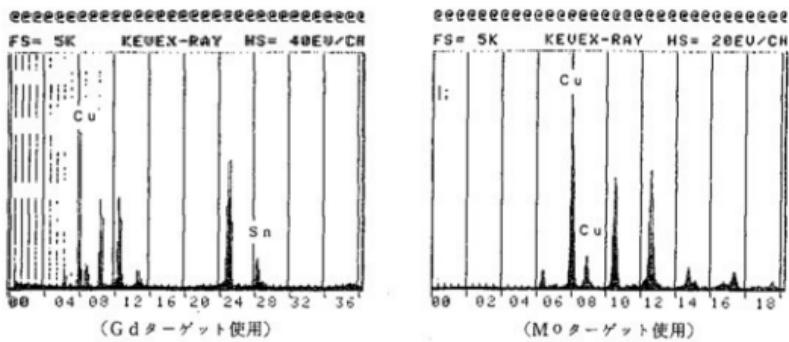


図47 寛永通宝(No45)の蛍光X線スペクトル



第3章 竹道北地区の調査

第1節 調査の経過と概要

一の谷遺跡群の発掘調査が横断道の工事工程との調整のために、工事用道路の仮設あるいは付替に翻弄されたことと工事用道路部分およびカルバートボックス部分について散発的な先行調査を要求されたことについては再三にわたり述べてきた。

こうした工事工程を優先する調査工程において、本調査区に限り調査員の意図した当初の計画通りに遂行することができたと考えている。調査期間は1985年9月27日～1986年1月31日である。

当該地区は予備調査時に既に現存する方画地割の方向性に平行または直交する溝状遺構の一部が検出できたことから本調査においても条里遺構の検出が期待された。

事実、上記の方向性を有する溝状遺構数条が検出できたが、とりわけ注目されたのが9棟の掘立柱建物跡（SB08～15）である。しかもSB10～12・14は形態と規模に差異が存在するものの現存する方画地割と同一の方向性が見出せた。

また遺構が密集して検出された地区が黄褐色粘質土を基盤とするのに対して、南・北端部に至っては上記の土壤が深く傾斜した後に消滅し、厚い土砂の堆積を確認した。特にノ・ハ19区の下位において弥生時代前期の河道跡を検出している。

第2節 弥生時代前期の遺構と遺物

河道跡 (S X 20)

①遺構について

ノ19区東壁面に平行して北流した後に、ハ19区中央部において直角に屈曲して西流する河道跡である。遺構の規模は総延長2200cm、最大幅544cm、最深部124cmを測り、形態は右岸が緩い傾斜面を呈している。埋土中には弥生土器、土製紡錘車、自然木が包蔵されていたが、とりわけ屈曲部の河底部の調査時に多くの遺物を採取することができた。

なお本遺構の形成要因としては、微高地西部の埋積谷が埋没過程において流路化したことが考えられる。

②伴出遺物について

1. 土器 (第449、450図9~21、451図)

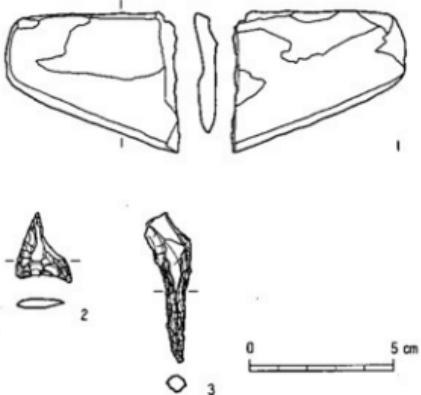
壺形土器

1はラッパ状に開口する長い口縁部を有する器形であり、内面に突帯が貼付される。口縁部の2個の穿孔については蓋形の資料を固定するために用いられたと考えられよう。2~7は口縁部が短い形態であるが、2は口縁部内面に突帯を貼付することにより注口を造出している。また3の胴部は焼成後に入為的に穿孔されていることから実用性を抹消する意図によることが推測できる。

壺形土器

8、9は大型の器形であり、胴部最大径が口径を凌ぐ。口縁部はわずかに外湾する形態である。10、11の口縁部の造作は8、9に共通するが、口径が胴部最大径を凌駕する器形である。12は上端部を平面化することにより逆L字形の口縁部を造出する。13の口縁部は内湾する形態であり、上胴部に把手状の突起を造り付ける。

ところで第451図1~4は本遺構において一括出土した資料であるが、1、2が10、11に酷似した器形である。



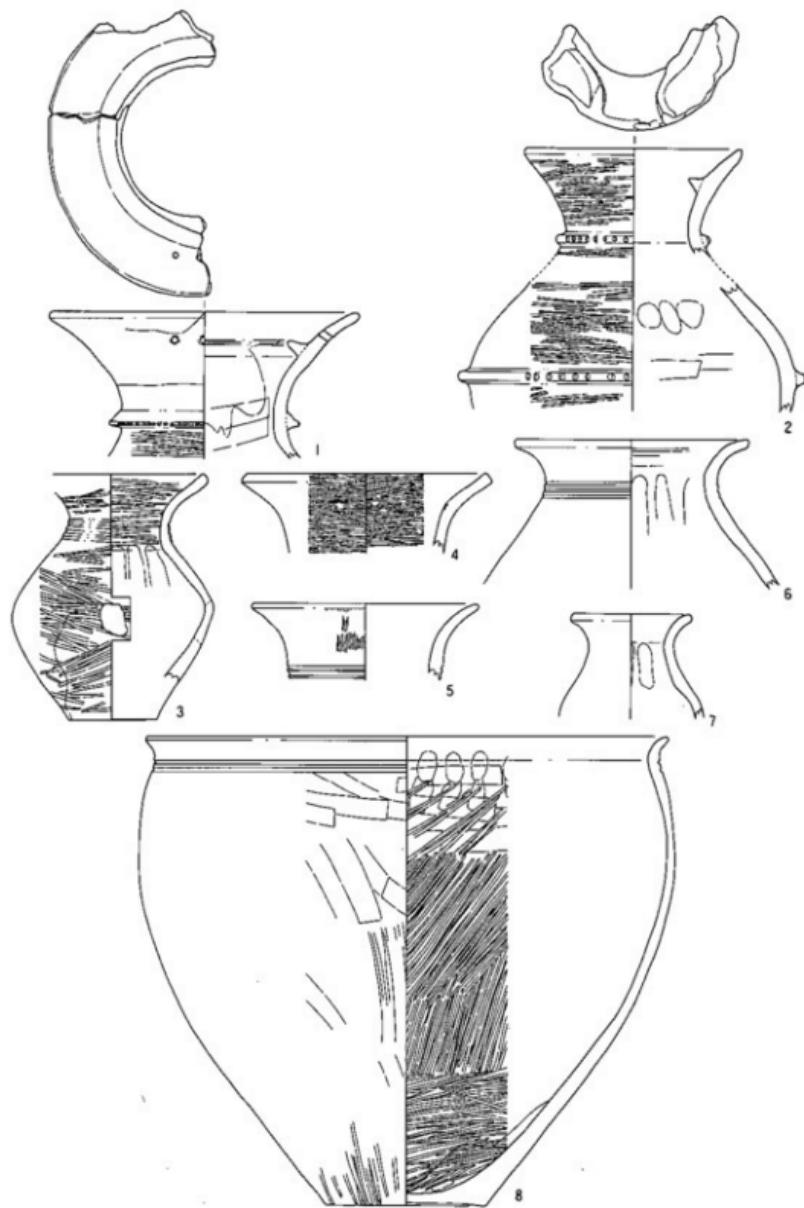
第448図 河道跡(S X 20)伴出石器実測図

鉢形土器

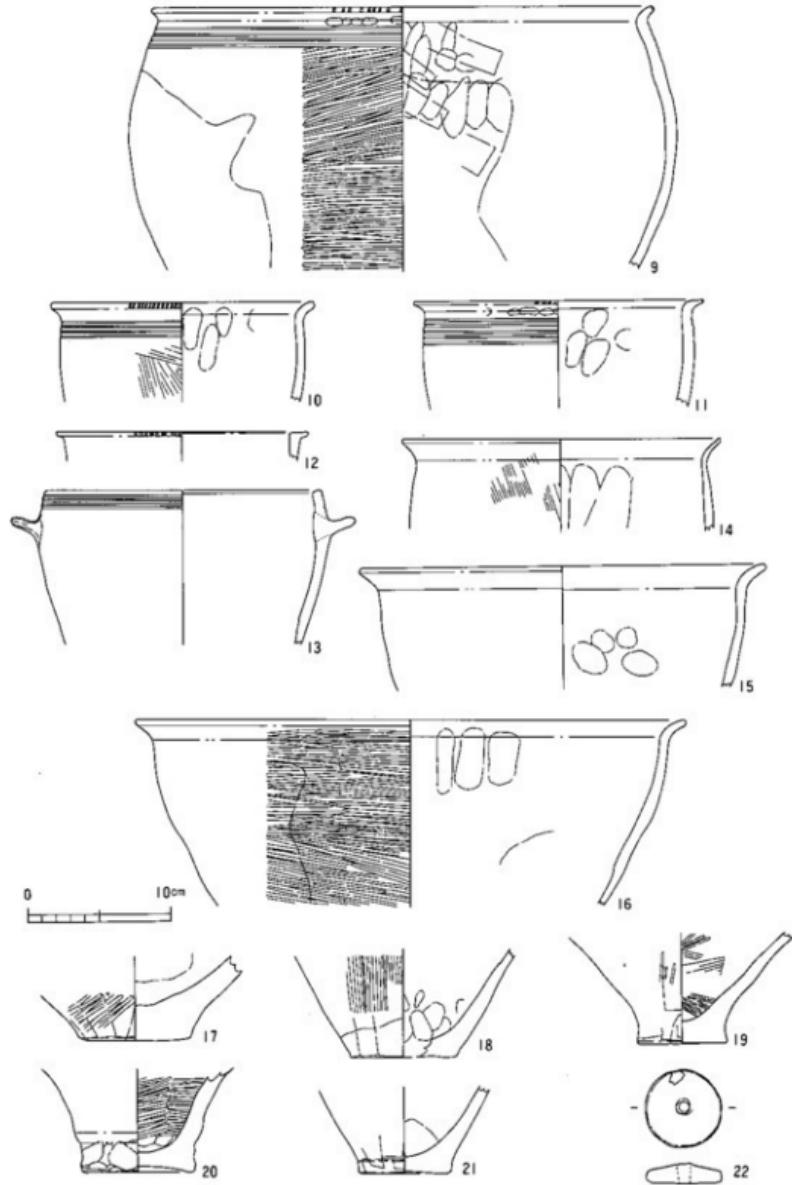
15・16の口縁部は外湾する形態である。

2. 土製品 (第450図22)

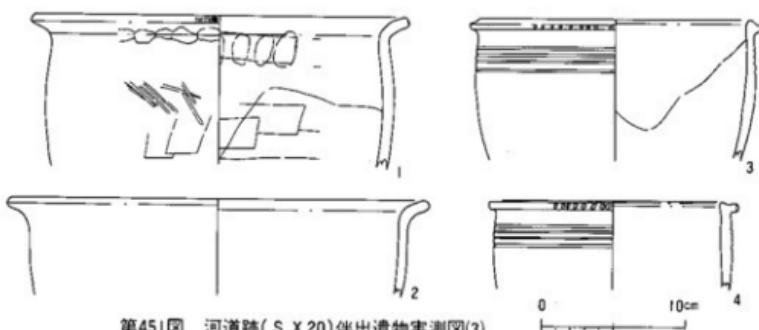
紡錘車が1点出土している。表面は中心部から外方向へ傾斜する形態であり、裏面は平坦に成



第449図 河道跡(S X 20)伴出遺物実測図(I)



第450図 河道跡(S X 20)伴出遺物実測図(2)



第451図 河道跡(S X 20)伴出遺物実測図(3)

形されている。直径5.3cm、最大厚1.4cm、重さ40.5gである。

3. 石器 (第448図)

1は磨製石庖丁である。背部は直線的な形態であり、刃部は外湾して逆三角形を呈する。

石鎚（2）は無茎凹基式の資料である。

3の石錐は長い先端部を有する。

第9表 竹道北地区掘立柱建物跡一覧表

造構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第8号掘立柱建物跡	SB08	ネ・ノ20	2間	3間	352	670	N-59°30' -W	第452図
第9号掘立柱建物跡	SB09	ネ20	2間	2間	316	340	N-60°30' -E	第453図
第10号掘立柱建物跡	SB10	ネ20	1間	4間	443	886	N-61°30' -W	第455図
第11号掘立柱建物跡	SB11	メ20	1間	2間	187	463	N-59°30' -W	第454図
第12号掘立柱建物跡	SB12	メ20	2間	3間	458	730	N-27°30' -E	第456図
第13号掘立柱建物跡	SB13	メ21	2間	3間	495	670	N-36' -E	第457図
第14号掘立柱建物跡	SB14	メ21	2間	4間	477	790	N-27°30' -E	第458図
第15号掘立柱建物跡	SB15	ネ・ノ20	2間	2間	257	293	N-28°30' -E	第459図

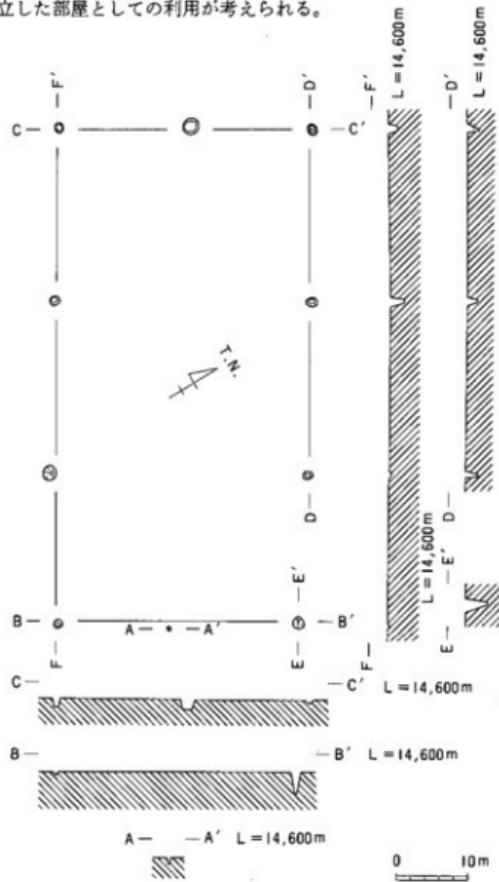
規模：単位cm

第3節 その他の遺構と遺物

1 挖立柱建物跡

(1) 第8号掘立柱建物跡 (S B08) (第452図)

ネ・ノ20区において、SD44の埋没後にその上位に構築されている。梁間2間(352cm)、桁行3間(670cm)の規模である。西壁面から桁行1間幅の空間については庇状の施設あるいは間仕切り壁面を有する独立した部屋としての利用が考えられる。



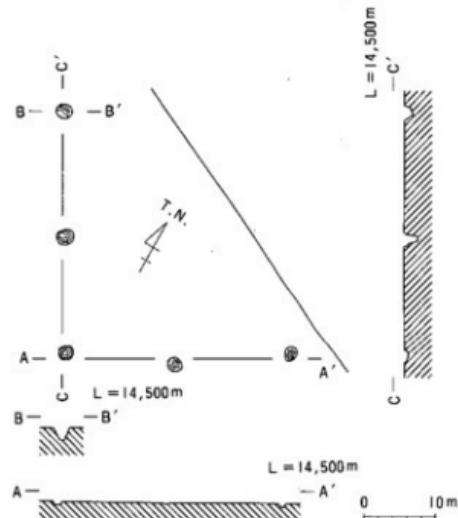
第452図 第8号掘立柱建物跡実測図

(2) 第9号掘立柱建物跡 (S B09) (第453図)

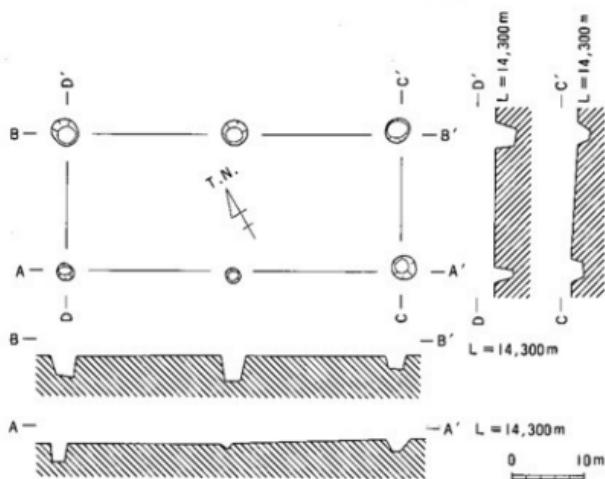
ネ20区のS B08の北西方3mに位置する。北・東壁面が現用水路下に埋没しているために原形

は不明であるが、梁間2間(316cm)、桁行2間(340cm)の方形気味の平面形態を有していると考えられる。

なお北西隅部の柱穴を除く他の柱穴内部には柱痕が遺されていることから、柱材としては直径7~17cmの丸材が用いられていたことが判る。



第453図 第9号掘立柱建物跡実測図



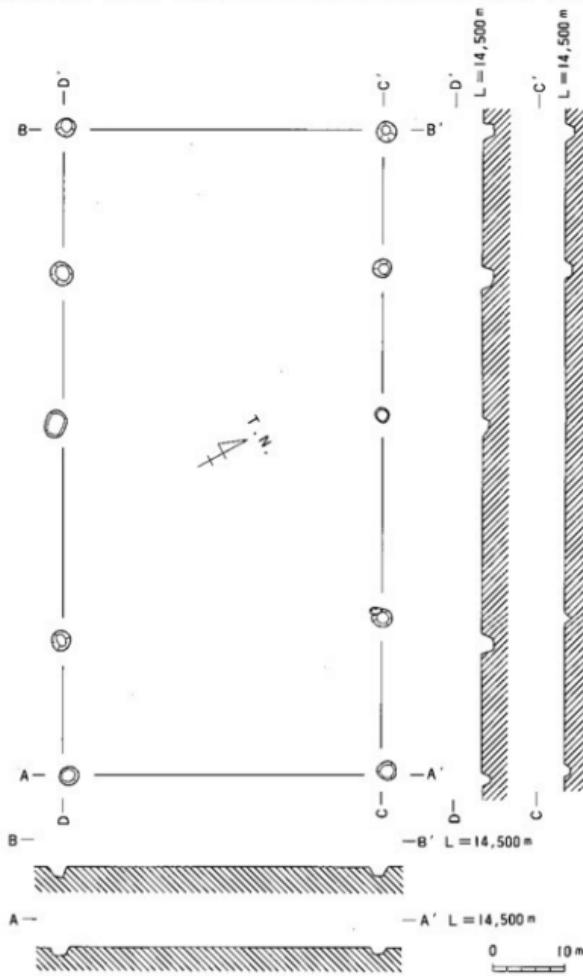
第454図 第11号掘立柱建物跡実測図

(3) 第10号掘立柱建物跡 (S B 10) (第455図)

ネ20区北半部において検出した。S B09との直線距離は4.4mを測る。

構造は梁間1間(443cm), 枠行4間(886cm)であるが、特に東・西壁面幅が北・南壁面における2間幅に相当する規模である点が特徴的である。

また、遺存していた柱痕の測定により、柱材の規模が直径9.5~21cmであったことが推測できる。なお本遺構の柱穴がS D40・45の上位を穿って設けられていることから、構築時期の先後関係



第455図 第10号掘立柱建物跡実測図

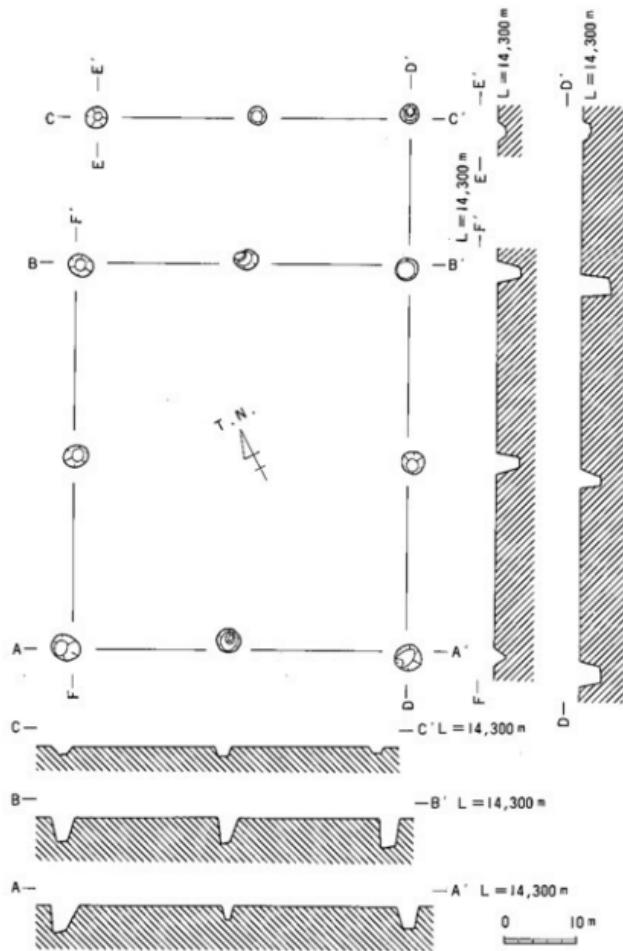
は明白である。

(4) 第11号掘立柱建物跡 (S B11) (第454図)

×20区南端中央部に所在しており、梁間1間(187cm)、桁行2間(463cm)の構造を有する。床面積が最大8.7m²と小規模である点から居住遺構の性格を与えることは難しいであろう。

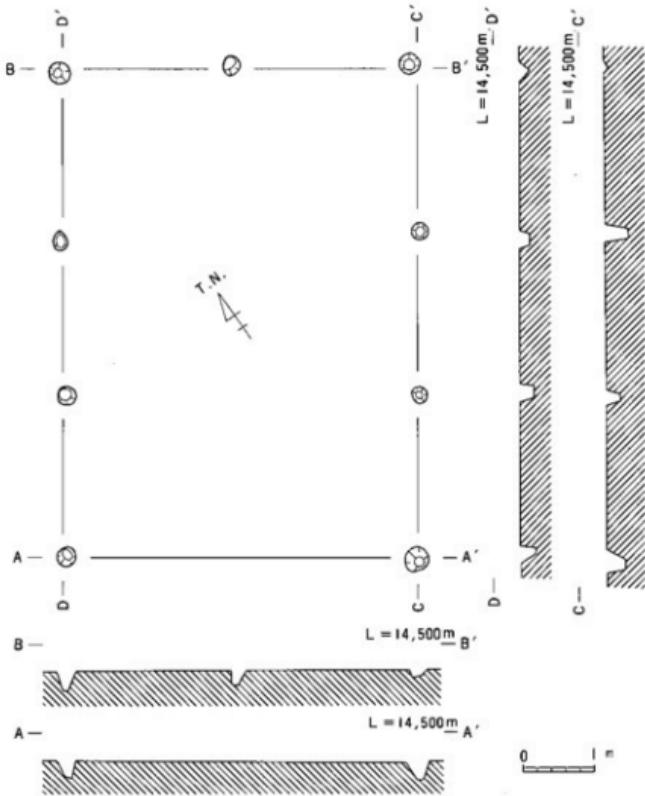
(5) 第12号掘立柱建物跡 (S B12) (第456図)

×20区においてS B11の北東方2.6mの位置に所在する。梁間2間(458cm)、桁行3間(730cm)



第456図 第12号掘立柱建物跡実測図

の構造を有しており、北壁面から桁行1間幅の位置に間仕切りの壁面が設けられていたことが考えられる。したがって北壁面沿の空間は庇状の施設あるいは独立した部屋として用いられたものであろう。



第457図 第13号掘立柱建物跡実測図

(6) 第13号掘立柱建物跡 (S B 13) (第457図)

メ21区西半部において検出した。梁間2間(495cm)、桁行3間(670cm)の構造を有する遺構である。

(7) 第14号掘立柱建物跡 (S B 14) (第458図)

①遺構について

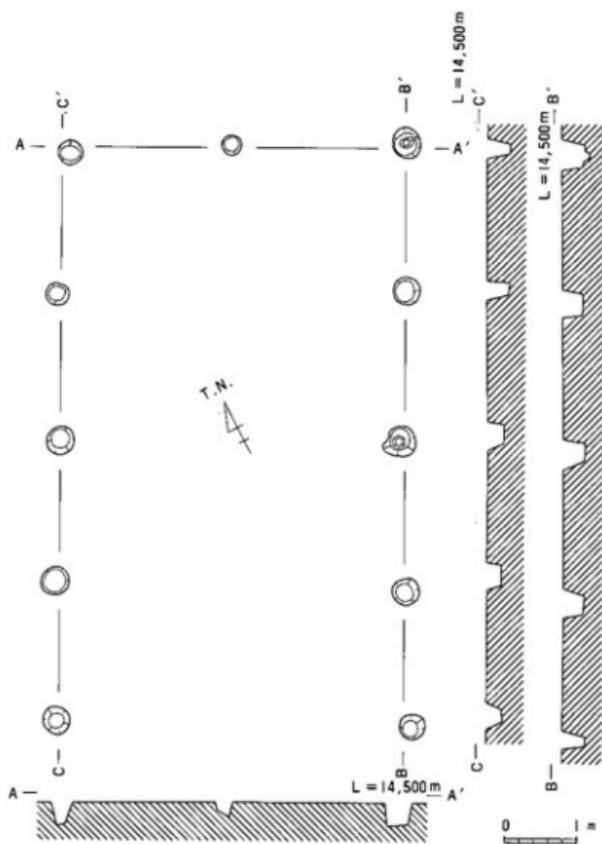
メ21区南半部に所在しており、遺存する構造と規模は梁間2間(477cm)、桁行4間(790cm)である。ただし北壁面幅が2間構造であるのに対して、南壁面は中央部に柱を有しない1間構造で

ある点から、本遺構が南方へ拡大することも十分考えられるであろう。

(8) 第15号掘立柱建物跡 (S B 15) (第459図)

ネ・ノ20区において S D38・39が埋没した後、その上位に構築されている。構造は梁間2間(257cm), 构行2間(293cm)である。北壁面中央部の柱穴の埋土に柱痕を確認しているが、これによると柱材は直径14cm程度の規模の丸材であったことが推測できる。

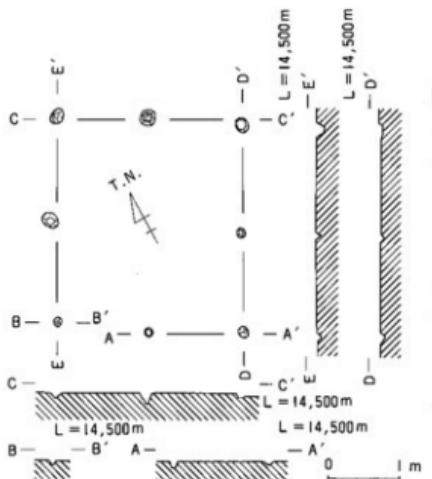
ところで本遺構の東壁面と S B 08の西壁面はほぼ同一ライン上に設けられていることから規格的に構築されたことが考えられよう。しかも両者が至近距離(1m)にある点は、本遺構が S B 08の付属的な性格を有することを示唆している。



第458図 第14号掘立柱建物跡実測図

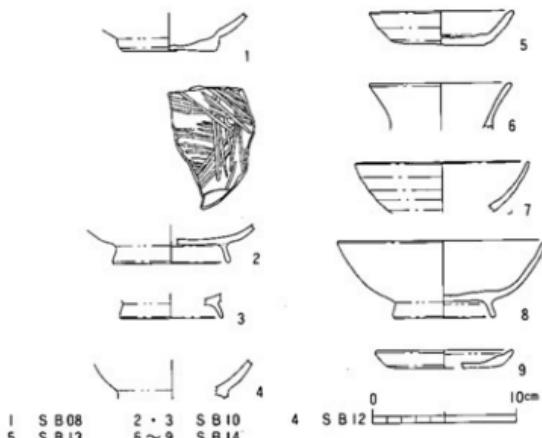
(9) 堀立柱建物跡伴出遺物について（第460図）

本項において報告する資料は総て各掘立柱建物跡の柱穴の埋土中より出土したものである。したがって遺構の廃絶時期を示唆する遺物が主体であることが考えられる。



第459図 第15号堀立柱建物跡実測図

6の器形については判然とするに至らなかった。7, 8は土師器の椀形の器形である。とりわけ8の遺存状態が良好であり、直線的に開脚する高台部と外反気味に開口する口縁部が特徴である。9は容量が極めて小さい皿形の資料である。



第460図 竹道北地区堀立柱建物跡伴出遺物実測図

1は円盤状の粘土塊を底部に貼付することにより、高台部が造出されている。また底部内面に強いナデ調整を施すことにより、底部の壁面を薄く仕上げる。黒色に発色した資料である。

2, 3は黒色土器の高台部分であるが、2が直線的に開脚するのに対して、3はやや内湾気味に開脚する形態である。なお前者の内面には暗文を観察することができる。

4については遺存する部位が少ないために原形を復元することが難しいが、深い器形が想定できる。

5はいわゆる小皿と呼称される遺物に相当する。

6の器形については判然とするに至らなかった。7, 8は土師器の椀形の器形である。とりわけ8の遺存状態が良好であり、直線的に開脚する高台部と外反気味に開口する口縁部が特徴である。

2 土坑

(1) 第253号土坑 (SK55)

①遺構について

ノ20区西端部において検出した最大径56cm、深さ4cmを計る不整円形の平面形態を呈する遺構である。

②伴出遺物について (第461図1, 2)

これらはいわゆる小皿の資料である。両者ともに口縁端部がやや肥厚する形態である。

(2) 第254号土坑 (SK56)

①遺構について

ノ20区の中央部から南寄りの位置において検出した。SK55との直線距離は8mである。不定形な平面形態を呈しており、長径168cm、短径108cm、深さ6.1cmの規模を有している。

②伴出遺物について (第461図3)

椀形の器形の高台部分である。

3 溝状遺構

掘立柱建物跡による集落の東、西、南縁辺部に平行する位置において、居住遺構に付設することが考えられる溝状遺構を10条 (SD34, 35, 50, 51, 53~57, 61) 検出した。これらの遺構については、方向性が居住遺構のそれに完全に合致する特徴を有している。

ところで集落の北縁辺部に人为的に穿たれた溝状遺構が検出されなかつた要因については、当該地区が凹地状の地形を呈していたためであると考えられる。

その他の不規則な方向性を示す遺構は自然の營力により形成された流路であろう。

(1) 第66号溝状遺構伴出遺物について (第462図3~8)

壺形土器

3, 4はく字形に外反する口縁部を有する。5は変化点が不明瞭な平底、6がやや突出した平底の形態である。

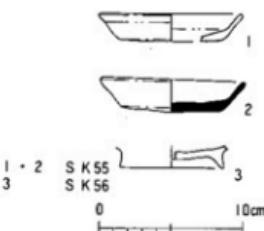
高杯形土器

7は杯部の屈曲部以上の部位の長さが、屈曲部以下の部位の長さを凌駕する器形である。また、口縁部の湾曲が弱い。8の脚部は端部が水平方向に屈曲するが、屈曲部以上の部位は筒状の形態である。

(2) 第74号溝状遺構伴出遺物について

1. 土器 (第462図9)

9は椀形の器形であり、高台部が水平方向に開く。



第461図 竹道北地区土坑伴出遺物実測図

2. 須恵器 (第462図10, 11)

10は鉢形の器形である。杯身(11)は遺存状態が著しく悪い。

3. 瓦 (第462図12)

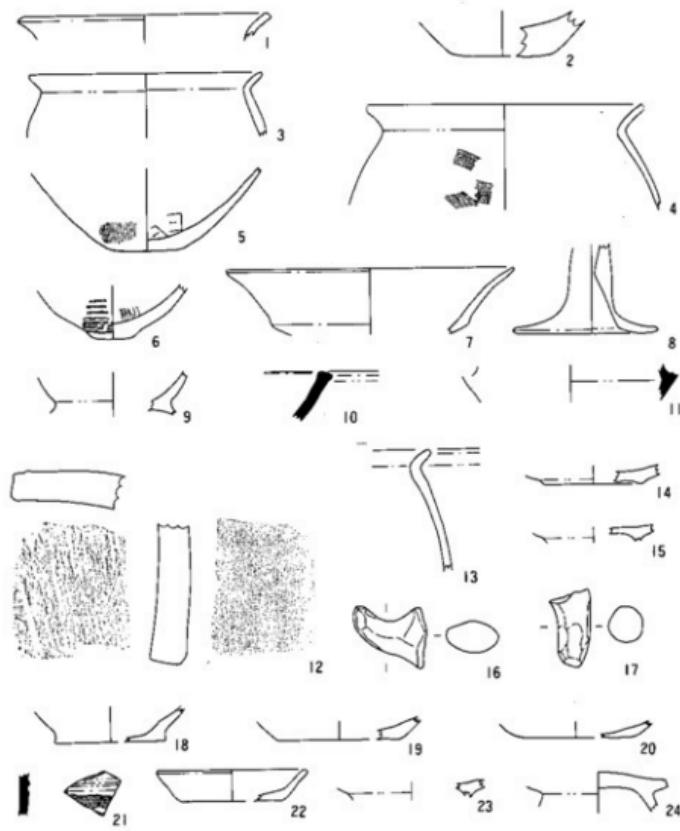
平瓦片が1点出土している。表面には細目の布目痕が認められる。

(3) 第75号溝状遺構伴出遺物について

1. 土器 (第462図13~17)

13は壺形土器であり、胴部最大径が口径を凌駕する器形である。

14, 15については碗形の器形であることが考えられる。いずれも断面三角形の低い高台部を有



第462図 竹道北地区溝状遺構伴出遺物実測図

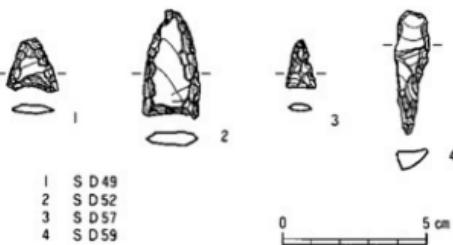
する。

16は煮沸容器の把手状を呈する資料であり、端部を上方へ湾曲する。

17は脚状の資料であるが、上部の形態は全く不明である。

2. 石器（第463図1）

無茎凹基式の石錐が1点出土している。



(4) 第76号溝状遺構伴出遺物について（第462図18～20）

第463図 竹道北地区溝状遺構伴出石器実測図

18は椀形の器形であり、底面がやや突出する。19, 20については皿形の器形が考えられよう。

(5) 第79号溝状遺構伴出遺物について（第462図21）

原形は豈中町宮山窯跡出土の大型高杯の杯部片に類する器形が考えられる。^(参考)凸条2条の下位に櫛描波状文を施す。

(6) 第84号溝状遺構伴出遺物について（第462図22, 23）

22は口径の小さい皿形の器形であり、口縁端部を丸く成形する。23については遺存状態が悪いために原形を復することが難しいが、高台を有する椀形の器形であることが推測できる。

(7) 第85号溝状遺構伴出遺物について

1. 土器（第462図24）

原形を明らかにすることは難しいが、脚台部を有する椀形の器形である。

2. 石器（第463図4）

小型のつまみ部を有する石錐である。

4 不明遺構

(1) 構築状遺構（S X24～29）

ネ21, 22区において、S D50にはほぼ平行する方向に、小規模なピットが列を7条形成している状態が確認された。これらの構築位置は集落域の東縁辺部に相当することから、建物を包囲していた縦列の一部が遺存していると考えられる。

しかしながら、構築時期を明らかにする遺物は採取されていない。

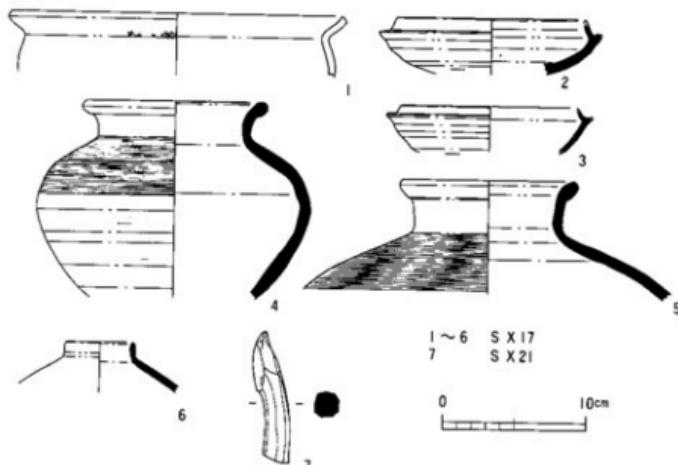
(2) 河道跡（S X17, 21）

調査区の北、南端部の低地が流路化したことが考えられる。

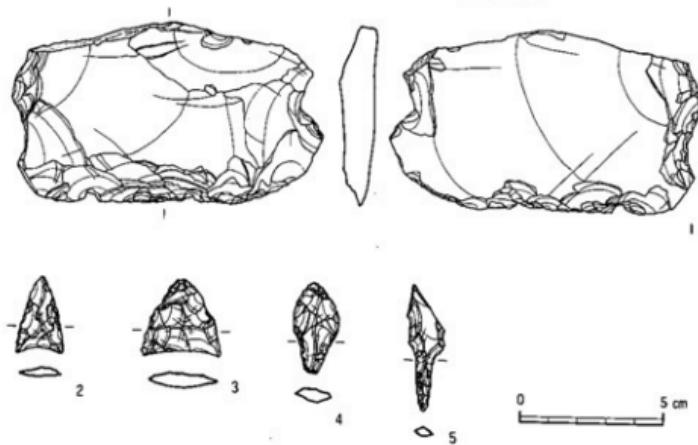
① S X17伴出遺物について

1. 土器（第464図1）

鉢形の器形であり、口縁部をく字形に外反する。



第464図 竹道北地区河道跡伴出遺物実測図



第465図 竹道北地区河道跡 (S X 17) 伴出石器実測図

2. 須恵器 (第464図 2 ~ 6)

蓋杯

2, 3のかえし部は内傾する形態であることから既に形骸化の過程にあることが考えられる。また器高が低いために浅い器形となる。

壺

4, 5の口縁部はいわゆる玉縁状を呈し、胴部は肩が張る形態である。6は短頸壺と考えられる資料であり、頸部が直立する。したがって蓋を有しなかったことが想定できる。なお以上の遺

物の特徴は陶色第2型式第4段階の資料において認めることができる。

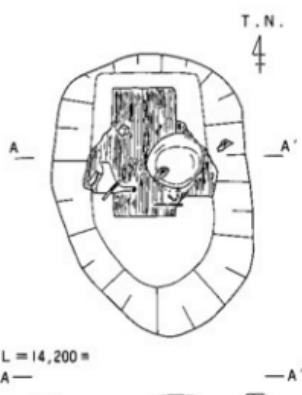
3. 石器（第465図）

1は両端部に抉りを有する形態の打製石庖丁である。背部は剝離調整を施さないために原石の自然面を遺している。

2, 3は無基凹基式の石鎌である。

石錐（3, 4）は小型のつまみ部を有する。

(3) SX21伴出遺物について（第464図7）



L = 14,200 m
A—



第464図 第1号土坑墓実測図

T.N. 脚部と考えられる須恵器であるが、上部の形態は全く判らない。1個の粘土塊を棒状に成形した後、外面を削ることにより10面の縦方向の平面を造出している。

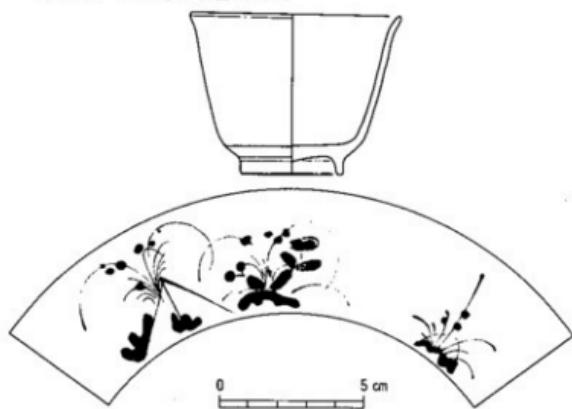
5 土坑墓

メ21区南西部において、江戸時代以降に構築されたことが推測される4基の埋葬構築の調査を行った。ただしこれらの構築と併存していたことが考えられる構築は検出されていない。

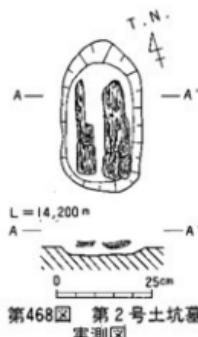
(1) 第1号土坑墓 (ST01) (第466図)

土坑の規模は長径74cm、矩径53cm、深さ14cmを測り、不整な長楕円形の平面形態を呈する。また底面に密着した状態の木製の棺材が遺存していた。

(2) 第2号土坑墓 (ST02) (第468図)

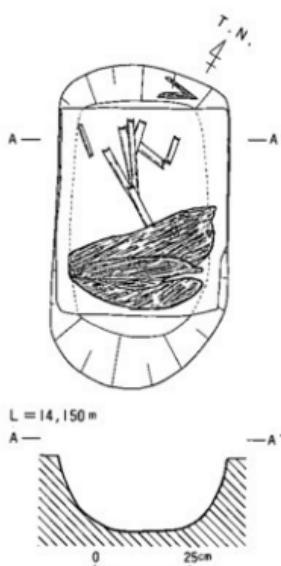


第467図 第4号土坑墓伴出遺物実測図

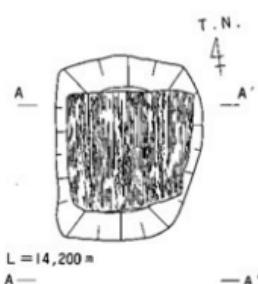


第468図 第2号土坑墓
実測図

他の3基の遺構に比すると小規模であることが判る。土坑の規模は長径39cm、短径22cm、深さ3cmである。底面から遊離した位置において棺材の一部が採取できた。



第469図 第3号土坑墓実測図



第470図 第4号土坑墓実測図

(3) 第3号土坑墓 (S T 03) (第469図)

土坑の平面形態は整然とした長椭円形を呈しており、長径84cm、短径47cm、深さ20cmの規模を測る。

(4) 第4号土坑墓 (S T 04) (第470, 470図)

土坑の平面形態は不整な長方形であり、長径48cm、短径39cm、深さ6cmの規模を有している。底面に密着した状態の棺材を検出している。

6 包含層出土の遺物

1. 土師器 (第471図1~10)

2~6は楕形の器種である。7は皿形の器形であるが、胴部に屈曲部を有するため容量が小さくなる。9, 10は把手状の形態である。

2. 須恵器 (第471図11~28)

壺

11のつまみ部は形骸化の過程にあることが判る。13~15は小型の資料である。

杯身(17, 18)は高台部が外方向に開脚する形態である。

壺

23の口縁部は端部を屈曲させることにより肥厚する。

鉢

24は容量の小さい鉢形の器形である。25~27は陶邑第1型式の資料に類する遺物である。

皿

21については皿形の器形が考えられる。

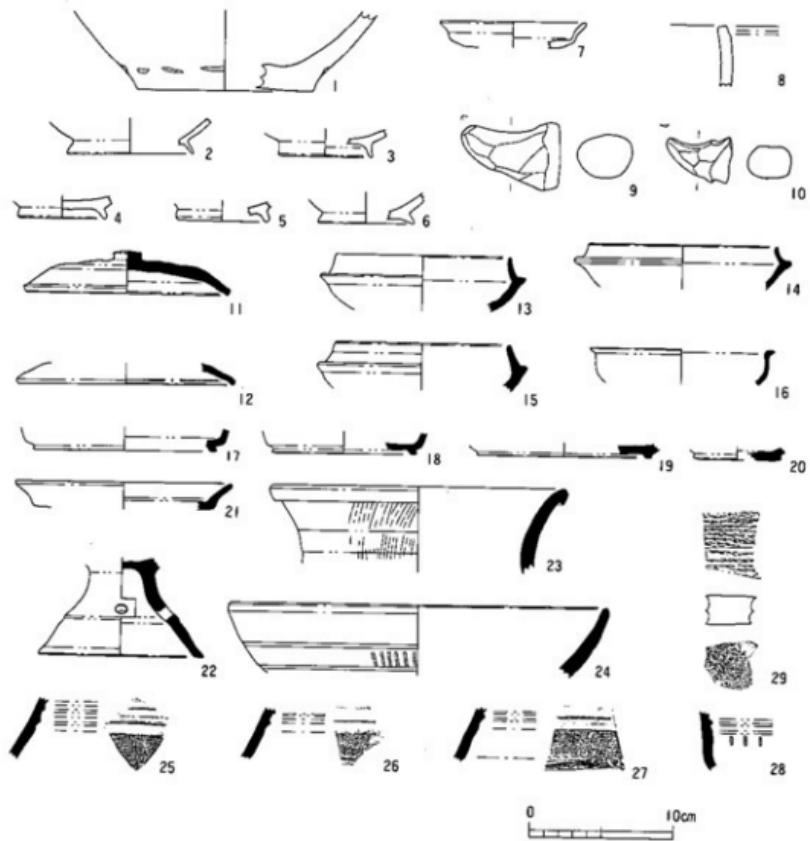
3. 瓦 (第471図29)

布目瓦の小片が1点出土している。

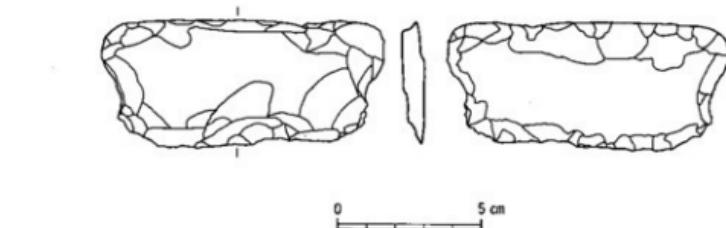
4. 石器 (第472図)

結晶片岩の剝片を利用した打製石庖丁である。両端部に抉りを施していることが判る。なお原

材料の石材の性格により、鋭利な刃部は造出されていない。



第471図 竹道北地区包含層出土遺物実測図



第472図 打製石庖丁実測図

鑑 定 書

昭和61年1月14日、香川県教育委員会 教育長 吉田 茂氏は四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘の際に4基の土坑墓より出土した骨について、香川医科大学法医学教室において下記事項を鑑定し、書面をもって提出するように本鑑定人に依頼された。

鑑 定 事 項

一の谷遺跡群出土の骨（1号墓 [ST-01]，3号墓 [ST-03]，4号墓 [ST-04]）について、

- | | | |
|-----------|--------------|----------------|
| 1 人骨、獸骨の別 | 2 性別 | 3 生活年齢（成人か幼児か） |
| 4 火葬の有無 | 5 いつ頃（時代）の骨か | |
| 6 死亡原因 | 7 その他参考事項 | |

以 上

よって、私は、歯科医師 十川 和彦氏（木田郡三木町、当教室研究生）及び香川医科大学文部技官 大井 敏彦氏の各補助を受けて諸検査を行い、検査結果を総合的に検討して本鑑定書を作成した。

鑑 定 主 文

一の谷遺跡群出土の骨（1号墓 [ST-01]，3号墓 [ST-03]，4号墓 [ST-04]）は、

- 1 全て人骨であり、歯牙の歯冠部、頭蓋骨片、長管骨々片である。
- 2 性別は、1号墓 [ST-01] と 3号墓 [ST-03] は男性、4号墓 [ST-04] は不明である。
- 3 生活年齢は何れも成人であり、1号墓 [ST-01] は20歳前後、3号墓 [ST-03] は50～60歳、4号墓 [ST-04] は12～18歳である。
- 4 何れの骨も火葬は行われていない。
- 5 骨の時代及び死亡原因は不詳である。

6 鑑定資料の骨は何れも小さい破片であり、鑑定資料としての限界が著しい。今後は発掘現場における専門家の立合検査が望ましい。

以 上 鑑 定 理 由

第1項 人獸骨の鑑別と部位の判定

資料の何れにも、ほゞ完全なヒトの歯冠部が含まれ、1号墓 [ST-01] の資料には鳩卵大内外の頭蓋底骨々片（側頭骨錐体）でヒトの内耳孔部のもの左右側各1個、また、3号墓 [ST-03] の資料には同じく小鶏卵大でヒトの右側の内耳孔部のもの1個を各存するので、
○資料は、全て人骨である。

形態学的な特徴によって資料の各部位を判定した。即ち、
○1号墓 [ST-01] の資料の内、部位の判明したものは、下図歯式による歯冠部29個、鳩卵大内外の頭蓋底骨々片（左右側の側頭骨錐体の内耳孔部）2個、母指頭大内外の頭蓋骨々片10個、長さ約6.5~8.0cmの腓骨々片2個である。

(右上)	8	7	6	5	4	3	2	1		1	2	3	4	5	6	X	8	(左上)
(右下)	8	7	6	5	4	3	2	X		X	2	3	4	5	6	7	8	(左下)

○ 3号墓 [ST-03] の資料の内、部位の判明したものは、下図歯式による歯冠部14個、小鶏卵大の頭蓋底骨々片（右側の側頭骨錐体の内耳孔部）1個、母指頭大内外の頭蓋底骨々片7個、小指頭大~小鶏卵大の頭蓋骨々片19個、長さ約3.0~5.0cmの下頸骨々片（頤孔開口部）2個、小鶏卵大の脊柱の椎体骨々片1個、長さ約3.0~6.0cmの長管骨々片5個である。

(右上)	X	X	6	X	4	3	X	X		X	2	X	4	X	X	X	X	(左上)
(右下)	8	7	6	5	X	X	X	X		X	X	3	X	5	6	7	8	(左下)

○ 4号墓 [ST-04] の資料の内、部位の判明したものは、下図歯式による歯冠部12個である。

(右上)	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	(左上)				
(右下)	x	7	6	5	x	3	2	1	1	2	3	4	x	6	7	x	(左下)

第2項 性別と年齢の判定

3号墓 [ST-03] の下顎骨々片（頤孔開口部）を除いて、資料の骨破片から性別や年齢を判定することは不可能である。しかし、ほぼ完全な形態を残す各歯牙の歯冠部が参考となる。

1号墓 [ST-01] の歯冠部は29個あり、上顎の左右側切歯と下顎の左右犬歯が大きく男性である。一方、智歯4本を萌出しているが、歯牙の咬耗はエナメル質に限局して軽度であり、左右上下の犬歯に殆ど咬耗を認めない。なお、個人の咀嚼状態や食習慣によって歯牙の咬耗は著しく左右されるが、「咬耗値による推定年齢算出表」によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次表の通りである。（竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定、日本法医学雑誌、24(1), 4-17, 1970）

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）																											
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	(A)														
7	-	6	-	5	-	4	-	3	-	2	-	1	1	-	2	-	3	-	4	-	5	-	6	-	7		
A	A	A	A	A	A	A	(A)	(A)	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
左側 第2大臼歯 A	-3.85	右側 第2大臼歯 A	-4.02	左側 第1大臼歯 A	-0.48	右側 第1大臼歯 A	+1.63	左側 第2小白歯 A	-0.30	右側 第2小白歯 A	-3.89	左側 第1小白歯 A	+0.85	右側 第1小白歯 A	-5.69	左側 犬歯 A	-6.33	右側 犬歯 A	-0.59	左側 側切歯 A	-2.81	右側 側切歯 A	+1.48	左側 内切歯 A	-3.20	右側 内切歯 A	-1.20
咬耗度数値の合計は-28.40であり、基本データーの平均年齢45.82歳に加えると、本例の推定年齢は17.42歳である。																											

- 以上の諸検査の成績を総合して、1号墓〔ST-01〕は、20歳前後の男性と認める。

3号墓〔ST-03〕の歯冠部は14個あり、下顎臼歯部の咬耗が極めて著しく、強力な咀嚼が行われたことが推定されるので男性と判定される。一方、下顎の骨片においては、頤孔の開口方向は側方から見ると後上方より後下方に40度、上方から見ると前方より後方に58度である。頤孔の開口方向は加令に伴っていすれの角度も小さくなり(上條 雅彦著：口腔解剖学1 骨学(頭蓋学)，アナトーム社，1982，P.331)，頤孔の形態から判断すると、いわゆる老人である。また、歯牙においては、智歯が萌出し、しかもその咬耗が象牙質にまで著しく及んでおり、その他の各歯冠尖端部の咬耗も象牙質まで高度に達している。なお、歯牙の咬耗は、各個人の咀嚼状態や食習慣によって著しく左右されるが、「咬耗値による推定年齢算出表」(竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定、日本法医学雑誌、24(1), 4-17, 1970)によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次の通りである。

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）														
(D)	D	(D)	D	C	(C)	(C)		(C)	C	(C)	C	(D)	(D)	(D)
7	-	6	-	5	-	4	-	3	-	2	-	1	-	7
C	C	C	(D)	(C)	(C)	(C)		(C)	(C)	C	(C)	C	D	C
左側 第2大臼歯	D		+3.23		右側 第2大臼歯	D		+6.84						
第1大臼歯	D		+0.49		第1大臼歯	D		+0.50						
第2小白歯	C		-0.69		第2小白歯	D		+3.90						
第1小白歯	C		+0.76		第1小白歯	D		+2.40						
犬歯	C		+0.51		犬歯	C		-0.10						
側切歯	C		-0.81		側切歯	C		-0.57						
内切歯	C		-1.72		内切歯	C		-0.00						

咬耗度数値の合計は+16.46であり、基本データーの平均年齢45.82歳に加えると、本例の推定年齢は62.28歳である。

- 以上の諸検査の成績を総合して、3号墓 [ST-03] は50~60歳の男性と認める。

4号墓 [ST-04] の歯冠部は下顎のもののみ12個であるが、性別判定に参考となる特徴を認めない。一方、下顎においては永久歯の歯列が完成されているが、各歯冠尖端部に咬耗を全く認めなく、下顎の右第2小白歯が永久歯としては少し大きく同第1乳臼歯の可能性を否定できない。なお、「咬耗による推定年齢算出表」(竹井哲司：歯の咬耗による年齢の推定、日本法医学雑誌、24(1), 4-17, 1970)によると歯牙の咬耗度及び推定年齢は次表の通りである。

歯牙の咬耗度（括弧内は推定の咬耗度）											
× × × × × ×						× × × × × ×					
7 - 6 - 5 - 4 - 3 - 2 - 1						1 - 2 - 3 - 4 - 5 - 6 - 7					
A A A (A) A A A						A A A A (A) A A					
左側 第2大臼歯 A	-3.85	右側 第2大臼歯 A	-4.02								
第1大臼歯 A	-0.48	第1大臼歯 A	+1.63								
第2小白歯 A	-0.30	第2小白歯 A	-3.89								
第1小白歯 A	+0.85	第1小白歯 A	-5.69								
犬歯 A	-6.33	犬歯 A	-0.59								
側切歯 A	-2.81	側切歯 A	+1.48								
内切歯 A	-3.20	内切歯 A	-1.20								

咬耗度数値の合計は-28.40であり、基本データーの平均年齢45.82歳に加えると、本例の推定年齢は17.42歳である。

- 以上の諸検査の成績を総合して、4号墓 [ST-04] は、年齢は、12~18歳であり、性別は不明である。

第3項 火葬の有無

1号墓 [ST-01] と3号墓 [ST-03] の資料の内には、灰白色であり外観上は火葬骨を示唆するものも少数ある。しかし、各資料を実体顯微鏡で検査したところ、骨の海綿質、緻密質、骨小梁などの微細構造が灰白色的骨の全般に亘って完全に保たれており、それらの微細な間隙に土砂の浸入を認める。また、その他の資料に比べて、灰白色的資料は数倍重く、また、硬度

も硬い。

高温によって火葬することにより、骨は完全に灰化されて灰白色になる。その場合に、骨はもろくなり、骨の微細構造は特に外表部分において破壊される。従って、

○ 灰白色の資料に、火葬は行われていない。また、変色の原因としては、埋葬後における泥水の浸透が推察される。

なお、昔の特異な葬送の慣習として、白骨化した特別な骨のみに処理を施すことが民俗学的に考察されるかも知れない。しかし、本件資料の場合、灰白色の骨片の形態から推測して大小さまざまの骨がその処理の対象となっていて不自然である。

第4項 骨の時代及び死亡原因

何れの資料においても、骨の時代と死亡原因との推測に参考となる所見を認めない。

第5項 その他

鑑定資料の骨は、何れも小さい破片であり、鑑定資料としての限界が著しい。また、歯冠の内には、同一の資料に同じ部位のものが2個あるなど発掘後の資料の混在が示唆された。一般に骨片は淡茶褐色に変色して、もろい状態であるが、発掘現場においては、歯牙及び骨の形態がより完全な状態であったことを否定できない。

今後は発掘現場における専門家の立合検査が望ましいことである。また、当研究室としても、古墳等の発掘調査にできるだけ協力する所存です。

以上をもって**鑑定主文の理由**とする。

この鑑定は昭和61年1月14日から同年3月15日までの間に行ったものである。

昭和61年3月20日

〒761-07

香川県木田郡三木町大字池戸1239番地の98

鑑定人

香川医科大学教授（法医学） 恒成 茂行㊞

第4章 竹道南・山の前北地区の調査

第1節 調査の経過と概要

両調査区については、市道流岡・中田井線を境界として異なる地区名で呼称したが、調査結果より一連の遺跡地であると考えられる。そこで本節に包括して報告したい。

まず、公団の工事用道路設置計画により山の前北地区の西端部(幅10m)の調査に着手した(1985年8月1日)。当該地区については予備調査において数条の溝状遺構の所在が判明していたのみであったが、本調査においては複数の掘立柱建物跡を検出し、新たに居住域としての知見を得たのである。さらに市道流岡・中田井線に接する位置に弥生時代前期と考えられる河道跡が埋没していることを確認した。

次に調査の主体は竹道南地区に移り、現場事務所用地を除く総ての対象地の全面発掘を行った。事務所西側部分においては建物跡にみる生活遺構は全く遺存しておらず、既に検出されている弥生時代前期の河道跡の延長部分とこれにほぼ平行する方向に穿たれた数条の溝状遺構を確認した。

ところで、一の谷遺跡群の調査目的にいわゆる条里遺構の調査がある。これは、吉岡町・古川町を中心とする沖積平野面に認められる方画地割を旧刈田郡において施行されたと考えられる条里制に基づく土地区割の遺構と認識する点をよりどころとしている。したがって本調査において現存する地割に平行あるいは直交する遺構が検出できるならば、条里遺構としての必要条件の一つを充たすと考えていた。とりわけ予備調査により当該地区においては多数の溝状遺構が検出されたために条里遺構の存在が期待されたのであるが、本調査では上記の条件を充たす溝状遺構は検出し得なかった。

また、北半部については全く遺構が存在しておらず、しかも後の調査により検出された遺構の性格が全く異質である点から、竹道南・北地区が一連の遺跡地でないことが判明するのである。

この後、調査の主体は竹道北地区および山の前南地区残部におき、山の前北地区残部の調査を再開したのは1986年2月5日である。山の前北地区の基盤層を形成する土壤が黄褐色粘質土である点については既に終了した西端部の調査により明らかであったが、東方へ掘削を継続するにしたがい、基盤層が深く傾斜する事實を把握した。さらに14ライン以東においては基盤層は明らかに異なる土壤に変化した後に消滅し、最下層である疊混じりの砂層を基盤層とすることが判明したのである。そして遺構の大部分が黄褐色粘質土を基盤層とする西半部において検出されたことからこの堆積状況の差異は土地利用の点に多大な影響を及ぼしたことを遺構の存否から推測するに至った。

山の前北地区は3月27日をもって完掘し、これにより昭和60年度の総ての調査を終了した。

一方、竹道南地区の現場事務所用地については昭和61年度4月3日～6月18日に調査を行った

が、西半部において検出した溝状遺構、河道跡に連続すると考えられる遺構などを確認したに止った。そして建物跡に代表される生活遺構が皆無である点から、居住域としては不適当な自然条件を有していることを再認識した。

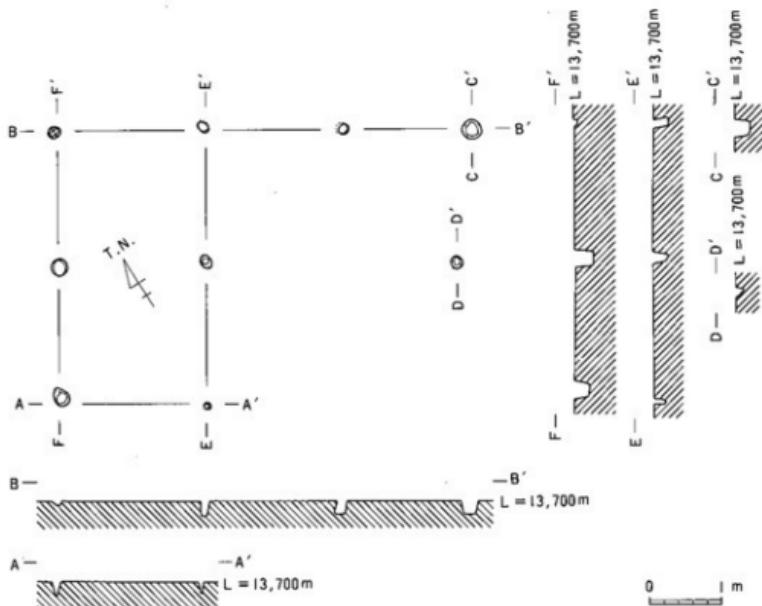
第2節 遺構と遺物

1 挖立柱建物跡

第10表 山の前北地区掘立柱建物跡一覧表

遺構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第6号掘立柱建物跡	S B06	△11	2間	3間	374	576	N-57°30'-W	第473図
第7号掘立柱建物跡	S B07	△12	2間	2間	376	420	N-63°30'-W	第474図
第16号掘立柱建物跡	S B16	△10	2間	3間	464	562	N-60°30'-W	第475図
第17号掘立柱建物跡	S B17	△12	1間	1間	340	393	N-25°30'-E	第476図
第18号掘立柱建物跡	S B18	△14	2間	4間	298	598	N-61°-W	第477図
第19号掘立柱建物跡	S B19	△13	2間	3間	478	622	N-29°-E	第478図

規模：単位cm



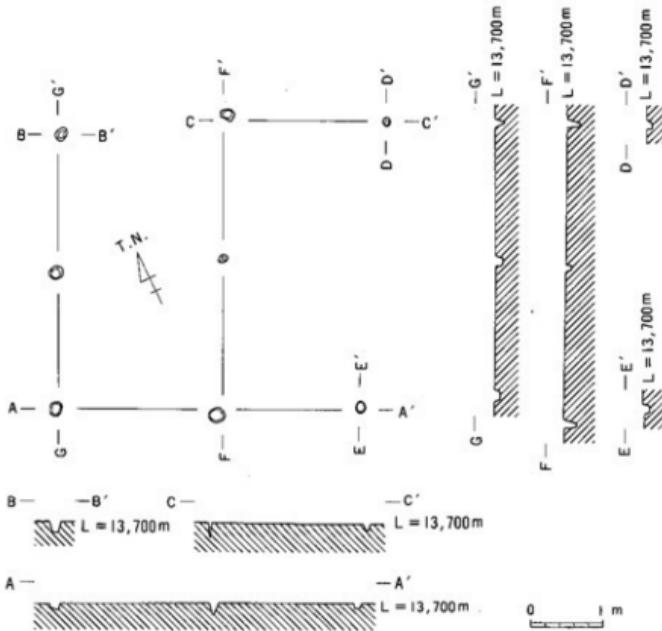
第473図 第6号掘立柱建物跡実測図

(1) 第6号掘立柱建物跡 (S B 06) (第473図)

△11区北半部に所在しており、南壁面の2基の柱穴を失っているものの梁間2間(374cm)、桁行3間(576cm)の構造であることが判る。また、内部構造については西壁面から桁行1間幅の空間が家の本体から独立している。したがって庇状の施設あるいは複数の部屋を有していたことが推測できる。

(2) 第7号掘立柱建物跡 (S B 07) (第474図)

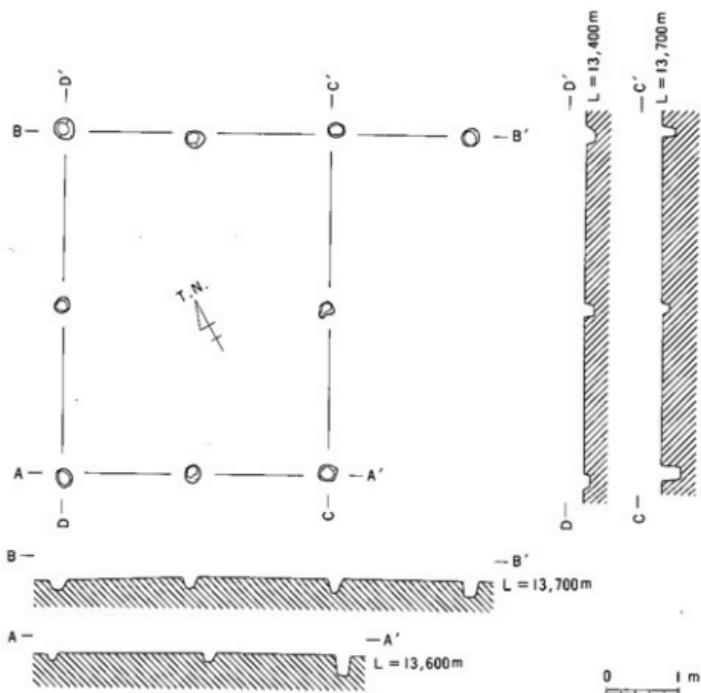
△12区西半部において検出した。北・東壁面部の柱穴の配置が不規則であるが、梁間2間(376cm)、桁行2間(420cm)の規模である。しかも床面中央部に柱穴1基を伴うことから高床の構造を有していたことが考えられる。



第474図 第7号掘立柱建物跡実測図

(3) 第16号掘立柱建物跡 (S B 16) (第475図)

△10区において検出した。東壁面部については現用水路下および調査対象地区外に埋没しているために判然としないが、現状では梁間2間(464cm)、桁行3間(562cm)の構造を有している。ただし、東壁面から桁行1間幅の空間については独立した部屋、あるいは庇状の遺構が設けられていたことが考えられる。



第475図 第16号掘立柱建物跡実測図

(4) 第17号掘立柱建物跡 (S B 17) (第476図)

マ12区中央部に所在しており、S B07との直線距離が1.2mである。梁間1間(340cm)、桁行1間(393cm)の構造を有するが、柱数に比して柱間距離が長い点が特徴である。

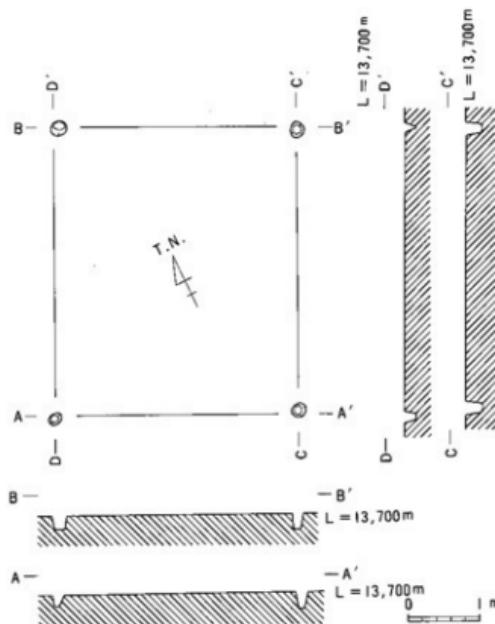
ところで、建物の主軸方位はS B07のそれに合致しており、しかも両者の北壁面の位置が同一ライン上に連続して構築されている事実から並存していたことが考えられる。

(5) 第18号掘立柱建物跡 (S B 18) (第477図)

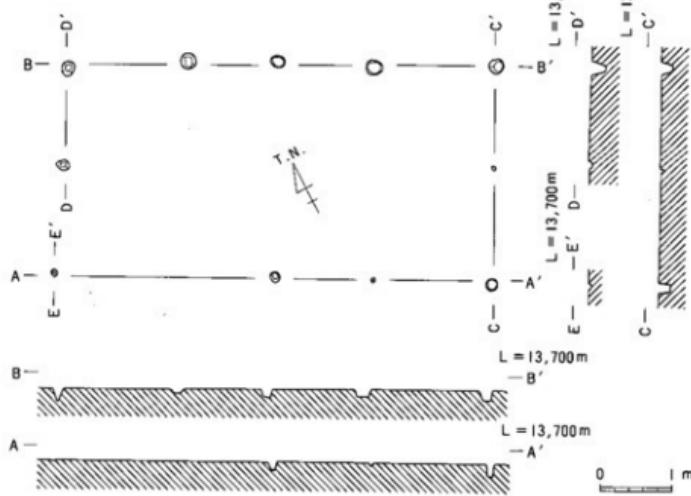
マ14区南半部に所在しており、S B21・22の東方118cmに位置する。構造及び規模は梁間2間(298cm)、桁行4間(598cm)である。ところで、北・南壁面の柱間距離は両端部に比して中央部が短い、規模であることから、出入口の施設の存在、あるいは間仕切りを目的とした壁面の構築による内部空間の使途の様相などが推測できる。

(6) 第19号掘立柱建物跡 (S B 19) (第478図)

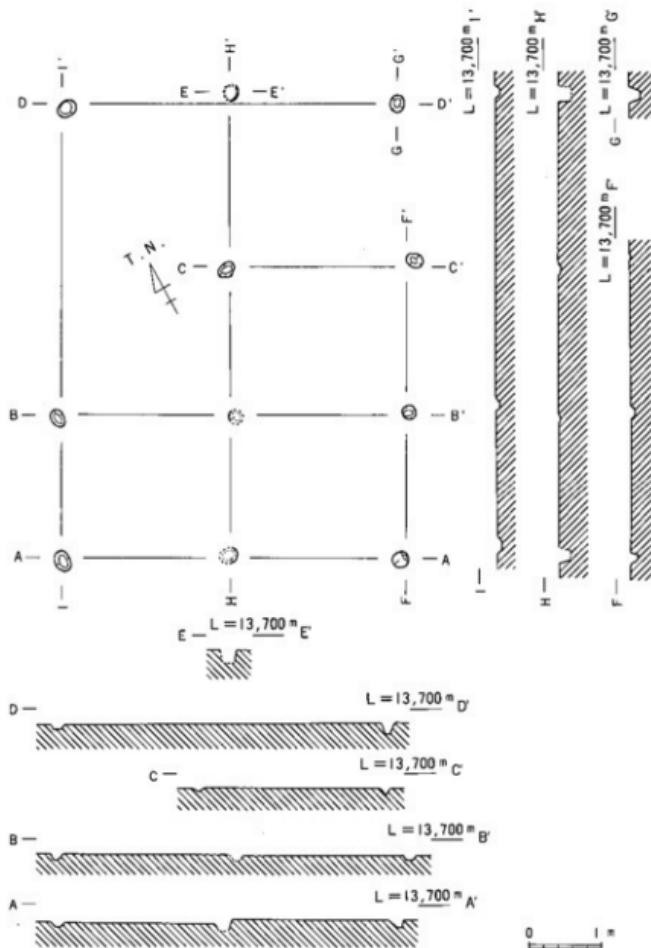
マ13区において検出した梁行2間(478cm)、桁行3間(622cm)の規模を有する遺構である。いわゆる総柱の構造であることから高床の形態が考えられよう。



第476図 第17号掘立柱建物跡実測図



第477図 第18号掘立柱建物跡実測図



第478図 第19号掘立柱建物跡実測図

2 土 坑

まず山の前北地区において総数38基の土坑状の遺構（SK14~41, 44~53）を検出した。ここであえて土坑状と呼称したのは、埋没状態の確認時において明確な平面形態を見出すことが困難であるのみならず、埋土と基盤土壤の識別に難済したことから、人為的な構築遺構としての性格を有しないことが考えられるためである。あるいは自然の營力によって生じた凹地状の地形である可能性を示唆したい。

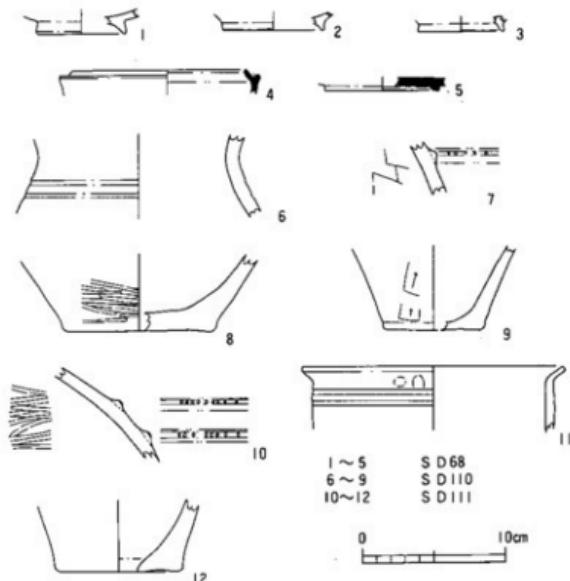
なお本遺構中、第224号土坑（SK26）が最大規模を有しており、長径440cm、短径312cm、深さ60cmを測ることができる。

また竹道南地区フ14区において隅丸長方形の平面形態を呈する墓様の遺構（SK66）を調査したが、性格を決定する資料は入手することができなかった。検出した規模は長軸長176cm、最大幅123cm、深さ28cmを測る。

なお山の前北地区マ14区北西隅部において2基の土坑（第240、241号土坑）を検出しているが、これらについては近世以降に構築された可能性が高いことから詳細なデータを残していない。

3 溝状遺構

竹道南地区東半部において検出した北北東から南南西方向の流路を呈する遺構（SD68、69、73～75）と東西方向の流路（SD70～72、76～78）については、直線的に穿たれている点から当時の土地区画に合致した生活遺構であることが考えられる。しかしながら、その他の遺構は規則的に掘削されていない事実により自然流路として形成されたと考えることが妥当であろう。しかも大部分の遺構が同一の方向性を呈するうえに複合した状態により埋没していたことから、長期間にわたって当該地域が流路化するに適した形状であったがために埋積が漸次的であったことが推測できる。



第479図 竹道南地区溝状遺構伴出遺物実測図(I)

(1) 竹道南地区溝状遺構伴出遺物について

①第94号溝状遺構伴出遺物について

1. 土器（第479図1～3）

1～3は短い高台部を有する壺形の資料である。いずれも高台末端部が外方向へ開く形態であるが、3についてのみ端部を平面化する。

2. 須恵器（第479図4、5）

杯身（4）のかえし部は短く内傾する形態であることから陶邑第2型式第6段階の遺物に類する。

5は低い高台を有する器形である。

②第136号溝状遺構伴出遺物について（第479図6～9）

壺形土器

6は小片であるが、ラッパ状に広く開口する口縁部形態が考えられる。7は上胴部の一部である。

③第137号溝状遺構伴出遺物について

1. 土器（第479図10～12）

壺形土器

10は肩部の資料である。

壺形土器

11の口縁部は外反する形態である。

壺形土器

12は単孔式の器形であるが焼成後に穿孔されたことが判る。

2. 石器（第481図5）

小型の柱状片刃石斧が1点出土している。既に基部を失っているために着柄部の形状が判然としない。

④第135号溝状遺構伴出遺物について

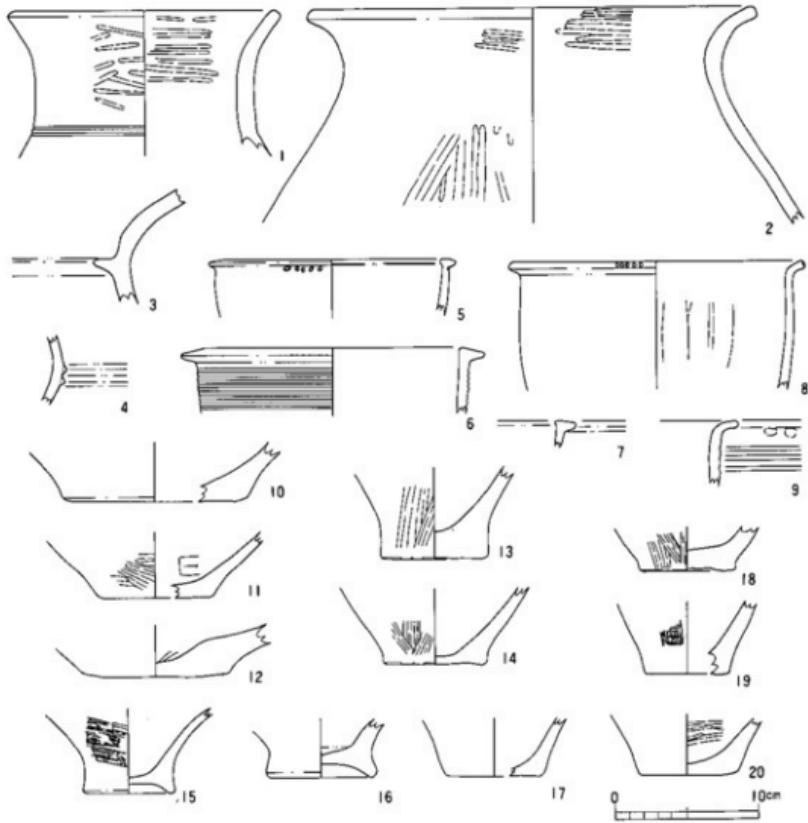
1. 土器（第480図）

壺形土器

1は頸部から口縁部にかけて直立気味に外反する器形である。2は大型品であり、口縁部が短かく外湾する。3の口縁部内面には水平方向に突帯が貼付される。底部（15、16）は脚台状を呈する資料である。

壺形土器

5～7は逆L字形に屈曲する口縁部を有しており、特に5については内部方向へも突出した形態を示す。8、9の口縁部は外湾する形態である。



第480図 竹道南地区溝状遺構伴出遺物実測図(2)

2. 石器（第481図 1, 2）

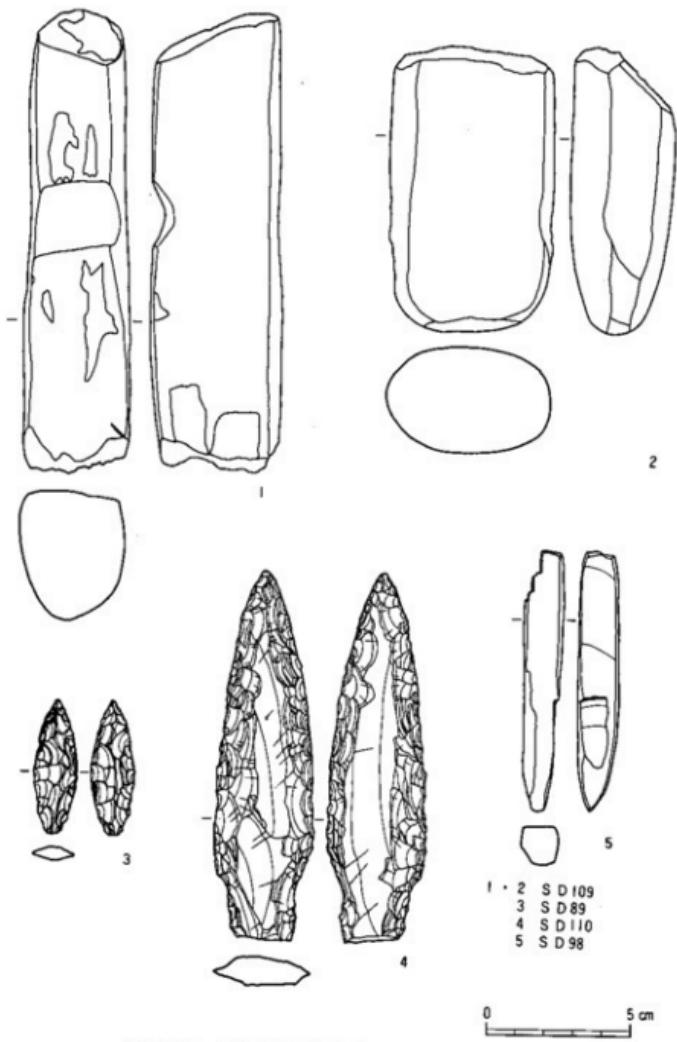
1は大型の抉入柱状石斧の基部である。特に抉部の全周が紐掛けにより、著しく摩耗していることが判る。2については始刃の形態の磨製石斧の刃部であることが考えられるが、既に使用による摩耗の状態が著しいために銳利さを失っている。

⑤第115号溝状遺構伴出遺物について（第481図 3）

本資料は小型の石槍に分類することができると考えている。柳葉形の形態を呈しており、両面に細かい調整剝離の痕跡をみることができる。

⑥第136号溝状遺構伴出遺物について（第481図 4）

基部を失っているものの、全長12.8cmを測る大型の石槍である。着柄を容易にすることを目的として茎部が造出されている。



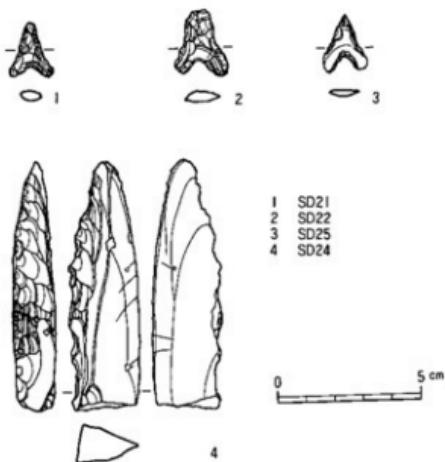
第481図 竹道南地区溝状遺構伴出石器実測図

⑦第50号溝状遺構伴出遺物について（第482図4）

横長剝片を素材としたナイフ形石器が1点出土しているが、土器片を伴うことから後世に混入したことは明らかである。

4 河道跡

①遺構について



第482図 山の前北地区溝状遺構伴出石器実測図

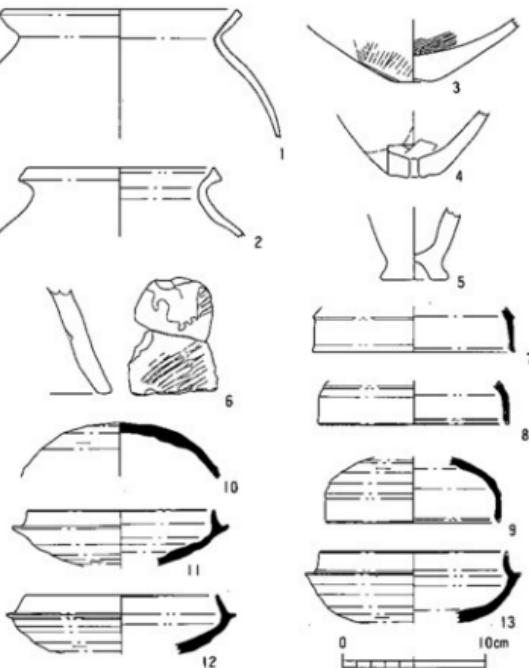
竹道南地区において最大幅488cm、最深部63cmを測る河道跡（S X16）を検出した。その流路方向は前記の自然流路と考えられる複数の溝状遺構の方向性に完全に合致している。

②伴出遺物について

1. 土器（第483図1～5）

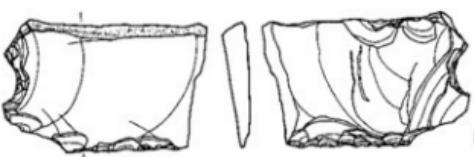
壺形土器

1はく字形に外反する口縁部を有する器形である。2の口縁部は緩く外反する形態であり、端部を横位にナデることにより上下に肥厚する。5の底部は上げ底の脚台状を呈する。



第483図 竹道南地区河道跡（S X16）伴出遺物実測図

瓶形土器



4は不完全な平底を有する単孔式の器形である。

2. 土製品（第483図6）

支脚形土製品と考えられる資料が1点あるが、原形は全く不明である。

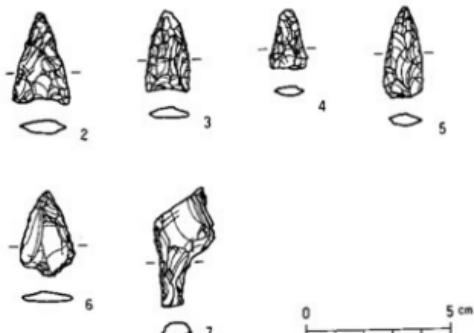
3. 須恵器（第483図7～13）

蓋杯

7は肩部と端部の変化点が外方向へ突出するために鋭い稜線が形成される。また端部はほぼ直立する形態であり、末端部を肥厚して凹面化する。以上の特徴は豊中町宮山窯址出土の杯蓋に酷似すると考えられる。

8・9の端部は直立あるいはやや内傾する形態であり、端面を造出する。

さらに肩部と端部の変化点は意図的に



第484図 竹道南地区河道跡(S X16)伴出石器実測図

に鋭い稜線を形成する。これらは7に比すると新しい様相であろう。11～13は内傾するかえし部を有するが、前2者については先端部のみを直立させる。いずれも口径に比して器高が低いために浅い器形であり、陶邑第2型式第5段階の遺物に類すると考えている。

4. 石器（第484図）

1は端部に抉りを有する形態の石庖丁である。背部については調整が施されていないために自然面が残る。

石鎌（2～5）が基部を有しない形態であるのに対して、6は有茎式の形態である。また前者のグループについては凹基式（2, 3）と平基式（4, 5）に大別することができる。

石錐（7）が1点出土している。

5 ピット群

上部構造を伴っていたことが考えられる遺構は検出できなかったが、フ14・15区およびホ14区において集中して穿たれている状態が確認できた。

6 包含層出土の遺物

(1) 旧石器時代の遺物（第485図）

基盤層の掘削中に出土したナイフ形石器が1点ある。本資料は横長剝片を素材としており、先端部を欠損している。

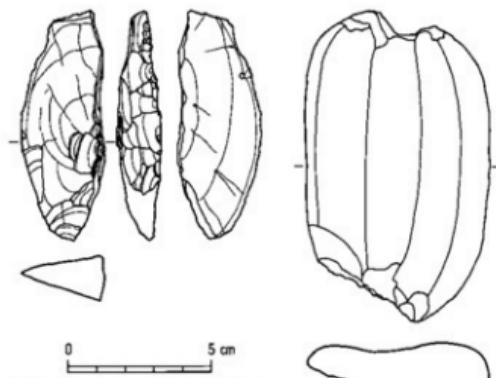
(2) 縄文時代の遺物

①土器 (第487図1)

外面に細かい縄目の痕跡を観察することができる。

②石器 (第486図)

マ14区において自然流路と考えられる凹地形のトレンチ調査を行った際に、礫石錐が1点出土している。扁平な自然石の長軸方向の両端部を打ち欠くことにより、組掛けが造出される。



第485図 ナイフ形石器実測図



第486図 細石錐実測図

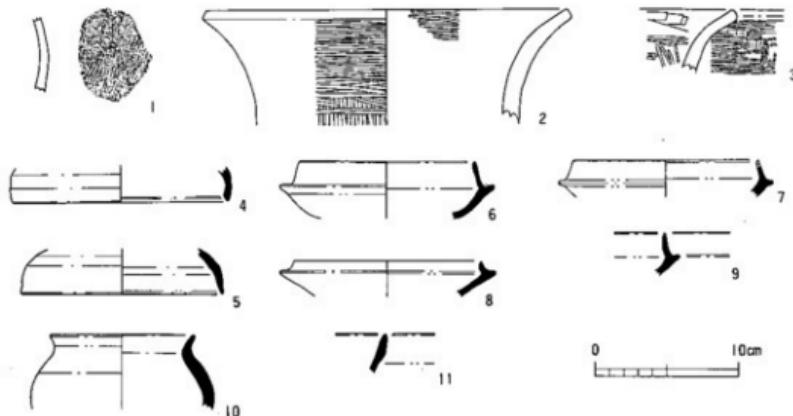
(3) 弥生時代の遺物 (第487図2, 3)

壺形土器の口縁部が2点ある。いざれもラッパ状に開口する形態であり、小規模な端面を有する。また内外面については、ヘラ磨き調整により平滑に仕上げられている。

(4) 古墳時代の遺物 (第487図4~11, 488図)

蓋杯

杯蓋(4)は肩部が張る形態であるために、端部がほぼ直立する。したがって原形は半球形の器形が想定できる。5は肩部に稜線が形成される。6, 7, 9はかえし部が直立気味に立ち上がる形態の杯身である。8についてはかえし部が既に機能を失っており、形骸化していることが判



第487図 竹道南地区包含層出土遺物実測図

る。しかも容量が小さいことから蓋として用いられたことも考えられる。

壺

10は短頸壺に分類し得る資料であり、口縁部が緩く外反する。また胴部は球体状を呈する。

鉢

11は鉢形の器形が復元できる。口縁部が肥厚した形態である点が特徴である。

高杯

第488図の脚端部は上方に屈曲する。



第488図 山の前北地区
包含層出土遺物
実測図



第5章 山の前南地区の調査

第1節 調査の経過と概要

調査区西端部において工事用道路の計画部分(幅10m)について先行して調査を開始した(1985年7月12日)。予備調査によって既に遺構が稀少である事実を把握しており、本調査においてもわずかに掘立柱建物跡3棟と溝状遺構5条を検出するに止った。西端部の調査は8月7日に終了するが、残部については調査が一時中断し、主体が他地区に移った。そして1986年1月6日より再度調査を実施した。しかしながら、西端部の調査において検出した溝状遺構の延長部分以外には新たに2条の溝状遺構を確認したのみであり、遺構密度は極めて稀薄であった。

特筆すべき出土遺物としてはヨ8区の基盤層を形成する黄灰色粘質土に包蔵されていたナイフ形石器がある。この遺物の出土により基盤層の形成年代を推測する手掛かりが得られたのみならず、遺跡地内の洪積層の直上面あるいは遺跡地の東南部に展開する洪積台地上に旧石器時代の遺跡が所在する可能性を示唆したのである。

調査終了は2月12日である。

第2節 遺構と遺物

1 挖立柱建物跡

第11表 山の前南地区掘立柱建物跡一覧表

遺構名称	略称	位置	構造		規模		主軸方位	挿図番号
			梁間	桁行	梁間	桁行		
第3号掘立柱建物跡	S B03	≈ 4	2間	2間	164	296	N-62°30' -W	第489図
第4号掘立柱建物跡	S B04	≈ 5	1間	3間	394	812	N-64°-W	第490, 491図
第5号掘立柱建物跡	S B05	≈ 5・6	1間	3間	328	520	N-26°30' -E	第492図

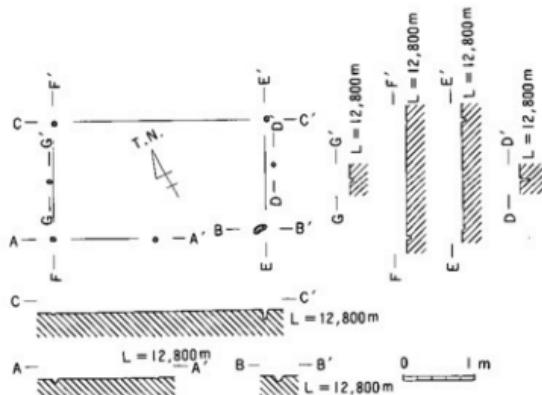
規模：単位cm

(1) 第3号掘立柱建物跡 (S B03) (第489図)

≈ 4区南端部において検出した。S D06, 07が埋没した後、その上位に構築されている。

基本構造は梁間2間(164cm), 桁行2間(296cm)であるが、北壁面についてのみ中央部に柱を有しない。また、南・東・西壁面中央部の柱穴の位置が不規則である点については、壁面を構成しない可能性が考えられる。

本遺構は復元される床面積が4.9m²と小規模であることから恒常的な居住遺構とは考えられない。

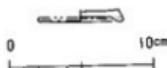


第489図 第3号掘立柱建物跡実測図

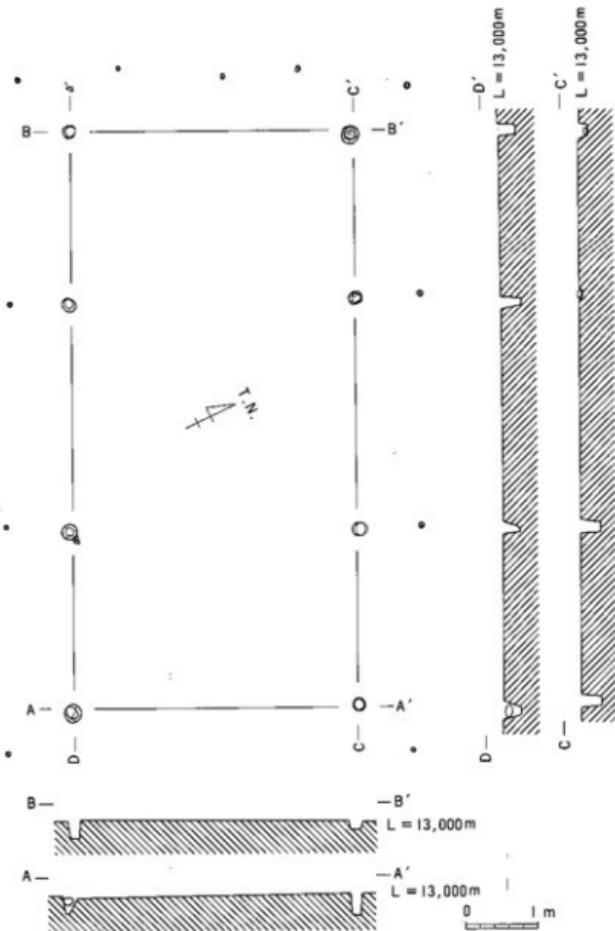
(2) 第4号掘立柱建物跡 (S B 04) (第490、491図)

ニ区南端部に位置する。梁間1間(394cm)、桁行3間(812cm)の構造であり、全壁面に庇状の遺構を伴っている。同遺構の柱穴規模は、総て小型であることから補助的に上部構造を支えていたことが考えられる。

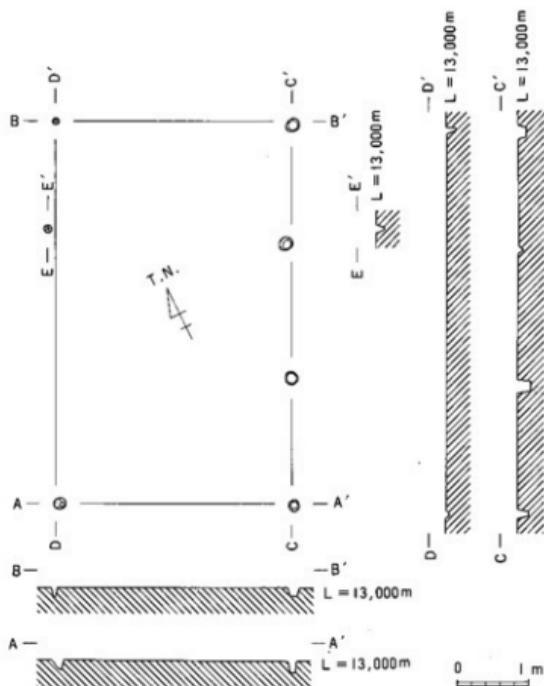
3基の柱穴内部に根石が遺存する。



第491図 第4号掘立柱建物跡伴出遺物実測図



第490図 第4号掘立柱建物跡実測図



第492図 第5号掘立柱建物跡実測図

(3) 第5号掘立柱建物跡 (S B 05) (第492図)

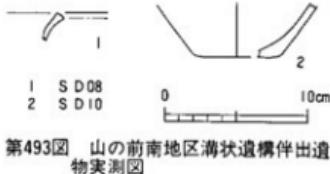
S B 04に近接して構築されており、両者の間隔は1.6mを測る。

構造は、梁間1間(328cm)、桁行3間(520cm)であるが、西壁面において柱穴1基が未検出である。

ところで、本遺構とS B 04については建物の方向性に共通点が認められることと相互の位置関係の点において共存していたことが推測できる。

2 溝状遺構

直線的な方向性を有する第38、40号溝状遺構(S D 12, 14)除いて、他は総て自然流路と考えられる遺構(S D 06~11, 13)である。なお、埋土中より遺物を採取することができたのは第34、36号溝状遺構に限定されており、他については遺構の掘削および埋没の時期を示唆する資料入手するに至らなかつた。



第493図 山の前南地区溝状遺構伴出遺物実測図

(1) 第34号溝状遺構伴出遺物について（第493図1）

甕形土器の口縁部が1点出土している。口縁端部に横位のナデ調整を施すことにより、端面を形成する。

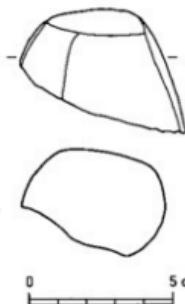
(2) 第36号溝状遺構伴出遺物について（第493図2）

甕形土器の底部と考えられる資料であり、平底の形態を呈する。

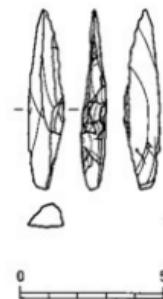
3 ピット群

小規模なピット群を検出した
が、これらは規則的に穿たれて
おらず、散在する状態を示すこ
とから構造物を伴わない遺構で
あることが推測できる。

このうち1基の内部から第
494図の磨製石斧の基部が1点
出土しており、始刃を有する太
型の形態が復元できる。



第493図 溝状遺構実測図



第493図 溝状遺構実測図

4 包含層出土の遺物（第495図）

基盤層である黄灰色粘質土層の上位から、縦長剝片を素材としたナイフ形石器が1点出土して
いる。全長6.2cm、主要剥離面の最大幅1.2cmを測る小型の資料であり、石材の表面は既に著しく
風化している。

なお本資料の出土により、当該地区の基盤層の形成年代の上限が旧石器時代まで遡ることが判
明したが、ユニットの検出には至らなかったことから本遺跡地は生産遺跡ではなく、消費遺跡で
あると考えるべきであろう。

第6章 おわりに

最後に一の谷遺跡群の歴史的位置について考察するとともに、集落の変遷を詳にすることによりまとめてかえる。

第1節 一の谷遺跡群の位置

1 弥生時代前期において——特に生業の問題について——

日本における稻作の開始時期の問題については、考古学関係者のみならず多くの一般人が関心を寄せるところであるが、北部九州および畿内的一部分を除く日本列島の本州以南の大部分の地域において、弥生時代にその初源をみることができることが定説化して既に長い時間が経過している。すなわち本遺跡平塚地区において採取することができた石庖丁が總て弥生時代に製作、使用されている事実により、当該地域においても同時代に稻作が行われていた点については疑う余地がないと考え得るのである。

ところが、従前より弥生時代すなわち稻作という図式を繰り返し強調したがために、当時の生産活動（生業）についても農耕を唯一無二とする錯覚に陥った人々を多くみることができる。そこで本調査において上記の図式が明らかに誤りであることを指摘する資料入手することができたことから、以下に紹介することにより、当時の生業の実態をかいしまみることを試みてみようと考えている。

さて生業の問題は道具とその使用対象物を欠いては論議することが難しい。そこでこの条件を充たす資料として平塚地区において検出した第8、38号土坑に注目したい。これらは弥生時代前期後半頃に食物残滓を廃棄することを目的として構築されたことが瞭然であり、埋土の水洗選別作業を行うことにより、動物の微細な歯牙と骨を採取することができた。したがって上記の条件のうちの後者が充たされたのである。採取された動物遺体については種の同定作業を経て第2章第8節の結果が得られたが、当時の人々が他動物を捕獲し、食用に供していた事実が一部判明したのである。

一方、道具については遺跡全体より出土した石器が総数384点を数えるばかりでなく、石槍の使用をも明らかにされている点から、依然狩猟活動が盛行している状況を想像することが難しくないと考えている。しかしながら本調査においては弥生時代の漁撈用具を見出すには至っていないため、魚類については他所からの搬入という手段を考慮しておかなければならないであろう。

次に磨石と石皿を採取すると同時に、竪穴住居の内部に炭化物と灰を保管していた事実を確認している。すなわちこれらの石器は、堅果物あるいは植物の地下茎の製粉用の道具として用いられていた資料である。また灰については製粉後の食物の加工（アグ抜き）段階において不可欠な物質であることが証明されており、普段に貯えることからその使用頻度の高さを知ることができよう。

さてここに示した生産活動については、総て縄文時代にそれらの初源をみることができることから、弥生時代の食生活の内容が前時代との間において、決して隔絶していないことが判る。しかしながら、磨石、石皿など植物質食料の調理に用いられた道具類が減少の過程にある点については本遺跡においても判然としており、コメを食することを主とし、堅果物などは保存食に代表される非日常食料として、従的存在の位置付けが始まったことが推測できるのである。^(註6)

ところが、狩猟、漁撈活動については、依然縄文時代における実態に異なるものではない点を指摘できると考えている。

以上の考察より弥生時代においては、縄文時代から継承した生業形態から外来系の生業形態である稻作への移行は必至ではなく、とりわけ食生活にみる保守的な側面においては前代の技術を継承する事例を多くみることができる。したがって私たちは、弥生時代の生業についての検討を行う過程において、当時の人々が縄文時代以来の伝統を一様に棄却するとともに、新たに大陸系の習慣の選択に至ったと考えることは性急であり、事実誤認の危険を伴うことを改めて認識することができるるのである。

2 弥生時代終末期から古墳時代初期において——特に生産力の問題について——

本遺跡においては、弥生時代に製作された金属製品は銅鏡以外には全く出土していない。とりわけ鉄製品が皆無であるのに対して、依然生産用具としての石器を相当量使用していた事実により、從前からの弥生時代後期頃が石製利器から鉄製利器への移行期に比定されるとする見解は容易に受容できない可能性を暗示していると考えられる。

そこで本遺跡に並行する時期において、普通寺平野に営まれた稻木遺跡（C地区）と彼ノ宗遺跡を比較資料として用いることにより、当該時期の一の谷遺跡群の内在的な生産力の評価を行ってみたい。まず稻木遺跡（C地区）は扇状地形の扇端部を占地しており、1984年の四国横断自動車道建設に伴う事前調査により、竪穴住居跡、集石墓、遺物包含層から鉄製品が出土したことが報告されている。^(註6) なかでも「打ちグワ」と呼称される鉄製鋤先は香川県下に例を多くみない資料であり、当時の革命的な農耕具であると考えられている。また彼ノ宗遺跡についても扇状地形の扇端部に営まれた集落跡であることが判っており、西辺部を現弘田川が廻流する位置にある。やはり1984年に実施された発掘調査の結果、複数の鉄製品が出土している。^(註6) すなわち弥生時代終末期頃に普通寺平野に展開した集落においては鉄製品が普遍的に利用されていたことが推測できよう。もちろん観音寺平野においては一の谷遺跡群周辺の同時期の集落跡の調査事例が少ないために、同一の条件下において比較することは困難であると考えられることから、上記の点については憶測の域を出ないことをあらかじめ断っておく必要があろう。

ところで、以前に筆者は鉄製品の使用と有機的な関連を有する事象として地形と土壤について示唆したことがある。^(註6) それは鉄の要求が、耕作の対象を軟質から硬質な土壤へ変化させたことに起因したと考えるべきであるとする見解である。すなわち普通寺平野の遺跡群は扇状地上に展開

する以上、集落の構築と耕地の拡大のためには鉄製利器が絶対不可欠な道具であることが考えられる。ところが、一の谷遺跡群においては集落を沖積平野内の微高地形を占地して営んでおり、堅牢な土壤の掘削を避けていることが判る。したがって本遺跡内における集落の營造と耕地の拡大に際しては、鉄製利器を必要とするに至らなかったと考えることができるであろう。

さて鉄製品を所持しないことは自ずと農耕による生産力の向上を計ることが難しいことを示唆していると考えることはできないであろうか。そこで以下には本項の主眼である遺跡の有する内在的な農耕生産力を評価する。

そこでこの課題を解決するためには、本遺跡が有していた総ての生産手段による個々の出来高を加算することにより、数量化することが常套手段であると考えられるが、具体的な数値を掲げることが不可能であるために、ここでは後出する古墳（特に前期古墳）の營造力を傍証資料として用いることにしたい。無論、古墳の出現時期と本集落の盛行時期が隔絶しているために、直接の因果関係を求めるることは難しいのが現実である。しかしながら古墳の營造力の蓄積が既に当該時期に始まっていることはあながち否定できないと考えている。

筆者が記述するまでもなく、古墳は被葬者が有していた権力と支配力のモニュメントであるばかりではなく、その營造に関与した地域の生産力の象徴としての性格を内在していると理解されている。そこで現観音寺市域において確認されている前期古墳を網羅してみたいが、現状において発生期の古墳は存在しておらず、鹿限鏡子塚古墳を唯一前期古墳としてあげができるのである。また一の谷遺跡群の近隣においては5世紀中葉頃の青塚古墳をみることができるが、当該地域に、本集落の盛行および廃絶時期に連続して営まれた前期古墳を見出すことができないのみならず、周辺地域に墳丘を有する大型の埋葬遺構が出現するのは集落の廃絶後1世紀余が経過して後のことである。すなわち集落の盛行当時においては大型の埋葬遺構を営むに至る余剰生産力を有していないかったことが推測できるのである。そこでこの要因として、本集落に居住していた人々が鉄製品を求めなかつた事実を再度強調しておきたい。

第2節 集落の変遷

以下に各時代別の集落の変遷を検討する。

(1) 旧石器時代

平塚、竹道南、山の前南地区において基盤層の掘削時に舟底形石器とナイフ形石器が出土したことから、本遺跡地内の洪積層の表層に同時期の遺跡が営まれていたことを想像することは困難なことではないと考えている。さらに山の前北地区の溝状遺構よりナイフ形石器を採取したことから、周辺地域においても同時期の遺跡が所在する可能性が示唆されている。

(2) 繩文時代

本遺跡において無住の期間が継続しているが、竹道北、南地区において各々縄文土器と礫石錘が出土したことから、人間活動が完全に停滞している状態は想定できない。ただし同時代の遺構

を検出することはできなかった。

したがって弥生時代以前の本遺跡地については利用頻度が極めて低いことが判る。

(3) 弥生時代

本遺跡の主体を構成する時期に相当しており、前期後半頃の平塚地区において初めて集落の萌芽が認められる。とりわけ竪穴住居跡2基に対して、夥しい数の土坑が穿たれる点が特徴であるが、その性格を判然とすることできたものは少數に留まっている。なお、当時の集落は小規模であり、居住遺構の複合体としての集落が形成されるまでには、同時代終末期を待たなければならぬ。

ところで、同時期に平塚地区をはじめ竹道北、南地区において小規模な埋積谷の埋没が開始している状態が認められており、遺跡地が平坦地化する過程が判る。その結果、居住することができる土地の面積が拡大したことが事実である。

ところが上記の集落の廃絶後は、終末期の集落が営まれるまでの期間に顕著な人間活動の痕跡を残していない。わずかに大型土坑（S X 328）が後期前半頃に構築されたことが判るに留まる。したがって前期の集落の廃絶の契機と継続しない要因を判然とする手掛りは得られていない。

弥生時代終末期の集落は、前期の集落とは隔絶した位置に営まれていたことが判る。しかも前期のそれが微高地形の縁辺部を占地するのに対して、終末期からはより高位置に移動していることが瞭然である。さらに集落規模が圧倒的に拡大するとともに、微高地全体を居住地化するに至っている。

なお、集落を形成する竪穴住居跡は総数29基が検出されているが、これらの先後関係については、第6号竪穴住居跡が最も先行して構築されたことが判り、他は古墳時代初期に至るまで機能を継続したことが推測できるのである。

また居住域と隔絶した位置に壺形土器を転用した土器棺墓2基が構築されている。

(4) 古墳時代

竹道北・南地区を中心としていわゆる初期須恵器と呼称される5世紀頃に製作された須恵器が散布している。しかしながら、当時の明確な遺構を見出すには至っておらず、しかもこれらの資料の多くが河道跡および溝状遺構内に埋没していた事実より、高位置から水流により運搬されたことが考えられる。

古墳時代前、中期頃の本遺跡地は再び無住の地と化している。

さて古墳時代後期（6世紀後半頃）の平塚地区において特殊な遺構が営まれている。それは第1、2号溝状遺構である。本文中に記述したとおり、同遺構については堀様の防御施設の性格を与えることが可能であることから、コ字形に区画された内部に特殊な施設が存在していたことが推測できるが、併存していた遺構を検出することはできなかった。

本遺構の廃絶後、奈良時代から平安時代中葉頃に至るまでの期間の土地利用の実態を知ること

是不可能であり、全くの空白時期と言える。

(5) 平安時代

竹道北地区に掘立柱建物による集落が出現しており、建物跡についてはその方向性により3時期に大別することが可能であると考えている。さらに香門、山の前北・南地区において検出された掘立柱建物跡についてもほぼ同時期に構築されたことが想定できるのではなかろうか（ただし第18号掘立柱建物跡を除く）。

鎌倉時代から江戸時代前期に至る期間について、考古学的研究方法を用いるならば、やはり空白時期と考えざるを得ない。

(6) 江戸時代

18世紀に平塚地区の一部が民家の敷地として利用されている。しかも近代に作成された地籍図にこの建物を認めることができることから、江戸時代中期以降近代に至るまでの期間は民家が存在していたことが判る。したがって本調査区が完全に耕地と化したのは明治時代以降現代に至るまでの約1世紀中のことであったことが追跡できる。

同時代の様相を他の調査区において知ることは極めて難しいが、竹道北地区において土坑墓4基、山の前北地区において掘立柱建物跡1基と土坑2基を検出している。

(7) 空白時期の問題

集落の変遷を概観することにより、特に奈良時代以降の本遺跡に資料が遺存していない長い空白時期が存在することが判明する。無論、これは考古資料のみを手掛りにしているために生じる問題点であり、文献資料によれば、この空白を埋めることができることは十分考えられよう。とりわけ本調査が旧刈田郡の条里遺構の調査を第一の目的としていた以上、空白時期として簡単に処理することは怠慢であるとの誹りを被ることを覚悟しなければならないであろう。

註

1. 片桐孝浩「埴ノ口遺跡」『香川県埋蔵文化財調査年報 昭和59~62年度』 1988
2. 香川県立観音寺第一高等学校地歴部「母神山古墳群と石の経遺跡」「地歴の窓」第4号 1968
3. 観音寺市市長公室秘書課「横断道関連事業に伴う埋蔵文化財発掘調査」「公報観音寺」 1986
4. 観音寺市市長公室秘書課 1986
5. 岩橋孝「観音寺市村黒遺跡採集の土器」「瀬戸内海歴史民俗資料館だより」第15号 1983
6. 観音寺市市長公室秘書課 1986
7. 石器の分類方法については鈴木道之助氏の意見に従った。鈴木道之助「石器」「縄文文化の研究」第7巻 1983
8. 以前、筆者は弥生時代の壺形土器と鉢形土器の底面に穿孔を有する資料を瓶として認定する見解については賛否両論がある事実について報告したことがある（真鍋昌宏・西岡達哉他「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第六冊 稲木遺跡」1989）。基本的な姿勢は当時と異ならないことから、本稿においても底面に穿孔を有する遺物については単孔式（1個の穿孔）あるいは多孔式（複数の穿孔）の壺形土器と呼称するものとする。
9. 渡辺誠氏により精力的な調査、研究が行われている。渡辺誠『縄文時代の植物食』 1975
10. 例えば石野博信氏は弥生時代中期の近畿地方にみられる炉跡の両端部に2基の小穴を有する竪穴住居跡について、北部九州地方から移住した人々が居住していたことを示唆している。石野博信「移住した人々の住居」「同志社大学考古学シリーズII 考古学と移住・移動」 1985
11. 大山真充他「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報（VII）下川津遺跡・岡宮古墳・聖通寺城跡」 1986
12. 埋葬遺構より出土する不完全な人工遺物については、埋納時において意図的に破壊されたことが考えられる。
13. 薦田耕作「乾遺跡」「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第一冊」 1987
14. 薦田耕作「上一坊遺跡」「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第一冊」 1987
15. 渡部明夫「永井遺跡」「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告 第九冊」 1990 に掲載される予定である。
16. 渡部明夫・真鍋昌宏「高松城東ノ丸跡発掘調査報告書」 1987
17. 真鍋昌宏他「四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告昭和63年度」 1989
18. 観音寺市『観音寺市誌』通史編 1985 P315
19. 日野尚志「讃岐国刈田郡における官道（南海道）と条里・郷との関連について」「東北地理」第28巻2号 1976
20. 京極家編纂『西讃府志』（『復刻讃岐叢書 増補西讃府志』 1973 藤田書店） P523~525

21. 註19に同じ
22. 藤澤良祐「本業焼の研究(1)」『瀬戸市歴史民俗資料館研究紀要VI』 1987 p209~211によれば、腰錠の第4型式から第5型式に相当すると考えられ、時期は18世紀末から19世紀初頭頃に比定されている。また、仲野泰裕「浅間山の大噴火(天明三年)に伴う泥流層下の瀬戸美濃陶器』『愛知県陶磁資料館研究紀要5』 1986 p60~62によれば、B-2またはB-3群に相当すると考えられ、時期もほぼ上記藤澤編年と同じ頃と考えられる。
23. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯一肥前地区古窯跡調査報告書第3集一』 1986 p27~31によれば、青磁染付B類は18世紀第IV四半期から19世紀初頭頃に比定されている。
24. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯一肥前地区古窯跡調査報告書第3集一』 1986 p27~31によれば、青磁染付A-3類も18世紀第IV四半期から19世紀初頭頃に比定されている。
25. 大橋康二『南川原窯ノ辻窯・広瀬向窯一肥前地区古窯跡調査報告書第3集一』 1986 p27~31によれば、青磁染付A-1類も18世紀中葉頃から19世紀初頭頃に比定されている。
26. 註23に同じ
27. 註23に同じ
28. 註22に同じ
29. 註23に同じ
30. 註23に同じ
31. 愛媛県の砥部焼については、現在は磁器を中心に焼成しているものの、その前身は陶器窯であったことが知られている。現在、砥部町において操業している梅山窯付属の資料館において、展示されている陶器の中に、同様の技法を持つものがならべられている。
17世紀後半~18世紀にかけて焼かれた北川毛窯の製品の中に377に酷似した陶器片が紹介されていた。今後、磁器だけでなく陶器についても出土品の産地推定のうえで砥部焼に関心を払っていくことが必要となつてこよう。
32. 愛媛県埋蔵文化財調査センター『愛媛県総合運動公園(動物園)整備計画埋蔵文化財調査報告書(II)』 1984 p14・19に見られる第9図大下田1号窯跡ステ場の遺物2の9の遺物は、本遺跡包含層出土の404遺物に酷似している。
33. 広島県埋蔵文化財調査センター『數名番所跡伝承地発掘調査報告書』 1987 p3・12・15~18によれば、広島県鞆町において幕末から昭和13年にかけて、柄焼と呼ばれる備前焼系の陶器が焼かれていたことが知られている。
34. 高槻城跡遺跡調査会『高槻城三ノ丸跡発掘調査概要報告』 1987 p13・40によれば、拂塚豪都市集落において、備前焼系の陶器が焼かれていたことが記されている。
35. 徳島県の大谷焼については、正式な発掘調査が行われていないものの、地元窯元が所有している遺物の中には、大谷焼初期の磁器片などとともに大谷焼陶器に押されていたと考えられる

「本備前」の刻印もあり、大谷焼陶器を当時のブランドであった備前焼に似せて焼き、販売していたことが知られている。(資料所有者並びに教示者は、大谷焼元山窯の田村功氏である。記して感謝する。)

36. 本報告において、紹介する公正図の使用にあたっては観音寺市教育委員会中野幸四郎氏・小山利幸氏並びに同市矢野道夫氏、同市税務課固定資産係に御教示・御尽力頂いた。記して感謝する。
37. 「地理」Vol.25 No.4 古今書院 1980においては、地籍図についての特集が組まれ地理学においても高い関心をはらわれるようになってきており、明治初年の地租改正などの近代史の成果とともに、これら明治年間につくられた地籍図の利用についても、近世考古学を対象にしていく場合不可欠の要素となってこよう。
38. 吉田靖編『日本の美術・No.60 民家』1971 P31~34によれば、この山田家住宅は18世紀後半以降のものと考えられ、にがりを柱穴内に入れることによって腐食を防いだとされている。
39. 宮澤智士「近世民家の地域的特色」「講座日本技術の社会史7 建築」1983 P164~169において、神奈川県伊藤家住宅の他、秋田県鈴木家住宅・岩手県旧後藤家住宅・京都府渡辺家住宅などの近世民家の前身建物について報告がされている。

また、奈良国立文化財研究所『日本における近世民家(農家)の系統的発展』1985 P111において、伊藤家住宅の前身建物について取り扱われている。

40. 田中文男「新田村における付合い慣行の形成過程——下総国布縁新田の場合——」『普請研究』第三号 1983 P28~30
41. 田中文男「新田村における付合い慣行の形成過程——下総国布縁新田の場合——」『普請研究』第三号 1983 P31~32

なお、近世民家の研究成果や『普請研究』の存在・資料の入手にあたっては、財団法人四国民家博物館の桂真幸氏に大変お世話になった。記して感謝する。

42. 森正康氏(松山東雲短期大学)の御教示による。記して感謝する。
43. 近世村落研究会編『近世村落自治史料集第二輯土佐国地方史料』1956 P579~582
44. 本稿脱稿後、「香川県史4 近世II」において、川野正雄氏が同書「衣服・住居よりみた農民の生活」において、香川県における近世民家の様子を史料を用いて紹介している。以下、参考のため抜粋することにする。

P396 「御巡見一見記録」(鎌田共済会郷土資料館)

天保9年(1826)	東讃・長尾西村	掘立て式	242戸/410戸中
	鶴部村	掘立て式	209戸/317戸中
	西讃・宇多津村	掘立て式	44戸/866戸中
	西讃・岡田西村	掘立て式	206戸/261戸中

慶応2年(1866) 鞍足郡下法軍寺村 挖立て式 46戸／175戸中

また、同氏は、同書P397～398においては、江戸時代前期の検地帳から、当時の農山漁村の屋敷地の広さについて、小豆島(天領)の例を示している。興味深い史料である。参考にされたい。

45. 太田博太郎「民家調査の現状」『現代のエスプリNo.221—民家・日本人の住居の知恵—』 1985
P78
46. 註14と同じ P179・180
47. 石野博信「掘立柱建物の調査」『古代学研究』 92 1980
48. 東京都東大和市「旧宮鍋作造住宅解体調査報告書」 1987
49. 玉井哲雄「近世における住居と社会」『日本の社会史 第8巻—生活感覚と社会—』 1987
P130～133
50. 註27と同じ
51. 註27と同じ
52. 宮澤智士「近世民家の地域的特色」『講座日本技術の社会史7 建築』 1983 P156において、宮澤は「これら(近世民家)は、柱筋が一直線に通ることもまれで、正確な直角もでておらず、平面はひどく歪んでいる」と指摘している。今後、考古学的調査によって検出した柱穴群をどのように認識して掘立柱建物として完結させていくかが大きな課題となつてこよう。
また、近世掘立柱建物の集積とその評価についても、伊藤博幸『西光田遺跡』(『岩手県水沢市文化財報告書第5集』 1981 や高橋與右衛門「岩手県に於ける中・近世の掘立柱建物—遺跡紹介を中心として—」などで積極的に行われようとしている。ただ、そこにおいてもかなり歪な掘立柱建物を想定しており、全国的な近世掘立柱建物の集積が期待されるところである。
53. 註20と同じ P806
54. 中山城山先生原著『標註国譯 全讀史』(『復刻讀岐叢書 国譯全讀史』 1972 藤田書店)
P498
55. 斎屋平七『筑紫紀行』や十返舎一九『金刀比羅參詣膝栗毛』下巻などに記されている。後者は坂出市錦田共済会郷土資料館に所蔵されており、簡単な風呂甕のイラストが書かれている。
56. 本稿においては、須恵器による時期決定は總て中村浩氏の陶邑古窯跡群出土遺物の編年観に従った。中村浩「第6章和泉陶邑窯出土遺物の時期編年」「陶邑III」 1978
57. 武藤雄六・小林公明他『曾利—第三、四、五次発掘調査報告書—』 1978
58. 松本敏三『香川県出土の古式須恵器—宮山窯址の須恵器—』『瀬戸内海歴史民俗資料館年報』第7号 1982。同「四国地方」「日本陶磁の源流—須恵器出現の謎を探る—」 1984
59. 渡辺誠『採集対象植物の地域性』『季刊考古学』第1号 1982
60. この点については、既に渡辺誠氏により以下の3点にまとめられている。コメの出現により

堅果類は1. 主食の座をコメに譲った 2. 消滅せず、コメの不足を補う役割を果たすようになった 3. 新しい食品形態を形成した。渡辺誠「堅果類」『季刊考古学』第14号 1986

61. 真鍋・西岡他 1989

62. 笹川龍一「彼ノ宗遺跡—弘田川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告—」 1985

63. 真鍋・西岡他 1989

第12表 積穴住居跡伴出遺物一覧表(1)

擇因 番号	成形 およ び調整の痕跡										粘土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部	口縁部		張 部		胴 部		底 部								
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面							
第12表 1	横ナデ。	横ナデ。	斜面文。 横・斜ナ デ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SB301				
2	摩耗。	横ナデ。	摩耗。							石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。					
3	摩耗。 斜面文。 横・斜ナ デ。	摩耗。	継ハケ目。							砂粒を含 とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。					
4	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜面ナデ (指頭痕)。	右上りタ キ目。			石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。					
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			継・横・斜 面ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。					
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。							少量の長 石英 鐵母。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
8							継・斜ハケ 目。	摩耗。		砂粒を含 とんど含 まない。	底部完存。					
9							斜ハケ目。	摩耗。		長石 石英	底部完存。					
10							摩耗。	斜ハケ目。		長石 石英	底部完存。					
11							斜ヘラ削 り。	右上りタ キ目後 削。		少量の長 石英 少量の石 英。	底部完存。					
12							摩耗。	右上りタ キ目後 削。		長石 石英	底部完存。					
13						斜ナデ。 指頭痕。	摩耗。 右上りタ キ目後 削。	斜ナデ(指 頭痕)。	摩耗。	長石 石英	底部完存。					
14							斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。					
15	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	右上り・横 タキ目 後削ナデ。			斜ナデ(摩 耗)。	右上り・横 タキ目 後削ナデ (算定)。	斜ナデ(摩 耗)。	右上り・横 タキ目 後削ナデ (算定)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。					
16	摩耗。	斜ハケ目。	右・左上り タキ目 後削・横ヘ ラ削り。			斜ハケ目 後削ヘラ 削り。	右・左上り タキ目 後削・横ヘ ラ削り。	斜ヘラ削 り。	右・左上り タキ目 後削・横ヘ ラ削り。	少量の大 理の石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
17	横ナデ。	斜ハケ目。	継ハケ目。			斜ハケ目。 継・斜ナ デ。	斜・横・斜 ナデ。	継・斜ナ デ。	斜ナデ(摩 耗)。	長石 石英片 長英繊片	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
18	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。			横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	斜ナデ。	斜・斜ナ デ。	長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。					
20	横ナデ。	斜ナデ(指 頭痕)。	斜ナデ(指 頭痕)。					斜ナデ(指 頭痕)。	斜ナデ(指 頭痕)。	少量の長 石英 少量の石 英。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。					
21	摩耗。	斜ナデ。	横・斜ナ デ。					斜ナデ。	斜・斜ナ デ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。					

辨認番号	成形および調整の痕跡										出土位置
	口縁端部		頸部		胴部		底部		出土位置		
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第1059 22	横ナデ。	横・側ナデ。	斜板ナデ。					ナデ。	指頭痕。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。
								横・斜ハケ 目。	横タキ 目(摩耗)。	少量の長 石英 少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。
第1060 1	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目 後横ナデ。	摩耗。	右上りタ キ目削 削ハケ目。	斜ヘラ削 削り。	右上りタ キ目。			少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。
								斜・紙ヘラ 削り。	斜ヘラ削 削り。	砂粒を含 まない。	底部完存。
								摩耗。	摩耗。	砂粒を含 まない。	底部完存。
								摩耗。	摩耗。	多量の長 石英 多量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。
								横・斜板ナ デ。	斜ハケ目。	少量の長 石英 少量の石 英	底部完存。
6	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。	斜ナデ。		斜ハケ目。	右上りタ キ目。	廣次ハ ケ目。	右上りタ キ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ
7	横ナデ。	横・斜ハケ 目。	縦・横・斜 ナデ。		斜ハケ目。	縦・横・斜 ナデ。	斜ハケ目。	縦・横・斜 ナデ。	長石 石英	摩耗完存。	タ
8	横ナデ。	横ナデ。	横タキ 目。		斜ハケ目。	横・右・左 上りタタ キ目。	斜ハケ目。	横タキ 目。	長石 石英	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	タ
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜指ナデ。	横ナデ。	右上りタ キ目。	砂粒を含 まず消滅。	完存。	タ
10	横ナデ。	縦・横・斜 ナデ。	横ナデ。		縦・横・斜 ナデ。	縦・横・斜 ナデ。	縦・横・斜 ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ	
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	斜指ナデ。	横ナデ。	右上りタ キ目。	砂粒を含 まず消滅。	完存。	タ
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横・斜ナ デ。	左上りタ キ目。斜 ハケ目。			石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ
14								摩耗。	摩耗。 右・左上り タキ目 後横ナデ。	長石 石英	底部完存。
15								摩耗。	摩耗。	砂粒を含 まない。	底部完存。
第1060 2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目 後斜ヘラ 削り。	左上りタ キ目後 斜ナデ。斜 ヘラ削り。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB305
	摩耗。	凹縫3条。	摩耗。	横ナデ。					砂粒を含 まない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB306
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						大粒の長 石英	口縁部 $\frac{2}{13}$ 存。	タ

鉢図 番号	成形および調整の痕跡								鉢土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		側部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
頭部図 3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			横指ナデ。	縦・横ハケ目。 後横ナデ。		少量の長 石と少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB306			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ 目。				石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ハケ目。		石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。 斜ハケ目。	縦・斜ハケ 目。 斜板ナデ。 斜ハケ目。	縦・斜ハケ 目。	砂粒をほ とんと含 まない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
9						斜板ナデ。 後横ナデ。	縦ヘラミ ガタ (摩 耗)。	斜ナデ。	縦ヘラミ ガタ。	長石 石英	底部保存 完存。	〃		
10								摩耗。	縦・斜ハケ 目。	長石 石英	底部 $\frac{4}{5}$ 存。	〃		
11								斜ナデ。	斜板ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
12								摩耗。	摩耗。	少量の長 石と少量の石 英	底部完存。	〃		
13	摩耗。	摩耗。	横・横・斜 ナデ (摩 耗)。			斜板ナデ。	縦・横・斜 ナデ (摩 耗)。	斜板ナデ。	摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
頭部図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 半秋竹管 文・竹管文。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB307		
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
3	横ナデ。	横ナデ。				斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃		
4	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後斜ナデ。	斜ハケ目 後斜ナデ。	斜ハケ目 後斜ナデ。	斜ヘラミ ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
5	摩耗。	摩耗。						摩耗。	右上りタ タキ目。 摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃		
6	摩耗。	斜ハケ目。	摩耗。			斜ハケ目。	摩耗。	縦・斜ハケ 目。	斜ヘラミ ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{5}{8}$ 存。	〃		
頭部図 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。					長石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB308		
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラミ ナデ (指頭 風)。	右上りタ タキ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		

地図番号	成形および調整の痕跡										胎土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置
	口縁部		頭部		胴部		底部						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面					
第21図 4					摩耗。 斜ハケ目。	右・左上り タキ目。	斜ハケ目。		横・右・左 上りタキ 目。	長石 大粒の石 英	底部完存。	SB308	
5					斜指ナデ (指頭痕)。 摩耗。	左上りタ キ目(摩 耗)。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	タ	
6							摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長 石・多量の石 英	底部完存。	タ	
7							延・横ナデ (指頭痕)。	摩耗。		長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ	
8					斜ハケ目 後縫・横、 斜ナデ。	右上りタ キ目。	斜ハケ目 後縫・横、 斜ナデ。	横タキ 目。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ		
9	横ナデ。	斜ハケ目 後縫・横 ナデ。	左上りタ キ目(後 縫ナデ)。		斜ハケ目 後縫・横 ナデ。	右上りタ キ目(後 縫ナデ)。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ	
10	横ナデ。	横・斜ハケ 目後縫・横 ナデ。	横・斜ナ デ。		横・斜ハケ 目後縫・横 ナデ。	斜ナデ。	横・斜ハケ 目後縫・横 ナデ。	左上りタ キ目(後 縫ナデ)。	少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ		
11	横ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。		斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	横・左 上りタキ 目(摩 耗ナデ)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ		
12	摩耗。	斜ナデ。 指頭痕。	斜ナデ。				斜ナデ。 指頭痕。	斜ナデ。		少量の長 石・少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ	
13	横ナデ。	横・斜ナ デ。	斜板ナデ。				斜ハケ目 後縫・斜指 ナデ。	斜板ナデ。 指頭痕。		砂粒をは さんど合 まない。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ	
第22図 20					斜ナデ。右 上りタキ 目(摩 耗)。	指頭痕。 斜ハケ目。	右上りタ キ目(後 縫・斜ハ ケ目)。	横ナデ(後 縫・斜ハ ケ目)。	長石 石英	面部以下 ほぼ完存。	タ		
21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目 後縫・斜 ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目 後縫・横 ナデ。			長石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ		
22	横ナデ。	横ナデ。 横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目 後縫・横 ナデ(指頭 痕)。	横ナデ。 斜ハケ目 後縫・横 ナデ。	横指ナデ。	斜・ヘラ削 り後縫・横 ナデ。	少量の長 石・石英	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	タ		
23	横ナデ。	斜ハケ目。	横・斜ナ デ。				斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{3}{8}$ 存。	タ		
第23図 1					指ねええ (指頭痕)。 斜ハケ目 (摩耗)。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目。	長石 石英	底部完存。	SB309		
2							斜ナデ。	右上りタ キ目(摩 耗)。	少量の長 石・少量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ		
第24図 1	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後縫・横 ナデ。	右上りタ キ目。	摩耗。	右上りタ キ目(後 縫・斜ハ ケ目)。	長石 石英	ほぼ完存。	タ		
2					斜・横・斜 ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。	摩耗。	横タキ 目(後 縫・斜 ナデ)。	少量の長 石・少量の石 英	底部ほぼ 完存。	タ		
3						横ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	タ		
4					摩耗。	斜・斜ナ デ。	摩耗。	斜・斜ナ デ。	長石 石英	底部完存。	タ		

持因 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		張部		崩部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第2回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB310					
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。		タ				
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。 斜板ナデ。	摩耗。 右上りタ クドナ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		タ				
4	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		タ				
5	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。		斜ナデ。	斜ハケ目。	斜ナデ。	斜ヘラミ ガキか斜 板ナデ。	長石 石英	ほぼ完存。						
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	斜ヘラミ ガキか斜 板ナデ。	摩耗。	斜ヘラミ ガキか斜 板ナデ。	長石 石英	ほぼ完存。		タ				
7	横ナデ。 縱指おさ え。	縱指おさ え。	横ナデ。		縱指おさ え。	横ナデ。	縱指おさ え。	横ナデ。	長石 石英	完存。						
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	崩落以下 修理完存。		タ				
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底面完存。		タ				
第2回 1	横ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。				斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。	SB311					
2	横ナデ。	斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。		斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	砂粒を含 まない。	底部完存。		タ				
第2回 2	横ナデ(摩 耗)。	斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。		斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。	斜ハケ目 後斜・斜ヘ ラミガキ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	少部分の長石 少部分の石英 の留出。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB312					
3	摩耗。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。		斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。		タ				
4	横ナデ。	横ナデ。	縱・横・斜 ナデ。		斜板ナデ。	縱・横・斜 ナデ。	斜板ナデ。	縱・横・斜 ナデ。	少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		タ				
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。		タ				
第2回 1	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。						長石 石英	口縁部は 修理完存。	SB313					
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縱ナデ。	縱ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。		タ				
3	横ナデ。 凹凸3条。	横ナデ。	横ナデ。		縱・斜ナ デ。	左上ウタ クドナ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。		タ				
4	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横ナデ。		縱・斜ナ デ。	左上ウタ クドナ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		タ				
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			多量の長 石英の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。		タ				

博認 番号	成形および調整の痕跡								胎土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第2555 6	摩耗。	横・横ナ グ。	横タキ 目後横ナ グ。			縦・横・斜 ナグ。	横・右上り タキ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SB313		
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃		
8	摩耗。	横ナグ。 摩耗。	摩耗。		摩耗。	横ナグ。				長石細片	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
9							摩耗。	右上りタ キ目。	長石 石英	底部完存。	〃			
10	横ナグ。	横・斜ヘラ ミガキ。	横ハケ目 後横ナグ。			縦ハケ目。 横・斜ヘラ ミガキ。	横ナグ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
11							斜ヘラ形 なり。	斜ナグ。 横ヘケ 目。	長石 石英	底部完存。	〃			
12							斜板ナグ。	斜ナグ。	長石 石英	底部はほ 存。	〃			
13	摩耗。	横ナグ。	斜ハケ目 後斜ナグ。			縦・斜ナ グ。	右・左上り タキ目 (摩耗)。	縦・斜ナ グ。	右・左上り タキ目 (摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
14	横ナグ(摩 耗)。	横ナグ(摩 耗)。	横ナグ(摩 耗)。		摩耗。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃		
15	横ナグ。	斜ナグ。	右上りタ キ目後 斜ナグ。			斜ナグ。	右上りタ キ目後 斜ナグ。	斜ナグ。	横・左・左 上りタキ 目後斜 ナグ。	長石 石英	ほほ完存。	〃		
16	横ナグ。	斜ナグ。	右上りタ キ目後 斜ハケ目。			斜ナグ。	右上りタ キ目。	斜ナグ。	右上りタ キ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃		
17	横ナグ(摩 耗)。	横ナグ(摩 耗)。	横ナグ(摩 耗)。			横・斜ハケ 目。	指おさえ。	ナグ。	底板ナグ。	長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃		
18	横ナグ。	斜ハケ目。	横タキ 目後横ナ グ。			斜ハケ目。	横・右上り タキ目。	斜ハケ目。	横・左上り タキ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃		
19	摩耗。	横・斜ハケ 目。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
20	横ナグ。	横ナグ。	横ナグ。			縦・横ナ グ。	縦・斜ハ ケ目。	縦・横ナ グ。	縦・斜ハ ケ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃		
21	横ナグ。	横ナグ。	横ナグ。					横・斜ナ グ。	斜ナグ(指 記記)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
22	横ナグ。	横ナグ。	右上りタ キ目後 横ナグ。			横ナグ。	右上りタ キ目後横ナ グ。			砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
23						斜板ナグ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃		
第2555 1	横ナグ。	横ナグ。	横ナグ。			斜・斜ヘラ ナグ。	斜・斜ヘ ケ目後斜 ナグ。	斜・斜ヘ ケ目後斜 ナグ。	斜・斜ヘ ケ目後斜 ナグ。	斜・斜ヘラ ナグ。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB314		
2	摩耗。	横ハケ目 後横ナグ。	斜ヘラ形 なり。			縦・斜ハ ケ目後斜 ナグ。	斜ヘラ形 なり。	斜ヘラ形 なり。	斜ヘラ形 なり。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		張部		崩部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第2回 3	摩耗。	斜ハケ目 後斜ナデ。	右上りタ キ日後 斜ナデ。			斜ハケ目 後斜ナデ。	右上りタ キ日後 斜ナデ。	板原体の 風跡。	右上りタ キ日後 斜ナデ。	石英 少量の留 母細片	ほぼ完存。 SB314	
4	摩耗。	斜ナデ。	斜ナデ(指 痕底)。					斜ナデ。	斜ナデ(指 痕底)。	長石 石英	底部完存。 △	
第3回 1	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横タタキ 目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。 SB315	
2	横ナデ。	斜・斜ナ デ。	斜ハケ目。			旋・斜ナ デ。	旋・斜ヘラ 削り。	旋・斜ナ デ。	旋・斜ヘラ 削り。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 △	
第4回 1	摩耗。	斜・横ナ デ。	横タタキ 日後横ナ デ。			旋・横・斜 ナデ。	横・右上り タタキ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。 SB316	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り。	斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 △	
3						斜ヘラ削 り後斜ハ ケ目。	斜削ナデ (摩耗)。	斜ヘラ削 り。	斜削ナデ (摩耗)。	長石 石英	底部完存。 △	
4							旋・斜板ナ デ。	旋・斜ナ デ。		長石 石英	底部完存。 △	
5	横ナデ(摩 耗)。	横指おさ え(指 痕底)。	横指ナデ (指痕底)。					横指おさ え(指 痕底)。	横指ナデ (指痕底)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。 △	
6	摩耗。	斜板ナデ。	斜板ナデ。					斜板ナデ。	斜板ナデ 後横ナデ。	少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 △	
7	横ナデ。	斜・横ハケ 目後斜ナ デ。	旋・横・斜 ヘラ削り。							少量の長 石	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。 △	
第5回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英 少量の留 母	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 SB317	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 △	
3	摩耗。	斜板ナデ。	右上りタ キ日後 斜・斜・斜 ナデ。			斜板ナデ。	右上りタ キ日後 斜・斜・斜 ナデ。	斜板ナデ。	右上りタ キ日後 斜・斜・斜 ナデ。	長石 石英	ほぼ完存。 △	
4	横ナデ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナデ。			斜ハケ目 後斜板ナ デ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナデ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 △	
5	摩耗。	指痕底。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	ほぼ完存。 △	
6	摩耗。	摩耗。	右上りタ キ日後 斜・横ナ デ。			摩耗。	右上りタ キ日後 斜・横ナ デ。			長石微細 片 石英微細 片	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。 △	
7	横ナデ。	横ナデ。	右上りタ キ日後 横ナデ。			横ナデ。	右上りタ キ目。			長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。 △	
8								旋ハケ目。 斜板ナデ。	右上り・横 タタキ目。	石英	底部完存。 △	
9								斜板ナデ。	右上りタ キ目。	長石微細 片 石英微細 片	底部完存。 △	

井筒番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	道存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		尾部		底盤							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第10井筒	横ナデ。	縦・斜・ハケ 日後削・斜 ナデ。	横・斜ナデ (摩耗)。		縦・斜・ハケ 日後削ナ デ(摩耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。	縦・斜・ハケ 日後削ナ デ(摩耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。	少量の長 石少量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB317			
11	横ナデ。	縦・横・斜 ナデ。	縦・斜・ナ デ。	横・斜 ナデ。	縦・横・斜 ナデ。	横・斜 ナデ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	長石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
12	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。						長石 石英。	口縁部は 既存。	〃			
第14井筒	横ナデ。	横ナデ。 横ハケ目。	横ナデ。 横ハケ目。	横・斜・ハ ケ目。	石ハケ目。 後削ナデ。	斜ヘラ削 り。	新ハケ目。 斜ヘラ削 り。	新ハケ目。 (摩耗)。	右上り・横 タタキ日後 削ハケ目。	長石	口縁部完 存。	SB318		
2	横ナデ。	横・ハケ目。	縦・ハケ目。 (摩耗)。	横・ハケ目。 日後削ナデ。					長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
3	横ナデ。	横ナデ。 沈線5条	横ナデ。	横指ナデ。	石ハケ目。 日後横ナデ。				砂粒をは とんど含 まない。	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
4	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。						長石 石英。	口縁部小 片。	〃			
5	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 横・斜タ タキ目。	横・斜ナ デ。			長石 石英。	口縁部は 既存。	〃			
6	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。			長石 石英。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃			
7	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		斜ヘラ削 り後横ヘ ラ削り。	摩耗。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
8		摩耗。	摩耗。		斜ヘラ削 り。	摩耗。			長石 多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
9	横ナデ。	摩耗。							長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	〃			
10	横ナデ。	横ナデ。			縦ナデ。	縦・横・斜 ハケ目後 横ナデ。	縦ナデ。	摩耗。	少量の長 石少量の石 英。	ほぼ既存。	〃			
11								摩耗。	摩耗。斜 ヘラ削 り。	多量の長 石多量の石 英。	底部完存。	〃		
12								指頭痕。	縦ハケ目。 横ナデ。	砂粒をは とどまず合 金。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
15	横ナデ。	横・ハケ目。	横ナデ。		斜・ハケ目。 日後削ヘ リガキ。	石・左上り タタキ日後 削ヘラ削 り。	斜・ハケ目。 日後削ヘ リガキ。	右・左上り タタキ日後 削ヘラ削 り。	少量の長 石少量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
16	横ナデ。	斜・ハケ目。	横・斜・斜 板ナデ。		斜・ハケ目。	縦・斜板ナ デ。	縦・斜板ナ デ。	縦・斜板ナ デ。	少量の長 石細片。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
17	摩耗。	斜・ハケ 目後削ナ デ。	縦・斜・ハ ケ目後削ナ デ。		斜・ハケ 目後削ナ デ。	斜・ハケ 目後削ナ デ。	斜・ハケ 目後削ナ デ。	斜・ハケ 目後削ナ デ。	砂粒をは とどまず精 磨。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		磨状・ハ ケ目後削 ナデ。	右上りタ タキ目後 削ナデ。	磨状・ハ ケ目後削 ナデ。	右上りタ タキ目后 削ナデ。	少量の長 石細片少量の石 英細片。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
19	横ナデ。	横ナデ。	横・斜板ナ デ。		斜・ハケ目。 日後削ナ デ。	横・斜板ナ デ。	横・斜板ナ デ。	右上りタ タキ目。斜 板ナデ。指 頭痕。	長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			

探査番号	成形および調整の痕跡								地盤中の造出物	造出状態	出土位置		
	ロータリーホイール	口縁部		腹面		胴部		底面					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第3650 20	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。斜ナデ。		唐状ハケ目。	斜板ナデ。	長石 石英 片	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB318	
21	横ナデ(摩 耗)。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	横ハケ目 後斜板ナ デ。			斜ハケ目 後斜板ナ デ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	斜板ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
第3650 22	摩耗。	横・斜板ナ デ(摩耗)。 斜ハケ目。	横・斜板ナ デ(摩耗)。			横・斜板ナ デ(摩耗)。	横・斜板ナ デ(摩耗)。	横・斜板ナ デ(摩耗)。	斜板ナデ。	長石 石英	柱状完存。	〃	
23	横ナデ。	斜板ナデ。	斜板ナデ。			斜板ナデ。	斜板ナデ (指頭痕)。	斜板ナデ。	斜板ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
24	横ナデ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	横ナデ。			斜ハケ目 後斜板ナ デ。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ナ デ。	長石 多晶の石 英	口縁部 $\frac{4}{5}$ 存。	〃	
25	横ナデ(摩 耗)。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	横ナデ(摩 耗)。			斜ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。 指頭痕。	斜板ナデ (摩耗)。 指頭痕。	斜ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。 指頭痕。	斜板ナデ (摩耗)。 指頭痕。	長石 石英	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	〃	
26	横ナデ。	横ナデ。 斜ハケ目。	横・斜板ナ デ(摩耗)。			横・斜板ナ デ(摩耗)。 指頭痕。	横・斜板ナ デ(摩耗)。 指頭痕。	横・斜板ナ デ。	斜板ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	〃	
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ後 張ヘラミ ガキ。			横ナデ後 張ヘラミ ガキ。	横・斜ハケ 目。	横ナデ後 張ヘラミ ガキ。	横・斜ハケ 目後斜板ナ デ(摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃	
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜板ナデ。	横・左上り タタキ目	斜板ナデ。	横・左上り タタキ目。	少丘の長 石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
29		摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多丘の長 石 多晶の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
30	摩耗。	斜ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。				斜ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ハケ 目。	横ハケ目。	横ハケ目。	横・斜ナ デ。	長石 石英	ほぼ完存。	〃	
32	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目。	横・斜ナ デ。	斜ハケ目。	横・斜ナ デ。	砂粒を含 まない。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横指ナデ (指頭痕)。	横・斜指ナ デ(指頭痕)。	横・斜指ナ デ(指頭痕)。	横・斜指ナ デ(指頭痕)。	長石	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
34	横ナデ。	横・斜ハケ 目。	横ナデ。			横ナデ。	横・斜ナ デ。	横ナデ。	横・斜ナ デ。	砂粒を含 まない。	ほぼ完存。	〃	
35	横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。			横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。	横指ナデ。	少丘の長 石 多晶の石 英	ほぼ完存。	〃	
36						横・斜ナ デ。	斜ハケ目 後斜板ナ デ。	横・斜ナ デ。	斜ヘラミ ガキ。	砂粒を含 まない。	羽部以下 完存。	〃	
40	横ナデ。	横・斜ナ デ指頭痕。	横・斜ナ デ指頭痕。					ナデ。	斜板ナ デ。	少丘の長 石 多晶の石 英	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	〃	
41	横ナデ。	横ナデ。 指頭痕。	横斜ナデ。			横ナデ。 指頭痕。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	〃	
42		斜ナデ。 指頭痕。	横斜ナデ。					ナデ(摩 耗)。	指頭痕。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	

押出 番号	成形および調整の痕跡										地土中の 造岩部物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		肩部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第3回 43	横ナデ。	横・斜ナ デ。指頭痕。					横・斜ナ デ。指頭痕。		横・斜ナ デ。指頭痕。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB318				
44	横ナデ(摩 耗)。	前ナデ(摩 耗)。	横・斜ナ デ(摩耗)。				前ナデ(摩 耗)。	横・斜ナ デ(摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。						
第3回 1	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 摩耗。							長石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	SB320				
2	横ナデ。 縦・横 磨歴。	横・縦ナ デ。	縦・横ナ デ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
3	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横ナデ。			縱指ナデ。 指頭痕。	縦・斜ハケ 目後斜ナ デ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
4	横ナデ。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
5	摩耗。	横・斜ハケ 目。	横ナデ。			斜ヘラ削 り後横ナ デ。	横・右・左 上・下・中 斜・斜ハ ケ目(摩耗)。	斜ヘラ削 り。	横・右上 タキ目 (摩耗)。	長石 石英	ほぼ完存。					
6	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	左上・右タ キ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
7		摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削 り。	横・右上ウ タタキ目 後鉄錆・斜ナ デ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
8	横ナデ。	縦・横ナ デ。	横ナデ。			横・斜ナ デ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
9	横ナデ。	横・斜板ナ デ。	横・右上ウ タタキ目 後横ナデ。			横・斜板ナ デ。	横・右上ウ タタキ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
10							縦・斜ナデ (摩耗)。	右上・右タ キ目。	長石 石英	底部完存。						
11							横ナデ。 纵板ナデ。	指おさえ 後横・斜ナ デ。	少量の石 英	底部完存。						
12							前ナデ(摩 耗)。	横・左上 タタキ目 後斜ナデ。	長石 石英	底部完存。						
13							横・横ナデ (指頭痕)。	横・斜ナデ (摩耗)。	長石 石英	底部完存。						
15	横ナデ。	斜ハケ目。	横・斜板ナ デ。			斜ハケ目。	横・斜板ナ デ。	斜ハケ目。	横・斜板ナ デ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
16	横ナデ。	斜ナデ(摩 耗)。	前ナデ(摩 耗)。			前ナデ(摩 耗)。	前ナデ(摩 耗)。	前ナデ(摩 耗)。	前ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。					
17	摩耗。	斜・ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。	斜・斜板ナ デ(摩耗)。			斜・ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。	斜・斜板ナ デ(摩耗)。	斜・ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。	斜・ハケ目 後斜板ナ デ(摩耗)。	少量の長 石・少島の石 英	底部完存。					
18	横ナデ。	斜・ハケ目 (原体 2 横・斜ナ デ)。	斜・斜 ナデ(指 頭痕)。			斜・ハケ目 後斜ナデ。	縦・横ヘラ 削り。	斜・ハケ目 後斜ナデ。	縦・ヘラ削 り。	長石	ほぼ完存。					
19	横ナデ。	斜ナデ(指 頭痕)。	斜・横・斜 ナデ(指頭 痕)。					斜ナデ(指 頭痕)。	横・斜・斜 ナデ(指頭 痕)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					

探査 番号	成形 および 調整 の 順序								出土中の 造形部物	造形状態	出土位置		
	口縁端部	口 縁 部		脇 部		胸 部		底 部					
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第37区 20		側板ナゲ。横ナゲ。				斜板ナゲ。	斜+横板ナ ゲ。	斜板ナゲ。	斜+横板ナ ゲ。	長石 石英	底部完存。 SB320		
21	横ナゲ。	側板ナゲ。横ナゲ。				斜板ナゲ(指頭底)。	斜ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 〃		
22	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。			斜ナゲ(摩 耗)。	斜ナゲ(摩 耗)。	斜ナゲ(摩 耗)。	斜ナゲ(摩 耗)。	石英細片 磨呂細片	底部完存。 〃		
23	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			斜+上り タキ日後 斜板ナ ゲ。	右・左上 タキ日後 斜板ナ ゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 〃		
第38区 1								前ヘラ削 り。	前ヘラ目	長石 石英	底部完存。 SB321		
2								前ヘラ削 り後斜板ナ ゲ。指頭底。	前ヘラ目 後斜板ナ ゲ。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。 〃		
第39区 1	横ナゲ。	摩耗。	横ナゲ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 SB323		
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 〃		
3	摩耗。	横ナゲ(摩 耗)。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部完 存。 〃		
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多量の長 石と少 量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 〃		
9	横ナゲ。	斜板ナゲ。	斜板ナゲ。			斜板ナゲ。	斜板ナゲ。	斜板ナゲ。	斜板ナゲ。 横ヘラ削 り。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 〃		
第40区 1	横ナゲ(摩 耗)。	横・横ナゲ (摩耗)。	横・横ナゲ (摩耗)。			横・横ナゲ (摩耗)。	横・横ナゲ (摩耗)。	横・横ナゲ (摩耗)。	横・横ナゲ (摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 上位土坑 状造築 SB323		
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	斜板ナゲ。	摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 〃		
第41区 1	凹縫 1 条。	前ハケ目。	左上りタ キ日後 斜ハケ目。			前ヘラ削 り。	左上りタ キ日後 斜ハケ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。 SB324		
2	横ナゲ。	斜ハケ目。	右上りタ キ日後 斜ナゲ。			斜ハケ目。	右上りタ キ日後 斜ナゲ。	斜ナゲ。	右上りタ キ日後 斜ナゲ。	長石 石英	口縁部 $\frac{3}{5}$ 存。 〃		
3								縫・横・斜 ナゲ。	縫・横・斜 ナゲ。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部完存。 〃		
4						縫ナゲ。	横ナゲ。	縫ナゲ。	縫タキ 目。	長石 石英	底部完存。 〃		
第42区 1	横ナゲ。	斜ハケ目 後横ナゲ。	横ナゲ。			斜+縫ナ ゲ。斜ヘラ 削り。	右上りタ キ日後 斜+縫ナ ゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 SB325		
2	横ナゲ。	斜ハケ目。	横ナゲ。			横ナゲ。	斜ナゲ。			砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。 〃		
3	横ナゲ(摩 耗)。	斜ハケ目。	斜+縫ナ ゲ。			斜+縫ナ ゲ。斜ヘラ 削り。	右上りタ キ日後 斜ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{3}{13}$ 存。 〃		

埠頭 番号	成形および調整の痕跡												地土中の 遺岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部		口 縁 部		頸 部		胸 部		底 部									
			内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面								
第25回 4											横板ナゲ。摩耗。	多量の大粒の長石 多量の大粒の石英	底部完存。	SB325				
5											斜ナゲ。斜ナゲ(指頭風)。	長石 石英	底部完存。	〃				
6											斜板ナゲ。斜板ナゲ。	長石 石英	底部完存。	〃				
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。									長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
8	横ナゲ。	横ナゲ。	横・斜ナゲ。								ナゲ。摩耗。	長石 石英	完存。	〃				
9	横ナゲ。	斜ナゲ。	横・斜ナゲ。									少量の長石 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
第25回 1	横ナゲ。 円形浮文。 凹縫2条。	摩耗。	横ナゲ。									大粒の長石 大粒の石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB326				
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。								斜板ナゲ。横・斜ナゲ。	少量の長石 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
3	横ナゲ。	横ナゲ。	横・斜ハケ目 後横ナゲ。								横・斜ヘラ削り。 右上りタキ目。	横ナゲ。 右上りタキ目。	多量の碧母。	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃			
4											摩耗。右上りタキ目。	摩耗。斜ハケ目。	石英。	底部完存。	〃			
5											斜ヘラ削り。	横タキ目 後斜ハケ目。	少量の長石 少量の石英	底部完存。	〃			
第26回 1	横ナゲ。	摩耗。	横ハケ目 後横ナゲ。									石英	瓶部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB327				
2	摩耗。	横ナゲ。	右上りタキ目 後横ナゲ。								斜ナゲ。右上りタキ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
3	横ナゲ。 凹縫1条。	摩耗。	右上りタキ目 後横ナゲ。								斜ヘラ削り(摩耗)。	少量の長石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃				
4											斜・斜ヘラ削り。	横・斜ナゲ(液体の痕跡)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
5											斜ヘラ削り(摩耗)。	横ナゲ(摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
6											斜ヘラ削り。	斜ヘラ削り。	長石 石英	底部完存。	〃			
7											斜ヘラ削り。	斜ヘラ削り(後斜ナゲ)。	大粒の石英	底部完存。	〃			
8											斜指ナゲ (指頭風)。	摩耗。斜ハケ目。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
9											斜・斜ヘラ削り(液体2種)。	右上りタキ目。	少量の石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			

擇回 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造営遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第二回 10							斜へら削り。	左上りタキ目後斜ナダ。	長石 石英	底部完存。	SB327					
11	横ナダ。	横ナダ。 斜ハケ日。 (粗)後斜 ナダ。			盛・斜ナ ダ。	斜ハケ日 (粗)。 斜ハケ日 (細)。	横・斜ナ ダ。	斜次ハケ 日後斜削 状のへら ガキ。	長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	"					
12	横ナダ。	斜ハケ日。	盛・横・斜 ナダ。		斜ハケ日 後放射状 のへら ガキ。	斜次ハケ 日後斜削 状のへら ガキ。	斜・横・斜 ナダ。	斜次ハケ 日後斜削 状のへら ガキ。	少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	"					
13	横ナダ。	横・斜ナ ダ(摩 耗)。			横・斜ナ ダ。	斜ナダ(摩 耗)。	斜ハケ日 (摩 耗)。	斜ナダ(摩 耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
14	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。		横板ナダ 後斜ナダ。	右上りタ キ目後斜 ナダ。	斜板ナダ 後斜ナダ。	右上りタ キ目後斜 ナダ。	少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	"					
第三回 1	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	斜ハケ日。					口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SB328					
2	摩耗。	摩耗。	横ナダ。	摩耗。	斜・横ハケ 日後横ナ ダ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
3	摩耗。	横・斜ナ ダ。	斜へら削 り後斜ナ ダ。		横・斜ナダ (板底体の 痕跡)。	斜へら削 り後斜ナ ダ。	横・斜ナダ (板底体の 痕跡)。	斜へら削 り後斜ナ ダ。	砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	"					
4	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。		横ナダ後 斜ナダ。	斜ハケ日 後横ナダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	"					
第一回 1	摩耗。 剥文。	摩耗。	摩耗。						石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SB329					
2	横ナダ。 波状文。	摩耗。	摩耗。	指おさえ (摩耗)。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
3		横ナダ。	横ナダ。						砂粒を含 まず粘膜。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
4	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。 横・斜タタ キ目。		斜へら削 り。	横・斜タ タキ目。			石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
5		摩耗。	右上り・横 タタキ目 (摩耗)。						少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	"					
6	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。		斜へら削 り。	横ナダ。 横・斜タタ キ目。			石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
7	摩耗。	横ナダ。	横タタキ 目。		斜板ナダ。 斜板ナダ。 (指痕痕 跡)。	横タタキ 目後斜・斜 ハケ日。			長石 金星の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	"					
8	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	"					
9	摩耗。	斜ハケ日。	右上りタ キ目後 斜ハケ日。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	"					
10	横ナダ。	斜ハケ日 後斜ナダ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナダ。			斜ハケ日 後斜ナダ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナダ。	右上り・横 タタキ目 後斜ナダ。	長石 少量の石 英	性状完存。	"					
11							斜ハケ日 後ナダ。	右上りタ キ目後斜 ナダ。	長石 石英	底部完存。	"					

辨認 番号	成形および調整の痕迹								粘土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第12回 12					摩耗。	横・右上り タタキ目。	指ナゲ(指 痕既成)。	側へラ削 り。	長石 石英	底部完存。	SB329			
13					摩耗。	摩耗。	横ナゲ。	側ハケ目。 側へラ削 り。	長石 石英	底部完存。	〃			
第12回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	横ナゲ。 摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SB331			
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。		横ナゲ。	横・斜ナ ゲ。			少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
3	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。		縱・横・斜 ナゲ。	側・縦ハケ 目。 沈線4条。			少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	〃			
4	摩耗。	摩ナゲ。	横ナゲ。						長石細片	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	〃			
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃			
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石	口縁部小 片。	〃			
8					摩耗。	沈線3条。 剥突文。			砂粒をほ とんど含 まない。	調節小片。	〃			
9							摩耗。	摩耗。	長石 大粒の石 英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
10							摩耗。	摩耗。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
11							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
14	摩耗。	摩耗。	縦・斜ハケ 目後横ナ ゲ。						長石	口縁部小 片。	〃			
15	横ナゲ(へ ラ状渦巻)。	横ナゲ。	横ナゲ(へ ラ状渦巻)。	摩耗。					長石 大粒の石 英	口縁部小 片。	〃			

(註)

第12~55表には、壺・瓶・高杯・鉢形土器及び土面部、須恵器のうち普通的な器形のみを一覧化している。

第13表 穴住居跡伴出遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁部	口縁部		杯部		脚部		脚端部	底部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面		内面	外面		
第28回 1		斜ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。						長石細片 石英細片 1/4存。	
第28回 13	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	横ナデ。	縫・横・斜ナデ。 シボリ目。	縫板ナデ。				砂粒を注 とんど含 ます精緻。	
14						斜落。	縫タタキ 目後続・斜 ハケ目。	横ナデ。			砂粒を注 とんど含 ます精緻。	
第28回 5	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。						長石細片 石英細片 1/4存。	
6				摩耗。	横・斜ハケ 目。 シボリ目。	縫・斜ハケ 目。 シボリ目。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 5/6存。	"	
7						縫指おさ え。 横・斜板ナ デ。	斜落。	摩耗。	長石 石英	脚部 1/3存。	"	
8				摩耗。	摩耗。	縫板ナデ。 斜ハケ目。 摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚部 3/5存。	"	
第28回 3	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。						長石 石英	
4						縫ナデ(指 印鑑)。 シボリ目。 摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 1/3存。	SB323 上位部 灰状斑 塊	
5						摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 2/3存。	"	
6				指環痕。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	脚部 4/5存。	"	
7						横・斜ナ デ。	横ナデ。		多量の石 英	脚部 3/4存。	"	
第29回 6						斜ナデ。	縫ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	脚部 1/3存。	SB326	

第14表 壺棺墓伴出遺物一覧表

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁部	口縁部		頭部		脚部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第29回 1						摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。	摩耗。			長石 石英	
第29回 2						摩耗。	右上りタ タキ目後 縫・斜ナ デ。	摩耗。	横ナデ。	底部 1/2存。	ST301	
											ST302	

第15表 掘立柱建物跡伴出遺物一覧表

探査番号	成形および調整の痕跡										粘土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1段落									摩耗。		精緻。	底部 $\frac{1}{7}$ 存。	SB04 No.2			
第2段落									摩耗。	摩擦。	精緻。	底部完存。	SB08 No.2			
2									磨文。	摩擦。	石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	SB10 No.6			
3									摩耗。	摩擦。	長石	底部 $\frac{1}{8}$ 存。	SB10 No.1			
4									摩耗。	横ナデ(摩耗)。	多量の長石 多量の石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB12 No.5			
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	口縁部 $\frac{3}{4}$ 存。	SB13 No.2			
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。								精緻。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB14 No.12			
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。					長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。		横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	完存。	SB14 No.6				
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。				摩耗。	摩耗。	摩耗。	石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB14 No.3				
第3段落	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部小片。	SB404 No.6				
2				摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	頂部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。				長石 石英	底部完存。	SB404 No.1				
4								摩耗。	摩耗。	少量の長石 少量の石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	SB404 No.6				
5								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
第4段落								斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB405				
2								斜ナデ。	斜ナデ。	砂粒を含 とんど含 まず精緻。	底部完存。	SB406 No.12				
第5段落								摩耗。	摩耗。	多量の長石 多量の石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SB409 No.3				

第16表 土坑伴出遺物一覧表(1)

探査 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	造出状態	出土位置			
	口縁部		頭部		脚部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第60回 1	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SK301				
2	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。					
3	横ナゲ。 頭目。	横ナゲ。	横ナゲ。		横ナゲ。	横ナゲ。 沈緑5条。				少量の長 石細粒 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。					
4							摩耗。		摩ナゲ。 ガキ後斜 ナゲ。	多量の長 石多量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。					
5							摩耗。	横ナゲ。		多量の長 石多量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。					
6							ナゲ。	摩耗。		長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。					
7							横ナゲ。	底ナゲ。 後斜ナゲ。		長石 石英	底部完存。					
第60回 1	横・斜ヘラ ミガキ。	斜ハケリ 横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ヘラ ミガキ。 ガキ後斜 ナゲ。沈緑17条。 弱骨化。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SK303				
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。		横・斜ナ ゲ。	横・斜ナ ゲ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。					
3	横ナゲ。 頭目。	横ヘラミ ガキ後斜 ナゲ。	横ヘラミ ガキ後斜 ナゲ。		横・斜ヘラ ミガキ5条。 横・斜ヘラ ミガキ後斜 ナゲ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。					
4	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ。	斜ハケ日 後斜ナゲ (摩耗)。		横・斜・斜 ミガキ弱骨 化。横・斜・斜 ミガキ後斜 ナゲ。(摩 耗)。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。					
5							横・斜ナ ゲ。	横・斜ナ ゲ。		長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。					
6							横・斜ナ ゲ(摩耗)。	横・斜ナ ゲ(摩耗)。		長石 少量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。					
第60回 1	横ナゲ(摩耗) (上部内面)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SK304				
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	横ヘラミ ガキ後斜 ナゲ。	摩耗。	横ナゲ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。						
第65回 1	横ナゲ。	横ナゲ。 ガキ後斜 ナゲ。	横ナゲ(摩 耗)。		横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK305				
2	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。		斜ナゲ(摩 耗)。	斜ナゲ(摩 耗)。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
第61回 1	摩耗。	摩耗。	縱板ナゲ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		多量の長 石多量の大 きな石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SK307				
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ(指 頭底)。	横ナゲ。	横ナゲ(指 頭底)。	横・斜ナ ゲ。	斜ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
3	摩耗。 頭目。	摩耗。	横ナゲ。	摩耗。	横ナゲ。 沈緑4条。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。					

探査 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第61回 4					横ナデ。				横ヘラミガキ。 貼付突堤3 条に剝離。		少量の長 石断面片 石英	頭部 $\frac{1}{6}$ 存。	SK307			
5	横ナデ(摩 耗)。 剝離。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			横ナデ(摩 耗)。			横ナデ(摩 耗)。 沈締7条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
6	横ナデ。 剝離。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 摩耗。			縱板ナデ。 剥離。 沈締11条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
7	横ナデ。 剝離。	横・斜 ナデ。	横ナデ。 縫ハケ目。			横・斜 ナデ。			縫ハケ目。 沈締9条。		長石微細 片	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。			横ナデ。 沈締10条。		長石細片	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縫板ナデ (摩耗)。			沈締9条。 縫・斜ハケ 目。		多量の長 石断面片 と長石 英断面片	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ			
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。			横・斜 ナデ。		長石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜 ナデ。			縫板ナデ 後横ナデ。		長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	タ			
12	摩耗。	摩耗。	指おさえ。			摩耗。			摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
13	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			縫板ナデ。			横ナデ。 沈締6条。 摩耗。 縫ハケ目。		多量の長 石と 多量の大 粒の石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	タ			
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。			摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ			
15									摩耗。 和板ナデ。	摩耗。	大粒の長 石石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	タ			
16									摩耗。	摩耗。	多量の長 石と 多量の石 英	底部 $\frac{2}{5}$ 存。	タ			
17									摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
第94回 1	横ナデ。	横ナデ。 横ヘラミ ガキ。	横ナデ。 縫ハケ目。	横ヘラミ ガキ。	斜ハケ目。						少量の長 石と 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	SK308			
2				斜ナデ(摩 耗)。		貼付突堤 横ヘラミ ガキ(摩 耗)。					多量の長 石と 多量の石 英	頭部はぼ り充存。	タ			
3						横・斜ヘラ ミガキ(摩 耗)。					長石 石英	頭部小片。	タ			
4	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 横ヘラミ ガキ(摩 耗)。	横ナデ。 横ヘラミ ガキ8条。			横ヘラミ ガキ(摩 耗)。			ヘラミ横 縫文。 沈締8条。		長石 石英	頭部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ			
5	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			横・斜ナデ (摩耗)。			横ナデ。 沈締5条。 摩耗3条。		多量の長 石と 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
6	横ナデ。 剝離。	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。			横ナデ。			斜ハケ目。 沈締8条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			

編図 番号	成形および調整の痕跡								地土中の 遺岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口唇部		頭部		胸部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第94回 7	横ナデ。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。 彩ハケ目。 沈線8条。 摩耗。	摩耗。	縦ハケ目。	長石 石英	口縁部は 既存。	SK308			
8	剣目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線1条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	△			
9	横ナデ。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。 縦ハケ目。			横ナデ。	横ナデ。 縦ハケ目。 沈線7条。		少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
10							斜ナデ。	斜ハケ目。 後斜ナデ。	多量の長 石 多量の石 英	底部 $\frac{3}{8}$ 存。	△			
11	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。			縦・斜ナデ (摩耗)。	斜ハケ目 後斜・斜ナ デ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	△			
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(板 状原体)。 指頭風。	横ナデ。	沈線2条。 摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	△			
13	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ 目後横ナ デ。			縦・斜ハケ 目(摩耗)。 斜板ナ デ。	斜ハケ目 斜板ナ デ。 沈線7条。		少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
14	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			横・斜ナ デ(摩 耗)。 指頭風。	横ナデ(摩 耗)。 沈線7条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	△			
第95回 15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			縦・斜ナ デ。 摩耗。	縦・斜ハケ 目(摩耗)。 摩耗。	縦・斜ナ デ。 摩耗。	長石 石英	口縁部完 存。	△			
16	横ナデ。 剣目。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。			斜・横ナ デ。 摩耗。	横・斜ハ ケ目。 沈線9条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	△			
17	剣目(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横ハケ目。 斜板ナ デ(摩耗)。	斜板ナ デ。 摩耗。	横・指おさ え。 斜板ナ デ。 摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△			
18	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			斜ナデ(摩 耗)。 沈線6条。	斜ナデ(摩 耗)。 沈線6条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	△			
19	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。			斜ナデ(摩 耗)。	斜・斜ハ ケ目後斜ナ デ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
20	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	縦・斜ハケ 目後横ナ デ。			斜ナデ(摩 耗)。	斜・斜ハ ケ目後斜ナ デ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	△			
21						横・斜ナ デ(ガキ後 斜板ナ デ(摩耗)。 指頭風)。	横・斜ナ デ(ガキ後 斜板ナ デ(摩耗)。 指頭風)。		長石 石英	胴部小片。	△			
22	横ナデ。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩 耗)。	横・斜ナ デ。 沈線4条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	△			
23	横ナデ。 剣目。	横ナデ後 斜・斜ヘラ ミガキ。	横ナデ後 斜・斜ヘラ ミガキ。			斜板ナ デ(後 斜・斜ヘ ラミガキ)。 斜板ナ デ。	横ナデ後 斜・斜ヘ ラミガキ。 斜板ナ デ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	△			
24							横・斜ナ デ(摩耗)。 剥落。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナ デ。	長石 石英	底部は既 存。	△			
25							斜ナデ。	斜ナデ。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	△			
26						斜ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ナ デ。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	△			

件番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部		埴土中の 造岩鉱物		
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第96器 27								斜板ナダ。	前ハケ 目。斜・斜ナ ダ。	長石 石英	底部充存。 SK308	
第96器 28	摩耗。	摩耗。	斜ナダ。			摩耗。	斜ナダ。 前・斜ハケ 目後横ナ ダ。指頭痕。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{4}$ 存。	
29	横ナダ。	横・斜ナ ダ。	前・斜ハケ 目後横ナ ダ。指頭痕。							少量の長 石。少量の石 英。	口縫部 $\frac{1}{9}$ 存。	
第100器	横ナダ。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ。			斜ナダ(摩 耗)。	前・斜ハケ 目後横・斜 ナダ。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{9}$ 存。 SK312	
第96器 1		横ナダ。	横ナダ。			横ナダ(後 斜ヘラミ ガキ。指頭痕)。	横・斜ハケ 目後横ナ ダ。斜ヘラミ ガキ。指頭痕。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{15}$ 存。 SK315	
2	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			斜ナダ(摩 耗)。	斜ナダ(摩 耗)。			長石 石英	口縫部小 片。 オ	
第98器 1	横ナダ。	横・斜ナ ダ。指頭痕。	横・斜ナ ダ。指頭痕。							長石 石英	口縫部 $\frac{1}{9}$ 存。 SK320	
2	横ナダ(摩 耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。	横ナダ(摩 耗)。							多量の長 石。多量の石 英。	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。 オ	
3	横ナダ(摩 耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。							長石 石英	口縫部 $\frac{1}{11}$ 存。 オ	
4	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。							長石 石英	口縫部 $\frac{1}{22}$ 存。 オ	
5	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。	横・斜・斜 ヘラミガ キ(摩耗)。 指頭痕。	横・斜ヘ ラミガキ(摩 耗)。			横・横・斜・斜 ヘラミガキ(摩 耗)。	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。 指頭痕 11点。			長石 多量の石 英。	口縫部 $\frac{1}{10}$ 存。 オ	
6	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			横・斜ヘラミ ガキ後斜 ナダ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナダ。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{14}$ 存。 オ	
7	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			横・斜ナ ダ(摩耗)。 指頭痕。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。		長石 石英	口縫部 $\frac{1}{14}$ 存。 オ	
8								横・斜ナ ダ(摩耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。	長石 石英	底部充存。 オ	
9						斜・斜板ナ ダ。	斜板ナ ダ(斜板)。 斜板。	斜板ナ ダ。	斜板ナ ダ(斜板)。 斜板。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 オ	
10						横・斜ナ ダ。	横・斜 ヘラミ ガキ後斜 ナダ。	横・斜ナ ダ。	横・斜 ヘラミ ガキ後斜 ナダ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。 オ	
11						横・斜ナ ダ(摩耗)。	横・斜ハケ 目後横・斜 ナダ。	横・斜ナ ダ(摩耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 オ	
第89器 1	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。							長石 石英	口縫部 $\frac{1}{8}$ 存。 SK321	
第100器 1		横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。 貼付安帝 に刺目。	横ヘラミ ガキ。指頭 痕。	横指ナ ダ。	横ヘラミ ガキ。指頭 痕。	多量の長 石。石英	摩擦部は 充存。 SK323	
2	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横・斜・斜 ヘラミ ガキ後斜 ナダ。指頭痕。				長石 石英	口縫部 $\frac{1}{4}$ 存。 オ	

辨認 番号	成・形・お・よ・び・調・整・の・痕・跡								地土中の 着岩鉱物	追存状態	出土位置			
	口縁部		腹 部		胸 部		底 部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第1588 3	横ナゲ(摩 耗)。	縦・斜ヘラ ミガキ後 横ナゲ(摩 耗)。			縦・斜ヘラ ミガキ後 横ナゲ。		横・斜ナ ゲ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	SK323			
第1588 1	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SK324			
2	横ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	*			
3	横ナゲ(摩 耗)。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ。	沈線3点。						長石 石英	口縁部小 片。	*			
4					横・斜ナゲ (摩耗)。	横・斜ヘラ ミガキ。	ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	*			
第1589	横ナゲ。	横板ナブ 後横ナゲ。	横タタキ 目後横・斜 ナゲ。		縦・横板ナ ゲ。	横タタキ 目後横・斜 ナゲ。			長石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK326			
第1642					斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	多量の長 石英の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK327			
第1642 1	横ナゲ(摩 耗)。	横・斜ナゲ (摩耗)。	横ナゲ(摩 耗)。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SK330			
2					斜板ナゲ (摩耗)。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナゲ。	板ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナゲ。	長石 石英	底面完存。	*			
3							斜ナゲ。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	*			
第1642 1					摩耗。	横・斜 板ナゲ。			長石 石英 少量	調節小片。	SK334			
2	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。		斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ナゲ (摩耗)。 斜面。			多量の長 石英の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	*			
3					斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ナゲ (摩耗)。			多量の長 石英の石 英	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	*			
第1642 1	横ナゲ(摩 耗)。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ(摩 耗)。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ(摩 耗)。		斜ヘラミ ガキ後斜 ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SK335			
2	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。		横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部小 片。	*			
3					横・斜ナゲ (摩耗)。	斜ナゲ(摩 耗)。			長石 石英	底部 $\frac{1}{6}$ 存。	*			
第1642 1	横ナゲ。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ。	横ナゲ。		斜・横板ナ ゲ後横・斜 ナゲ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	斜・横板ナ ゲ後斜・斜 ナゲ。	斜・横板ナ ゲ後斜・斜 ナゲ。	長石 石英	ほぼ完存。	SK338			
2	横ナゲ。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ。	横・斜 板ナゲ後 横・斜 ナゲ。		縦・横板ナ ゲ後横・斜 ナゲ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	*			
3	摩耗。	横ナゲ。	横ナゲ(摩 耗)。		斜ナゲ。	横・斜ナゲ (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	*			
4	摩耗。	横・斜ナ ゲ。	沈線3点 指頭痕。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	*			

掘出番号	成形および調整の痕跡												粘土中の 海岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部		内面		外面		内面		外面		内面							
			内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第15回 5	削目。 横ナデ。	横ナデ。					横ナデ(摩耗)。		沈線3条。				多量の長石 多量の石英。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK338			
6	横・斜ヘラミ ガキ後削 目(摩耗)。	横ヘラミ ガキ。					横・斜ヘラミ ガキ。	横・斜ヘラミ ガキ。	沈線11条。				多量の長石 多量の石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
7	摩耗。	横・斜ナデ (摩耗)。											長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
8	摩耗。	横ナデ。	斜板ナデ 後横ナデ。				斜板ナデ。	斜板ナデ。	沈線5条。				長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
9	削目(摩耗)。 横ナデ。	横ヘラミ ガキ後削 目(摩耗)。					横・斜板ナ デ。	横ヘラミ ガキ後斜 板ナデ。	沈線6条。				長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
10	摩耗。	横・斜ナデ (摩耗)。					横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	沈線5条。				少量の長石 少量の石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
11	横・斜ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。					横・斜ナ デ。	横・斜板ナ デ(摩耗)。					長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	〃			
12	横ナデ(摩耗)。	横・斜ヘラ ミガキ。 指頭痕。					横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ヘラ ミガキ。	沈線5条。				少量の長石 少量の石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
13													斜板ナ デ(摩耗)。	斜板ナ デ(摩耗)。	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃		
14													横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナデ。	底部 $\frac{5}{8}$ 存。	〃		
第25回													斜板ナ デ。	斜板ナ デ。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	SK342		
第29回 1													横ヘラミ ガキ後斜 板ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。	少量の長石 少量の石英。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	SK343	
2													横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナデ。	少量の長石 少量の石英。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
3													横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	底部完存。	〃		
第30回	横ナデ(摩耗)。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。					横ナデ(摩耗)。						長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{22}$ 存。	SK344			
第31回 1	横ナデ。 削目。	横ナデ。	横ナデ。				横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナ デ。指 頭痕。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナ デ。指 頭痕。	沈線2条。				少量の長石 少量の石英。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SK345			
2	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	横・斜ナ デ。				横・斜ヘラ ミガキ後 斜板ナ デ。	横・斜ナ デ。	沈線2条。				少量の長石 少量の石英。	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	〃			
3	横ナデ。 削目(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。										長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
4													横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ヘラ ミガキ。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
5													横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	底部完存。	〃		

井戸 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 過岩試物	遺存状態	出土位置			
	口縁周部	口 縁 部		頸 部		胴 部		底 部								
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面							
第33号	刃目。	横ハケ目。 横ナダ。	斜ハケ目。 横ナダ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SK346				
第34号								斜ヘラ ガキ後斜 ナダ。	斜・斜ハケ 目後横・斜 ナダ。	長石 石英	底部完存。	SK347				
	2							斜ナダ。	斜ヘラ ガキ後斜 ナダ。	長石 石英	底部完存。					
第35号	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横・斜ヘラ ガキ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK350				
	2							斜ナダ。	斜ナダ。	少量の長 石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。					
第37号	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。 摩耗。							長石 石英	口縁部小 片。	SK355				
第38号	摩耗。	摩耗。	横ナダ。			斜板ナダ 後斜ヘラ ガキ。 摩耗。	斜板ナダ 後斜ヘラ ガキ。 摩耗。	摩耗。	斜ヘラ ガキ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SK357				
	2	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。				斜板ナダ。	斜板ナダ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。					
第40号	摩耗。	摩耗。	摩耗。				摩耗。	摩耗。 沈線10条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	SK358				
第41号	横ナダ。 刃目。	摩耗。	横ナダ。				摩耗。	横ナダ。 沈線8条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SK361				
第45号	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。 指頭痕。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SK362				
第44号	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	斜ヘラ ガキ後 横・斜ナ ダ。	横・斜ヘ ラ(斜板) 貼付痕。					長石 石英	口縁部は ば完存。	SK364				
	2	横ナダ。	斜板ナダ。	横・斜板ナ ダ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。					
3	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
4								横・斜ナ ダ。	横・斜ハケ 目後横ナ ダ。	長石 石英	底部完存。					
5	刃目。	横ヘラ ガキ後横 ナダ。	横ヘラ ガキ後横 ナダ。			横・斜ヘラ ガキ後 横・斜ナ ダ。	横・斜ヘラ ガキ後 横・斜ナ ダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。					
6	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ。	横ナダ。			横・斜ナ ダ(摩耗)。	横・斜ナ ダ(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。					
7	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ。	横ナダ(摩 耗)。			横・斜板ナ ダ後横ナ ダ(摩耗)。	横・斜板ナ ダ後横ナ ダ(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
8								摩耗。	横・斜ハ ケ目。	長石 石英	底部完存。					
9								横・斜板ナ ダ。	斜板ナ ダ。	長石 石英	底部 $\frac{3}{8}$ 存。					

辨認番号	口縁埋部	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
		口縁部		頸部		胴部		底部							
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第44回 10								ナゲ(摩耗)。	横ナゲ(摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK364			
第45回 1	横ナゲ。 剥目。	横ナゲ。	横ナゲ。			縫・斜ナ ゲ。	横ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	SK367			
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横ナゲ。	沈線 3 条。 摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
3								斜ヘラミ ガキ。	斜板ナゲ。	長石 石英	底部ほぼ 完存。	〃			
4								摩耗。	横ナゲ。 横指屈風。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
第46回 1	横ナゲ。 剥目。	縫ヘラミ ガキ。後横 ナゲ。	横ナゲ。			縫ヘラミ ガキ。	縫ハケ目。	板ナゲ(ハ ケ状態)。	縫ハケ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK368			
2	横ナゲ。 剥目。	横ナゲ。	横ナゲ。							少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	〃			
3						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	底部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
第47回 1	横ナゲ。	斜ナゲ。	斜ハケ目 後横ナゲ。			斜ナゲ。	前ハケ目 後斜ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	SK371			
2								斜ナゲ。	斜ヘラミ ガキ。	長石 石英	底部完存。	〃			
第48回 1	斜ナゲ(摩 耗)。	斜板ナ ゲ(モ ラフ・斜 板)。	横・斜板ナ ゲ(モ ラフ・斜 板)。 指頭痕。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	SK372			
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			縫・横ナ ゲ。	摩耗。	縫ナゲ。	摩耗。	多量の長 石 石英	ほぼ完存。	〃			
第49回 1	横ナゲ。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK379			
第50回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	多量の長 石 石英	ほぼ完存。	SK383			
第51回 1	横ナゲ。 剥目。(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ。			横ナゲ(摩 耗)。	横・斜 板ナ ゲ。 沈線 4 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	SK387			
2	摩耗。	横ヘラミ ガキ後横 ナゲ。	横ナゲ。			横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナゲ。				多量の長 石 石英	口縁部小 片。	〃			
第52回 1	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			斜ナ ゲ。	縫・斜ナ ゲ。 沈線 3 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{17}$ 存。	SK389			
2	横ナゲ。 剥目。	横ナゲ。	横ナゲ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{22}$ 存。	〃			
第53回 1	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。	横ヘラミ ガキ。	縫・斜ヘラ ミガキ。	横ヘラミ ガキ。	斜ヘラミ ガキ。	横・斜・斜 ヘラミガ キ。	縫・横・斜 ヘラミガ キ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK392			

種別 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造形部物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		張 部		脇 部		底 部								
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面							
第35回 2	横ナゲ。	横・斜ヘラ ガキ後 横ナゲ。	横・斜ヘラ ガキ後横 ナゲ。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{5}{12}$ 存。	SK392				
3	摩耗。	横ナゲ。	横ナゲ。 指頭痕。			斜ナゲ。	横・斜ナ ゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	*				
4	横ナゲ。 刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。 指頭痕。			横・斜ナ ゲ。	横・斜ナ ゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{28}$ 存。	*				
5	横ナゲ。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ。 指頭痕。			斜板ナゲ (摩耗)。	横・斜板ナ ゲ。 沈線 3 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	*				
6								斜板ナゲ 後横・斜ナ ゲ。	斜板ナゲ 後横ナゲ。	長石 石英	底部完存。	*				
8	横ナゲ。	横ヘラ ガキ後横 ナゲ。	横ヘラ ガキ後横 ナゲ。 指頭痕。			斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ガキ。	斜ナゲ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ガキ。	長石 石英	ほぼ完存。	*				
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	*				
第56回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK393				
2	横ナゲ。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線 6 条。			長石 石英	口縁部 小 片。	*				
第57回 1	横ナゲ。	横ナゲ(摩 耗)。	横ヘラ 目 後横ナゲ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK394				
2	刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ナゲ。 沈線 17 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	*				
第58回 1	刻目。	斜ヘラ ガキ後横 ナゲ。	横ナゲ。			摩耗。	横・斜ヘラ ガキ後 斜ナゲ。 沈線 19 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK395				
2	横ナゲ。	斜ヘラ ガキ後横 ナゲ。	横・斜ハケ 目後横ナ ゲ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	*				
3								ナゲ(摩 耗)。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{10}$ 存。	*				
第59回 1	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。 指頭痕。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SK397				
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	*				
3	横ナゲ。 刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	*				
4	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ハケ 目 後横ナゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	*				
5	横ナゲ。 刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ナゲ。 横・斜ハケ 自沈 4 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	*				
6								摩耗。	横・斜ハケ 目。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	*				

辨証 番号	成形 および 固定の痕跡										出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部		口 縁 部		頭 部		明 部		底 部							
			内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第57回 7	摩耗。	横ナデ。	指おさえ 後斜ナデ。			横ナデ。	指おさえ 後斜ナデ。	横ナデ。	指おさえ 後斜ナデ。		長石 石英 少々 盆の器 母。	完存。	SK397			
第59回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 前ハケ日。 横・斜ヘラ ミガキ。								長石細片 石英 母細片	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK399			
2	摩耗。	磨・斜板ナ デ(摩耗)。	横ナデ。 摩耗。			磨・斜板ナ デ(摩耗)。 指頭底。	前ハケ日 後横ナデ。				長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{3}{8}$ 存。	タ			
第81回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 指頭底。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{22}$ 存。	SK402			
2	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 摩耗。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(指 頭底)。	横ナデ。 横・斜板ナ デ。				長石 石英 少々 盆の器 母。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
4	斜目。	横ヘラミ ガキ。	横ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。 沈線 2 条。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	タ			
5								ナデ。	斜板ナデ 後横ナデ。		少益の長 石 石英 少々 盆の石 英	底凹 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
6								ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		長石 石英	底凹 $\frac{2}{3}$ 存。	タ			
7								ナデ。	横ナデ。		長石 石英	底凹完存。	タ			
8								板ナデ。	斜ヘラ削 り。		長石 石英	底凹完存。	タ			
第83回 1			縦ヘラミ ガキ。	横ナデ。	横ナデ。	斜板ナデ (摩耗)。 沈線 5 条。	斜板ナデ (摩耗)。 後横 ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	斜・斜ヘラ ミガキ。		長石 石英	底凹完存。	SK403			
2		横ヘラミ ガキ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。 突帶。 斜目。	横ナデ。 突帶。 斜目。	横ナデ。	横・斜ナ デ。横ヘラ ミガキ。 沈線 7 条。		多益の長 石 石英細片	口縁部完 存。	タ			
3	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。貼付 突帶。	横ナデ(摩 耗)。貼付 突帶。	横ナデ(摩 耗)。貼付 突帶。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
4	摩耗。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横・斜ナ デ。	横ナデ。	横・斜ナ デ。		多益の長 石 石英	口縁部完 存。	タ			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ デ。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	タ			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 横・斜ナ デ(摩耗)。 横原体の 風跡。	斜ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
第84回 9								横・斜ナ デ。	摩耗。		長石 石英	底凹 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			

擇因 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 遺古鉄物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第84回 10					横・斜ナ ダ。指頭痕。	横・斜ヘラ ミガキ。沈縦4束。	斜・斜ナ ダ。	斜・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK403					
11								横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	長石 石英	底部完存。						
12								縦・横板ナ ダ。	縦・横板ナ ダ。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。					
13								縦ナダ(指 頭痕)。	縦ハケ目。	長石 石英	底部完存。					
第73回 1	横ナダ。横ナ ダ。斜目。	横ナダ。横 ナダ。斜目。	横ヘラミ ガキ。横・斜ヘラ ミガキ。斜ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。横縦14束。 刻文。	横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	縦・横・斜 ヘラミガキ。	少量の長 石石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK404					
2	横ナダ。横ナ ダ。斜目。	横ナダ。横 ナダ。斜目。			横・斜ヘラ ミガキ。後斜 ナダ。	横ナダ。横 縦14束。 刻文。			少量の長 石石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。						
3	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。			摩耗。	摩ハケ目。 沈縦8束。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
4	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。			横・斜ヘラ ミガキ。摩耗。	沈縦11束 (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。					
5	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ。	縦・斜・横 ナダ。後横ナ ダ。沈縦5束。			少量の長 石石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。					
6	横ナダ。横ナ ダ。斜目。	横ナダ。指 頭痕。	横ナダ。			横・斜ナダ (摩耗)。	横・斜ナ ダ。斜・横 ナダ。後横ナ ダ。沈縦13 束。刻文。	摩耗。	摩耗。	長石 石英細片	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。					
7	摩耗。	摩耗。				指頭痕。 摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。					
8	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ。	横ナダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。					
9								縦板ナダ。 (ハケ沈縦 体)。	縦板ナダ (ハケ沈縦 体)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。					
第75回	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ。	横ナダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SK405				
第77回 1	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK406				
2	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部小 片。					
3	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。			横ナダ(摩 耗)。	横・斜ナ ダ。沈縦10束。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。					
4	横ナダ。	横・斜ナ ダ。	横ナダ。			横ナダ。	横・斜ヘ ミガキ。沈 縦11束。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。					
5	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ。	横ナダ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。					
6	横ナダ(摩 耗)。	横ナダ。	横ナダ。			斜板ナダ 後斜ナダ。 沈縦7束。	縦・斜・横 ナダ。沈縦7束。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。					

探査 番号	成形および調整の痕跡								地土中の 石炭質物	遺存度	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底面							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第77番 7	横ナデ(摩耗)。 横ナデ。	横板ナデ 後横ナデ。			横・斜ナデ 。	横ナデ。 沈線8条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK406			
8	横ナデ。 斜目。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線1条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
9	横ナデ。	縦・斜ヘラ ミガキ。 後横ナデ。	横ナデ。		縦・斜ヘラ ミガキ。 後横ナデ。 指頭痕。	縦板ナデ 後横ナデ。 指頭痕。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
10							ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
11							ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
12							ナデ(摩 耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	タ			
13							斜ナデ。	縦・斜ハケ 目後横ナ デ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
第79番 1	横ナデ。	縦板ナデ 後横ナデ。	横ヘラミ ガキ。後横 ナデ。縦ハ ケ目。		横・斜ナ デ。 指頭痕。	縦ハケ目。 沈線7条 (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK409			
2	横ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。			縦・斜ヘラ ミガキ。 後横ナデ。	縦ハケ目。 後横ナデ。 ミガキ。 沈線9条。	ナデ。	横ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
第80番 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横・斜ナ デ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	SK410			
2	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 沈線1条。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
4	横ナデ(摩 耗)。 斜目。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	タ			
3	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。 指頭痕。		横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	タ			
5	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{17}$ 存。	タ			
6	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ			
7	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。	横ナデ。		斜ハケ目。	横ナデ。 斜ハケ目。 沈線2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	タ			
8	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 沈線3条 (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	タ			
9							縦・横・斜 ヘラミ ガキ。	斜 ヘラミ ガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
10							ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ			
第81番	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		縦・横・斜 ナデ。	縦・横・斜 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK416			

種別 番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩器物	造状態	出土位置			
	口縁部	内面		外面		内面		外面						
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面					
第433 1										少岱の長 石・少岱の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK417		
										長石 石英				
第434 1	摩耗。	斜ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。	横・斜ヘラ ミガキ後 斜ナデ。	横・斜ヘラ ミガキ。 沈線 3 条。					長石 石英	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK431		
										長石 石英				
2	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{10}{10}$ 存。	〃		
										長石 石英				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							少岱の長 石・少岱の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
										長石 石英				
第435 1	横ナデ(摩 耗)。	横・斜ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部は は完存。	SK433		
										長石 石英				
2						斜ナデ。 沈線 5 条。	斜ナデ。	斜ナデ。		長石 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
										長石 石英				
3	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃		
										長石 石英				
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				斜ハケ目。 斜ナデ。	斜ハケ目。 後横ナデ。		少岱の長 石・少岱の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃		
										長石 石英				
5									摩耗。	横・斜ナ デ。	頭部完存。	〃		
										長石 石英				
6							横・斜ナデ (摩耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。	ナデ(摩 耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。	底部完存。	〃		
										長石 石英				
7									斜ナデ。	横・斜ハケ 目。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
										長石 石英				
第436 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK435		
										長石 石英				
2		横ナデ。	横ナデ。				斜ナデ。	横・斜ナ デ。沈線 5 条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{18}$ 存。	〃		
										長石 石英				
3	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。				斜ナデ。	横ナデ。 沈線 5 条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	〃		
										長石 石英				
4									斜ナデ。	斜ナデ。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
										長石 石英				
第437 1		横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 沈線 3 条。	横・斜ナ デ。斜頭底。	横ナデ。 沈線 3 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SK444		
										長石 石英				
2	斜目。	横ナデ。	横ナデ。				横・斜ナ デ。	横ナデ。 沈線 4 条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{38}$ 存。	〃		
										長石 石英				
3	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。				横ナデ。 沈線 3 条。 斜・斜 頭底。	斜ナデ。 斜頭底。 後斜ナデ。	斜ナデ。 指頭底。	摩耗。 斜成後の 空孔。斜 頭底。	長石 石英	ほぼ完存。	〃	
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				横ナデ。	横・斜ナ デ。沈線 4 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃	

井図 番号	成形および調整の歴史								粘土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第10回 1	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	SK445			
2	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。		横・斜ナ ゲ。	横・斜ナ ゲ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
3							斜ナゲ。	斜ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{7}$ 存。	〃			
4							斜ナゲ。	横ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
5							斜板ナゲ。	横ナゲ。	長石 石英	底部完存。	〃			
第11回 1							斜ナゲ。	斜板ナゲ。	長石 石英	底部完存。	SK456			
第15回 1	刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。		斜ナゲ。	横・斜ナ ゲ。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SK457			
第16回 1	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ。	横ナゲ。		横・斜ナ ゲ。	横・斜ナ ゲ。 沈線5条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	SK459			
2	摩耗。	斜板ナゲ。	摩耗。		斜板ナゲ。	沈線3条 (摩耗)。			長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
3	刻目。	横ナゲ。	横ナゲ。		横・斜ナ ゲ。	横ナゲ。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{38}$ 存。	〃			
4							斜ナゲ。	横・斜ナ ゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
5							横・斜ナ ゲ。	斜・斜板ナ ゲ。	砂粒をほ とんと含 ます指版。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
第17回 1							斜ナゲ。	横・斜ナ ゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SK460			
第18回 1	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。		斜ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	SK473			
第23回 1					摩耗。	横・ケ日 後横・斜へ ラミガキ。	摩耗。	横・ケ日 後横・斜へ ラミガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	SK493			
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈線6条。			長石 石英	口縁部小 片。	SK495			
3	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。			少量の石 英	口縁部小 片。	SK496			
4							摩耗。	横ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			

第17表 土坑伴出遺物一覧表(2)

辨認番号	成形および調整の痕跡												造存状態	出土位置		
	杯 盖		杯 身		高 杯		豆		内 面		外 面					
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第17号 2									4回転ナゲ。	4	摩耗。 回転ナゲ。		附部 ¹ 存。	SK483		

(註)

須恵器を表化する際に用いたアラビア数字は以下の部位を表わしている。

- 杯 盖 1 頂部 2 扁底部 3 端部 4 かえし部
 杯 身 1 かえし部 2 口縁部 3 前部 4 底部 5 高台部
 高 杯 1 口縁底部 2 口縁部 3 杯部 4 腹部 5 抱端部
 豆・櫛 1 口縁部 2 口縁部 3 粒部 4 前部 5 底部

第18表 土坑伴出遺物一覧表(3)

辨認番号	成形および調整の痕跡												出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置		
	口縁端部	口 縁 部		張 部		明 部		底 部		内 面		外 面					
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第17号 1	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。						ナゲ。	横ナゲ。		砂粒をほ とんど含 まない。	1/4存。	SK55			
2	回転ナゲ。	回転ナゲ。	回転ナゲ。						回転ナゲ (摩耗)。	回転ナゲ。	長石 石英	底部落存。	*				
3									ヘラミガ ナゲ。	横ナゲ。	少量の長 石 少量の石 英	高台部 ¹ 存。	SK56				

第19表 穫穴住居跡状遺構伴出遺物一覧表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		頭部		胴部		底部		出土中の造岩鉱物		
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第30回 1	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。 SX303	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナデ。				少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。 タ	
第31回 1	摩耗。	摩耗(一部 摩耗ハケ目)。	斜ハケ目 後横ナデ。			摩耗(指頭 度)。	右上りタ キ目後 斜ハケ目。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 SX306	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。 タ	
3	横ナデ。 <small>横ナデ、内 部(立上部内 部)摩耗。 立上部外 部)摩耗。</small>	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ デ。	横ナデ。			長石 石英片	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 タ	
4	摩耗。 <small>(立上部内 部)摩耗。 (立上部外 部)摩耗。</small>	摩耗。	摩耗。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 タ	
5	斜ナデ。	横タタキ 目 摩耗。			斜ナデ。	横タタキ 目 摩耗。	斜ナデ。	横・左上り タタキ目 摩耗。	斜ナデ。 指おさえ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。 タ	
6								ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。 タ	
第32回 1	摩耗。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。			砂粒をは とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。 SX308	
2	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石 石英	口縁部小 片。 タ	
第33回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。 SX311	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈盛7条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 タ	
3	斜目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。 沈盛7条。			長石 石英	口縁部小 片。 タ	
4								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。 タ	
5								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。 タ	

第20表 穫穴住居跡状遺構伴出遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		杯部		胴部		脚端部		出土中の造岩鉱物		
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第25回 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英 微細 粉 英微細 粉存。	杯部 $\frac{1}{5}$ 存。 SX301	
2						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英 微細 粉 英微細 粉存。	脚部 $\frac{1}{2}$ 存。 タ	

第21表 大型土坑伴出遺物一覧表(1)

特因 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造形物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第21回 1	横ナデ。 凹線 2 条。	横ハケ目。 横ナデ。	横ハケ目。 縦・横指ナ デ。	縦ハケ目。 縦ナデ。	縦ハケ目。 縦ナデ。	縦ハケ目。 縦ナデ。	縦ハケ目。 縦ナデ。	縦ハケ目。 縦ナデ。	縦・斜ヘラ 削り。	縦・斜ヘラ 削り。	長石 石英	口縁部完 存。 底部完存。	SX328			
2	横ナデ。	斜ハケ目。 後横・斜ナ デ。	横ナデ。	斜ハケ目。 後斜ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	斜ハケ目。 斜ナデ。	斜・斜ヘラ 削り。	斜・斜ヘラ 削り。	長石 石英	ほぼ完存。	△			
3	横ナデ。 凹線 3 条。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	斜ハケ目。 後横ナデ。 凹線 4 条。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			
4	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
5			横ナデ。	斜ナデ。	斜ハケ目。 (溝線)。 沈線 2 条。	横・斜ナデ。 指痕。	列点文 列点文。 (ハサウエ 川の鉄道。 斜ハケ目。 摩耗)。	列点文 列点文。 (ハサウエ 川の鉄道。 斜ハケ目。 摩耗)。			長石 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			
6	横ナデ。 沈線 1 条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						少量の長 石少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	△			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ(摩 耗)。	横・斜ナデ (摩耗)。				長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	△			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	斜・斜ナデ (指痕)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△			
第21回 11	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			縦ナデ(摩 耗)。	摩耗。				少量の長 石少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△			
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
14	横ナデ。 凹線 2 条。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	△			
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	△			
16	横ナデ。 凹線 2 条。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。				長石 大粒の石 英	口縁部完 存。	△			
17	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ デ。	摩耗。				長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	△			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				少量の長 石少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
19	横ナデ。 凹線 1 条。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。 斜・斜・斜 目後横ナ デ。		斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	少量の長 石少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	△			
20						斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	斜・斜・斜 目後横ナ デ。	長石細片 石英	底盤は僅 完存。	△			

件番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第36回 21					横・斜ナデ (摩耗)。	摩耗。	横・斜ナデ (摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	SX326					
22							斜へラ削 り。	斜ハケ目 (摩耗)。	長石 石英	底部完存。						
23							斜板ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部完存。						
24							斜・斜板ナ デ。	斜・斜板ナ デ。斜ハケ目。	長石 石英	底部完存。						
25							斜へラ削 り。	斜・斜へラ ミガキ。	長石 石英	底部完存。						
26							斜へラ削 り。	斜ハケ目 後接ナデ。	長石 石英	底部完存。						
27							摩耗。	斜へラミ ガキ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。						
第36回 34	横ナデ。 凹線 3 条。	模ナデ。	摩耗。 横ナデ。		横・斜へラ ミガキ。	斜ハケ目。	横・斜へラ ミガキ。	摩耗。	長石 石英片 存。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。						
35	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。						
38	凹線 1 条。	模ナデ。	模ナデ。		指頭風(摩 耗)。	摩耗。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。						
36	横ナデ。 凹線 2 条。	模ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ (指頭風)。 摩耗。	斜ハケ目。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。						
39	横ナデ。 凹線 2 条。 内 凹 線 ア ン ス 出 現 ア ン ス 出 現 ア ン ス 出 現	模ナデ。	模ナデ。	模ナデ。	模ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。						
37	横ナデ。 凹線 2 条。	模ナデ。	模ナデ。	横ハケ目。	縦ハケ目 後接ナデ。				長石 石英	口縫部は ほぼ完存。						
40	横ナデ。	摩耗。	模ナデ。			摩耗。	斜へラミ ガキ後接 板ナデ。	摩耗。	長石 石英	口縫部 $\frac{1}{5}$ 存。						

第22表 大型土坑伴出遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡												出土位置
	口縁端部	口縁部		底部		脚部		脚端部		出土位置			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第18区 28	摩耗。	横ナデ。 横ヘラ。 ガヤ。後斜 ナブ。 摩耗。	横ナデ。	縫ハラ。(ガキ。)	縫ハケ目。	指頭痕。 シボリ目。	縫ハケ目。			長石 石英	口縁部 1/3存。	SX328	
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ヘラ。 (ガキ。 摩耗。)	縫・斜ヘラ。 (ガキ。)	縫・斜ヘラ。 (ガキ。)	縫・斜ヘラ。 (ガキ。)	横ナデ。 凹線2条。		長石 石英	口縁部 完全 存。	〃	
30	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 凹線3条。	横ハケ目。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部 1/3存。	〃	
31	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ヘラ。 (ガキ。)					長石 石英	口縁部 1/3存。	〃	
32		横ナデ。 指頭痕。	縫・斜ヘラ。 (ガキ。 沈殿1条。)	横ナデ。 縫ハケ目。	摩耗。					長石 石英	口縁部 (指頭痕 く)1/3 存。	〃	
33						斜ヘラ前。 (ガキ。)	斜板ナデ。	横ナデ。		長石 石英	脚部 1/3 存。	〃	

第23表 集石土坑伴出遺物一覧表

探査番号	成形および調整の痕跡												出土位置
	口縁端部	口縁部		底部		脚部		底面部		出土位置			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第15区 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 1/6 存。	SX302	
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ハケ目 後横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。			少量の長 少量の石 英	口縁部 1/6 存。	〃	
3	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。	右上りタ タキ目後 横ナデ。			斜ハケ目 後横ナデ。	右上りタ タキ目後 横ナデ。			長石 石英	口縁部 1/4 存。	〃	
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 1/4 存。	〃	
5								縫・斜ナ デ。	左上りタ タキ目後 斜ナデ。	少量の長 少量の石 英	底部 3/4存。	〃	
6								斜ナデ。	右上りタ タキ目後 斜ハケ目。	長石 石英	底部 1/2存。	〃	
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	右上りタ タキ目後 斜ナデ。			長石 石英	口縁部 1/6 存。	〃	
8	摩耗。	摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。			斜ハケ目 (摩耗)。	左上り、縫 タキ目(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 1/6 存。	〃	

第24表 土器溜状造構伴出遺物一覧表

部品番号	成形および調整の痕跡												出土中の 遺石類物	遺存状態	出土位置			
	口様部		張面		胴部		底部		内面	外面	内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面										
第24回 1	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。			斜ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。				長石 石英 銀母	上側面は ほぼ完存。	SX313			
2	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。	横・斜ヘラ ミガキ。			斜ナデ。	横ナデ。 木文。						長石 石英	口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
3	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 貼付突部。						長石 石英	口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
5	横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突部。								長石 多量の石 英	口様部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ。	摩耗。						長石 石英	口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈線1朱。	摩耗。	横ナデ。						長石 多量の石 英 銀片	口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ			
8	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 斜格子文。						長石 石英	口様部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
9		摩耗。	斜・横ヘラ ミガキ(後 横ナデ)。	摩耗。	横ナデ。 貼付突部。 対孔。 斜ハケ目。								長石 石英	口様部(端 開缺) $\frac{2}{3}$ 存。	タ			
10	(立上り面内 部)(立上り面外 部) 摩耗。	摩耗。	横ナデ。										長石 石英	口様部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
11						横ヘラミ ガキ。 摩耗。	横ヘラミ ガキ。 摩耗。						長石 石英	胴部小片。	タ			
12						摩耗。	横ヘラミ ガキ。						石英	胴部小片。	タ			
13						摩耗。	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。						長石 石英	胴部小片。	タ			
14						横ナデ。	横ヘラミ ガキ。						長石 石英	胴部小片。	タ			
15						横ナデ。	摩耗。						長石 石英	胴部小片。	タ			
16						横ナデ。	横ヘラミ ガキ。						石英	胴部小片。	タ			
17						横ヘラミ ガキ。	横・横ナ デ。						長石 石英	胴部小片。	タ			
18						摩耗。	横ヘラミ ガキ。						長石 石英	胴部小片。	タ			
19						横ナデ(指 痕模)。	横ヘラミ ガキ(摩 耗)。						長石 石英 銀片	胴部小片。	タ			
20						横ナデ。 斜ハケ目。	横ヘラミ ガキ。						石英	胴部小片。	タ			

標図 番号	成形および開蓋の痕跡										土中の 遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		張部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1回 21					摩耗。	摩耗。					多量の長 石と多量の石 英。	網部小片。	SX313			
第2回 22	横ナデ。 斜目。	摩耗。	横・斜ハケ 目。		横指ナデ。 摩耗。	斜ハケ目。摩耗。	斜ハケ目。	長石 石英。	横壁完存。	△						
23	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。 斜・斜ナ デ。	摩耗。	ナデ。	横・斜ナ デ。	長石 多量の石 英。	口縁部完 存。	△					
24	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		摩耗。 横指おさ え後横ナ デ。	横・斜ヘラ ミガキ後 横・斜ナ デ。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	△					
25	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。		摩耗。 横指ナデ。	横・斜ハケ 目(摩耗)。			長石 多量の石 英座片 存。	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	△					
26	摩耗。	横ナデ。	摩耗。		横・斜ナ デ。	摩耗。			多量の長 石と多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△					
27	摩耗。	横ナデ。	摩耗。		斜ナデ。	摩耗。 沈級1枚。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	△					
28	横ナデ。 斜目。	摩耗。	横ナデ。						長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△					
29	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ(指 頭側)。	横ナデ。 段。			多量の長 石と多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	△					
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		摩耗。	横ナデ。 段。			長石 多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	△					
第3回 31	摩耗。 斜目。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	貼付安瓿。 沈級3重。 沈級2重。 沈級1重。 横ナデ。			長石 多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△					
32	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	横・斜ナ デ。			長石 石英。	口縁部 $\frac{3}{8}$ 存。	△					
33	摩耗。 斜目。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈級3重。			多量の長 石と多量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	△					
34	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。		横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。 沈級1枚。			少量の長 石と少量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	△					
35	摩耗。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	摩耗。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△					
36	横ナデ。 斜目。	斜ハケ目 後横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	横・斜ナ デ。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	△					
37	横ナデ。 斜目。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	横・斜ハケ 目。 斜ナデ。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	△					
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈級4重。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	△					
39	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈級3重。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△					
40	横ナデ。 斜目。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	斜ナデ。			長石 石英。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△					

押出番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部		土中の 造岩鉱物	道存状態	
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第30回 41	摩耗。 刻目。	横・斜ナ ダ。	横ナダ。			摩耗。	斜・斜ナ ダ。 沈線1条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SX313
42	横ナダ。 刻目。	横ナダ。	横ナダ。			斜ナダ。	横・斜ナ ダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ
43	摩耗。	摩耗。	摩耗。 横ナダ。			摩耗。	斜板ナ ダ。 刻目。 文。沈線2 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ
44	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ
45	摩耗。	摩耗。	横ナダ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	タ
第31回 46						横・斜ヘラ ミガキ後 横ナダ。	斜ヘラミ ガキ後 横ナダ。	横・斜ヘラ ミガキ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	タ
47								摩耗。	斜ヘラミ ガキ。 横ナダ。	長石 石英	底部完存。	タ
48						摩耗。	横・斜ヘラ ミガキ。	摩耗。	横・斜ヘラ ミガキ。	多量の長 石多量の石 英。	底部完存。	タ
49								摩耗。	横ヘラミ ガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ
50								斜ナダ。	斜ヘラミ ガキ後斜 ナダ。	長石 石英	底部完存。	タ
51						摩耗。	横・斜ヘラ ミガキ。	摩耗。	横・斜ヘラ ミガキ後 横ナダ。	長石 多量の石 英。	底部完存。	タ
52								斜・横ナ ダ。	斜・縱板ナ ダ(ハク状 原体)。	長石 石英	底部完存。	タ
53								横板ナダ。 横ナダ(排 頭底)。	摩耗。 横ナダ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。	タ
54						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	タ
55								横・斜ヘラ ミガキ。	斜・斜ヘラ ミガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ
56								ナダ。	横ナダ。	長石 石英	底部完存。	タ
57								斜ナダ。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ
58								横ナダ。 指おさえ。	横板ナダ。 指おさえ。	長石 石英	底部完存。	タ
59						摩耗。 指頭痕。	横ナダ(摩 耗)。	摩耗。	横ナダ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。	タ
60						斜指ナダ。	旋ハケ目。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	タ

辨認 番号	成形および調整の痕跡								土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置		
	口縁部	口縁部		頭部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第3回 61								横ナデ。	摩耗。	長石 石英	底盤はほ 充存。	SX313	
62						斜ナデ。	斜板ナデ。	ナデ。	斜板ナデ。	多量の長 石英	底盤充存。	〃	
63								摩耗。	摩耗。	多量の長 石英	底盤充存。	〃	
第3回 64	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
65	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線1条。			多量の長 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
66	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
67	摩耗。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。			横ヘラミ ガキ。	摩耗 横ヘラミ ガキ。	ヘラミガ ガキ。	ヘラミガ ガキ。	砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	

第25表 井戸状遺構伴出遺物一覧表

辨認 番号	成形および調整の痕跡								土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置		
	口縁部	口縁部		頭部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第3回 1	横ナデ。	斜ナデ(摩 耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩 耗)。	横・斜タタ キ目(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	SX310	
2	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			斜ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
3								ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	

第26表 自然凹地形伴出遺物一覧表

井戸番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁部		頸部		肩部		底盤		土中の 造岩鉱物	遺存状態		
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第17号	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	SX314	
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。 指頭痕。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。 沈板2条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ	
6	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈板2条。 横ハケ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	タ	
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ	
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈板4条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ	
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈板5条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
7	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ナ デ。	摩耗。 貼付炎帶 に沈板4 条。				長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{3}{5}$ 存。	タ	
8				摩耗。	横ナデ(摩 耗)。 貼付炎帶 1条。				長石 石英	頭部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ	
9	不規則な 剥離。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。			摩耗。	沈板7条。 底板ナデ。		長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	タ	
10	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈板5条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	タ	
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	沈板9条 (摩耗)。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
12	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			横ナデ(摩 耗)。	摩耗。 沈板5条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
13	剥離。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 沈板5条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			前板ナデ。 縫ヘラミ ガキ。 底板ナデ。	底板ナデ。 縫ヘラミ ガキ。 底板ナデ。		長石 石英	口縁部は ほ存。	タ	
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	タ	
16	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ	
17	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 縫・側ナ デ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	タ	
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
19	横ナデ。 剥離。	横ナデ。	横ナデ。			側ナデ。	横ナデ。 沈板3条。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ	
第17号 20				摩耗。	横ナデ(摩 耗)。 貼付炎帶。	摩耗。	摩耗。		長石 多量の石 英	頭部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ	

井戸番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置	
	口縁部	口 縁 部		頸 部		胴 部		底 部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面				
第30号 21						斜ナゲ。	磨ナゲ(厚 純)。	ナゲ。	斜ナゲ。	長石 石英	底部完存。	SX314
22								摩耗。	摩耗。	長石 大粒の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	✓
23								斜ヘラミ ガキ。	斜ナゲ。 継ハケ目。	長石 石英	底部 $\frac{3}{4}$ 存。	✓
24								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	✓
25								継ナゲ。	摩耗。	長石 大粒の石 英	底部 $\frac{4}{5}$ 存。	✓
26								斜ナゲ。	斜ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	✓
27								継板ナゲ。	斜ヘラミ ガキ。 摩耗。	長石 石英 少量の石 英	底部完存。	✓
28								横・斜ヘラ ミガキ。 継板ナゲ。	継ハケ目。	長石 石英	底部完存。	✓
29					横・斜ナ ゲ。	斜ヘラミ ガキ。	ナゲ。	斜ヘラミ ガキ。		少量の長 石 少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	✓
30								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	✓
31								摩耗。	摩耗。	大粒の長 石	底部ほぼ 完存。	✓
32								指おさえ (摩耗)。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	✓
33								摩耗。	継ハケ目 後接ナゲ。	長石 石英	底部完存。	✓
34								摩耗。	摩耗。	長石	底部ほぼ 完存。	✓
第31号 1	磨ナゲ(厚 純)。	磨ナゲ(厚 純)。	磨ナゲ(厚 純)。							多量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SX315
2						斜ナゲ。	磨ナゲ。 木葉文。			長石粗片 石英粗片	体部小片。	✓
3	横ナゲ(厚 純)。 割目。	斜板ナ ゲ(摩耗)。	継板ナ ゲ(摩耗)。 後接ナ ゲ(摩耗)。			斜板ナ ゲ(摩耗)。	継板ナ ゲ(摩耗)。 後接ナ ゲ(摩耗)。 沈積8束。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	✓
4	横ナゲ(厚 純)。 割目。	摩耗。	横ナ ゲ(摩 耗)。			摩耗。	横ナ ゲ(摩 耗)。 沈積10束。			多量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	✓
5								横・斜ナ ゲ。	継板ナ ゲ。	長石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	✓
6								摩耗。	継板ナ ゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	✓

持因 番号	成形および調整の痕跡										地土中の 遺石器物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第7回 7					摩耗。	縦板ナデ 後横ナデ。	摩耗。	縦板ナデ 後横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{3}{4}$ 存。	SX315					
8							斜ナデ。	斜ハケ目。	長石 石英	底部 $\frac{4}{5}$ 存。						
9							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。						
第17回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SX316					
2	刻目。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。					長石 石英	口縁部小 片。						
3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 摩耗。						長石 石英	口縁部小 片。						
4							指印痕。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。						
第18回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SX327					
2					摩耗。	縦ナデ。 貼付突削 に刻目。			長石 石英	脚部 $\frac{1}{16}$ 存。						
3	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。		縦板ナデ。	沈幅11条。 横ナデ。			長石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。						
4	摩耗(刻 目)。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈幅10条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。						
5	摩耗。 刻目。	横ナデ。	摩耗。		横ナデ。	摩耗。 沈幅10条。 刻突文。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。						
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。						
7	横ナデ。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			長石 石英細片	口縁部小 片。						
8	刻目(摩 耗)。	摩耗。	横ナデ。		摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部小 片。						
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	縦板ナデ。			長石 石英	口縁部小 片。						
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部小 片。						
11	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		摩耗。	摩耗。			長石	口縁部小 片。						
12	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			少量の長 石 石英	口縁部小 片。						
13							摩耗。	底・斜ナ デ。	長石 石英	底部完存。						

件目 番号	成形および調整の痕跡								種土中の 遺亜鉛物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		腹部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第14 14								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底部 $\frac{3}{8}$ 存。 SX327			
15								摩耗。	横ナゲ。	大粒の長 石 大粒の石 英	底部完存。			
16								摩耗。	摩耗。	長石 多量の石 英	底部完存。			
17								摩耗。	横・斜ヘラ ミガキ後 研・斜ナ ゲ。	長石 石英	底部完存。			
18								斜ナゲ。	横ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 シ			
19								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 石英	底部完存。			

第27表 自然流路伴出遺物一覧表(1)

擇固 番号	成形および調整の痕跡										粘土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口歯部		頭部		胴部		尾部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第27表 1	(立上部内 面)横ナデ。 (立上部外 面)横ナデ。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SX307				
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ				
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					砂粒をは とんど含 まず細緻。	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	タ				
5	摩耗。 斜行文。	横ナデ。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ				
6	鋸齒文。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 小 片。	タ				
7	摩耗。	横ナデ。 摩耗。	横ナデ。 横ハケ目。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ				
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	タ				
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	タ				
10	横ナデ。	横ナデ。	横タタキ 目。			縦ヘラ削 り。 頭頭底。	横・右上り タタキ目。	斜ヘラ削 り。	摩耗。	少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	タ				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 斜・斜 目後 横ナ デ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ				
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。 板厚体の 抜歯。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ				
13	横ナデ。 沈線1条。	横ナデ。	横ナデ。			縱指おさ え。	斜ハケ目。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ				
14	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ				
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。 縱指ナデ (摩耗)。	摩耗。 横ハケ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ				
16						縦ナデ。	縦・斜ハケ 目。	ナデ。	縦・斜ハケ 目。	少量の長 石 少量の石 英	底盤 $\frac{1}{2}$ 存。	タ				
17						縦指ナデ。 後横ナデ。	横タタキ 目。 横ハケ目。	ナデ。	縦ハケ目。	長石	底盤完存。	タ				
18							縦ナデ。	摩耗。		砂粒をは とんど含 まず細緻。	底盤 $\frac{1}{2}$ 存。	タ				
20	横ナデ。	斜ハケ目。 後横・横ナ デ。	横タタキ 目後横ナ デ。			斜ハケ 目 後底・斜ナ デ。	横・右上り タタキ目。	斜板ナデ 後継ナデ。	横・左上り タタキ目。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ				
21	摩耗。	横ナデ。	斜ハケ目。 後横ナデ。			斜ハケ目 後斜ナデ。	横・右上り タタキ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ				

第28表 自然流路伴出遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										被土中の 遺石状物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯部		脚部		脚端部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面									
第28回 19						磨・張ナ ジ。シボリ目。	摩耗。	横ナジ。		長石 石英	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。	SX307				

第29表 自然流路伴出遺物一覧表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置		
	杯 豆		杯 身		高 杯		豆		内面	外面				
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第29回 32			1 回転ナジ。 3 回転ナジ。	1 回転ナジ。 3 回転ナジ。							口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	SX307		
33			1 回転ナジ。 3 回転ナジ。	1 回転ナジ。 3 回転ナジ。							口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-		

第30表 河道跡伴出遺物一覧表(1)

擇因 番号	成形および調整の痕跡												出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部		内面	外面	内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面										
第104 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SX312				
2	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			縦指紋さ え後横ナ デ。	横・斜ナ デ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ				
3	刻目。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	斜ヘラミ ガキ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ				
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラミ ガキ。	横・斜ヘラ ミガキ。					長石 石英	口縁部小 片。	タ				
5									摩耗。	横ナデ。 指頭風。	少量の長 石・少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	タ					
第485 1									摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SX320					
2									斜ナデ。	斜ナデ。	長石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ					
3									摩耗。	横ナデ。 摩耗。	長石 石英	底部ほぼ 完存。	タ					
4									ナデ。	横ナデ。 指頭風。	長石 石英	底部完存。	タ					

第31表 河道跡伴出遺物一覧表(2)

擇因番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		壺		内面	外面	内面	外面				
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第454 5			1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SX320		
6			1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	タ		
7			1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。	1 3回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	タ		

第32表 河道跡伴出遺物一覧表(3)

擇図 番号	成形および調整の痕跡								地土中の 造岩鉱物	透古状態	出土位置			
	口縁部		頸部		側部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第402 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SX16			
2	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
3								斜ハケ目。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
5								摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
第402 1	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SX17			
第402 1	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横板ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。				少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{2}{5}$ 存。	SX20			
2	摩耗。	摩耗。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	摩耗。	摩耗。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{2}{5}$ 存。	〃			
3	横ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	不明。	長石 石英	完存。	〃			
4	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃			
5	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目 後横ナデ。 沈線 3 条。	横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	〃			
6	横ナデ。	横面横ハ ケ目。	横ナデ。	横ナデ。	沈線 3 条。	沈線 3 条。	沈線 3 条。	横ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 沈線 3 条。	横ナデ。 鈍板ナデ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
第402 9	横ナデ。 剥目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 鈍板ナデ。	横ヘラ ミガキ。	横ヘラ ミガキ。	長石 石英	少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。			
10	剥目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 剥目。	横ヘラ ミガキ。 剥目。	横ヘラ ミガキ。	石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
11	剥目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 横ナデ。	横ナデ。 沈線 5 条。	横ナデ。 沈線 5 条。	長石 石英	少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。			
12	剥目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
13	摩耗。	摩耗。	摩耗。	沈線 4 条。		摩耗。	摩耗。	把手有。	多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
14	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 剥目後横ナデ。	横ナデ。 剥目後横ナデ。	横ナデ。 剥目後横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	〃			

括弧 番号	成形および調整の痕跡										出土位置
	口縁部	口縁部		頭部		肩部		底部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第6回 15	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 SX20
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	一帯縱ナ テ後側へ ラミガナ。 横ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横ヘラミ ガキ後横 ナデ。	横ヘラミ ガキ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。 〃
17								摩耗。		少量の長 石少量の石 英	底部完存。 〃
18								横ナデ(指 頭痕)。	縱板ナデ。 縱板ハケ目。	長石 石英	底部は僅 完存。 〃
19								鈎ヘラミ ガキ後横 板ナデ。	鈎ヘラミ ガキ後縱 板ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 〃
20								横ヘラミ ガキ後横 板ナデ(指頭 痕)。	鈎ヘケ目 後横板ナデ。	多量の石 英	底部完存。 〃
21								摩耗。	縱板ナデ。	少量の長 石少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 〃
第6回 1	一帯割目。	横ナデ。	横ナデ。	縱ナデ後 横板ナデ。	指頭痕後 横板ナデ。	指頭痕後 横板ナデ。	縱板ナデ。 鈎ヘラミ ガキ。			少量の長 石多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 〃
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	鈎ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。 〃
3	横ナデ。 割目。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈縫4處。	摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 〃
4	割目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	鈎ヘラミ ガキ後横 板ナデ。 沈縫4處。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。 〃

第33表 河道跡伴出遺物一覧表(4)

持認番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置		
	杯 盆		杯 身		高 杯		豆									
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第46回 7	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。											端部 $\frac{1}{10}$ 存。	SX16		
8	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。											端部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
9	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ヘラ削 2 回転ヘラ削 3 回転ヘラ削 4 回転ナデ。											端部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
10	1 回転ナデ。 2 仕上げナ 3 回転ナデ。	1 回転ヘラ削 2 回転ヘラ削 3 回転ナデ。											頂部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		
11			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削 4 回転ナデ。									口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃		
12			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削 4 回転ナデ。									口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
13			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ削 4 回転ナデ。									口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	〃		
第46回 2			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。									口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	SX17		
3			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。									口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	〃		
4									2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。					口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
5									2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。 5 回転ナデ。					口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃	
6									2 回転ナデ。 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。			口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃		

第34表 溝状造構伴出遺物一覧表(1)

辨別番号	成形および調整の痕跡												出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部		頸部		胴部		底部		内面	外面	内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面										
第458 1	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。										少量の長石 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SD301			
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。										長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。				摩耗。	横ナデ。					少量の長石 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
5									摩耗。	摩耗。			長石 石英	底部完存。	〃			
第459 1	摩耗。 剝突文。 剝突文。 斜格子文。	摩耗。	摩耗。										長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SD303			
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。										砂粒をほとんど含まない。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
3	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。				斜ヘラ削り(摩耗)。	摩耗。					長石細片 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃			
4									摩耗。	右上り目タキナ 摩耗。			長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
5									摩耗。	横タキナ 目。			長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
第460 1	横ハケ目。 後横ナデ。	横・斜ハケ 目。	縦ハケ目。 後横ナデ。				横ハケ目。	横・斜ハケ 目。後横ナデ。					長石 大粒の石英	口縁部は ほぼ完存。	SD307			
2	摩耗。	摩耗。	横・斜ナデ。 横ナデ。	横・斜ナデ。 横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	縦ハケ目。	摩耗。	縦ハケ目。				長石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
3	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナデ。	横・斜ナデ。	縦ハケ目。				砂粒をほとんど含まない。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
4	摩耗。	横ナデ。	横・斜ハケ 目。後横・斜 ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横指おさ え横ナデ。	縦ハケ 目。後横・斜 ナデ。				多量の長石 多量の石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃			
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横・斜ナデ 目。						石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃			
6	横ナデ。 凹線3条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。	斜板ナデ。	縦ハケ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
7	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。										長石	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	〃			
9	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。										少量の長石 少量の石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
10	摩耗。	摩耗。	摩耗。										長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
11	摩耗。	横ナデ。	縦ハケ 目。 後横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ 目。 後横ナデ。	摩耗。	横タキナ 目。						長石 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			

探査 番号	成形および調整の眞跡								地土中の 造岩物	遺存状態	出土位置		
	口縫切部	口縫部		類部		調部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第56回 12	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横・斜ナ ゲ。	縫・板ナ ゲ。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD307	
13	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			縫・斜ヘ タリ後縫・ 斜ナゲ。	縫・斜ハケ 目後横・斜 ナゲ。			砂粒をは とんど含 まない。	口縫部 $\frac{1}{24}$ 存。	〃	
14	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			摩耗。	斜ハケ目。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
15	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ(摩 耗)。	横ナゲ。			横ナゲ・ 斜ヘタリ。	縫・斜ヘ タリ(摩耗)。 左上ウタ タキ目。			長石細片 石英細片	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
16	摩耗。	横ハケ目。	横ハケ目 後横ナゲ。			摩耗。	縫・斜タタ キ目。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
第57回 17	摩耗。	摩耗。	摩耗。 右上ウタ タキ目。			摩耗。	右上ウタ タキ目。			長石 石英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
18	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			指頭微 摩耗。	指タタキ 目(摩耗)。			大粒の長 石大粒の石 英	口縫部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
19	横ナゲ。	横板ナゲ。	横ナゲ。			横・斜板ナ ゲ。	縫・斜板ナ ゲ。			長石細片 石英細片	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
20	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ(指 頭微)。	縫板ナゲ (摩耗)。			砂粒をは とんど含 まない。	口縫部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃	
21	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ・ 斜ハケ目。	摩耗。			砂粒をは とんど含 まない。	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
22	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ 後横ナゲ。			摩耗。	縫ハケ目 後横ナゲ。			長石 大粒の石 英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
23	横ナゲ。 凹線3条。	横ナゲ。	横ナゲ。							長石 石英	口縫部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
24	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			摩耗。	縫ハケ目。			砂粒をは とんど含 まない。	口縫部 $\frac{1}{6}$ 存。	〃	
25						摩耗。 縫・斜ナ ゲ目。	横ナゲ。 縫・斜ナ ゲ目。	縫・斜ハ ケ目。	縫・斜ハ ケ目。	長石 石英細片	底部 $\frac{1}{3}$ 存。 底部完存。	〃	
26								横・斜ナ ゲ目。	横・斜ハ ケ目。	少量の長 石少量の石 英	底部完存。	〃	
27						摩耗。	縫タタキ 目後横ハ ケ目(摩 耗)。	摩耗。	横・右上ウ タタキ目 (摩耗)。	長石 少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
28								斜ハケ目。 ナゲ。	斜ハケ目。	少量の長 石少量の石 英	底部はぼ 完存。	〃	
29							縫ヘタリ ナゲ。	縫ヘタリ ナゲ。	砂粒をは とんど含 まない。	底部はぼ 完存。	〃		
30							縫・斜ヘ タリ後縫・ 斜ナゲ。	縫・斜ナ ゲ目。	少量の長 石少量の石 英	底部完存。	〃		
31						摩耗。	縫タタキ 目後横・斜 ナゲ。	摩耗。 斜板ナゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃		

種別 番号	口縁端部	底形および調整の痕跡								胎土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第2865 32								摩耗。	摩耗。	少量の長 石英	底部完存。	SD307
33								摩耗(一部 剥離ハケ目)。	斜ハケ目 後削ナダ。	長石 石英	底部完存。	〃
34						斜ヘラ削 り。	縦・斜ハケ 目。	ヘラ削り。	縦・斜ハケ 目。	長石細片。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃
35						摩耗。	縦・斜ハケ 目。	摩耗。	摩耗。	少量の長 石英	底部完存。	〃
36								摩耗。	摩耗(斜 ハケ目 後削ナダ)。	長石細片 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃
37								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃
第2866 39	摩耗。	斜ハケ目。	斜ナダ。			斜ハケ目。	斜ナダ。	摩耗。	左上リタ キ目。	少量の長 石英	底部完存。	〃
40	摩耗。	横ハケ目 (摩耗)。	縦ハケ目 後削ナダ。			縦・横・斜 ハケ目(摩 耗)。	縦・横・斜 ハケ目(摩 耗)。			長石細片 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃
41	凹線1条。	横ナダ。	横ナダ。			斜ナダ。	縦ハケ目。			少量の長 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃
42	横ナダ。	斜ハケ目 後削ナダ。	横ナダ。			縦・斜ハケ 目。	斜・斜ヘラ 削・横・左上 リタキ目。	斜・斜ハケ 削・横・左上 リタキ目。	斜・斜ヘラ 削・横・左上 リタキ目。	長石 石英細片	口縁部は ほ存。	〃
43	横ナダ。	横ナダ。	横・斜ナ ダ。			斜板ナダ。	横・斜ナ ダ。	斜・板ナ ダ。	横・斜ナ ダ。	長石	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃
44	摩耗。	斜板ナダ。	横・斜ナ ダ。			斜板ナダ。	横・斜ナ ダ。	斜板ナダ。	横・斜ナ ダ。	長石細片	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃
45	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈版1条。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃
46	横ナダ。	縦・斜ハケ 目。	縦ヘラ削 り後横ナ ダ。			縦・斜ハケ 目。	縦・斜ヘラ 削・横ナ ダ。	縦・斜ヘラ 削・横ナ ダ。	縦・斜ヘラ 削・横ナ ダ。	少量の長 石英	ほぼ完存。	〃
47	摩耗。	摩耗。 斜ハケ目。	横タキ 目。			縦・斜ハケ 目。	縦・斜ハケ 目。	摩耗。	縦・斜ハケ 目。	砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃
48	摩耗。	斜ヘラ 削・横削 ナダ。	横ハケ目 後斜ナ ダ。			斜・ヘラ削 り後削 ナダ。	斜・ヘラ削 り後削 ナダ。	斜・ヘラ削 り後削 ナダ。	斜・ヘラ削 り後削 ナダ。	長石細片 石英細片 金銀母	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃
第2867 1	車耗。	車耗。	車耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SD308
2	摩耗。	横ナダ。	横ナダ。			斜ヘラ削 り。	斜ナダ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃
第2868 1	摩耗。	摩耗。	横タキ 目。			摩耗。	右上リタ キ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SD311
第2869 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SD312

探査 番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胴部		底部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第12回 2	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 端付突起。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD312			
3	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横ナデ。		横・斜ナ デ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。						多量の長 石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈締1条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	△			
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。				長石 多量の石 英	口縁部小 片。	△			
9	横ナデ。	横ナデ。	横ハゲ目 板ナデ。	横ナデ。	板ナデ。				長石の長 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	△			
10	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。				多量の長 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△			
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 端付突起 に沈締2 条。	横ナデ。	横ナデ。		長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			
12	摩耗。	摩耗。	摩ナデ。	摩耗。	摩ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
13	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 沈締2条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。 沈締2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	△			
15					横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。 沈締2条。 竹管文。			長石 石英	洞壁 $\frac{1}{10}$ 存。	△			
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		指おさえ 後横・斜ナ デ。	指おさえ 後斜ナデ。	指おさえ 後横・斜ナ デ。	指おさえ 後斜ナデ。	長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	△			
第13回 17	摩耗。	摩耗。	摩耗。		斜ナデ。	摩耗。 沈締7条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	△			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ	横・斜ナ デ。	横ナデ。				長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	△			
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	摩耗。 沈締3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	△			
20	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	横ナデ。 沈締12条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	△			
21	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。		斜ナデ。	摩耗。 沈締1条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	△			

擇認番号	成形および調整の痕跡										胎土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第1選認22	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横・斜ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SD312				
23	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横・斜ナデ (摩耗)。			多量の長 石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	〃				
24	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	〃				
25	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	胴部 $\frac{1}{1}$ 存。	〃				
26	摩耗。 刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	胴部 $\frac{1}{11}$ 存。	〃				
27	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。 沈線7条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃				
28	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線5条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃				
29	刻目(摩耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜指おさ え(摩耗)。	横ナデ。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃				
30	刻目。	横ナデ。	横ナデ。							長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〃				
31	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。 沈線1条。			底・横・斜 ナデ。	底・斜ナ デ。	ナデ。	底へラ イガキ指おさ え後横 ナデ。	長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
32									斜ナデ(指 頭痕)。	長石細片 石英	底無 $\frac{1}{8}$ 存。	〃				
33									横板ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃				
34									底・斜ナ デ。指頭痕。	底・斜板ナ デ(摩耗)。 横ナデ。	長石	底部完存。	〃			
35						摩耗。	摩耗。 指頭痕。		横ナデ。	長石 多量の石 英	底部完存。	〃				
36									斜指おさ え。 摩耗。	摩耗。	長石 石英細片	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃			
37									指頭痕。	横ナデ。	長石	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃			

第35表 溝状遺構伴出遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土中の 遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		杯底		脚部		脚部		脚部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第45回 4					摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD301					
第25回 38			摩耗。	摩耗。	シボリ目 (摩耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	少量の長 石 少量の石 英	脚部は ほぼ完存。	SD307					

第36表 溝状遺構伴出遺物一覧表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		高 杯		盃		盃					
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第46回 6	1 仕上げナ デ。 2 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。									ほぼ完存。	SD301		
7			1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	*		
第46回 8			1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	SD303		
9			1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 仕上げナ デ。	1 回転ナデ。 2 3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。							口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	*		
10			2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部小 片。	*		
第45回 2			3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	3 回転ナデ。 4 回転ナデ。	3 回転ナデ。 4 回転ヘラ 削り。						底部 $\frac{1}{4}$ 存。	SD311		

第37表 溝状造構伴出遺物一覧表(4)

掲 示 番 号	成形 および 国 無の痕跡								出土中の 透岩部物	道存状態	出土位置			
	口縁部		頸 部		胴 部		底 部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第37 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦ハケ目。				長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	SD04			
2	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
3	凹線1条。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目。				長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ			
5	斜格子文。	横ナデ。	横ナデ。						精緻。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	タ			
6	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ			
8	横ナデ <small>(左上 右上 左中 右中 左下 右下 内 外 縫合 横ナデ 横ナデ 横ナデ)</small>	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
9	草託。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
10	草託。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	草託。		精緻。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ			
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。		長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜・縦ハケ 目。	斜・縦ハケ 目。		長石含む が精緻。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
13	凹線1条。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	タ			
14	横ナデ。	摩耗。	左上りタ キ目。			摩耗。	左上りタ キ目		少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 右上りタ キ目。			横ナデ。	右上りタ キ目。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	タ			
16	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。		長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
17	横ナデ。	横ナデ。	右上りタ キ目。			横ナデ。	右上りタ キ目。		石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	タ			
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上りタ キ目。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			
19	摩耗。 <small>(左上 右上 左中 右中 左下 右下 内 外 縫合 横ナデ 横ナデ 横ナデ)</small>	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。		長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	タ			
20	摩耗。 <small>(左上 右上 左中 右中 左下 右下 内 外 縫合 横ナデ 横ナデ 横ナデ)</small>	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	タ			

邦國 番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置		
	口縁焼部	口縁部		頸部		胴部							
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第三回 21	横ナデ。 (左上部内面) (左上部外面) 横ナデ。 花瓶。	横ナデ。	横ナデ。							長石	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SD04	
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃	
23					摩耗。	左上りタ タキ目後 斜ハケ目。	摩耗。	左上りタ タキ目。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	〃		
24					横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃		
25					横ナデ。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃		
26					底へテ削 リ。	横ナデ。	底へテ削 リ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	〃		
28	横ナデ。	圓状ハケ 目。	横タタキ 目(摩耗)。		圓状ハケ 目。	横タタキ 目。	圓状ハケ 目。	横タタキ 目。	石英	底部完存。	〃		
29	横ナデ。	横ナデ後 斜ハケ目。	横ナデ。		横ナデ後 斜ハケ目(摩 耗)。	横ナデ後 斜ハケ目(摩 耗)。			長石	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃		
30								ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。	〃		
31	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。		横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃		
第四回 1	摩耗。	摩耗。	横タタキ 目。	横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	SD05		
2	横ナデ。	横ナデ、 丹波の痕	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
3	鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。						多孔の長 石 多孔の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〃		
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。						粗粒。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
5	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。				粗粒。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃		
6	摩耗。	摩耗。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	〃		
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。			長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
9	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。		横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〃		

押出番号	成形および調整の痕迹										胎土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第44回 11	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。				長石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD05			
12	横ナデ。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。			横ナデ(摩耗)。	横ナデ。				精緻。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
13	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
14	凹線 2 条。	横ナデ。	横ナデ。 舟型の痕跡。			横ナデ。	横ナデ。				長石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	右上リタキ目。				長石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
16						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 霞母	底部完存。	〃			
17						斜ヘタ削 り後底ハケ目(粗)。	斜・側ハケ目。	斜ヘタ削 り後底ハケ目(粗)。	摩耗。		長石	底部完存。	〃			
18						斜ハケ目 (摩耗)。	右上リタキ目(摩耗)。	斜・側ハケ目(摩耗)。	右上リタキ目(摩耗)。		長石 石英	底部完存。	〃			
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	剝落。				石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
20	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	摩耗。			横ナデ(摩耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	〃			
21								摩耗。	摩耗。		少量の石 英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃			
第45回 1	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD36			
2									横ナデ。	摩耗。	長石	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	SD40			
4		横ナデ。	横ナデ。			剝落。	横ナデ後 剝ハケ目。				長石 石英	強度 $\frac{1}{6}$ 存。	〃			
5						横・斜板ナ デ(摩耗)。	斜ハケ目(摩耗)。	横ナデ(摩 耗)。	斜ハケ目 (摩耗)。		長石 石英	底部完存。	〃			
6								斜ハケ目。	横タキ 目。		長石	底部完存。	〃			
9								摩耗。	摩耗。		微量の石 英細片	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	SD48			
13	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 小 片。	SD49			
14								摩耗。	横ナデ。		長石微細 片	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃			

押出 番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		瓶部		胴部		底部				
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第65回 15								摩耗。	横ナデ。	砂粒をほ とんど含 まず精鑿。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 SD49	
18								摩耗。	横ナデ。	墨量の長 石	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 SD50	
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	墨量の長 石 墨量の底 盤超片	底部 $\frac{1}{3}$ 存。 〃	
20								摩耗。	摩耗。	握母細片	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 〃	
22	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	摩耗。	握母微細 片	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 SD58	
23								摩耗。	摩耗。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 〃	
第66回 1								摩耗。	摩耗。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 SD68	
2								摩耗。	摩耗。	砂粒をほ とんど含 まず精鑿。	底部 $\frac{1}{8}$ 存。 〃	
3								摩耗。	摩耗。	砂粒をほ とんど含 まない。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 〃	
6			摩耗。	沈綴 2 本 (摩耗)。						長石 多量の石 英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。 SD10	
7					横板ナデ。	貼付突帯 に剥落(摩 耗)。				長石 石英 握母	洞部 $\frac{1}{6}$ 存。 〃	
8								ナデ(摩 耗)。	軸ヘラ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。 〃	
9								横ナデ。	横板ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。 〃	
10					軸ヘラ(摩 耗)。	横板ナデ に剥落(摩 耗)。				長石 石英	頭部 $\frac{1}{8}$ 存。 SD11	
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 指壓痕。			摩耗。	横ナデ 沈綴 2 本。			長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。 〃	
12								ナデ。	横ナデ。	長石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 〃	
第67回 1	横ナデ。	横ナデ後 横板ガキ。	横ナデ後 横板ガキ。	横ナデ後 横板ガキ。	横ナデ後 横板ガキ。	横ナデ後 横板ガキ。				石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 SD109	
2	横ナデ。	横ナデ後 横板ガキ。	横ナデ後 横板ガキ。			横ナデ後 横板ヘラ(摩 耗)。	横ナデ後 横板ヘラ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。 〃	
3		横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			多量の長 石	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 〃	
4						横ナデ。	横ナデ。 突帶。			石英	洞部 $\frac{1}{6}$ 存。 〃	

押出番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口 縁 部		頸 部		胴 部		底 部		胎土中の 造岩鉱物		
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面			
5	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 刻突文。			横ナデ。	横ナデ。			長石	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
6	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ後 沈線 8 条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	
7	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 剝落。			石英	口縁部小片。	
8	横ナデ。 剝目。	横ナデ。	横ナデ。			縱ナデ。	横ナデ。			石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	
9	摩耗。	摩耗。	指頭痕。			摩耗。	枕板 3 条。 摩耗。			石英	口縁部小片。	
10							横ナデ。	横ナデ。	多盃の長 石多盃の石	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
11							横板ナデ (摩耗)。	横ナデ後 彫 $\frac{1}{2}$ ガキ。	多盃の石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
12							横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	長石 多盃の石 底部完存。	底部完存。	〃	
13				摩耗。	縦ヘラ $\frac{1}{2}$ ガキ後横 ナデ。	摩耗。	縦ヘラ $\frac{1}{2}$ ガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	〃	
14				横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	横ナデ後 彫ハケ目。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
15				摩耗。	彫ヘラ $\frac{1}{2}$ ガキ後横 ハケ目。	横ナデ。	摩耗。	多盃の長 石多盃の石 石英	底部完存。	底部完存。	〃	
16						ヘラ $\frac{1}{2}$ ガ キ(摩耗)。	彫ヘラ $\frac{1}{2}$ ガキ(摩 耗)。	石英	底部完存。	底部完存。	〃	
17				摩耗。	剝落。	摩耗。	剝落。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
18						横ナデ。	横ナデ後 彫ハケ目。	長石	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	〃	
19						剝落。	彫ハケ目 (摩耗)。	長石 多盃の石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	〃	
20						剝ヘラ $\frac{1}{2}$ ガキ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	底部完存。	〃	

第38表 溝状造構伴出遺物一覧表(5)

探査番号	成形および調整の痕跡										胎土中の 石器断片	遺存状態	出土位置			
	口縁端部		口 縁 部		杯 落 部		脚 部		脚 端 部							
			内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第2668 27							摩耗。 シボリ目。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚端部 $\frac{1}{4}$ 存。	SD04			
第2535 22					摩耗。	摩耗。					長石 石英	脚部は 完存。	SD05			
23							摩耗。	摩耗。			長石 石英	脚部は 完存。	"			
第4620 7	摩耗。	摩耗。	横ナデ。								多量の長 石英 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	SD40			
8							横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。		長石	脚部は 完存。	"			

第39表 溝状造構伴出遺物一覧表(6)

探査番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置		
	杯 盘		杯 身		高 杯		豆							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第4620 10			2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	2 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部小 片。	SD48		
11			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							底部 $\frac{1}{4}$ 存。	"		
第4620 4			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	SD68		
5			4 回転ナデ。 5 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。							底部 $\frac{1}{5}$ 存。	"		

第40表 土器列伴出遺物一覧表(1)

擇因 番号	成形 および 固定の痕跡										出土中の 造形部物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第一回 1	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。 貼付突起に剣目。	摩耗。	斜ハケ目。 貼付突起に剣目。	摩耗。	縫・斜ハケ 目(摩耗)。	摩耗。	縫・斜ハケ 目(摩耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	—				
2	横ナデ。	斜ナデ。	横ナデ。	摩耗。	縫ハケ目。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—				
3	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ナデ。	縫ハケ目。					長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	—				
4	横ナデ。	縫・斜ヘラ 「ガキ」(摩 耗)。	横ナデ。 縫・斜ハケ 目(摩耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—				
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	斜ヘラ削 り(摩耗)。	摩耗。				長石 石英	口縁部は は完存。	—				
6	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	縫ハケ目。			摩耗。	斜ハケ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	—				
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	斜ヘラ削 り。	斜ハケ目。	斜ヘラ削 り後斜ハ ケ目。	斜ハケ目 (摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	—				
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。			縫・斜ヘラ 削り(摩 耗)。	縫・斜ヘラ 削り(摩 耗)。			長石 石英	口縁部(頸 部) $\frac{1}{4}$ 存。	—				
9	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			斜ヘラ削 り後縫・ 横・斜板ナ ズ。	横タキ 目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—				
10	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ヘラ削 り。	斜ハケ 目(摩耗)。	斜ハケ 目(摩耗)。		長石 石英	口縁部小 片。	—				
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ(摩 耗)。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	—				
第二回 12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ ズ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	—				
13	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ ズ。	横ナデ。			少量の長 石と少量の石 英。	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—				
14	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			斜ヘラ削 り。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—				
15	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	左上リタ キ目(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—				
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{2}{3}$ 存。	—				
17	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	—				
18	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縫・斜ハケ 目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	—				
20	摩耗。	摩耗。	右上リタ キ目。			縫・斜ハ ケ目。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	—				
21	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			摩耗。	横タキ 目(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	—				

辨認 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉢物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		腹 部		脚 部		底 部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第41表 22	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	—	—			
23								範指ナデ。 摩耗。	指認風。 摩耗。	長石 石英	腹部完存。	—	—			
24								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	—	—			
25					斜ハケ目 後斜ナゲ。	摩耗。	斜ナデ。 指認風。	摩耗。	摩耗。	少量の長 石英	底部完存。	—	—			

第41表 土器列伴出遺物一覧表(2)

辨認番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉢物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯 部		脚 部		脚 端 部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第41表 18						摩耗。	摩耗。	摩耗。		長石 石英	脚 部 $\frac{1}{4}$ 存。	—	—			

第42表 土器群（第3層）伴出遺物一覧表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土中の 遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		肩部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第20区 1	横ナデ。 竹管文。 縦衝文。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-				
2	鋸歯文(草 鈴)。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。					少量の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	-				
3	横ナデ。 斜行文。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	-				
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	-				
5	摩耗。	摩耗。	摩耗。							砂粒を含 とんと含 まない。	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	-				
6	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	-				
7		横ナデ。	横ナデ。							石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	-				
8	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。		横ナデ(草 鈴・斜 行文)摩 耗。	左・右各 ナメラ キ日後 ハケ日。				少量の長 石	口縁部完 存。	-				
9	(立上部内 面) 摩耗。 (立上部外 面) 摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	-				
10	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	底・横ナ デ。	横ナデ。	底・横ナ デ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	-				
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	-				
12	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。							長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	-				
13	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-				
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-				
15	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-				
16	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 縫ハケ目。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-				
17	横ナデ。 凹線2条。	摩耗。	横ナデ。							砂粒を含 とんと含 まない。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-				
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	-				
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。		摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-				
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。		鉛ナデ。	鉛ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-				

辨認 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁南部	口縁部		張 部		胴 部		底 部								
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面							
第20回 21	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横タタキ 目(摩耗)。			砂粒を含 と含まれない。	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	—				
22	横ナゲ。	摩耗。	横ナゲ。			摩耗。	横ナゲ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	—				
23	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			摩耗。	右上りタ タキ目。			長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—				
24	摩耗。	摩耗。	横タタキ 目(摩耗)。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—				
25	摩耗。	横ナゲ。	斜ハケ目 後横ナゲ。			横ナゲ。	斜ハケ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—				
第25回 26	摩耗。	摩耗。	摩耗。 斜ハケ目。							砂粒を含 と含まれない。	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	—				
27	摩耗。	摩耗。	横タタキ 目(摩耗)、 斜ハケ目 (摩耗)。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	—				
28	摩耗。	摩耗。	横ナゲ。			摩耗。	摩耗。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—				
29	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	—				
30	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。 横ハケ目。			斜ハケ目。 指屈曲。 斜・横ハケ 目。	横タタキ 目。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—				
31	摩耗。	摩耗。	横ナゲ。			斜ハケ目。 斜・横ハケ 目(摩耗)。	斜ハケ目 (摩耗)。			長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—				
32	摩耗。	横ナゲ(摩 耗)。	横・右上り タタキ目 (摩耗)。			斜・横ハケ 目。	横・右上り タタキ目 (摩耗)。			石英	口縁部(暗 部) $\frac{1}{9}$ 存。	—				
33	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多量の長 石 石英細片	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	—				
34	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	—				
35								摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。	—				
36								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	—				
37								摩耗。	摩耗。	少量の長 石 少量の石 英	底部は僅 完存。	—				
38	摩耗。	摩耗。	横ナゲ。			斜・横ハケ 目(摩耗)。	左上りタ タキ目(摩 耗)。			長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—				
39	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	ほぼ完存 (口縁部を除く)。	—				
44	横ナゲ。	横ナゲ。	横ナゲ。			横ナゲ。	横ナゲ。			多量の長 石 多量の石 英細片	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—				

部品番号	成形および調整の痕跡										出土中の 遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第25回 45	横ナゲ。	横・側ナ ゲ。	右上りタ タキ目後 横ナゲ。							石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	-				
46	摩耗。	摩耗。			摩耗(底へ う削り)。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	-				
47							側へう削 り後斜ナ ゲ。	側へう削 り後斜ナ ゲ。	側へう削 り後斜ナ ゲ。	長石 石英	底部完存。	-				
48							底・側ナ ゲ。	右上りタ タキ目後 横ナゲ。	底・側ナ ゲ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	-				
49					底・側ハケ 目。	左・右上り タタキ目 後横ナゲ。	底・側・側 ハケ目。	側タタキ 目後横ナ ゲ。	側タタキ 目後横ナ ゲ。	長石 石英	底部完存。	-				

第43表 土器群（第3層）伴出遺物一覧表(2)

部品番号	成形および調整の痕跡										出土中の 遺物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		杯部		胴部		脚部		脚端部							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第25回 40					摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石 石英	脚部 $\frac{1}{2}$ 存。	-			
41					摩耗。	摩耗。					長石 石英	脚部 $\frac{1}{3}$ 存。	-			
42					摩耗。	底ハケ目 後横ヘラ ミガキ。	摩ナゲ(摩耗)。	摩ナゲ(摩耗)。	長石細片 石英細片 雲母	脚部 $\frac{1}{4}$ 存。		-				

第44表 土器群（第4層）伴出遺物一覧表(1)

排置 番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置		
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部					
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
1				縦・斜ナ ダ。	縦ハケ目 後横ナダ。 貼付突起 に刻目。	横ナダ。	横ナダ。			長石	頭部 $\frac{1}{6}$ 存。		
2				横ナダ。	摩耗。	摩耗。	斜ハケ目。 突起。刻 目。	横ナダ。		長石 石英	頭部 $\frac{8}{10}$ 存。		
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。		
4	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		
5	横ナダ。	摩耗。	横ナダ。			摩耗。	横ナダ。			大粒の長 石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。		
6	摩耗。	横ナダ。 横ハケ目。	横ナダ(摩 耗)。			横ナダ(摩 耗)。	横ナダ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。		
7	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。		
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多量の長 石細片 多量の石 英細片	口縁部 $\frac{5}{8}$ 存。		
9	横ナダ。	摩耗。	横ナダ。							長石細片 石英細片 雲母細片	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		
10	摩耗。	摩耗。	横ナダ。							少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。		
11	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。		
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗(一部 斜ハケ目)。			長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		
13	横ナダ。	摩耗。	横ナダ。							長石 石英 雲母	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。		
14	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。				少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		
15	横ナダ。	横ナダ。	横ナダ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。		
16	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。		
17	横ナダ。	横・斜ナ ダ。	斜ハケ目 後横ナダ。							砂粒をほ とんど含 ます細胞。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		
18	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。		
19	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。		
20	摩耗。 縫合。	摩耗。	摩耗。							長石 石英 雲母	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。		

捕獲 番号	成形および開墾の痕跡										粘土中の 遇岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		胸部		尾部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第2回 21	横ナデ。	横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。								砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部小 片。	—			
22	摩耗。 鋸歯文。	摩耗。	摩耗。								石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—			
23	摩耗。	摩耗。	摩耗。								多量の長 石細片 多量の石 英細片	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	—			
24	摩耗。 沈板。 鋸歯文。										長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	—			
第2回 25	(摩耗。 立上部内面) (摩耗。 立上部外面) (摩耗)。	摩耗。	側ハケ目 (摩耗)。		横指ナデ。	裏ハケ目 (摩耗)。					長石細片 石英細片	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。	—			
26	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—			
27	摩耗。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	—			
28	(立上部内面) (摩耗。 立上部外面) (摩耗。横ハケ 目)。	摩耗。	摩耗。								長石 石英	口縁部(兩 部除く) $\frac{1}{4}$ 存。	—			
29	(摩耗。 立上部内面) (摩耗。 立上部外面) (摩耗)。	摩耗。	摩耗。								長石細片	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—			
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—			
31	摩耗。	摩耗。	縦・斜ハケ 目(摩耗)。								長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	—			
32	(立上部内面) (摩ナデ(摩 耗))。 (立上部外面) (摩ナデ(摩 耗))。	摩ナデ(摩 耗)。	摩ナデ(摩 耗)。	摩ナデ(摩 耗)。	摩ナデ(摩 耗)。						少量の長 石細片 少量の石 英細片	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	—			
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。				長石細片	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—			
34	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			縦・斜ハケ 目(摩耗)。	右上りタ タキ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	—			
35	摩耗。	摩耗。	摩耗。 後・右上り タタキ目。			縦・斜ハケ 目。	横・右上り タタキ目。	斜ナデ。	斜ナデ。		長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—			
36	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	右上りタ タキ目後 横ナデ。			斜ナデ。	右上りタ タキ目後 横ナデ。				長石	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	—			
37	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横タタキ 目(摩耗)。			斜ヘラ削 り。	横タタキ 目(摩耗)。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	—			
38	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。 斜ヘラ削 り。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	—			
39	横ナデ。	横ナデ(指 頭底)。	横タタキ 目。			横ナデ(指 頭底)。	横タタキ 目。				砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	—			
40	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横・斜タタ キ目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	—			

探査 番号	成形および調整の痕跡								地土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底盤							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第38回 41	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
42	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。 横タタキ 目。		少量の長 石細片 少量の石 英細片	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
44	摩耗。	摩耗。	摩耗。 横タタキ 目(摩耗)。			摩耗。	横タタキ 目(摩耗)。		長石細片 石英細片	口縁部(矯 曲部近く) $\frac{1}{4}$ 存。	-			
45	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-			
46	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。			摩耗。	横タタキ 目(摩耗)。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	-			
第39回 47	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り(摩耗)。	横タタキ 目(摩耗)。		少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
48	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。 指頭痕。	摩耗。		長石細片 石英母	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
50	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-			
51	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。		長石 石英 金質母	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-			
52	摩耗。	摩耗。	横ナデ 摩耗。						長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-			
53	横ナデ(内 部)。横ナデ (立上部外 部)。横ナデ (立上部内 部)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削 り(摩耗)。	横ナデ。 横ハケ 目。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	-			
54	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			摩耗。	摩耗。(一部 斜ハケ目)。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	-			
55	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-			
56	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
57	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。		長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	-			
58						斜板ナデ (ハケ状原 体)。	横・斜ハケ 目。	斜状ハケ 目。	少量の長 石細片 少量の石 英細片	底部完存。	-			
59							斜ナデ。	横・左上り タタキ目。	長石 石英	底部 $\frac{2}{5}$ 存。	-			
60							横ナデ。	斜ナデ。	長石細片 石英細片	底部完存。	-			

標因 番号	成形および調整の痕跡										粘土中の 造岩礫物	造存状態	出土位置			
	口縁部		頭部		脚部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第五回 61									摩耗。	右上りタ タキ目。 摩耗。	長石 石英	底部完存。	-			
62					摩耗。	横・斜タタ キ目後斜 面ハケ目 (摩耗)。	摩耗。	摩耗。	ほとんど 砂粒を含 まない。	底部 $\frac{2}{3}$ 存。		-				
63							摩耗。	左・右上り タタキ目後 斜面ナデ。		長石 石英	底部完存。	-				
64							横ナデ。	右上りタ タキ目後 斜ナデ。		長石細片 石英細片	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	-				
65							摩耗。	横タタキ 目後斜・斜 面ハケ目(摩 耗)。	少量の長 石細片 少量の石 英細片	長石 石英	底部完存。	-				
66							斜ヘラ削 り。	斜ヘラ削 り。横・斜ハ ケ目。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	-				
67							斜ヘラ削 り。横・斜ハ ケ目。	右上りタ タキ目後 斜ハケ 目。	少量の長 石 少量の石 英	長石 石英	底部完存。	-				
68	摩耗。	横ナデ。 横ハケ目。								長石	口縁部小 片。	-				
69							摩耗。	右上りタ タキ目。	少量の長 石 少量の石 英	長石 石英	底部完存。	-				
70					摩耗。	摩耗。				長石 石英	底部完存。	-				
71					摩耗。	横ナデ。	長石 石英			長石	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	-				
72					摩耗。	摩耗。				砂粒をほ とんど含 まない。	底部 $\frac{3}{4}$ 存。	-				
73						指頭痕。	横タタキ 目。 摩耗。			砂粒をほ とんど含 まない。	底部完存。	-				
74					摩耗。	摩耗。				石英	底部完存。	-				
75					摩耗(斜ヘ ラ削り)。	右上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英			長石 石英	底部完存。	-				
76					摩耗。	左・右上り タタキ目。	長石 石英			長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	-				
77					摩耗。	摩耗。	長石 石英			長石 石英	底部浅存。	-				
78					摩耗。	摩耗。	長石 石英			長石 石英	底部完存。	-				
第五回 84	摩耗。	摩耗。	横・右上り タタキ目。		斜・斜ヘラ 削り。	横・右上り タタキ目後 斜ハケ 目。			大粒の長 石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	-					
85	横ナデ。	斜ナデ。	斜ナデ。 指頭痕。		斜ナデ。	斜タタキ 目後斜ナ デ(摩耗)。	斜ナデ。 斜ナデ(摩 耗)。		長石、石英 を含むが指 頭痕。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	-					

擇因 番号	成形および調整の痕跡								出土中の 造岩鉢物	造存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		腹 部		側 部		底 部						
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面					
第3388 86	摩耗。	横・斜ナ ジア。	摩耗。					斜板ナデ。摩耗。		長石 石英	口縁部 $\frac{3}{8}$ 存。	-		
87	摩耗。	斜板ナデ。	斜板ナデ。					斜板ナデ。斜板ナデ。		長石 石英	底部完存。	-		

第45表 土器群（第4層）伴出遺物一覧表(2)

擇因番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉢物	造存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		杯 部		脚 部		脚 端部								
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面									
第3389 79	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	縦・斜ハケ 目。 横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	-			
80				車耗。	摩耗。						長石 石英 金霞母	杯 部 $\frac{1}{2}$ 存。	-			
81						車耗。	摩耗。	車耗。			長石 石英	脚 部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			
82						摩耗。	車耗。	摩耗。			長石 石英	脚 部 $\frac{1}{4}$ 存。	-			
83						摩耗。	摩耗。				長石 石英	脚 部 $\frac{1}{5}$ 存。	-			

第46表 平塚地区包含層出土遺物一覧表(1)

探査 番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口 縁 部		頸 部		胴 部		底 部				
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面			
第45回 1	横ナデ。	貼付突帯 (摩耗)。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〒35区 日向
2	摩耗。	摩耗。 貼付突帯 の痕跡。	摩耗。							長石 石英	口縁部は は完存。	〒37区 V面
3	横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯 ガキ。	横ヘラ ガキ。	横ナデ。	横ヘラ ガキ。 沈緑 2 枚。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〒33区 田原
4	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。 貼付突帯。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〒36区 V面
5	摩耗。	摩耗。 貼付突帯。	摩耗。							砂粒を含 とんど合 まない。	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	〒36区 田原
6	横ナデ。	横ヘラ 貼付突帯 (摩耗)。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ハケ 目。 沈緑 9 枚。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〒37区 V面
7	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。 貼付突帯。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。 貼付突帯 に刻目。					長石 石英	口縁部(第 屈底く)完 存。	〒37区 V面
8	横ナデ 沈緑 1 枚。 貼付突帯。 刻目。	横ナデ。 貼付突帯。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 小 片。	〒38区 IV面
9			横ナデ。 貼付突帯。	横ナデ。						少量の長 石 少量の石 英	口縁部 小 片。	〒33区 田原
10	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ナ ド。	斜 - ハケ 目。 沈緑 4 枚。					長石	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	〒37区 田原
11	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 貼付突帯 に刻目。					長石 石英	口縁部 完 存。	〒36区 V面
12	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	横ヘラ 目。 沈緑 6 枚。					長石 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〒36区 V面
13	摩耗。 沈緑 1 枚。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突帯 に刻目。					長石 石英 金雲母	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	〒36区 V面
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 沈緑 2 枚。					多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〒34区 田原
15	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	〒33区 田原
第46回 16	横ナデ。	横・斜ヘラ ガキ。 摩耗。	横板ナデ 後横ナデ。	横・斜ヘラ ガキ。	横板ナデ 後横ナデ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〒38区 田原
17	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。 貼付突帯。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	〒37区 V面
18	摩耗。	横ヘラ ガキ。	横ヘラ ガキ。	横ヘラ ガキ。	横・斜ナ ド。	斜 - ハケ 目。 沈緑 4 枚。				長石 石英	口縁部は は完存。	〒33区 日向
19	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	横・斜ナ ド。					大粒の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	〒37区 日向
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	〒33区 日向

辨別 番号	成形および調整の痕跡												出土中の 造形部物	造存状態	出土位置		
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部		内面	外面						
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		内面	外面					
第40回 21	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 指おさえ。	摩耗。	横ナデ。 指おさえ。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。			33区 V層			
22	摩耗。	摩耗。	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 沈線2条。					長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。			33区 IX層			
23	摩耗。	摩耗。	摩耗。							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。			33区 V層			
24	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。			33区 V層			
25	横ナデ。	横ナデ。	横・斜ヘラ 〔カキ〕							少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。			33区 V層			
26	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。			33区 V層			
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ヘラ〔 カキ〕	横ナデ。					長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。			33区 V層			
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 沈線2条。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。			33区 III層			
29	摩耗。	摩耗。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。			33区 V層			
30	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。			33区 V層			
31	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。							長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。			33区 V層			
32	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。			33区 V層			
33	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			摩耗。	指おさえ 後横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。			33区 IV層			
34	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	横ナデ。			長石細片 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。			33区 IV層			
第40回 35	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。			33区 V層			
36	摩耗。	摩耗。	摩耗。 横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。					多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。			33区 IV層			
37	横ナデ 斜目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 貼付突起。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。			33区 III層			
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。			33区 III層			
39				摩耗。	摩耗。 貼付突起。					少量の長 石 少量の石 英	頭部 $\frac{1}{2}$ 存。			33区 IV層			
40						斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	鉗部小片。			33区 V層			

井戸番号	成形および調整の痕跡										胎土中の 造岩試物	造存状態	出土位置			
	口縁端部		口 縁 部		頸 部		胴 部		底 部							
			内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面						
第40回 41	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ40区 層序不明			
42	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線11条。				多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ42区 層序不明			
43	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線11条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 V層			
44	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線8条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	ヶ37区 V層			
45	摩耗。	横ナデ。	摩耗。 横ナデ。			横ナデ。 摩耗。	横ナデ。 沈線11条。 摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 IV層			
46	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横、斜 ナ デ。	横ナデ。 沈線5条。 刻文。 摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 IV層			
47	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。 縦指おさ え後横ナ デ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線4条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	ヶ37区 IV層			
48	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 沈線10条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{24}$ 存。	ヶ37区 IV層			
49	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線7条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	ヶ37区 IV層			
50	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。 沈線2条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	ヶ37区 III層			
51	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線8条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{24}$ 存。	ヶ36区 V層			
52	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線6条。 刻文。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ37区 IV層			
53	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。 横ヘラ(ガ ヤ後横 ナデ)。			横ヘラ(ガ ヤ後横 ナデ)。	横ナデ。 沈線12条。				砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ36区 V層			
54	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線8条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	ヶ36区 V層			
第45回 55	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			縫ナデ。	縫ナデ。 沈線11条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	ヶ36区 V層			
56	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線15条。 刻文。				少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	ヶ37区 IV層			
57	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線9条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	ヶ36区 IV層			
58	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	ヶ37区 V層			
59	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線6条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ36区 V層			
60	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縫ハケ目 (摩耗)。 沈線6条。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ37区 V層			

種別 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉄物	遺存状態	出土位置			
	口縁部	口縁部		頸部		胴部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第4区 61	横ナデ。	摩耗。	横ヘラ(ガキ)、 横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	ヶ42区 IV層				
62	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・横ナデ(指頭痕)。	横ハケ目。 沈線5条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	ヶ35区 III層				
63	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			横ナデ。	横・横ナデ 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ42区 層序不明				
64	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			和板ナデ(率耗)。	摩耗。 沈線8条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ37区 III層				
65	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 横ヘラ(ガキ)。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ37区 V層				
66	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ハケ 目。改 摩耗9条。 刻文。			石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 V層				
67	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横・横ハケ 目。横ナデ 。			石英	口縁部 $\frac{1}{28}$ 存。	ヶ40区 層序不明				
68	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜ナ デ。	摩耗。 沈線11条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 V層				
69	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。 沈線14条。			長石 石英	斜部 $\frac{1}{4}$ 存。	ヶ37区 V層				
第4区 70	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横・横・斜 ナデ。	横・横ナデ 。			長石細片 石英	頭部 $\frac{1}{4}$ 存。	ヶ37区 V層				
71	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線14条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	ヶ37区 V層				
72	横ヘラ(ガキ) 後横ナデ。	横ヘラ(ガキ) 後横ナデ。	横ヘラ(ガキ) 後横ナデ。			横・横・横 ナデ。	横・横・横 ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	ヶ37区 V層				
73	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線10条。			長石 石英	頭部 $\frac{1}{5}$ 存。	ヶ35区 IV層				
74	刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	ヶ33区 III層				
75	摩耗。 刻目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	沈線5条 (摩耗)。			大粒の長 石 長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	ヶ37区 V層				
76	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。 指頭痕。			摩耗。	横ナデ。 沈線2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	ヶ36区 V層				
77	刻目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 沈線2条。			多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	セ32区 III層				
78	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。 指頭痕。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ36区 V層				
79	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線8条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	ヶ37区 V層				
80	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	沈線7条。 刻文。 横ハケ目 (摩耗)。			大粒の長 石 大粒の石 英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	ヶ33区 III層				

探査番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部		出土中の 遺物		
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第45回 81	摩耗。	摩耗。	指おさえ 後横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線10条。			長石 石英片	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	
82	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多量の長 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
83	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線3条。			多量の長 石英 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	
84	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線3条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
第46回 85	摩耗。	摩耗。 横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	残・斜 ナデ。 沈線3条。			多量の長 石英 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
86	横ナデ。 剣目。	横・斜ヘラ ガキ。	横ナデ。			斜ナデ。	斜ナデ。 沈線14条。 剣突文。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
87	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線1条。			少量の長 石英 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
88	横ナデ(摩 耗)。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ(摩 耗)。 沈線5条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
89	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線14条。 剣突文。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
90	横ナデ。 剣目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
91	横ナデ。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。			横・斜 ナデ。	横ナデ。 沈線11条。			長石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
92	摩耗。 剣目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
93	横ナデ。 剣目。	横ナデ。 摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。 摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{24}$ 存。	
94	剣目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	
95	摩耗。 剣目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	
96	摩耗。 剣目。	指おさえ。	横ナデ。			指おさえ。	横ハケ目。 沈線14条。 剣突文。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
97	剣目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線13条。 剣突文。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
98	横ナデ。 剣目。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。 沈線2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
99	摩耗。 剣目。	横・斜 ナデ。 指頭痕。	横ナデ。			横・斜 ナデ。	横・斜 ナデ。 沈線6条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	
100	剣目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線7条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	

番号	成形および調整の痕跡										出土状況	
	口縁部	口縁部		張 部		壓 部		底 部		胎土中の 造形鉢物		
		内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面			
第36区 101	摩耗。 突目。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	
102	摩耗。 突目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。 指頭痕。	摩耗。 沈線11条。			石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
103	摩耗。 突目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目 (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
104	摩耗。 突目。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。			摩耗。	摩耗。 沈線10条。 縦ハケ目。			長石 石英	洞部 $\frac{1}{3}$ 存。	
第37区 105	摩耗。 突目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{9}$ 存。	
106	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。	縦・横・斜 ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	
107	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。 沈線10条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	
108	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			旋指ナデ。	横ナデ。 沈線5条。			石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
109	横ナデ(摩 耗)。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	摩耗。 沈線4条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
110	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。 横指印付き え。			横ナデ。	摩耗。 沈線3条。			長石	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	
111	摩耗。 突目。	摩耗。	摩耗。 破板ナデ (摩耗)。			摩耗。	摩耗。 沈線7条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	
112	摩耗。 突目。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英片 石英輝片	口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。	
113	摩耗。 突目。	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。			横ナデ(摩 耗)。	摩耗。 沈線8条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
114	摩耗。 突目。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。 沈線5条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	
115	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ 摩耗。	横ナデ。 沈線10条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
116	横ナデ。 突目。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	縦ハケ目。 沈線6条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
117	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。 沈線6条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
118	ナ デ(摩 耗)。	ナ デ。	ナ デ(摩 耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
119	摩耗。	摩耗。	摩耗。			横ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
120	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縦ハケ目 後横ナデ (摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	

捕獲番号	成形および調整の痕跡										出土位置	
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部		出土中の造岩鉱物		
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第45回 121	摩耗。 刻目。	横ナデ。	横ナデ。 指頭風。			斜板ナデ 後横ナデ。	斜板ナデ 後横ナデ。			長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	
122	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	
123	横ナデ(指 頭風)。	摩耗。	横ナデ(指 頭風)。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{16}$ 存。	
124	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
125	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	鶴へらし ガキ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
126	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	
127	横ナデ。	横ナデ。	横タタキ 目。			斜ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
128	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			大粒の長 石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
129	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	縱横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	
130	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			横ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{1}$ 存。	
第46回 131	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ナデ(摩 耗)。	縦・斜板ナ デ(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{20}$ 存。	
132	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。			多量の長 石 多量の石 英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
133	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	
134	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。			斜ナデ(摩 耗)。	斜ナデ(摩 耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	
135	摩耗。	横ヘラシ ガキ後横 ナデ。	横ハケ日 後横ナデ。			横ヘラシ ガキ後横 ナデ。	横ハケ日。			少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
136						摩耗。	沈線31条、 ヘラシ横波 状文2条。			長石 石英	胴部小片。	
137	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。 指頭風。	摩耗。 指頭風。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	
138	摩耗。	摩耗。	横ナデ。 竹管文。 粘付穴あ。			摩耗。	横ナデ。 沈線2条。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{14}$ 存。	
139	摩耗。	横ナデ。	横ナデ。			摩耗。 斜ナデ。 指頭風。	横斜ナデ。 沈線5条。			長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{18}$ 存。	
140								ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部ほぼ 完存。	

井田 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁培部	口縁部		張部		調部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第6区 141								斜板ナデ。	摩耗。 斜ハケ日。 滑頭痕。 鏡ナデ。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層				
142								底板ナデ (摩耗)。	滑頭痕(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	サ37区 V層				
143								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	サ36区 IV層				
144								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	サ37区 IV層				
145								斜板ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	サ37区 IV層				
146								摩耗。	鏡ハケ日 (摩耗)。	長石 石英	底部完存。	サ36区 V層				
147								摩耗。	底板ナデ (斜板ナデ (摩耗))。	長石 石英	底部 $\frac{2}{3}$ 存。	サ37区 V層				
148								斜ナデ。	鏡・斜ナ デ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	サ37区 IV層				
149								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	サ36区 V層				
150								斜ナデ。	斜ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	サ36区 V層				
151								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	サ37区 IV層				
第6区 152								摩耗。	摩耗。	多量の長 石 大粒の石 英	底部完存。	サ37区 V層				
153								摩耗。	鏡ハケ日 (摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	サ37区 V層				
154								摩耗。	鏡ハケ日 (摩耗)。	長石 石英	底部完存。	サ37区 V層				
155								摩耗。	摩耗。	多量の長 石	底然はぼ 完存。	サ37区 V層				
156								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底然はぼ 完存。	サ37区 V層				
157								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 存。	ス34区 III層				
158								摩耗。	斜ナデ。 滑頭痕。	長石 石英	底然はぼ 完存。	サ37区 IX層				
159								摩耗。 斜ハケ日。	摩耗。	多量の長 石 多量の石 英	底然完存。	サ36区 V層				
160								摩耗。 指おさえ (指頭痕)。	摩耗。	長石細片	底部完存。	ス34区 III層				

検査番号	成形および調整の痕跡										地土中の 遺石類物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		張 部		胴 部		底 部									
	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面	内面	外 面								
第4回 161							縫・斜ヘラ ミガキ後 ナデ。	横・左 上りタマ ナデ。	長石 石英	底部完存。	シ36区 V層					
162							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ38区 III層					
163							縫・横・斜 ナデ。	横ナデ。	長石細片 石英細片	底部 $\frac{1}{3}$ 荐。	シ37区 III層					
164							斜ナデ。	斜ヘラ ミガキ後 ナデ。	長石細片 石英細片	底部 $\frac{1}{4}$ 荐。	シ36区 V層					
165							指頭痕 摩耗。	横・斜 ナデ。	長石 石英	底部完存。	シ34区 II層					
166							縫・機板ナ デ(摩耗)。	縫ヘケ 目 後横・斜ミガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ37区 III層					
167							摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 荐。	シ34区 III層					
168							摩耗。	横ナデ。	多量の長 石 多量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ36区 V層					
169							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{3}$ 荐。	シ37区 IV層					
170							摩耗。	摩耗。 横ヘラ ミガキ。	長石 石英	底部完存。	シ38区 V層					
171							斜ナデ。	横ナデ。	多量の長 石細片 多量の石 英細片	底部 $\frac{1}{4}$ 荐。	シ36区 V層					
172							横ナデ。	縫・横 ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ33区 III層					
第4回 173							斜ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 荐。	シ36区 V層					
174							摩耗。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ37区 V層					
175							斜板ナデ。	縫ヘラ ミガキ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ33区 III層					
176							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{3}{8}$ 荐。	シ34区 III層					
177							摩耗。 指おさえ (指頭痕)。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。	シ37区 V層					
178							横ナデ。 機板ナデ。	斜ヘラ ミガキ。 横ナデ。	少量の長 石 少量の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ37区 V層					
179							斜ナデ。	摩耗。 横ナデ。	多量の長 石 多量の石 英	底部完存。	シ36区 V層					
180							摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 荐。	シ42区 V層					

種別 番号	成形および調整の痕跡										出土位置
	口縁端部	口縁部		頸部		胴部		底部			
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面		
第4区 181								摩耗。	横ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 IV層
182								摩耗。	摩耗。 指紋えん。	長石 多孔 石英	底部完存。 V層
183								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。 V層
184								摩耗。	横ナデ(摩 耗)。 指紋痕。	長石 石英	底部完存。 V層
185								摩耗。	斜ナデ。	長石 石英	底部 柱状 完存。 V層
186								ナデ。	旋ヘラ : ガキ後 横 ナデ。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 V層
187								摩耗。	摩耗。	多孔 の大粒の 具石 多孔 の大粒の 石英	底部完存。 IV層
188								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。 V層
189								摩耗。	横ハケ 目 (摩耗)。	長石 大粒の石 英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 V層
190								斜ナデ。	摩耗。	長石 石英	底部 柱状 完存。 V層
191								横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 V層
192								横ナデ。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。 III層
193								斜ナデ。	横・斜ハケ 目。 横ナデ。 摩耗。	長石 石英	底部完存。 IV層
194								横・斜ナ デ。	横・斜ナ デ。	長石 石英	底部完存。 V層
195								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 柱状 完存。 V層
196								斜ナデ。	斜ナデ。 摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 IV層
197								横・斜ナ デ。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 V層
198								横ナデ(摩 耗)。	横ナデ(摩 耗)。	長石 石英	底部完存。 V層
199								指紋痕(摩 耗)。	横ナデ。	長石 石英	底部完存。 V層
第5区 1	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石細片 石英細片	口縁部 $\frac{1}{10}$ 層序不明 存。

井戸番号	成形および調整の痕跡										地土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁部		頸部		胴部		底部									
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第12号	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	= 42区 層序不明					
3	摩耗。	横ナデ(摩耗)。 縦ハケ目 (摩耗)。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	= 37区 田原					
4	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	= 38区 V層					
5	横ナデ。	横ハケ目 後横ナデ。	縦ハケ目 後横ナデ。		縦、斜ハケ 目。 縦後斜ハ ケ目。 斜ナミ ガタ。				長石 石英	口縁部は 現存。	= 39区 田原					
6	横ナデ(摩 耗)。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				少量の長 石	口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	= 36区 田原					
7	摩耗。	摩耗。	縦ハケ目 後横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	= 37区 IV層					
8	摩耗。	摩耗。	横ナデ(摩 耗)。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	= 36区 田原					
9	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	= 38区 田原					
10	横ナデ。 沈線 1 条。	横ハケ目 後横ナデ。	横ナデ。 縦・斜ハケ 目。	横ナデ。	縦・斜ハケ 目。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	= 37区 IV層					
11	横ナデ。 凹線 3 条。	横ナデ。	横ナデ。						長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 38区 田原					
12	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。						砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部小 片。	= 36区 IV層					
13	横ナデ。 鋸歯文。	横ナデ。	横ナデ。						石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 37区 田原					
14	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 34区 田原					
15	横ナデ。	横ナデ。	摩耗。	斜ナデ。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{7}$ 存。	= 36区 IV層					
16		摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	= 37区 田原					
17	摩耗。	摩耗。	摩耗。						長石細片	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 36区 IV層					
18	横ナデ。 凹線 2 条。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。				長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 35区 田原					
19	半丸。 (上上部内面) (上上部外面) 摩耗。 凹線 2 条。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。		長石	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	= 35区 田原					
20	摩耗。	摩耗。	摩耗。						少量の長 石 少量の石 英	口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	= 37区 田原					
21	摩耗。	摩耗。	右上りタ タキ目。			摩耗。	右上りタ タキ目。		長石 石英	口縁部(端 面強く) $\frac{1}{8}$ 存。	= 37区 IV層					

辨認 番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁端部	口 縁 部		張 部		脚 部		底 部								
		内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面							
第48区 22	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。			斜ヘラ削り。	底ハケ目(摩耗)。			少豆の長石 少豆の石英	断面 $\frac{1}{4}$ 存。	コ36区 田畠				
第48区 23	横ナデ(摩耗)。	横ナデ。	底ハケ目。			摩耗。	斜ハケ目。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
24	横ナデ。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			少豆の長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
25	摩耗。	摩耗。	右上りタキ日後斜ハケ日。 横ナデ。			斜ヘラ削り(摩耗)。	左・右上りタキ日(摩耗)。			少豆の長石 石英	口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	コ38区 田畠				
26	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			指おさえ。摩耗。				長石 石英 金没母	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
27	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	摩耗。			長石 石英	断面 $\frac{3}{4}$ 存。	コ38区 田畠				
28	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。	右上りタキ日(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
29	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ヘラ削り。 指頭痕。	摩耗。			長石粗片 石英粗片	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ37区 田畠				
30	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後 横タキ日。			摩耗。	横タキ日。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
31	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
32	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ36区 IV邊				
33	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。			斜ナデ。	横ナデ。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ36区 IV邊				
34	横ナデ。	摩耗。	横ナデ後 斜ハケ日。			摩耗。	斜ハケ目(摩耗)。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
35	摩耗。	摩耗。	横ナデ。			摩耗。	摩耗。			砂粒をは とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	ス33区 II邊				
36	摩耗。	摩耗。	右上りタキ日後 斜ハケ日。			斜板ナデ。	右上りタキ日後 斜ハケ日。			少豆の長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ37区 田畠				
37	摩耗。	摩耗。	摩耗。			摩耗。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
38	摩耗。	摩耗。	摩耗。			斜ヘラ削 り。	摩耗。			長石 石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
39							斜・斜ヘラ 削り。	斜ハケ目 後斜・斜ヘラ ミガキ。		長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	コ38区 田畠				
40							斜・斜ヘラ 削り。	斜ヘラミ ガキ。		多豆の雲 母	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	コ38区 田畠				
41							斜ハケ目 後斜・斜ナ ゲナ。	斜ハケ目 後斜・斜板 ナゲ。		長石 石英	底部完存。	コ39区 田畠				

排岡 番号	口縁部	成形および調整の痕跡								粘土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面			
第42回 42								摩耗。	右・上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。 底部完存。	38区 IV層
第43回 43								摩耗。	右・上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	37区 V層
44								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	37区 IV層
45								摩耗。	左・右上り タタキ目 (摩耗)。	長石 石英	底部完存。	38区 IV層
46								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	34区 IV層
48								摩耗。	底・模指お きえ。	長石 石英	底面ほぼ 完存。	37区 IV層
49								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	37区 IV層
50								底・斜ナ ジ。	左・右上り タタキ目 (摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	37区 IV層
51								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	35区 IV層
52								摩耗。	右・上りタ タキ目。	少量の長 石の少量の石 英。	底部完存。	37区 IV層
53						摩耗。	右・上りタ タキ目。	摩耗。	右・上りタ タキ目。	長石 石英	胸部 $\frac{1}{6}$ 存。	37区 V層
54						摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{2}$ 存。	35区 IV層
55						摩耗。	斜タタ キ目。	摩耗。	斜タタキ 目。	砂粒をほ とんど含 まない。	底面 $\frac{1}{2}$ 存。	38区 IV層
56						摩耗。	斜タタ キ目。	摩耗。	斜タタキ 目。	石英	底面 $\frac{2}{3}$ 存。	36区 IV層
57						摩耗。	左・右上り タタキ目 (摩耗)。	摩耗。	左・右上り タタキ目 (摩耗)。	砂粒をほ とんど含 まない。	底面 $\frac{1}{2}$ 存。	37区 IV層
58						指痕底。	摩耗。	指痕底。	摩耗。	長石 石英	底部完存。	34区 IV層
61	横ナデ。	斜ハケ目。 後横ナデ。	横タタキ 目。後横ナ デ。			底・斜ハケ 目。	横タタキ 目。			砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	35区 IV層
62	横ナデ。	横ナデ。	横板ナデ。 後横ナデ。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	39区 V層
63	横ナデ。	斜ハケ目。	斜ハケ目 (摩耗)。			斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	斜ハケ目。	砂粒をほ とんど含 まない。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	38区 IV層
64	横ナデ。	斜ハケ目。	横ナデ。			斜ハケ目。	横ナデ。	横ナデ。	横ナデ。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	34区 I層

辨認番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頭部		鋸部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第04区 65	摩耗。	横・斜ハケ目。 摩耗。			横・斜ハケ 目。	摩耗。	頭状ハケ 目。	摩耗。		少量の長 石 少量の石 英	底部以下 完存。	×34区 Ⅰ層				
66	摩耗。	摩耗。	摩耗。					摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	×33区 Ⅱ層				
67	摩耗。	斜ハケ目。 斜ナ ダ。					斜ハケ目。 斜板ナダ。			少量の長 石 少量の石 英	底部完存。	×34区 Ⅰ層				
68	摩耗。	摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。				摩耗。	右上りタ タキ目(摩 耗)。	長石 石英	口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。	×38区 Ⅲ層					
69	摩耗。	摩耗。	指頭痕。 摩耗。				摩耗。	指頭痕。 摩耗。	長石 石英	底部完存。	×37区 Ⅲ層					

第47表 平塚地区包含層出土遺物一覧表(2)

辨認番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩鉱物	遺存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		鋸部		頭部		鋸端部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第04区 59	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	×37区 Ⅲ層				
60	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石 石英	口縁部 $\frac{1}{11}$ 存。	×34区 Ⅱ層				

第48表 平塚地区包含層出土遺物一覧表(3)

探査番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置		
	杯 直		杯 身		高 瓶		亞									
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第4683 1	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{4}$ 存。 V面	シ35区 田畠		
2	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{4}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
3	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{2}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
4	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{8}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
5	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{8}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
6	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{10}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
7	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{14}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
8	1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											頂部 $\frac{1}{8}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
9	1 ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{4}$ 存。 V面	シ36区 田畠		
10	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{3}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
11	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	1 仕上げナ デ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											頂部 $\frac{1}{2}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
12	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]	2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]											端部 $\frac{1}{10}$ 存。 V面	シ37区 田畠		
13			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。 V面	シ38区 田畠					
14			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。 V面	シ37区 田畠					
15			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*] 3 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。 V面	シ40区 田畠					
16			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 V面	シ37区 田畠					
17			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{15}$ 存。 V面	シ36区 田畠					
18			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{39}$ 存。 V面	シ36区 田畠					
19			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。 V面	シ36区 田畠					
20			1 回転ナゲ [*] 2 回転ナゲ [*]							口縁部 $\frac{1}{3}$ 存。 V面	シ36区 田畠					

辨認番号	成形および調整の痕跡												遺存状態	出土位置		
	杯蓋		杯身		高杯		翌		内面		外面					
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第46回 21			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。 4 回転ヘラ 削り。									かえし部 $\frac{1}{4}$ 存。	⇒ 37区 III層		
22			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	⇒ 40区 VII層		
23			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	⇒ 37区 III層		
24			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									口縁部 $\frac{1}{4}$ 存。	⇒ 37区 III層		
25			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									口縁部 $\frac{1}{13}$ 存。	⇒ 36区 III層		
26			4 摩耗。 5 回転ナゲ。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。									底部 $\frac{1}{4}$ 存。	⇒ 37区 III層		
27					2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。 6 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。 6 回転ナゲ。						口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	層序不明		
28					4 摩耗。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。 (自然釉)。							脚端部 $\frac{1}{13}$ 存。	⇒ 37区 III層		
29					4 回転ナゲ。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。							脚端部 $\frac{1}{13}$ 存。	⇒ 37区 III層		

第49表 香門地区包含層出土遺物一覧表(1)

捕獲番号	成形および調整の痕跡										胎土中の 遺岩氣物	遺存状態	出土位置			
	口様部		頭部		胴部		底部		内面	外面						
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面								
第49回 1	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。	剝落。					長石 石英	口様部 $\frac{1}{9}$ 存。	テ29区 田原			
2	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。							長石	口様部 $\frac{1}{7}$ 存。	テ30区 田原			
3	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。	摩耗。					長石 石英	口様部 $\frac{1}{4}$ 存。	テ31区 田原			
4		摩耗。	横ナダ。	摩耗。	横ナダ。 目。	摩耗。	横ナダキ 目。				長石 石英	胴部 $\frac{1}{3}$ 存。	テ32区 田原			
5						斜ハケ目。	摩耗。	斜ハケ目 (摩耗)。	摩耗。		長石 石英	底部完存。	テ29区 田原			
6									摩耗。	摩耗。	多量の長 石と多量の石 英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	テ30区 田原			

第50表 香門地区包含層出土遺物一覧表(2)

捕獲番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置		
	杯 蓋		杯 身		馬 杯		盃		内面	外面				
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第49回 7	1 回転ナダ。	1 回転ヘラ 削り後ナ ダ。									頂部完存。	テ29区 田原		
8			1 回転ナダ。 3 回転ナダ。	1 回転ナダ。 3 回転ナダ。 4 回転ナダ。	1 回転ナダ。 3 回転ナダ。 4 回転ナダ。						口様部 $\frac{1}{8}$ 存。	テ30区 田原		
9			1 回転ナダ。 3 回転ナダ。 4 回転ナダ。	1 回転ナダ。 3 回転ナダ。 4 回転ナダ。							口様部 $\frac{1}{3}$ 存。	テ29区 田原		

第51表 竹道北地区包含層出土遺物一覧表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										地土中の 造岩鉱物	造存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		張 部		崩 部		底 部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第51図 1								摩耗。	摩耗。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	×21区 III層				
2								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部 $\frac{1}{9}$ 存。	×21区 III層				
3								摩耗。	横ナデ。 摩耗。	精緻。	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	×21区 II層				
4								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	長石 石英	底部 $\frac{1}{4}$ 存。	×21区 II層				
5								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部 $\frac{1}{8}$ 存。	×21区 II層				
6								摩耗。	横ナデ(摩耗)。	精緻。	底部 $\frac{1}{8}$ 存。	×20区 II層				
7	摩耗。	横ナデ(摩耗)。	横ナデ(摩耗)。					摩耗。	摩耗。	精緻。	口縁部 $\frac{1}{5}$ 存。	×20区 II層				
8	摩耗。	摩耗。	摩耗。							多量の石 英	口縁部小 片。	×22区 III層				

第52表 竹道北地区包含層出土遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										造存状態	出土位置		
	杯 茎		杯 身		高 杯		低 杯		豆					
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
第52図 11	1 回転ナデ。 2 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ヘラ 削り。									端部 $\frac{1}{4}$ 存。	×21区 III層		
12	3 回転ナデ。	3 回転ナデ。									端部 $\frac{1}{12}$ 存。	×22区 II層		
13			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	×18区 II層		
14			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{10}$ 存。	×21区 III層		
15			1 回転ナデ。 3 回転ナデ。	1 回転ナデ。 3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	×21区 III層		
16			3 回転ナデ。	3 回転ナデ。							口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	×19区 III層		
17			4 回転ナデ。	4 回転ナデ。 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{16}$ 存。	×23区 II層		
18			4 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{9}$ 存。	×22区 I層		
19			4 回転ナデ。	4 回転ナデ。 5 回転ナデ。							高台部 $\frac{1}{8}$ 存。	×23区 II層		

押出番号	成形および調整の痕跡										遺存状態	出土位置		
	杯蓋		杯身		高杯		蓋							
	内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面						
第20 20			4回転ナデ。	4回転ナデ。					底部 $\frac{1}{4}$ 存。		×22区 I層			
21					2回転ナデ。 3回転ナデ。	1回転ナデ。 2回転ナデ。 3回転ナデ。			口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。		×21区 III層			
22					4回転ナデ。 5回転ナデ。	4回転ナデ。 5回転ナデ。			脚端部 $\frac{1}{4}$ 存。		×22区 II層			
23							2回転ナデ。	1回転ナデ。 2回転ナデ。 後斜ハケ	ロ縁部 $\frac{1}{8}$ 存。		×23区 II層			

第53表 竹道南地区包含層出土遺物一覧表(1)

探査番号	成形および調整の痕跡										出土中の 造岩部物	造存状態	出土位置			
	口縁端部	口縁部		頭部		肩部		底部								
		内面	外面	内面	外面	内面	外面	内面	外面							
第53回 2	横ナゲ。	横ヘラミ ガキ。	横ヘラミ ガキ。	摩耗。	縦・横ヘラ ミガキ。					石英	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	～16区 田原				
3	横ナゲ。	横板ナゲ。 縦・横ヘラ ミガキ。	麻ヶ日。 横ヘラミ ガキ。							石英 少虫の長 石	口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	～17区 田原				

第54表 竹道南地区包含層出土遺物一覧表(2)

探査番号	成形および調整の痕跡										造存状態	出土位置		
	杯 盖		杯 身		高 杯		亞							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第54回 4	2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									端部 $\frac{1}{12}$ 存。	～12区 田原		
5	2 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	2 回転ヘラ 削り。 3 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。									端部 $\frac{1}{8}$ 存。	～18区 田原		
6			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。							口縁部 $\frac{1}{2}$ 存。	～17区 田原		
7			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。							口縁部 $\frac{1}{6}$ 存。	～17区 田原		
8			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。							口縁部 $\frac{1}{12}$ 存。	～16区 田原		
9			1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 3 回転ナゲ。							口縁部 小 片。	～17区 田原		
10									2 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	1 回転ナゲ。 2 回転ナゲ。 4 回転ナゲ。	口縁部 $\frac{1}{8}$ 存。	～15区 田原		

第55表 山の前北地区包含層出土遺物一覧表

探査番号	成形および調整の痕跡										造存状態	出土位置		
	杯 盖		杯 身		高 杯		亞							
	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面	内 面	外 面				
第55回					4 回転ナゲ。	4 回転ナゲ。 5 回転ナゲ。					脚端部 $\frac{1}{4}$ 存。	～13区 II層		

第56表 磨製石庵丁一覧表

単位: cm × g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SK404	一部欠	緑色片岩	(8.2)	(5.6)	(0.7)	(45.6)	
SK406	〃	緑色片岩	(4.9)	(4.0)	(0.5)	(16.8)	
SK459	〃	緑色片岩	(9.5)	(5.9)	(0.6)	(62.5)	
SD308	〃	緑色片岩	(4.5)	(2.7)	(0.4)	(5.6)	
SD312	〃	安山岩	(6.6)	(5.3)	(1.0)	(48.0)	
〃	〃	結晶片岩	(10.0)	(4.2)	(0.8)	(45.0)	
〃	〃	緑色片岩	(8.2)	(5.2)	(1.3)	(82.1)	
SX20	〃	緑色片岩	(6.1)	(4.9)	(0.8)	(32.4)	
SX314	〃	緑色片岩	(5.9)	(3.4)	(0.8)	(31.2)	
サ37区	第5層	〃	安山岩	(6.5)	(5.8)	(1.0)	(41.0)
サ35区	第4層	〃	緑色片岩	(4.9)	(3.2)	(0.6)	(13.9)
サ36区	第5層上位	〃	安山岩	(6.9)	(5.0)	(1.0)	(40.8)
サ37区	第5層	〃	安山岩	(6.3)	(5.7)	(0.9)	(37.0)
サ40区	第7層	〃	緑色片岩	(6.0)	(3.2)	(0.7)	(24.0)
サ35区	第3層	〃	頁岩	(7.0)	(3.6)	(0.7)	(19.5)
〃	〃	〃	安山岩	(4.9)	(4.8)	(0.8)	(21.5)
ス33区	第2層	〃	安山岩	(4.4)	(4.7)	(0.6)	(16.1)

第57表 磨製石斧一覧表

単位: cm × g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SB301	刃部欠	緑色片岩	(6.3)	(5.2)	(1.4)	(75.5)	
SK338	基部欠	緑色片岩	(5.6)	(1.5)	(1.5)	(23.0)	
SK394	〃	緑色片岩	(10.5)	(4.5)	(1.2)	(67.8)	
SK397	刃・基部欠	砂岩	(10.5)	(6.5)	(4.5)	(521)	
〃	〃	緑色片岩	(12.9)	(5.6)	(3.7)	(422)	
SK485	完存	緑色片岩	25.9	5.0	5.0	789	
SD325	刃・基部欠	緑色片岩	(5.9)	(1.4)	(1.3)	(12.8)	
SD109	〃	緑色片岩	(15.8)	(4.6)	(4.5)	(489)	
〃	基部欠	緑色片岩	(9.8)	(5.8)	(3.6)	(354)	
SD98	完存	緑色片岩	9.0	1.4	1.4	28.6	
SD312	刃・基部欠	緑色片岩	(12.1)	(2.6)	(1.9)	(101.5)	
ピット	刃部欠	安山岩	(4.3)	(5.1)	(3.7)	(102.1)	
サ36区	第5層上位	刃・基部欠	緑色片岩	(5.0)	(2.8)	(0.7)	(11.9)
〃	〃	緑色片岩	(2.8)	(1.1)	(0.7)	(3.6)	
〃	第5層中位	〃	緑色片岩	(6.0)	(5.8)	(1.4)	(61.9)
サ37区	第5層	〃	緑色片岩	(4.4)	(1.1)	(0.7)	(3.8)
〃	〃	緑色片岩	(7.9)	(4.9)	(2.0)	(95.4)	
ス33区	第3層	刃部欠	結晶片岩	(14.5)	(4.8)	(2.0)	(232.7)
不明	〃	緑色片岩	(6.6)	(4.5)	(1.0)	(32.2)	
〃	〃	緑色片岩	(8.8)	(4.6)	(0.8)	(47.5)	
〃	〃	緑色片岩	(5.8)	(4.1)	(1.1)	(38.6)	

(註)

石器および石製品の表中の()を付した数値は現存値を示している。

第58表 磨石一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SB307	完存	砂岩	9.4	7.6	5.7	601
SK403 =40区	タ	砂岩	6.1	5.6	4.9	249
第7層	一部欠	砂岩	6.8	7.3	6.5	(413)

第59表 石皿一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SB305	一部欠	砂岩	(12.7)	(8.7)	(3.4)	572
SB323	タ	砂岩	(17.1)	(14.2)	(7.0)	(2490)
SB327	完存	砂岩	10.8	7.1	2.6	223
SK431	一部欠	砂岩	(19.5)	(11.7)	(9.4)	(3300)

第60表 凹石一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SB307	完存	砂岩	11.3	10.7	6.0	1010
SD312	一部欠	礫灰石	10.1	9.0	3.9	367.7

第61表 磁石一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SB316	一部欠	安山岩	(7.0)	(5.8)	(6.3)	(436)	
SB323	タ	粘板岩	(11.9)	8.6	(4.3)	(590)	
SB323 上位土坑状遺構	タ	粘板岩	(16.4)	8.1	(2.6)	(558)	
SB325	タ	砂岩?	(10.9)	(6.8)	(3.7)	(328)	
SK397	タ	緑色片岩	(5.0)	(4.9)	(2.9)	(136.2)	
SK443	タ	砂岩	(5.0)	(3.8)	(2.6)	(71.4)	
SD312	タ	泥岩	(10.9)	(4.0)	(3.7)	(243.8)	
シ34区	第2層	タ	泥岩	(19.6)	(6.2)	(4.5)	(990)
シ35区	第4層	タ	砂岩	(6.4)	(6.7)	(4.7)	(294)
タ	タ	砂岩	(6.6)	(5.0)	(4.7)	(239.0)	
シ38区	第6層	タ	白雲母片岩	(11.7)	(4.7)	(2.3)	(134.0)
不明	タ	砂岩	(13.9)	(5.0)	(4.0)	(622)	
タ	タ	砂岩	(16.7)	(11.0)	(6.9)	(1700)	

第62表 打製石庵丁一覧表

単位: cm × g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SB306	一部欠	結晶片岩	(7.6)	(4.1)	(0.6)	(22.8)	
SB317	〃	サヌカイト	(3.8)	(3.9)	(0.5)	(8.3)	
SB320	〃	サヌカイト	(4.5)	(3.1)	(0.7)	(8.7)	
SB331	〃	サヌカイト	(11.0)	(4.9)	(1.4)	(76.1)	
SK323	〃	サヌカイト	(3.7)	(4.7)	(1.0)	(16.9)	
SK338	〃	サヌカイト	(7.7)	(4.7)	(0.8)	(34.3)	
〃	〃	サヌカイト	(8.5)	(4.6)	(1.1)	(59.1)	
SK357	〃	サヌカイト	(8.6)	(5.2)	(0.7)	(35.4)	
SK364	〃	サヌカイト	(4.4)	(4.6)	(1.0)	(29.9)	
SK381	〃	サヌカイト	(6.8)	(4.2)	(1.0)	(26.5)	
SK397	〃	サヌカイト	(5.7)	(4.9)	(1.1)	(32.4)	
SK415	〃	サヌカイト	(2.6)	(3.1)	(0.7)	(6.0)	
SK445	〃	サヌカイト	(2.9)	(4.1)	(0.4)	(7.0)	
竹道南地区溝状造模	〃	結晶片岩	(8.5)	(4.7)	(0.7)	(41.4)	
SD301	〃	サヌカイト	(8.0)	(3.7)	(0.8)	(36.5)	
〃	〃	サヌカイト	(3.4)	(2.9)	(0.8)	(7.7)	
SD308	完存	サヌカイト	12.2	5.0	0.9	74.9	
SD312	〃	サヌカイト	(4.7)	(5.2)	(0.8)	(26.9)	
SX16	〃	サヌカイト	(7.2)	(4.6)	(0.9)	(36.9)	
〃	〃	結晶片岩	(7.8)	(4.0)	(0.7)	(34.3)	
SX17	〃	サヌカイト	(10.9)	(6.3)	(1.3)	(105.2)	
SX20	〃	サヌカイト	(6.0)	(4.3)	(1.0)	(25.4)	
SX328	〃	サヌカイト	(5.4)	(4.2)	(0.7)	(23.3)	
ケ38区	第3・4層	〃	サヌカイト	(3.8)	(3.4)	(1.1)	(14.5)
ケ39区	第3層	〃	サヌカイト	13.8	5.4	1.5	156.2
コ36区	第4層	〃	サヌカイト	11.1	5.6	0.8	81.8
コ37区	第3層	一部欠	結晶片岩	(5.5)	(5.1)	(0.6)	(30.1)
コ39区	第2層	〃	サヌカイト	(5.1)	(3.5)	(0.7)	(20.0)
サ35区	〃	〃	サヌカイト	(6.6)	(4.5)	(0.8)	(30.5)
サ36区	第3層	〃	サヌカイト	(3.4)	(2.7)	(0.4)	(5.6)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(7.5)	(5.3)	(0.9)	(41.5)
〃	第5層	〃	サヌカイト	(4.5)	(5.0)	(1.0)	(25.2)
〃	第5層中位	〃	結晶片岩	(12.7)	(5.0)	(1.1)	(100.0)
〃	第5層下位	〃	サヌカイト	(9.3)	(4.9)	(1.4)	(81.7)
サ37区	ク	完存	サヌカイト	9.3	5.5	1.2	72.0
サ39区	第6層	一部欠	サヌカイト	(12.2)	(6.4)	(1.0)	(85.6)
サ40区	第4層	〃	サヌカイト	(1.8)	(3.0)	(0.4)	(2.8)
シ35区	第3層	〃	サヌカイト	(3.5)	(4.3)	(0.7)	(13.1)
シ36区	〃	〃	サヌカイト	(4.3)	(4.1)	(0.6)	(13.5)
ス33区	第2層	〃	結晶片岩	(7.6)	(4.3)	(0.7)	(28.6)
〃	第3層	〃	結晶片岩	(9.7)	(4.0)	(1.0)	(51.1)
ノ21区	〃	〃	結晶片岩	(9.8)	(4.6)	(0.8)	(60.6)
ハ21区	〃	〃	サヌカイト	(5.1)	(5.5)	(0.8)	(31.8)
フ18区	〃	〃	サヌカイト	(5.0)	(3.8)	(0.6)	(15.2)
〃	〃	サヌカイト	(5.3)	(3.7)	(0.7)	(14.6)	
不明	〃	サヌカイト	(3.9)	(4.5)	(0.7)	(10.6)	

第63表 打製石斧一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SB317	基部欠	サメカイト	(3.8)	2.5	(0.7)	(9.9)

第64表 打製石鎌一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
コ39区 シ36区	第5層 第3層	完存 々	泥岩 安山岩	20.6 18.9	10.1 8.8	2.5 1.8	764 408

第65表 石鎚一覧表

単位: cm · g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SB301	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	(0.5)	(1.3)	
タ	完存	サヌカイト	2.0	1.8	0.5	0.8	
タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	(0.4)	(1.5)	
タ	タ	サヌカイト	(1.1)	(1.2)	(0.4)	(0.6)	
SB305	タ	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	(0.5)	(1.2)	
SB306	脚部欠	サヌカイト	(3.4)	(1.7)	(0.4)	(2.4)	
タ	完存	サヌカイト	2.6	1.4	0.3	1.1	
タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.6)	(0.3)	(0.6)	
SB308	先端部欠	サヌカイト	(1.2)	1.5	(0.3)	(0.4)	
タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	(0.3)	(1.3)	
タ	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.6)	0.4	(0.7)	
タ	先端部欠	サヌカイト	(1.2)	1.6	(0.2)	(0.4)	
SB314	完存	サヌカイト	1.5	1.3	0.2	0.3	
タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	(0.4)	(1.5)	
SB316	タ	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	(0.3)	(1.0)	
SB318	タ	サヌカイト	(1.5)	(2.2)	(0.3)	(0.9)	
タ	タ	サヌカイト	(1.8)	(1.2)	(0.3)	(0.6)	
SB320	タ	サヌカイト	(1.8)	(2.4)	(0.4)	(1.3)	
タ	タ	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(1.0)	
タ	タ	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	(0.4)	(0.9)	
SB327	脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.6)	(0.3)	(1.0)	
SB331	No 1	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	2.0	0.5	(1.1)
タ	No 3	脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(2.1)	0.6	(2.1)
タ	No 6	完存	サヌカイト	2.5	1.8	0.4	1.2
タ	No 11	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.6)
タ	No 12	タ	サヌカイト	(3.1)	(2.0)	0.4	(1.7)
タ	No 22	完存	サヌカイト	1.9	1.6	0.3	0.7
タ	No 26	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(2.3)	0.3	(1.1)
タ	No 28	完存	サヌカイト	2.3	2.0	0.3	1.0
タ	No 29	タ	サヌカイト	2.1	1.5	0.3	0.6
タ	タ	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	0.3	(1.1)
タ	タ	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.8	0.4	(1.1)
タ	No 30	脚部欠	サヌカイト	(3.3)	(2.2)	0.4	(1.8)
タ	タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	0.3	(1.0)
タ	タ	タ	サヌカイト	(3.4)	(2.7)	(0.6)	(2.9)
タ	タ	脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	(0.5)	(1.3)
タ	タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.9)	(0.4)	(1.6)
タ	No 32	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.8)	0.4	(1.2)
タ	No 35	先端部欠	サヌカイト	(2.8)	1.3	0.4	(1.4)
タ	No 38	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.0)	(1.6)	0.4	(1.6)
タ	タ	タ	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	0.5	(2.2)
タ	No 42	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.9)
タ	No 46	タ	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	0.2	(0.5)
タ	No 47	完存	サヌカイト	2.2	2.0	0.3	1.3
タ	タ	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.1)	(0.3)	(0.3)
タ	No 53	タ	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.6)
タ	タ	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.3)	(0.9)
タ	No 61	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	(0.3)	(1.0)
タ	No 62	タ	サヌカイト	(4.4)	(2.6)	0.6	(0.8)
タ	タ	タ	サヌカイト	(3.5)	(2.3)	0.6	(3.1)

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
SB331	No63	脚部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.9)	0.5	(2.4)
〃	No64	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	0.4	(1.2)
〃	No65	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	0.3	(1.1)
〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	(0.4)	(3.3)	
〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(2.8)	(0.5)	(2.8)	
〃	〃	サヌカイト	(4.1)	(2.4)	(0.3)	(2.2)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.7)	0.4	(1.3)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.0)	(0.4)	(1.0)	
〃	〃	サヌカイト	(3.0)	(2.2)	(0.3)	(1.9)	
〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(2.0)	(0.4)	(1.5)	
〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.7)	(0.5)	(1.0)	
〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	(0.4)	(1.3)	
〃	〃	サヌカイト	(2.5)	(2.4)	(0.3)	(1.5)	
〃	〃	サヌカイト	(2.6)	(2.1)	(0.4)	(1.4)	
〃	〃	サヌカイト	(2.9)	(2.0)	(0.3)	(1.5)	
〃	完存	サヌカイト	2.4	2.0	0.3	0.9	
SK21	〃	サヌカイト	1.8	1.5	0.4	0.5	
SK66	先端部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.2)	
〃	完存	サヌカイト	3.0	2.0	0.4	1.9	
SK303	〃	サヌカイト	3.3	1.2	0.5	1.6	
〃	〃	サヌカイト	1.9	2.0	0.4	1.1	
SK304	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.8	(0.4)	(1.0)	
SK306	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	(0.2)	(0.7)	
SK307	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	(0.3)	(1.1)	
〃	完存	サヌカイト	1.8	1.5	0.3	0.8	
SK308	〃	サヌカイト	5.3	1.0	0.6	2.8	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	(0.4)	(1.1)	
〃	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	(0.4)	(1.0)	
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.8)	1.7	(0.3)	(0.6)	
SK321	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	(0.3)	(0.8)	
〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	(0.5)	(1.1)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(1.5)	(0.5)	(1.4)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	(0.3)	(0.7)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.5)	(0.2)	(0.5)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.6)	0.3	(0.8)	
〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.4	(0.8)	
〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.1)	0.4	(0.5)	
〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.6)	0.3	(0.6)	
SK322	完存	サヌカイト	2.6	1.6	0.4	0.6	
SK338	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.2)	(0.5)	
SK345	〃	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.3)	(2.2)	
SK352	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.4)	(0.3)	(1.0)	
SK354	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(2.0)	(0.5)	(1.5)	
〃	完存	サヌカイト	1.5	1.1	0.3	0.3	
SK368	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	0.2	0.4	
〃	先端部欠	サヌカイト	(0.9)	(1.2)	(0.2)	(0.3)	
SK369	脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.9)	(0.4)	(1.8)	
SK397	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(0.9)	
SK404	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.6)	(0.3)	(0.7)	
SK407	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.0)	

出土位置・層序	遺存状態	石 質	長さ	巾	厚さ	重さ
SK414	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	(0.2)	(0.6)
SK420	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(1.6)
SK421	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.8)	(0.3)	(0.9)
SK427	脚部欠	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.5)	(1.9)
SK428	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	(0.3)	(1.0)
SK429	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.7)
SK431	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.6)
SK459	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.3)	(0.5)	(2.2)
SK466	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.1)	(0.3)	(0.3)
〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	(0.3)	(0.4)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.7)	(0.3)	(0.8)
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.4)	(0.9)
〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	(0.3)	(0.5)
SD22	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.8)	(0.4)	(0.9)
SD25	完存	サヌカイト	2.0	1.5	0.2	0.4
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.3)	(0.7)
SD49	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.3)	(0.8)
SD52	〃	サヌカイト	(3.6)	(2.0)	(0.5)	(3.8)
SD57	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.0)	(0.3)	(0.4)
SD301	先端部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.8)	(0.3)	(1.2)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.6)	(0.3)	(1.4)
SD307	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
〃	完存	サヌカイト	1.7	1.1	0.3	0.4
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.2)	(0.6)
SD310	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	(0.4)	(1.0)
SD312	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	1.8	0.3	(1.0)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.4)	(0.4)	(1.1)
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.4)	(0.9)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.9)	(0.3)	(1.0)
SD325	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.4)	(0.4)	(0.7)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.5	0.4	(0.5)
ビット	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	(0.3)	(0.4)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.8)	1.7	0.4	(0.8)
〃	〃	サヌカイト	(2.0)	2.2	(0.3)	(1.2)
〃	完存	サヌカイト	1.9	1.7	0.3	0.5
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.2)	(0.3)	(0.7)
〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(2.0)	(0.3)	(1.0)
SX16	完存	サヌカイト	3.0	1.9	0.4	1.8
〃	〃	サヌカイト	3.2	2.0	0.5	2.2
〃	先端部欠	サヌカイト	(2.8)	1.6	0.4	(1.7)
〃	脚部欠	サヌカイト	(3.1)	(1.4)	(0.4)	(1.9)
〃	先端部欠	サヌカイト	(2.0)	1.3	0.3	(0.7)
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.6)	0.4	(1.5)
〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.2)	0.3	(0.8)
SX17	完存	サヌカイト	2.7	2.8	0.5	2.6
〃	〃	サヌカイト	3.2	1.6	0.5	2.0
〃	〃	サヌカイト	2.7	1.6	0.3	1.1
SX20	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	(0.4)	(0.9)
〃	脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.3)
竹道北地区河道路	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	(0.4)	(1.5)

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SX303	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.6)	(0.3)	(0.9)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	(0.3)	(1.1)
"	脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	(0.3)	(0.7)
SX311	先端・脚部欠	サヌカイト	(3.7)	(1.6)	(0.4)	(2.4)
SX313	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.3)	(0.6)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.3)	(0.4)	(2.0)
SX328	先端部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.5)	(0.4)	(1.1)
キ39区	第7・8層 完存	サヌカイト	3.3	1.5	0.5	2.0
"	"	サヌカイト	2.2	0.9	0.3	0.7
キ39区、ク・ケ38区	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.4)	(0.5)	(2.0)
キ39区	第8層 完存	サヌカイト	1.4	1.3	0.3	0.5
タ42区	第4層 先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.0)	(0.2)	(0.9)
ケ38区	第3・4層 "	サヌカイト	(1.9)	(1.5)	(0.3)	(1.3)
"	第5層 脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	(0.5)	(1.3)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	(0.4)	(1.6)
ケ38・ケ39区	第7・8層 脚部欠	サヌカイト	(2.9)	1.3	0.5	(1.5)
ケ39区	第3層 "	サヌカイト	(2.1)	(1.4)	0.3	(0.7)
"	第4層 先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	0.4	(1.8)
ケ40区	第6・7層 "	サヌカイト	(1.8)	(1.8)	(0.3)	(0.8)
"	"	サヌカイト	(1.4)	(1.5)	(0.3)	(0.5)
"	第7層 脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	0.3	(1.1)
"	"	サヌカイト	(1.8)	(1.5)	(0.3)	(0.5)
コ35区	第5層上位 "	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	(0.4)	(1.2)
コ36区	第3・4層 先端部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.8)	(0.3)	(0.7)
"	第4層 脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	0.3	(0.7)
"	先端部欠	サヌカイト	(3.3)	2.3	0.4	(3.0)
"	脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.8)	0.3	(0.8)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(2.1)	0.4	(2.1)
"	第5層中位 "	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.3)	(0.4)
"	"	サヌカイト	(1.5)	(1.6)	(0.3)	(0.5)
"	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.7)	(0.3)	(0.4)
コ37区	第3層 脚部欠	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
"	"	サヌカイト	1.5	1.5	0.3	0.4
"	"	サヌカイト	(3.0)	(1.8)	(0.2)	(1.6)
"	"	サヌカイト	(2.3)	(1.4)	(0.3)	(1.1)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.8)	(0.5)	(1.8)
"	第3・4層 "	サヌカイト	(2.6)	(1.5)	(0.4)	(1.4)
"	"	サヌカイト	(4.5)	(2.4)	(0.5)	(5.8)
"	"	サヌカイト	(2.7)	(1.2)	0.3	(0.9)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	(0.4)	(1.8)
"	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.4)	0.2	(0.5)
"	"	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.5)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.1)	(0.3)	(0.7)
"	第5層 脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.0)	0.4	(1.7)
"	"	サヌカイト	(1.3)	(1.4)	0.3	(0.6)
"	"	サヌカイト	(1.4)	(1.7)	0.3	(0.7)
"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(2.1)	0.4	(1.9)
"	完存	サヌカイト	1.5	1.5	0.4	0.7
コ38区	第3層 脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.7)	0.3	(0.7)

出土位置・層序	遺存状態	石 質	長 さ	巾	厚 さ	重 さ
コ38区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.7)	(0.3) (0.7)
	第3・4層	"	サヌカイト	(2.7)	(2.4)	0.5 (3.2)
	"	脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.2)	(0.2) (0.3)
	"	"	サヌカイト	(1.7)	(1.3)	0.3 (0.5)
	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.4)	0.5 (1.3)
	"	"	サヌカイト	(1.7)	(1.5)	(0.3) (0.7)
	第4層	"	サヌカイト	(1.7)	(1.2)	(0.2) (0.4)
	"	先端部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.7)	0.3 (0.5)
	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	0.3 (0.5)
	"	"	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3 (0.8)
コ39区	第3層	"	サヌカイト	(1.9)	(1.2)	0.4 (0.7)
"	第6層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	0.4 (0.9)
コ40区	"	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.4	0.3 (0.5)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	(0.3) (1.0)
	第7層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.8)	0.4 (0.9)
	"	"	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	(0.3) (0.5)
	"	"	サヌカイト	(1.2)	(1.5)	(0.3) (0.6)
サ35区	第2層	完存	サヌカイト	2.2	1.7	0.3 0.8
"	"	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	1.3	0.3 (0.4)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.3)	0.3 (0.7)
"	第4層	"	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3 (0.6)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.7)	0.3 (0.6)
"	"	"	サヌカイト	(2.9)	(1.9)	(0.3) (1.4)
"	"	先端部欠	サヌカイト	(3.2)	1.4	0.5 (1.5)
サ36区	第2層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.5)	0.4 (1.0)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.5)	0.2 (0.4)
"	第3層	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	1.4	0.4 (0.7)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	0.3 (0.8)
"	"	"	サヌカイト	(1.9)	(1.4)	0.2 (0.5)
"	"	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	1.7	0.3 (0.6)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.3)	0.5 (0.8)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(0.9)	0.2 (0.3)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.5)	0.4 (0.9)
"	"	"	サヌカイト	(1.5)	(1.5)	0.3 (0.5)
"	"	"	サヌカイト	(1.7)	(1.3)	0.3 (0.5)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.5)	(1.5)	0.3 (0.7)
"	"	"	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.4 (1.3)
"	"	"	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	0.2 (0.5)
"	第3・4層	"	サヌカイト	(1.4)	(1.9)	(0.2) (0.4)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	0.3 (0.6)
"	"	"	サヌカイト	(2.1)	(1.7)	0.3 (0.9)
"	"	"	サヌカイト	(2.4)	(1.5)	0.3 (1.0)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.8)	0.3 (0.9)
"	"	"	サヌカイト	(2.0)	(1.9)	0.3 (1.0)
"	第4層	"	サヌカイト	(2.1)	(1.8)	0.4 (1.1)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(2.3)	(1.5)	0.4 (0.7)
"	"	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.1)	(1.9)	(0.5) (1.6)
"	"	"	サヌカイト	(3.6)	(2.0)	(0.5) (2.9)
"	"	脚部欠	サヌカイト	(2.6)	(1.9)	0.5 (2.1)

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
サ36区	第4層	先端・脚部欠	サスカイト	(1.3)	(1.2)	(0.2)
		脚部欠	サスカイト	(2.5)	(1.9)	(0.5)
		先端・脚部欠	サスカイト	(1.4)	(1.2)	0.3
		〃	サスカイト	(1.6)	(1.4)	0.3
		〃	サスカイト	(1.7)	(1.4)	0.3
	第5層上位	脚部欠	サスカイト	(2.2)	(1.5)	0.3
		〃	サスカイト	(1.9)	(1.4)	0.3
		〃	サスカイト	(2.1)	(1.4)	0.2
		先端・脚部欠	サスカイト	(1.8)	(1.4)	0.2
		〃	サスカイト	(1.9)	(1.6)	0.3
サ37区	第2・3層	〃	サスカイト	(2.4)	(2.2)	0.4
		〃	サスカイト	(2.4)	(1.6)	0.3
		〃	サスカイト	(3.2)	(1.8)	0.7
		〃	サスカイト	(1.9)	(2.0)	0.2
		〃	サスカイト	(1.7)	(1.4)	0.3
	第4・5層	〃	サスカイト	(1.1)	(1.4)	(0.3)
		〃	サスカイト	(2.3)	(1.8)	(0.3)
		〃	サスカイト	(2.2)	(1.9)	0.3
		脚部欠	サスカイト	(1.6)	(1.4)	0.4
		先端部欠	サスカイト	(2.1)	(1.5)	0.5
サ39区	第6層	脚部欠	サスカイト	(2.2)	(1.6)	0.4
		先端・脚部欠	サスカイト	(3.6)	(2.2)	(0.5)
サ40区	第4層	完存	サスカイト	1.9	1.5	0.3
シ34区	第6層	〃	サスカイト	2.0	1.5	0.4
		先端部欠	サスカイト	(2.1)	1.7	0.3
シ35区	第2層	脚部欠	サスカイト	(2.4)	(1.6)	0.3
		先端部欠	サスカイト	(1.5)	2.1	(0.3)
シ36区	第3層	〃	サスカイト	(1.7)	1.6	0.4
		〃	サスカイト	(1.8)	(1.5)	0.3
		先端・脚部欠	サスカイト	(3.3)	(1.5)	0.6
		〃	サスカイト	(1.6)	(1.6)	(0.3)
		〃	サスカイト	(1.5)	(1.5)	(0.2)
	第3・4層	〃	サスカイト	(2.0)	(1.9)	(0.5)
		〃	サスカイト	(1.6)	(1.1)	0.3
		〃	サスカイト	(1.8)	(1.7)	0.4
		脚部欠	サスカイト	(2.4)	(1.9)	0.3
		先端・脚部欠	サスカイト	(2.3)	(1.6)	0.5
シ37区	第3・4層	〃	サスカイト	(1.6)	(1.3)	0.3
		〃	サスカイト	(2.1)	(1.8)	0.5
		〃	サスカイト	(1.3)	(1.5)	0.3
		脚部欠	サスカイト	(1.8)	(1.2)	0.3
		先端・脚部欠	サスカイト	(1.7)	(1.7)	0.4
	第3・4層	〃	サスカイト	(2.2)	(2.1)	0.3
		〃	サスカイト	(2.2)	(1.8)	0.4
		脚部欠	サスカイト	(2.2)	(1.8)	0.4
		先端・脚部欠	サスカイト	(1.7)	(1.7)	0.4
		脚部欠	サスカイト	(2.2)	(1.8)	0.4

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
シ35区 第3・4層	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.7)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	0.3	(0.6)
〃 〃	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.7)	0.3	(0.8)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(3.5)	(1.3)	0.5	(2.6)
〃 第4・5層	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.7)	(0.4)	(1.8)
〃 第5層	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.6)	0.3	(0.6)
シ36区 第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(2.1)	0.3	(1.2)
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.9)
〃 〃	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	0.2	(0.5)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.7)	0.3	(0.7)
〃 〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.8)	(0.4)	(0.9)
〃 〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	(0.3)	(0.8)
〃 〃	〃	サヌカイト	(1.2)	(1.3)	(0.2)	(0.3)
〃 〃	先端部欠	サヌカイト	(1.7)	1.9	0.3	(0.7)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.8)	0.3	(0.7)
〃 〃	〃	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	0.3	(0.8)
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.4)	0.3	(0.5)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.7)	0.4	(1.1)
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.6)	0.2	(0.4)
〃 〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.3)	0.3	(0.7)
〃 第3・4層	先端部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.4)	0.4	(0.6)
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.4	(1.1)
〃 第4層	完存	サヌカイト	2.5	1.6	0.5	1.5
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.6)	0.2	(0.7)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(2.0)	0.4	(1.9)
〃 〃	脚部欠	サヌカイト	(1.4)	(1.3)	0.3	(0.4)
〃 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.6)	0.3	(0.5)
〃 〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.3)	(1.1)
シ37区 第2層	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.5)	0.6	(1.5)
〃 〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(2.0)	0.5	(1.6)
シ38区 第6層	〃	サヌカイト	(3.1)	1.2	0.4	(1.4)
〃 〃	〃	サヌカイト	(1.5)	(1.3)	(0.2)	(0.4)
ス33区 第1・2層	〃	サヌカイト	(1.7)	(1.4)	(0.3)	(0.6)
ス35区 第3層	〃	サヌカイト	(1.7)	(2.0)	0.4	(0.8)
ス36区 〃	脚部欠	サヌカイト	(2.9)	(1.2)	0.4	(0.8)
ス37区 〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.3)	0.3	(0.6)
セ32区 第3・4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.7)
セ33区 第2層	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.9)	(0.3)	(1.0)
チ30区 第2・3層	〃	サヌカイト	(2.0)	(1.7)	0.3	(0.8)
〃 第3層	脚部欠	サヌカイト	(3.2)	(1.0)	0.3	(1.6)
ツ28区 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
〃 〃	先端部欠	サヌカイト	(1.3)	(1.6)	(0.2)	(0.5)
ツ29区 第2・3層	〃	サヌカイト	(3.1)	(1.3)	(0.4)	(1.6)
ツ31区 〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.2)	(1.4)	(0.2)	(0.4)
〃 〃	〃	サヌカイト	(2.3)	(1.7)	(0.5)	(2.0)
ツ21区 〃	脚部欠	サヌカイト	(2.0)	(1.5)	(0.2)	(0.6)
ツ22区 第1・2・3層	完存	サヌカイト	2.4	0.9	0.4	1.6
〃 〃	第3層	サヌカイト	1.0	1.6	0.2	0.4
〃 〃	〃	サヌカイト	1.9	1.4	0.3	0.6
ツ18区 第2・3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.9)	(1.6)	(0.4)	(1.4)

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ	
ノ22区 〃	第2・3層 第3層	先端・脚部欠 脚部欠	サヌカイト サヌカイト	(2.6) (2.6)	(1.2) (1.2)	0.3 0.3	(0.8) (1.0)
ハ19区	〃	完存	サヌカイト	3.0	1.4	0.4	1.2
フ15区 〃	〃	脚部欠 先端・脚部欠	サヌカイト サヌカイト	(2.5) (2.2)	(1.7) (1.7)	0.3 (0.3)	(0.8) (0.7)
ヘ14区	第1・2層	脚部欠	サヌカイト	(5.0)	(1.0)	(0.6)	(3.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.4)	(0.2)	(0.5)
ヘ15区	第2層	〃	サヌカイト	(3.2)	(1.9)	0.3	(1.4)
ヘ16区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.8)	(1.7)	0.3	(1.5)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.4)	(1.8)	(0.3)	(1.2)
ホ13区	第1・2層	脚部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.8)	0.5	(3.2)
ホ16区	第4層	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.7)	(1.5)	(0.3)	(0.7)
ヲ13区	第3層	〃	サヌカイト	(2.8)	(2.0)	0.5	(2.5)
ヲ14区 〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(1.5)	(0.4)	(1.0)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.6)	(1.2)	(0.2)	(0.4)
ミ13区	第1・2層	〃	サヌカイト	(1.8)	(1.2)	(0.3)	(0.5)
ム10区	第2層	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.4)	0.3	(0.9)
〃	第2・3層	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.1)	0.3	(0.6)
ロ5区	第3層	先端・脚部欠	サヌカイト	(2.5)	(1.9)	0.2	(0.8)
ロ7区	第1層	〃	サヌカイト	(1.3)	(1.3)	(0.3)	(0.5)
ラ5区	〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.3)	(0.4)	(0.9)
不明	先端部欠	サヌカイト	(1.9)	1.3	0.3	(0.5)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(2.0)	(0.6)	(2.4)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.2)	(1.9)	0.3	(0.9)	
〃	先端部欠	サヌカイト	(2.4)	2.1	0.5	(2.2)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(3.2)	1.5	0.6	(2.6)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.3)	0.3	(0.4)	
〃	〃	サヌカイト	(2.6)	(1.8)	0.5	(1.4)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(2.7)	(1.7)	0.4	(1.6)	
〃	先端・脚部欠	サヌカイト	(1.6)	(1.5)	0.3	(0.7)	
〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(1.8)	0.4	(1.7)	
〃	〃	サヌカイト	(2.5)	(1.3)	0.4	(1.1)	
〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(1.9)	0.5	(1.0)	
〃	脚部欠	サヌカイト	(1.8)	(1.5)	0.2	(0.6)	

第66表 石錐一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石 質	長 さ	先 端 部		つまみ部		
				巾	厚 さ	巾	厚 さ	
SB310	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.7)	(1.1)	(0.3)	(2.2)	(0.4)	
〃	〃	サスカイト	(2.7)	(1.4)	(0.3)	(0.7)	(0.4)	
〃	〃	サスカイト	(2.4)	(0.6)	(0.3)	(4.2)	(1.1)	
SB305	〃	サスカイト	(2.5)	(0.6)	(0.4)	(1.5)	(0.5)	
SB306	先端部欠	サスカイト	(3.2)	(0.7)	(0.4)	(3.4)	(0.7)	
〃	つまみ部欠	サスカイト	(3.5)	0.9	0.6	(2.2)	(0.8)	
SB310	〃	サスカイト	(3.6)	0.9	0.6	(2.1)	(0.4)	
SB314	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.6)	(0.7)	(0.3)	(1.2)	(0.2)	
SB315	〃	サスカイト	(2.3)	(0.6)	(0.5)	(2.1)	(0.4)	
SB318	〃	サスカイト	(2.3)	(0.6)	(0.4)	(1.6)	(0.6)	
SB331	〃	サスカイト	(4.1)	(0.8)	(0.4)	(2.1)	(0.5)	
〃	つまみ部欠	サスカイト	2.4	1.0	0.5	—	—	
〃	先端・つまみ部欠	サスカイト	(4.5)	(0.5)	(0.4)	(1.2)	(0.6)	
〃	〃	サスカイト	(3.9)	(0.7)	(0.4)	(2.9)	(0.6)	
〃	No29	〃	サスカイト	(2.4)	(0.7)	(0.5)	(2.0)	(0.5)
〃	No30	〃	サスカイト	(3.4)	(1.0)	(0.5)	(3.3)	(1.0)
〃	No32	〃	サスカイト	(4.8)	(0.6)	(0.4)	(2.7)	(0.6)
SK310	〃	サスカイト	(3.2)	(0.8)	(0.6)	(1.5)	(0.4)	
SK321	〃	サスカイト	(3.1)	(0.7)	(0.4)	(1.9)	(0.5)	
〃	〃	サスカイト	(3.3)	(1.1)	(0.3)	(1.3)	(0.4)	
SK387	〃	サスカイト	(2.7)	(0.8)	(0.3)	(2.4)	(0.3)	
SK410	つまみ部欠	サスカイト	(4.1)	1.3	0.4	(1.9)	(0.5)	
SK429	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.5)	(0.7)	(0.3)	(1.0)	(0.4)	
SK368	つまみ部欠	サスカイト	(3.8)	0.6	0.4	(1.5)	(0.4)	
SD59	〃	サスカイト	(4.2)	1.1	0.7	—	—	
竹道南地区調査遺構	先端・つまみ部欠	サスカイト	(3.2)	(0.7)	(0.4)	—	—	
SD68	つまみ部欠	サスカイト	(2.8)	1.1	0.4	—	—	
SD301	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.2)	(0.9)	(0.3)	(2.1)	(0.4)	
〃	〃	サスカイト	(3.5)	0.8	(0.4)	(1.5)	(0.5)	
SD303	〃	サスカイト	(1.8)	(0.8)	(0.3)	(1.7)	(0.3)	
〃	〃	サスカイト	(1.9)	(0.7)	(0.3)	(1.8)	(0.5)	
SD307	〃	サスカイト	(2.1)	(0.6)	(0.4)	(2.2)	(0.4)	
〃	〃	サスカイト	(4.3)	(0.7)	(0.3)	(2.3)	(0.5)	
SD312	つまみ部欠	サスカイト	(3.0)	0.7	0.5	(1.7)	(0.6)	
〃	〃	サスカイト	(4.3)	0.7	0.4	(1.6)	(0.5)	
〃	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.5)	(0.8)	(0.2)	(1.4)	(0.2)	
SD324	〃	サスカイト	(4.4)	(1.0)	(0.6)	—	—	
SD325	つまみ部欠	サスカイト	(3.2)	(0.8)	(0.3)	(1.3)	(0.3)	
ヨ41区	ピット	〃	サスカイト	(3.4)	0.9	0.6	(1.4)	(0.8)
SX16	先端・つまみ部欠	サスカイト	(4.1)	(1.1)	(0.5)	(2.1)	(0.6)	
SX17	つまみ部欠	サスカイト	(4.5)	(0.7)	(0.4)	(1.4)	(0.4)	
〃	〃	サスカイト	(4.0)	0.7	0.5	(1.5)	(0.5)	
SX20	先端・つまみ部欠	サスカイト	(5.1)	(0.7)	(0.6)	(1.6)	(0.6)	
〃	〃	サスカイト	(3.3)	0.6	0.3	(1.4)	(0.5)	
SX305	〃	サスカイト	(2.7)	(0.6)	(0.4)	(2.6)	(0.4)	
SX309	つまみ部欠	サスカイト	(5.2)	(1.0)	(0.5)	—	—	
SX312	先端・つまみ部欠	サスカイト	(2.1)	(0.6)	(0.2)	(2.2)	(0.4)	
SX313	つまみ部欠	サスカイト	(5.5)	(1.5)	(0.7)	—	—	
SX328	先端・つまみ部欠	サスカイト	(3.1)	(2.0)	(0.4)	(2.0)	(0.5)	

出土位置・層序	遺存状態	石 質	厚 さ	先 端 部		つまみ部		
				巾	厚 さ	巾	厚 さ	
キ40区	第8・9層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.8)	(0.8)	(0.5)	(3.5)	(0.6)
ケ38区	第7・8層	〃	サヌカイト	(3.2)	(0.7)	(0.6)	(1.5)	(0.5)
ケ40区	第6・7層	〃	サヌカイト	(3.0)	(1.1)	(0.4)	(2.2)	(0.4)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.8	0.6	(1.5)	(0.6)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	0.6	(0.3)	(3.5)	(0.6)
〃	第7層	〃	サヌカイト	(2.6)	(0.8)	(0.2)	(1.8)	(0.3)
コ37区	第3層	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.6)	(0.4)	(1.6)	(0.3)
コ38区	〃	〃	サヌカイト	(1.8)	(0.4)	(0.3)	(1.7)	(0.4)
〃	第3・4層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.3)	(0.7)	(2.4)	(0.7)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.9)	(0.9)	(0.3)	(2.1)	(0.4)
〃	第4層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	(0.6)	(0.3)	(1.6)	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.7)	(0.7)	(0.5)	(1.8)	(0.4)
コ39区	第7層	〃	サヌカイト	(1.7)	(0.5)	(0.2)	(1.3)	(0.4)
コ40区	第6層	〃	サヌカイト	(2.9)	(1.0)	(0.4)	—	—
〃	第7層	〃	サヌカイト	(5.3)	(0.5)	(0.6)	(3.0)	(1.2)
ナ35区	第2層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.3)	0.6	0.3	(2.1)	(0.4)
ナ36区	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.6)	(1.0)	(0.5)	—	—
〃	第3・4層	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.5	0.3	(1.4)	(0.4)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.6)	0.8	0.5	(1.4)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(4.0)	(1.1)	(0.6)	(2.1)	(0.6)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.6	0.3	(1.5)	(0.3)
〃	第5層上位	〃	サヌカイト	(5.0)	1.1	0.6	(1.6)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.9	0.4	(1.5)	(0.4)
ナ37区	第3層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.8)	(0.3)	(1.5)	(0.6)
ナ39区	第2層	〃	サヌカイト	(3.7)	(1.0)	(0.5)	—	—
シ34区	〃	〃	サヌカイト	(3.0)	(0.6)	(0.4)	(1.8)	(0.5)
シ35区	第3層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.1)	0.7	0.3	(1.4)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.7	0.4	(1.4)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.2)	0.6	0.4	—	—
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.9)	(0.8)	(0.5)	(1.5)	(0.6)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.5)	(0.4)	(1.3)	(0.4)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(2.8)	(0.8)	(0.3)	(2.3)	(0.4)
シ36区	第3層	〃	サヌカイト	(3.5)	(0.6)	0.5	(2.3)	(0.7)
〃	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.4)	0.6	0.4	(1.4)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.5)	(3.1)	(1.0)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.6)	(2.6)	(0.9)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.1)	(0.7)	(0.2)	(1.5)	(0.3)
〃	〃	〃	サヌカイト	(2.2)	(0.6)	(0.3)	(1.2)	(0.3)
〃	第4層	〃	サヌカイト	(3.4)	(0.9)	(0.5)	(1.2)	(0.5)
〃	〃	〃	サヌカイト	(1.9)	(0.8)	(0.5)	—	—
シ37区	第2層	つまみ部欠	サヌカイト	(1.7)	0.5	0.3	(1.1)	(0.3)
〃	〃	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.5)	(0.7)	(0.4)	—	—
ス34区	〃	〃	サヌカイト	(3.7)	(0.9)	(0.7)	(3.8)	(0.8)
〃	〃	〃	サヌカイト	(3.5)	(0.9)	(0.7)	(2.9)	(0.7)
〃	第3層	つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	0.8	0.3	(1.7)	(0.7)
セ33区	第2層	〃	サヌカイト	(3.9)	0.7	0.4	(1.2)	(0.5)
ミ14区	第2・3層	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(2.1)	(0.7)	(0.3)	(1.7)	(0.3)
不明	〃	つまみ部欠	サヌカイト	(3.5)	0.8	0.5	(2.0)	(0.6)
〃	つまみ部欠	サヌカイト	(2.6)	0.5	0.2	(1.3)	(0.3)	

出土位置・層序	遺存状態	石 質	厚 さ	先 端 部		つまみ部	
				巾	厚 さ	巾	厚 さ
不明	先端・つまみ部欠	サスカイト	(4.9)	1.5	0.6	(3.4)	(0.8)
タ	つまみ部欠	サスカイト	(3.6)	0.9	0.5	(2.1)	(0.6)
タ	先端・つまみ部欠	サヌカイト	(3.2)	1.1	0.4	(1.5)	(0.5)
タ	〃	サスカイト	(2.5)	0.8	0.3	(1.6)	(0.4)
タ	つまみ部欠	サヌカイト	(3.7)	1.0	0.5	(0.9)	(0.6)

第67表 碓石錘一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	造存状態	石質	a	b	c	d	L 1	L 2	W (W1)	W2	厚さ	重さ
SK387	一部欠	凝灰岩	(2.3)	(2.6)	(2.5)	(0.8)	(10.7)	(9.7)	(6.9)	(6.3)	(1.9)	(167.9)
SD312	〃	結晶片岩	(1.3)	(1.6)	(2.8)	(1.2)	(8.6)	7.6	(6.9)	(5.8)	(2.3)	(162)
〃	〃	結晶片岩	—	—	(1.3)	(1.1)	(9.7)	—	(4.0)	(2.8)	(1.0)	(59.7)
SD320	〃	安山岩	(1.9)	(2.0)	—	—	(7.7)	(6.9)	(5.6)	—	(1.5)	(89.5)
〃	〃	結晶片岩	(1.5)	—	—	—	(7.0)	—	(5.8)	—	(1.2)	(76.1)
SX313	〃	結晶片岩	(0.4)	(1.0)	—	—	(8.2)	(7.9)	(8.5)	—	(1.2)	(120.3)
〃	〃	綠色片岩	(1.5)	(0.7)	(1.1)	(1.3)	(11.2)	(10.3)	(5.3)	(4.7)	(0.9)	(83.9)
〃	〃	結晶片岩	(2.6)	(1.7)	—	—	(7.4)	(6.0)	(7.1)	—	(1.7)	(111.1)
〃	〃	結晶片岩	(1.2)	—	(1.3)	(1.6)	(11.4)	—	(7.1)	(6.1)	(1.4)	(152.6)
〃	完存	結晶片岩	—	—	0.9	1.1	13.9	—	13.9	3.4	1.5	154.4
SX314	一部欠	結晶片岩	—	—	2.9	3.2	(16.3)	—	(5.8)	4.4	(3.1)	(465.5)
SX327	〃	結晶片岩	—	(0.9)	(0.9)	(1.1)	(11.6)	—	6.4	(4.8)	(1.5)	(173.6)
△35区	第1層	〃	結晶片岩	—	—	1.3	0.8	10.4	—	4.1	3.5	(0.9)
△35区	第5層下位	〃	結晶片岩	1.4	—	—	—	(5.1)	—	6.2	—	(0.7)
〃	〃	結晶片岩	—	—	(1.1)	(2.1)	8.4	—	4.6	4.0	1.5	(81.7)
△34区	第5層	〃	結晶片岩	1.8	—	—	—	(6.2)	—	(6.1)	—	(1.1)
△33区	第3層	〃	結晶片岩	—	—	(1.7)	—	(10.0)	—	(4.6)	—	(0.9)
△35区	第2層	〃	結晶片岩	(1.2)	(1.1)	(1.2)	—	(8.9)	(7.8)	(6.5)	—	(0.9)
△14区	第4層	〃	結晶片岩	(2.0)	—	—	—	(10.6)	—	(6.5)	—	(2.1)
												(180.4)

(註)

礎石錘を表化する際に用いたアルファベットは以下の部位の計測値を表している。

a・b 長軸方向の打欠き部の幅

c・d 短軸方向の打欠き部の幅

L 1 長さ

L 2 長軸方向の打欠き部間の最短距離

W(W1) 幅

W2 短軸方向の打欠き部間の最短距離

第68表 不定形刃器一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石 質	長 さ	巾	厚 さ	重 さ
SB301	一部欠	サスカイト	(3.4)	(2.4)	(0.6)	(4.4)
"	"	サスカイト	(2.7)	(5.7)	(0.8)	(11.2)
"	"	サスカイト	(2.9)	(3.8)	(0.9)	(11.2)
SB306	"	サスカイト	(7.7)	(4.1)	(0.9)	(22.5)
SB308	"	サスカイト	(2.6)	(2.9)	(0.9)	(7.9)
"	"	サスカイト	(2.8)	(2.7)	(0.5)	(3.3)
SB313	"	サスカイト	(4.6)	(1.6)	(0.6)	(4.7)
SB314	"	サスカイト	(4.7)	(2.8)	(0.7)	(12.4)
SB315	"	サスカイト	(3.3)	(2.9)	(0.6)	(6.9)
"	"	サスカイト	(3.0)	(2.8)	(0.7)	(8.3)
SB318	"	サスカイト	(5.2)	(4.6)	(0.9)	(24.4)
SB319	"	サスカイト	(6.8)	(4.3)	(0.8)	(21.0)
SB331	No49	サスカイト	(3.9)	(0.4)	(0.9)	(18.9)
"	"	サスカイト	(4.9)	(2.7)	(1.1)	(17.5)
"	"	サスカイト	(4.9)	(3.1)	(0.6)	(9.5)
SB406	"	サスカイト	(5.0)	(2.2)	(0.5)	(6.8)
SK302	"	サスカイト	(11.7)	(6.2)	(1.8)	(93.5)
SK303	"	サスカイト	(8.3)	(5.0)	(1.5)	(73.4)
SK308	"	サスカイト	(6.4)	(4.7)	(0.8)	(18.5)
"	"	サスカイト	(7.0)	(4.7)	(0.9)	(22.4)
"	"	サスカイト	(6.6)	(3.5)	(0.8)	(20.2)
"	"	サスカイト	(3.2)	(2.6)	(0.6)	(4.3)
"	"	サスカイト	(3.9)	(3.7)	(0.9)	(8.8)
SK327	"	サスカイト	(4.6)	(3.0)	(0.7)	(13.4)
SK392	"	サスカイト	(5.8)	(5.7)	(1.0)	(28.8)
SK403	"	サスカイト	(4.3)	(3.1)	(1.0)	(13.5)
SK406	"	サスカイト	(7.6)	(6.5)	(1.3)	(71.1)
SK418	"	サスカイト	(3.6)	(2.9)	(0.6)	(5.3)
"	"	サスカイト	(3.7)	(2.4)	(0.5)	(4.8)
"	"	サスカイト	(5.3)	(5.4)	(0.8)	(22.6)
SK434	"	サスカイト	(4.9)	(4.1)	(0.7)	(11.7)
SK439	"	サスカイト	(3.8)	(2.8)	(0.8)	(10.7)
SK445	"	サスカイト	(6.2)	(4.5)	(1.3)	(29.3)
SK484	"	サスカイト	(4.4)	(2.8)	(0.9)	(12.1)
SD16	"	サスカイト	(4.9)	(3.8)	(0.5)	(11.1)
SD301	"	サスカイト	(5.4)	(3.7)	(0.7)	(17.3)
"	"	サスカイト	(3.0)	(2.7)	(0.9)	(10.3)
SD302	"	サスカイト	(8.2)	(4.5)	(1.5)	(56.8)
SD312	"	サスカイト	(7.6)	(5.0)	(0.8)	(26.7)
"	"	サスカイト	(5.0)	(1.9)	(0.6)	(4.4)
"	"	サスカイト	(3.4)	(3.0)	(0.9)	(8.3)
"	"	サスカイト	(5.8)	(5.1)	(0.5)	(19.3)
"	"	サスカイト	(7.6)	(6.2)	(1.7)	(80.0)
"	"	サスカイト	(6.4)	(4.9)	(1.1)	(32.9)
"	"	サスカイト	(4.6)	(2.9)	(0.6)	(8.8)
"	"	サスカイト	(4.8)	(2.8)	(0.7)	(9.8)
SX20	"	サスカイト	(9.0)	(4.8)	(1.3)	(77.6)
SX306	"	サスカイト	(3.6)	(2.8)	(0.6)	(7.5)
SX309	"	サスカイト	(3.0)	(2.5)	(0.6)	(4.8)
SX313	"	サスカイト	(6.6)	(4.1)	(0.8)	(26.5)

出土位置・層序	遺存状態	石 質	長 さ	巾	厚 さ	重 さ	
SX313	一部欠	サスカイト	(5.2)	(3.6)	(0.6)	(14.2)	
SX314	タ	サスカイト	(4.9)	(4.1)	(0.7)	(13.1)	
SX315	タ	サスカイト	(6.7)	(3.7)	(0.7)	(24.1)	
SX328	タ	サスカイト	(3.2)	(2.7)	(0.9)	(8.8)	
ヨ41区	ピット	タ	サスカイト	(4.3)	(2.7)	(0.7)	(7.3)
タ	タ	サスカイト	(4.0)	(3.4)	(1.1)	(13.9)	
ケ38区	第3・4層	タ	サスカイト	(2.3)	(2.7)	(0.4)	(2.2)
ケ39区	第4層	タ	サスカイト	(3.5)	(3.2)	(0.7)	(8.8)
ヨ36区	タ	タ	サスカイト	(6.3)	(3.7)	(1.1)	(26.0)
タ	第5層	タ	サスカイト	(4.1)	(1.8)	(0.5)	(4.3)
ヨ37区	タ	タ	サスカイト	(5.1)	(6.0)	(1.1)	(37.8)
ヨ38区	第3層	タ	サスカイト	(4.4)	(4.2)	(1.1)	(22.9)
タ	第3・4層	タ	サスカイト	(7.8)	(7.4)	(1.3)	(79.8)
ヨ39区	第8層	タ	サスカイト	(4.6)	(2.8)	(0.7)	(10.0)
ナ35区	第2層	タ	サスカイト	(4.2)	(4.9)	(1.0)	(19.8)
ナ36区	第5層中位	タ	サスカイト	(7.1)	(7.0)	(0.8)	(50.9)
ナ37区	第2層	タ	サスカイト	(7.2)	(4.4)	(1.0)	(33.9)
タ	第3層	タ	サスカイト	(6.5)	(5.0)	(0.8)	(23.4)
タ	第3・4層	タ	サスカイト	(8.0)	(4.2)	(1.5)	(46.9)
タ	第5層	タ	サスカイト	(6.9)	(4.3)	(1.2)	(34.1)
ナ39区	第6層	タ	サスカイト	(7.5)	(3.6)	(0.8)	(24.3)
タ	タ	タ	サスカイト	(4.3)	(4.9)	(0.8)	(20.5)
タ	タ	タ	サスカイト	(10.5)	(5.8)	(1.8)	(107.7)
ナ40区	第7層	タ	サスカイト	(3.1)	(1.8)	(0.3)	(2.3)
シ35区	第3層	タ	サスカイト	(3.1)	(2.5)	(0.9)	(6.4)
タ	タ	タ	サスカイト	(2.8)	(2.0)	(0.4)	(2.0)
タ	タ	タ	サスカイト	(2.9)	(2.4)	(0.7)	(4.7)
タ	第4層	タ	サスカイト	(4.3)	(4.0)	(0.5)	(10.0)
シ36区	第3層	タ	サスカイト	(3.6)	(3.0)	(0.8)	(11.1)
タ	タ	タ	サスカイト	(4.9)	(3.4)	(0.9)	(18.6)
タ	第4層	タ	サスカイト	(5.4)	(4.9)	(1.4)	(36.9)
シ37区	第2層	タ	サスカイト	(4.3)	(3.7)	(0.5)	(9.8)
ス33区	第1・2層	タ	サスカイト	(3.4)	(3.8)	(1.0)	(15.5)
タ	第3層	タ	サスカイト	(9.4)	(6.5)	(1.2)	(84.2)
ス34区	第2層	タ	サスカイト	(4.1)	(3.1)	(0.7)	(12.2)
タ	タ	タ	サスカイト	(2.9)	(4.9)	(0.8)	(7.6)
セ33区	第2・3層	タ	サスカイト	(4.8)	(3.6)	(0.6)	(8.8)
タ	タ	タ	サスカイト	(4.9)	(3.8)	(0.5)	(10.1)
タ	第3・4層	タ	サスカイト	(4.5)	(4.4)	(0.5)	(12.8)
キ22区	第3層	タ	サスカイト	(4.0)	(1.5)	(0.9)	(5.5)
ハ21区	第2・3層	タ	サスカイト	(6.8)	(2.8)	(0.5)	(9.3)
ヨ14区	第3層	タ	サスカイト	(5.5)	(2.2)	(0.8)	(9.0)
不明	タ	タ	サスカイト	(3.8)	(3.8)	(1.0)	(11.6)
タ	タ	タ	サスカイト	(7.6)	(4.5)	(1.4)	(61.9)
タ	タ	タ	サスカイト	(7.9)	(4.0)	(1.4)	(47.9)
タ	タ	タ	サスカイト	(3.9)	(2.6)	(0.5)	(5.2)

第69表 石槍一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SD89	先端部欠	サヌカイト	(4.7)	1.5	0.5	(2.9)
SD110	基部欠	サヌカイト	(12.7)	3.9	1.0	(49.7)
サ35区 第5層上位	先端部欠	サヌカイト	(4.5)	2.2	0.7	(6.9)

第70表 橢形石器一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
ス33区 第2層	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.8)	(1.9)	(0.9)	(7.7)

第71表 不明石器一覧表

単位: cm・g

出土位置・層序	遺存状態	石質	長さ	巾	厚さ	重さ
SX314	一部欠	結晶片岩	(16.1)	(5.7)	(3.0)	(47.6)
SX327	完存	石英斑岩	13.4	12.7	2.7	98.0
ケ40区 第6・7層	一部欠	サヌカイト	(7.1)	(2.8)	(0.7)	(18.0)
ケ42区 第6層	"	結晶片岩	(10.6)	(3.3)	(1.5)	(86.1)
サ37区 第5層	先端・脚部欠	サヌカイト	(4.9)	(2.4)	(0.8)	(10.8)
サ39区 第4層	一部欠	サヌカイト	(6.7)	(2.4)	(1.0)	(16.5)

四国横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
第七冊
一の谷遺跡群
(本文編)

平成2年2月28日 発行

編集 (財)香川県埋蔵文化財調査センター
板出市府中町南谷5001-4

発行 香川県教育委員会
(財)香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

印刷 新日本法規出版㈱

四国横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

第七冊

一の谷遺跡群

写真図版編

1990.2

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

四国横断自動車道建設に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告

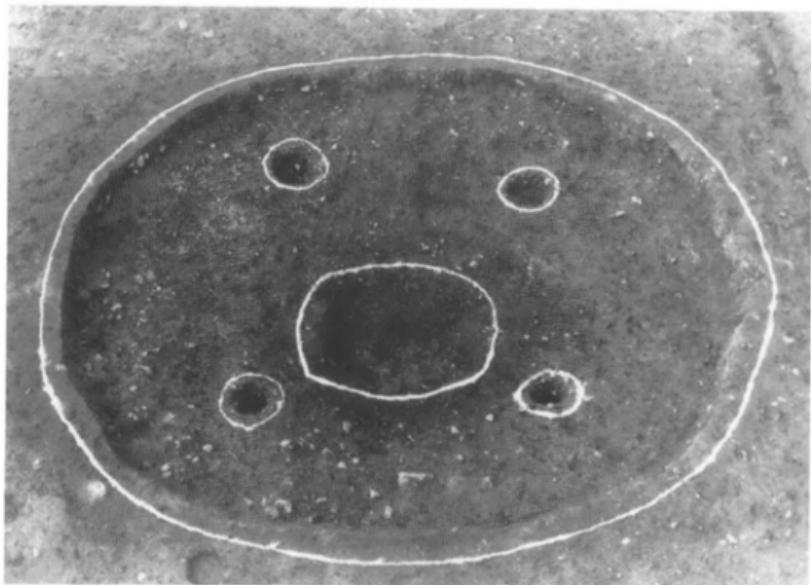
第七冊

一の谷遺跡群

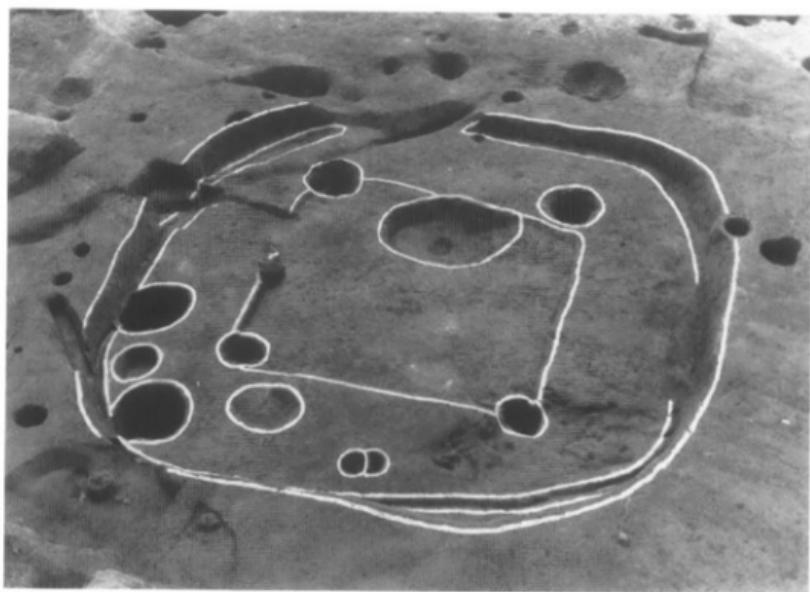
写真図版編

1990. 2

香川県教育委員会
財団法人香川県埋蔵文化財調査センター
日本道路公団

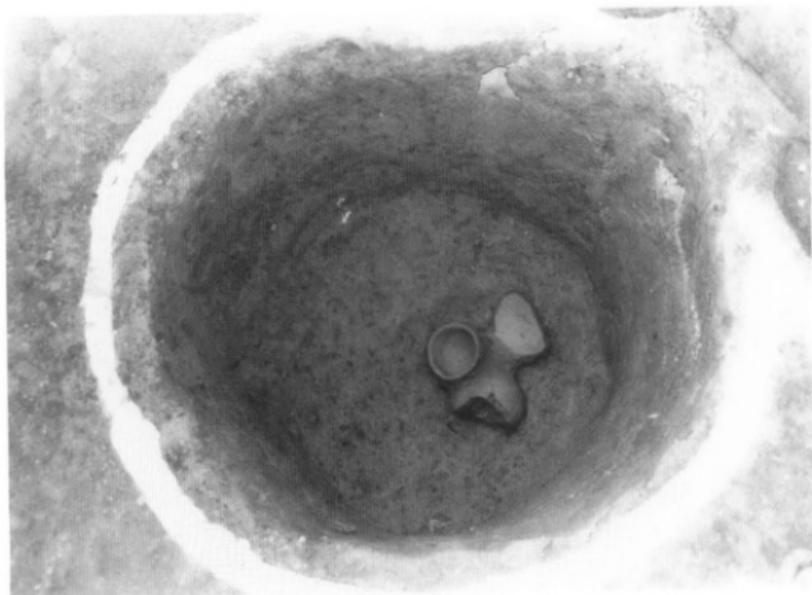


第 1 号竖穴住居跡

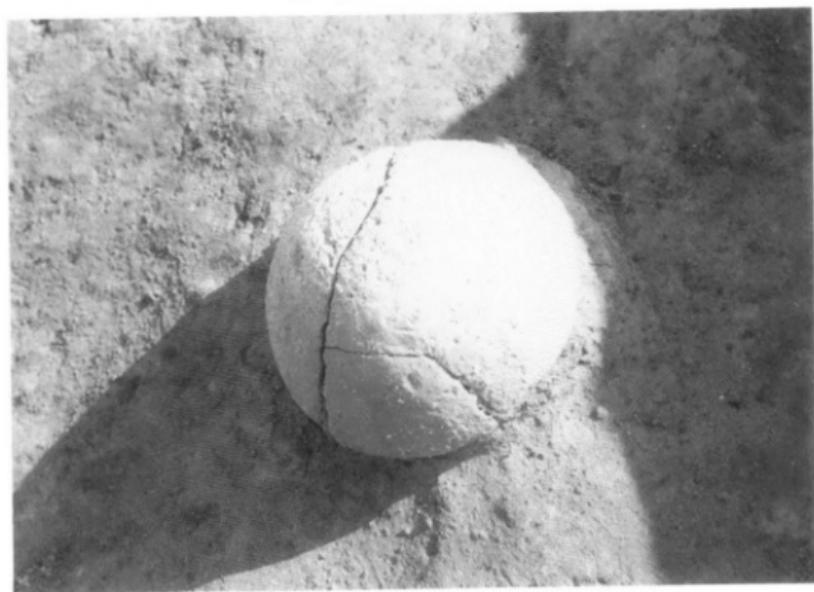


第 2 号竖穴住居跡

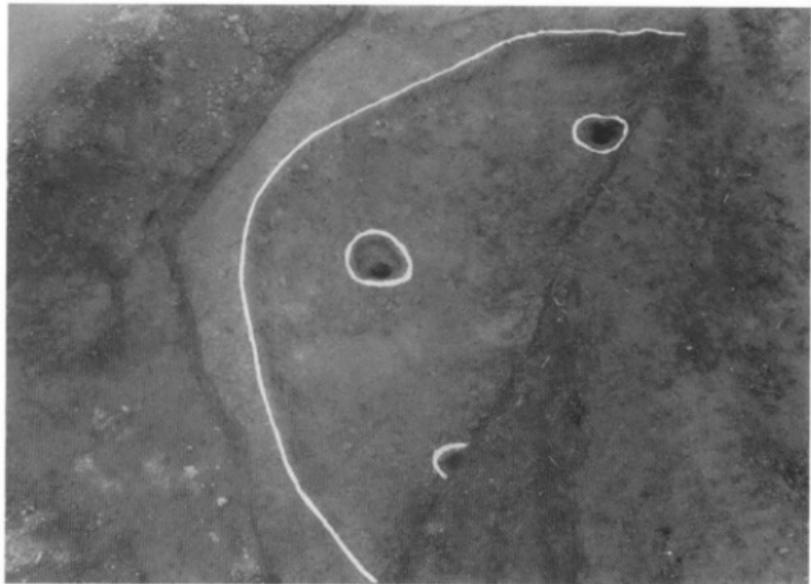
図版 2



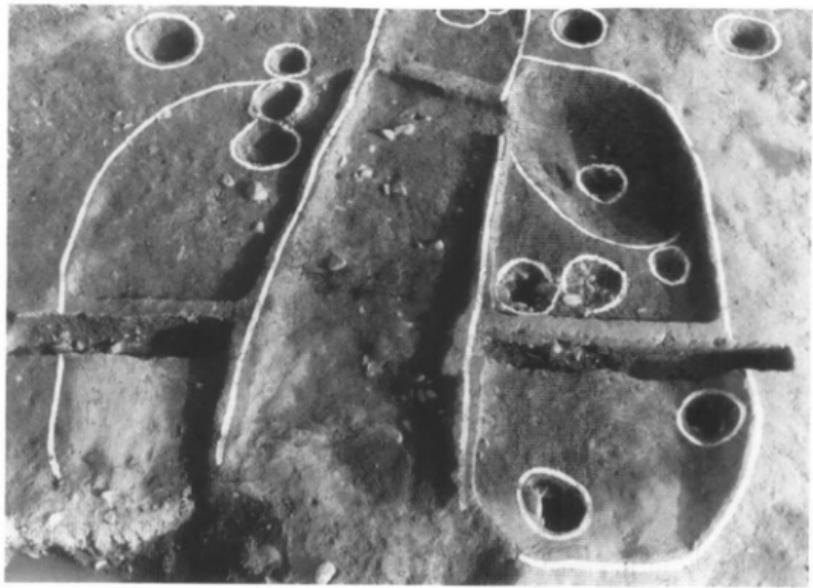
第 2 号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第 2 号竪穴住居跡伴出遺物(2)

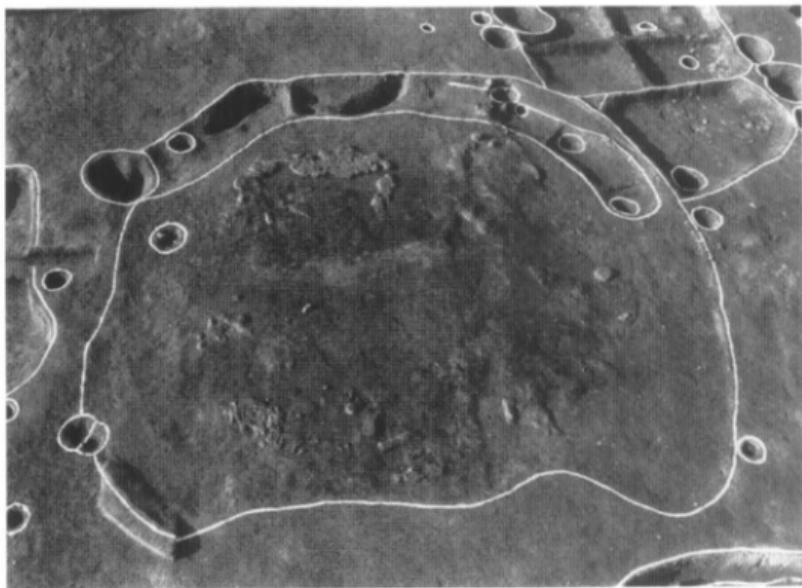


第3号竪穴住居跡

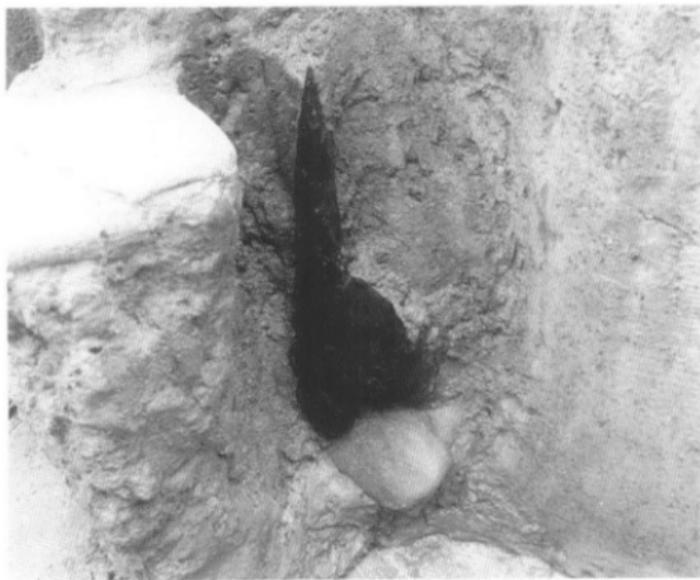


第4号竪穴住居跡

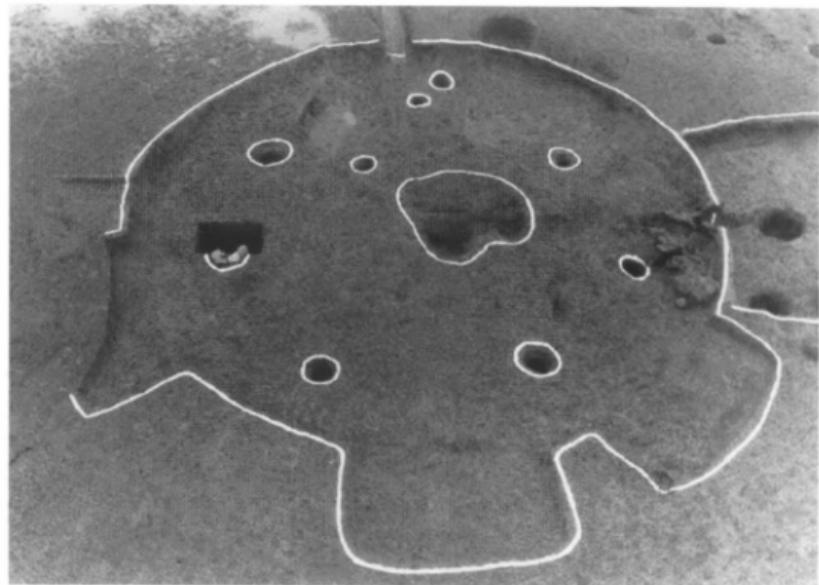
図版4



第5号竪穴住居跡



第5号竪穴住居跡柱材



第 6 号竖穴住居跡



第 6 号竖穴住居跡伴出遺物

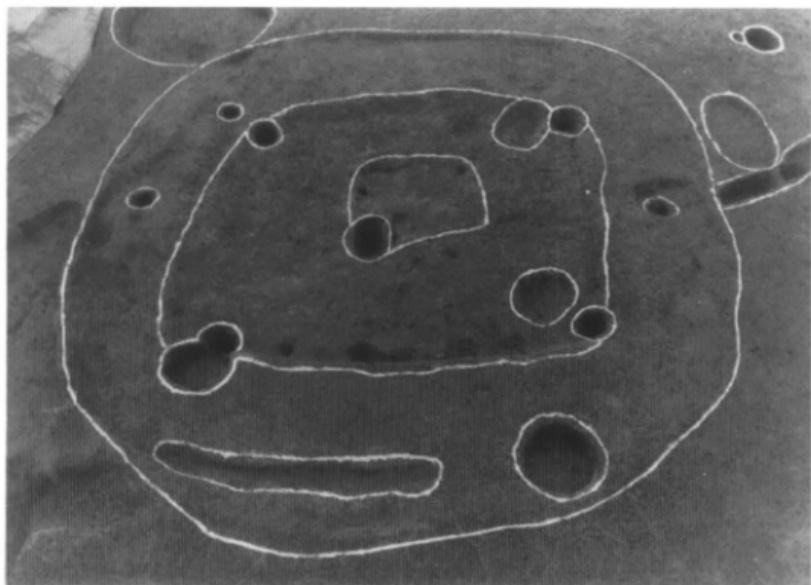
図版 6



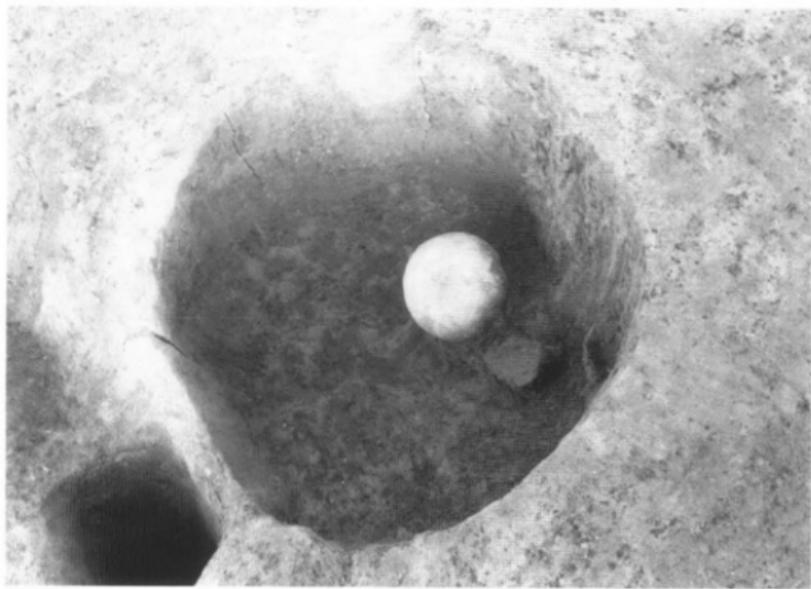
第 6 号竪穴住居跡柱穴



第 6 号竪穴住居跡検出焼土塊



第 7 号竪穴住居跡

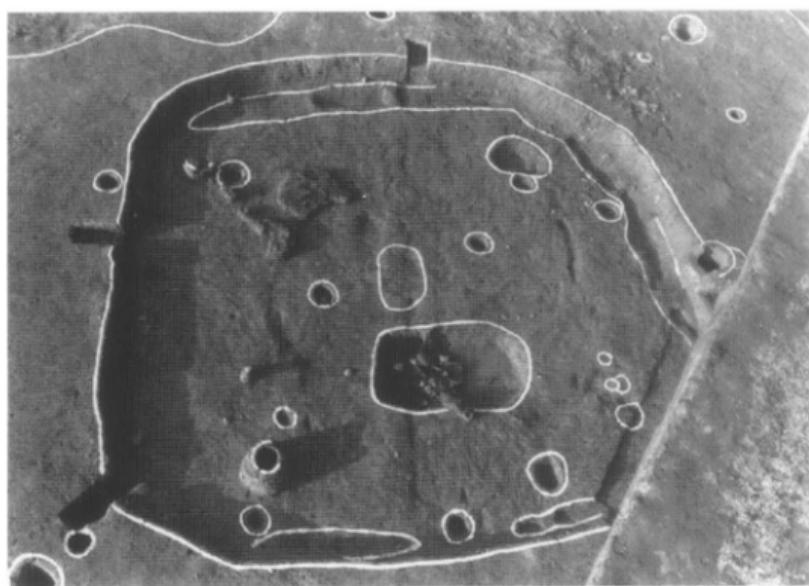


第 7 号竪穴住居跡伴出遺物

図版 8



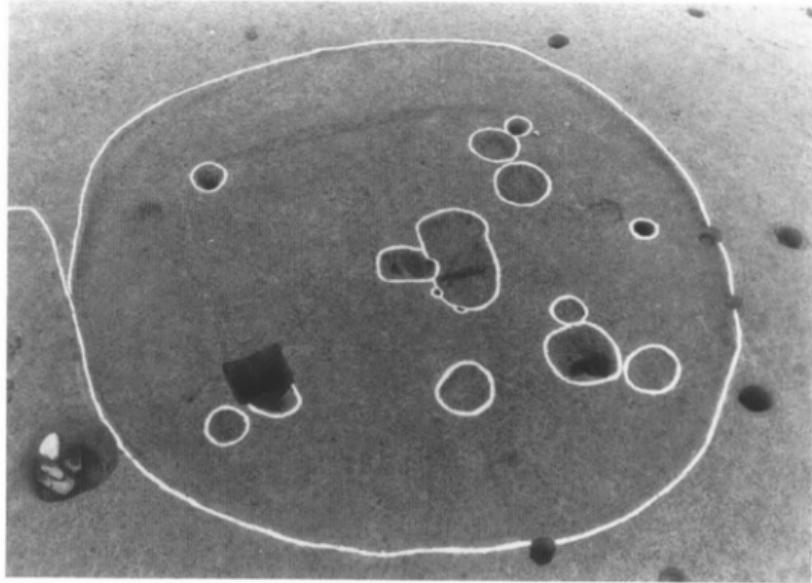
第 7 号竪穴住居跡柱穴



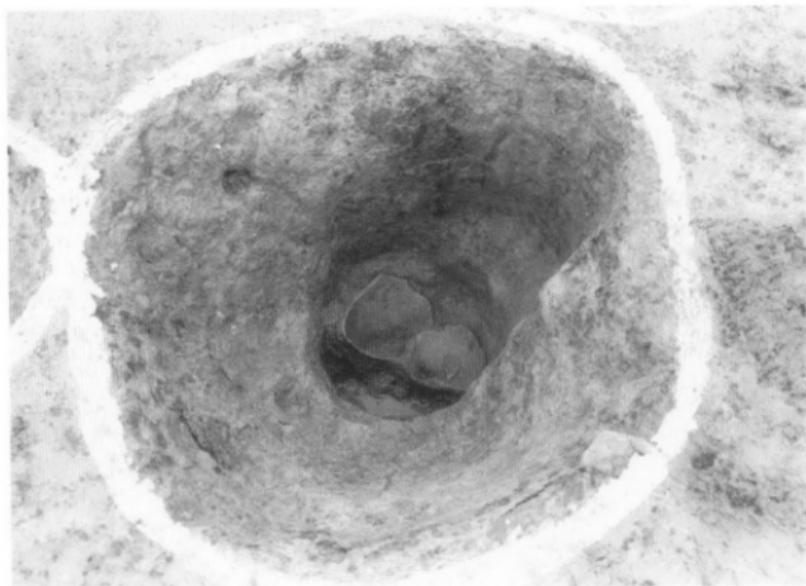
第 8 号竪穴住居跡



第 8 号竪穴住居跡伴出遺物



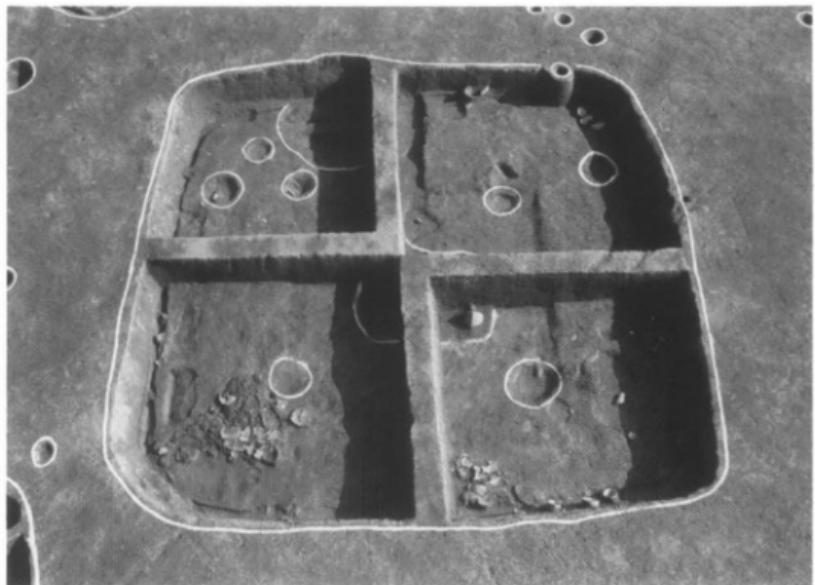
第 9 号竪穴住居跡



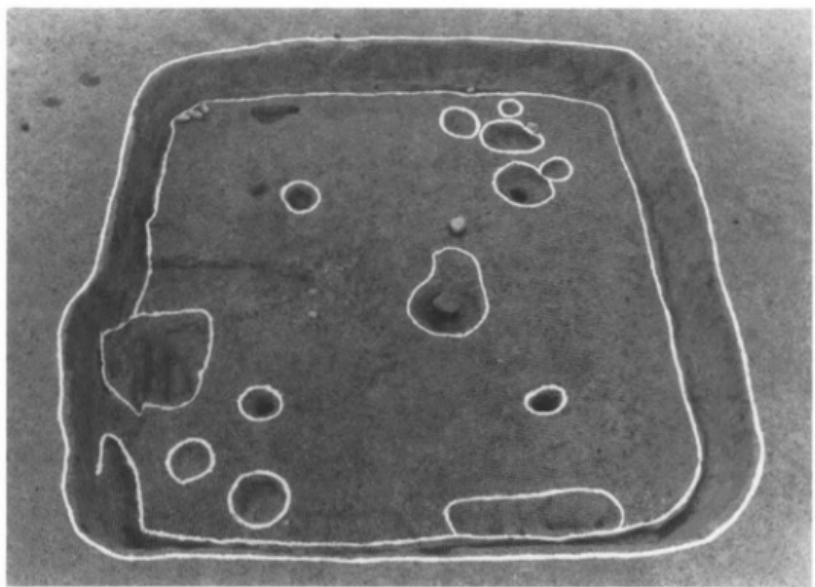
第9号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第9号竪穴住居跡伴出遺物(2)



第10号竪穴住居跡(1)

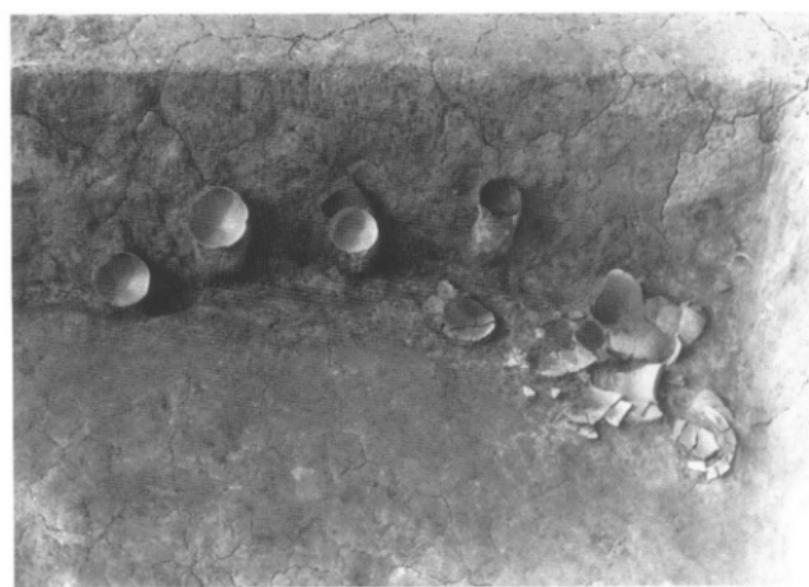


第10号竪穴住居跡(2)

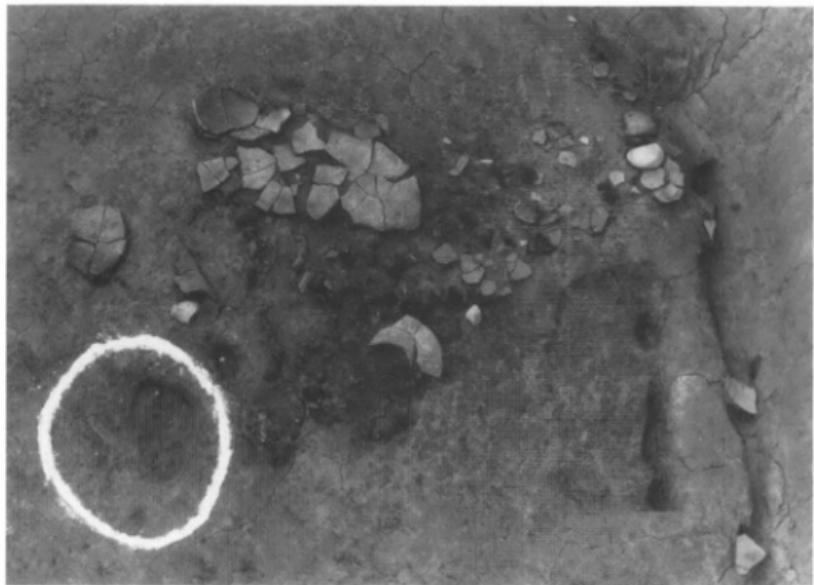
図版12



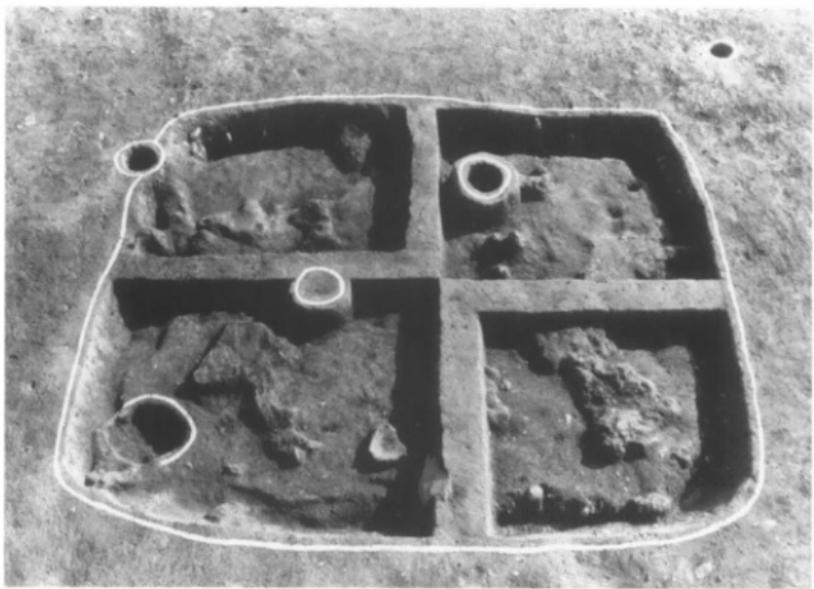
第10号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第10号竪穴住居跡伴出遺物(2)

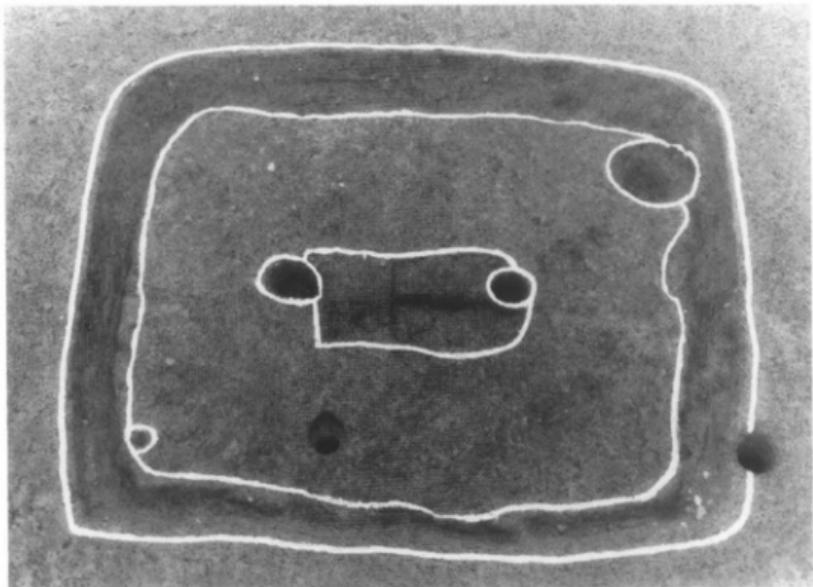


第10号竖穴住居跡伴出遺物(3)



第11号竖穴住居跡(1)

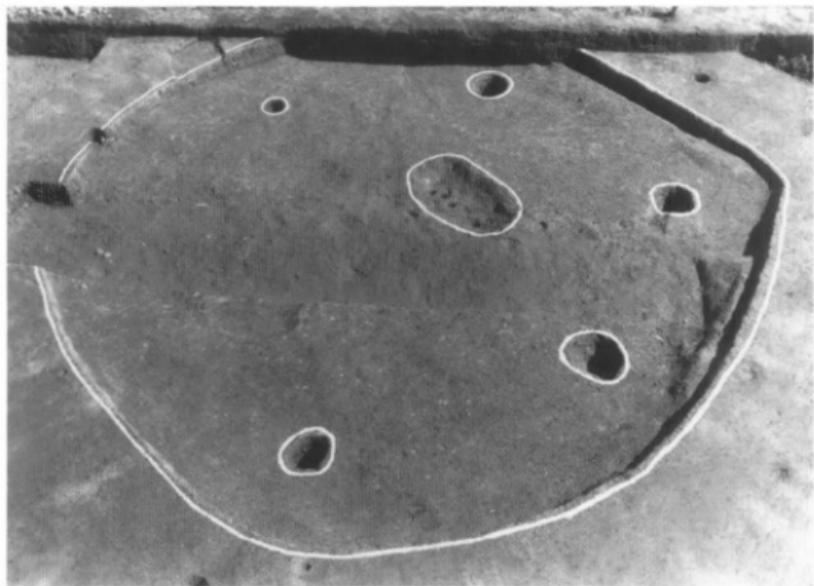
図版14



第11号竪穴住居跡(2)



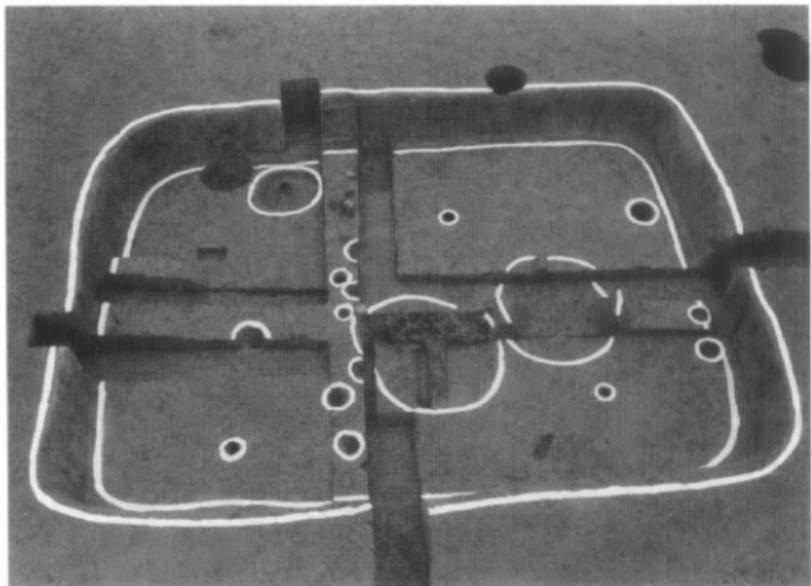
第12号竪穴住居跡



第13号竪穴住居跡



第13号竪穴住居跡伴出遺物



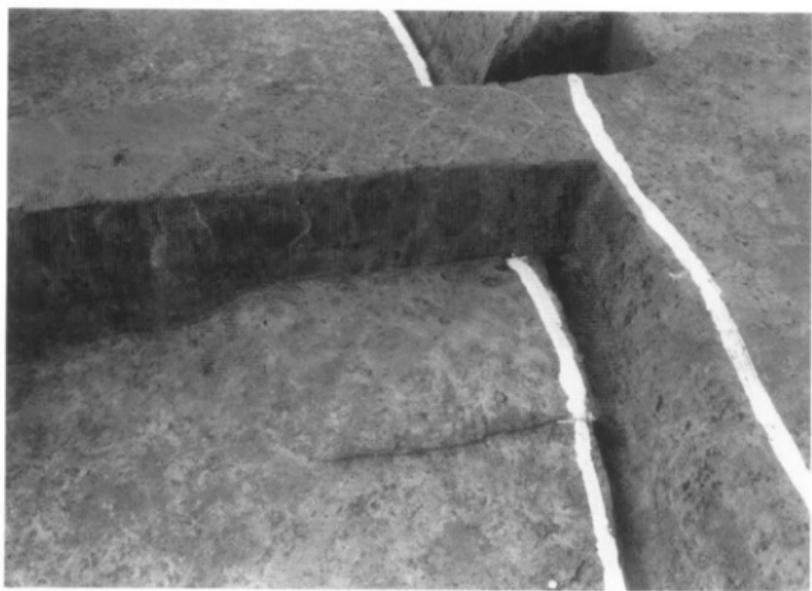
第14号竪穴住居跡



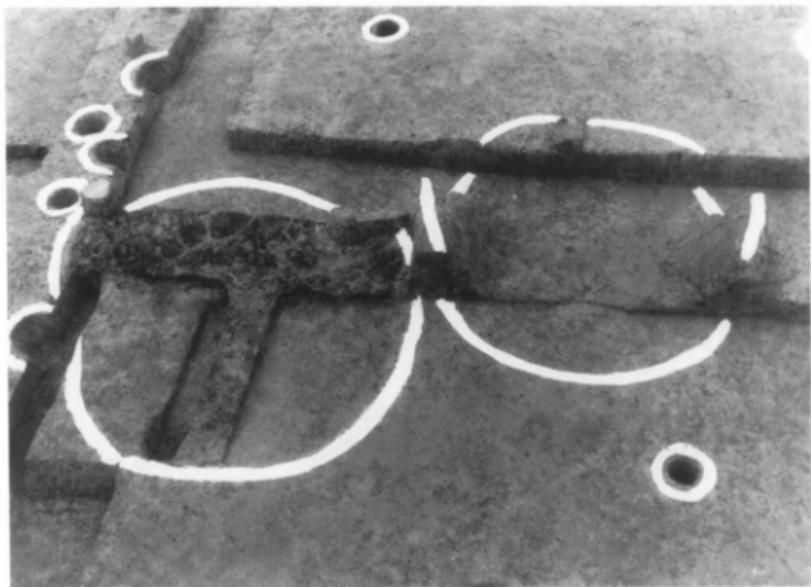
第14号竪穴住居跡伴出遺物(1)



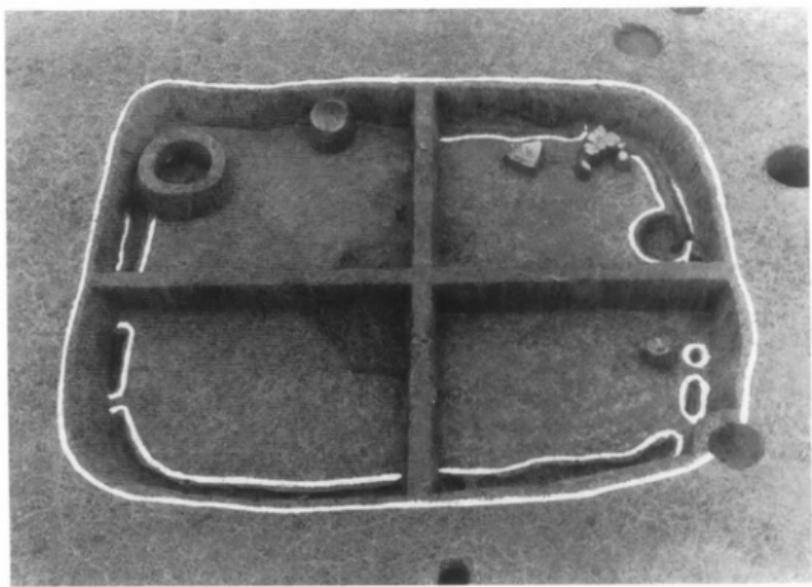
第14号竪穴住居跡伴出遺物(2)



第14号竪穴住居跡祭壇状遺構



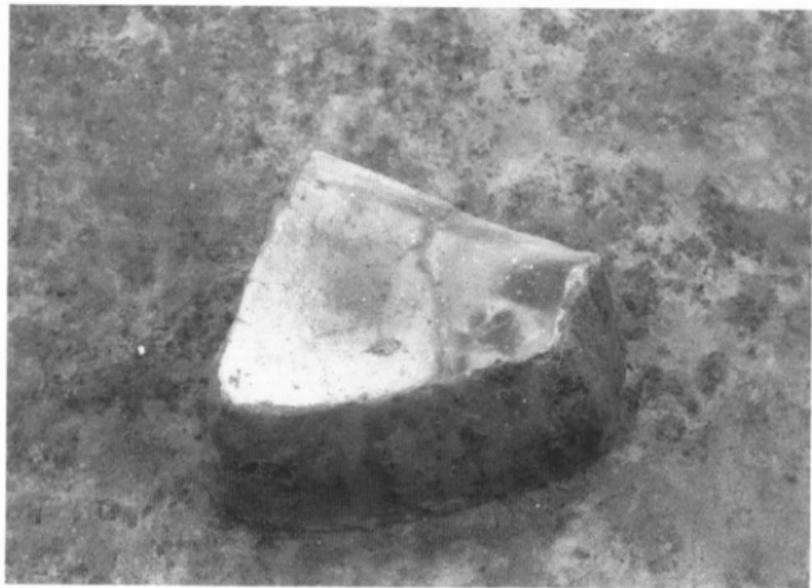
第14号竪穴住居跡炉跡



第15号竪穴住居跡



第15号竖穴住居跡伴出遺物(1)



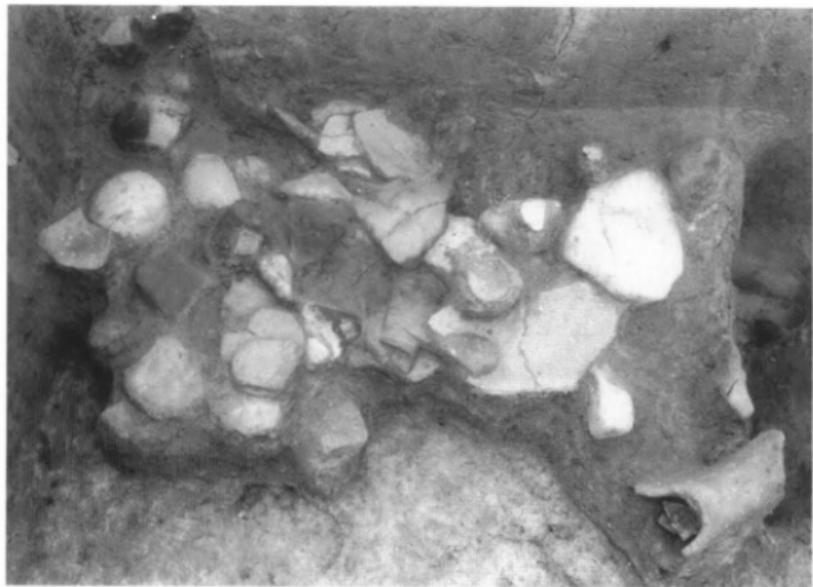
第15号竖穴住居跡伴出遺物(2)



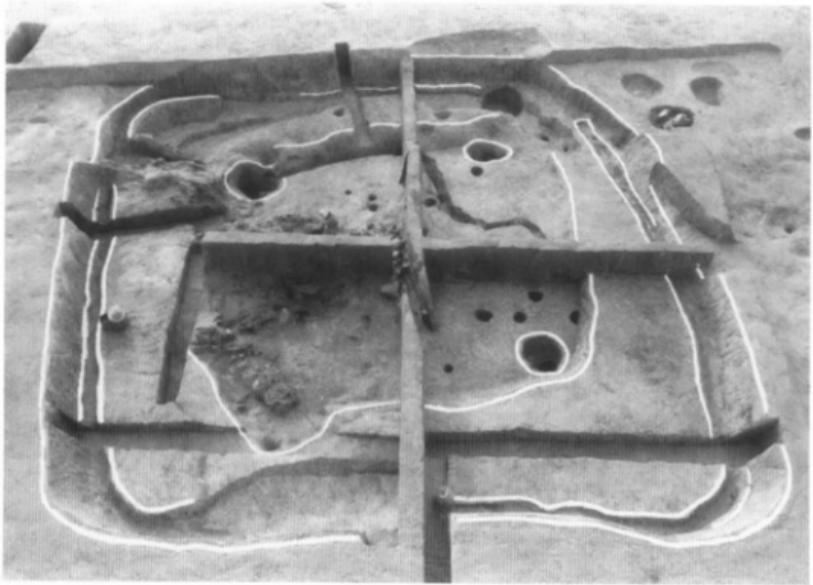
第16号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第16号竪穴住居跡伴出遺物(2)



第16号竖穴住居跡伴出遺物(3)



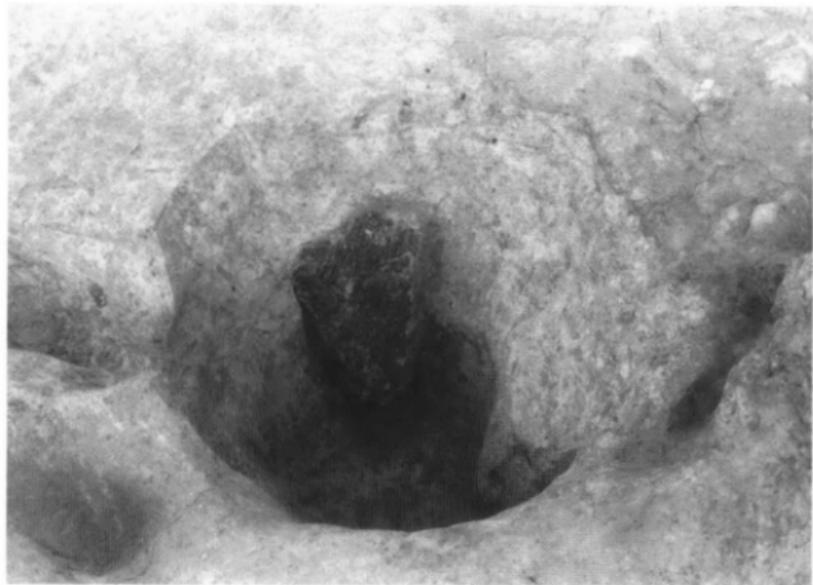
第17号竖穴住居跡(1)



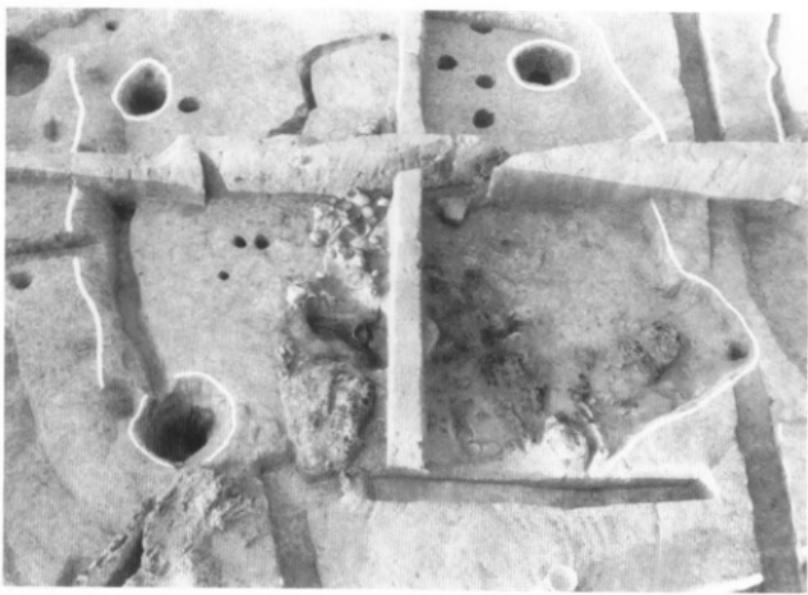
第17号竖穴住居跡(2)



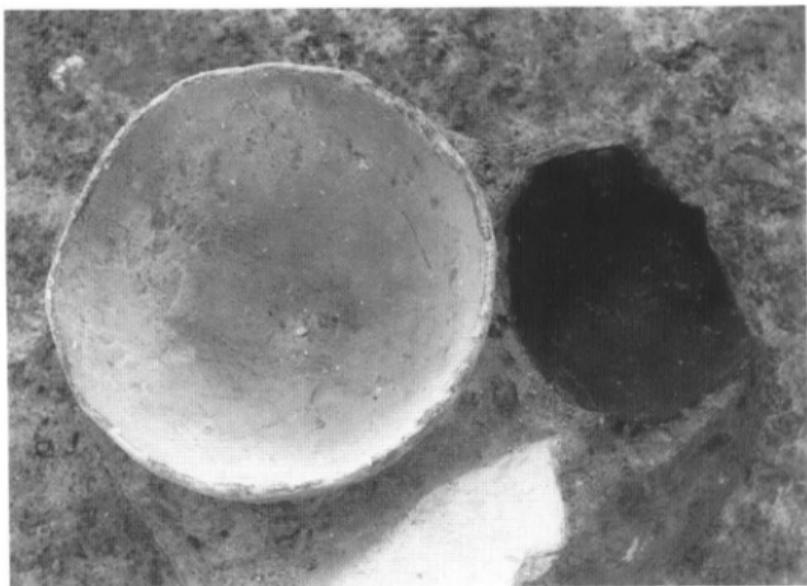
第17号竖穴住居跡検出焼土塊



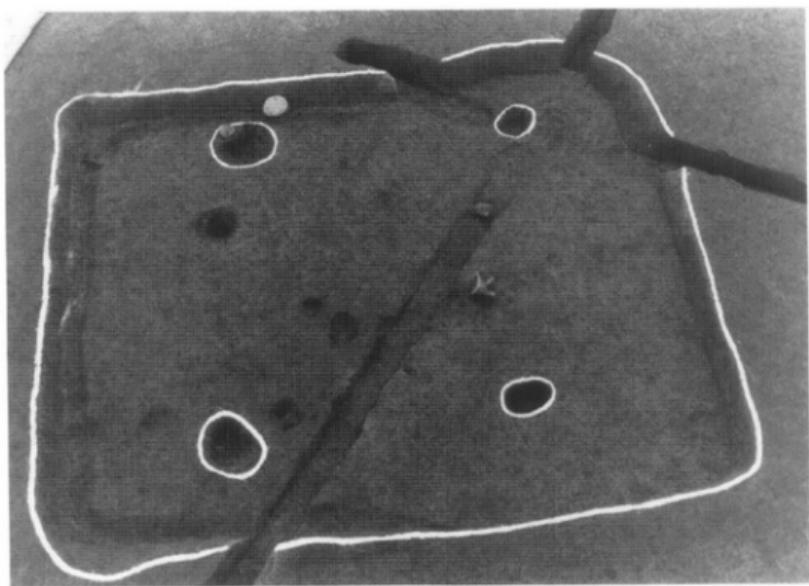
第17号竖穴住居跡柱穴



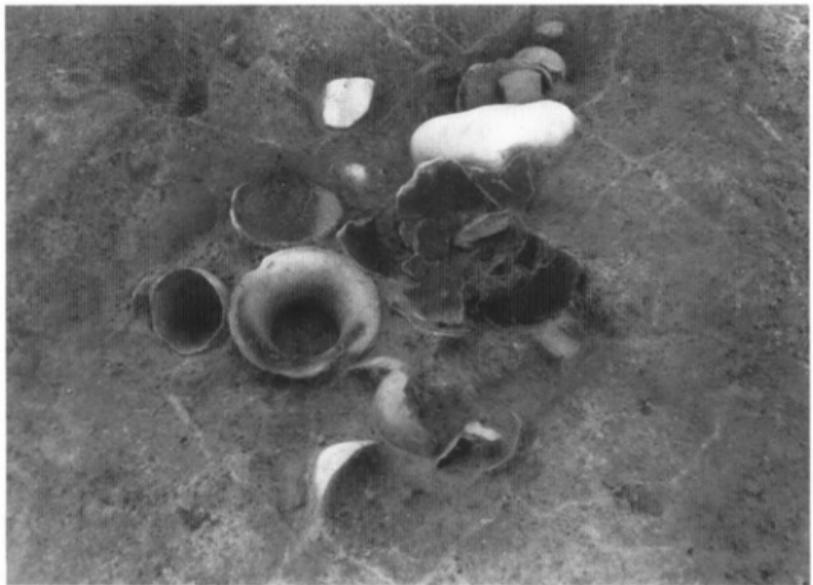
第17号竖穴住居跡伴出遺物(1)



第17号竪穴住居跡伴出遺物(2)



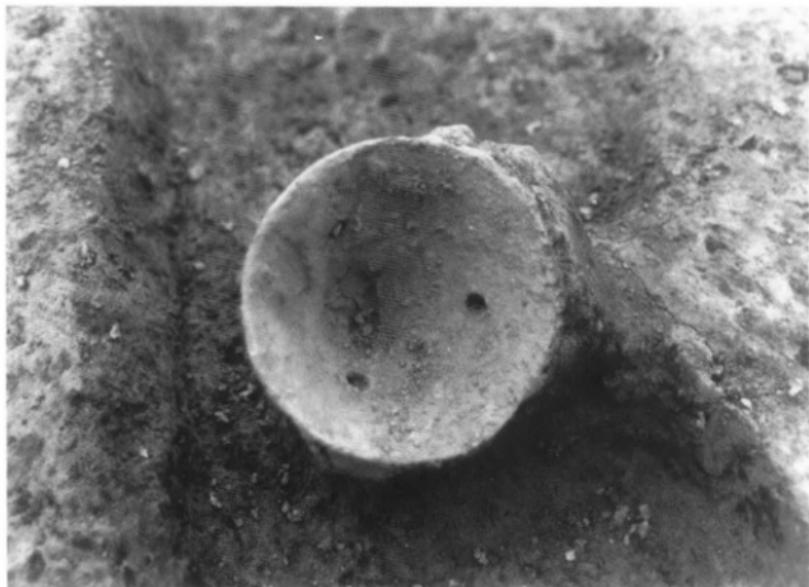
第18号竪穴住居跡



第18号竪穴住居跡伴出遺物(1)



第18号竪穴住居跡伴出遺物(2)



第18号竪穴住居跡伴出遺物(3)



第18号竪穴住居跡伴出遺物(4)